



## 操作マニュアル

2019/05/17



## 目次

# はじめに

[はじめに...はじめに-1](#)

# 画面とメニュー構成

[画面とメニュー構成...1](#)

# システム設定

## 倉庫マスタ管理...3

- 倉庫マスタの登録...3
- 倉庫マスタの修正...5
- 倉庫マスタの削除...6
- 倉庫マスタの印刷...6
- 倉庫マスタの CSV 出力...6
- 倉庫の終了...6

## 棚番マスタ管理...7

- 棚番マスタの新規作成...7
- 棚番マスタの修正...10
- 棚番マスタの削除...11
- 棚番マスタの棚ラベル発行...11
- 棚番マスタの終了...12

## 担当者マスタ管理...13

- 担当者マスタの登録...13
- 担当者マスタの修正...15
- 担当者マスタの削除...16
- 担当者マスタの印刷...16
- 担当者マスタ CSV 出力...16
- 担当者マスタの終了...17

## システムパラメータ設定...18

- 原料項目表示設定...18

- 製品項目表示設定...19
- 入在庫項目表示設定...20
- 生産指示項目表示設定...21
- 配合項目表示設定...22
- その他項目名称設定...23
- 送受信ファイル設定...24
- 原料入在庫送受信設定...26
- 配合送受信設定...28
- PDA・DC 端末設定...29
- DI2000 端末設定...30
- 日次処理設定...31
- 表示設定...37

入在庫データ受信設定...38

入在庫実績データ送信設定...42

在庫データ送受信設定...46

棚卸データ送信設定...50

原料データ受信設定...52

製品データ受信設定...54

レシピデータ受信設定...56

担当者受信設定...58

生産指示データ受信設定...60

配合指示データ受信設定...62

データベースのバックアップ...66

データベースの復元...67

# 生産管理

## 生産指示作成...68

- 生産指示新規作成...68
- 生産指示の検索...69
- 生産指示の削除...70
- 各種指示生成...71
- 生産指示リストの印刷...72
- 生産指示の伝票ラベル一括発行...73
- 生産指示の伝票ラベル個別発行...73
- 生産指示書印刷...74

## 入出庫管理

- 生産指示作成の終了...74
- 配合指示作成...75
  - 配合指示の修正(指示数のみ修正可能)...75
  - 配合指示の伝票削除...76
  - 配合指示の行削除...77
  - 配合指示書の印刷...77
  - 配合指示の伝票ラベル一括発行...78
  - 配合指示の伝票ラベル個別発行...79
  - 配合指示作成の終了...79
- 配合実績照会...80
  - 配合実績照会の検索...80
  - 配合実績照会の印刷...82
  - ...配合実績照会の CSV 出力...82
  - ...配合実績照会の DI2000 各種ラベル再発行...83
  - 配合実績照会の終了...84
- 配合作業進捗モニター...85
  - 配合作業進捗モニター...85
  - 配合作業進捗モニターの終了...86
- レシピデータ管理...87
  - レシピマスタの新規作成...87
  - 製品構成の修正...93
  - 製品構成の削除...93
  - レシピマスタの CSV 出力...96
  - レシピマスタの印刷...97
  - レシピマスタの終了...97
- 生産指示データ受信...98
  - 生産指示データ受信...98
  - 変換エラー表示...100
  - 変換エラー印刷...100
  - 生産指示データ受信の終了...101
- 配合指示データ受信...102
  - 配合指示データ受信...103
  - 変換エラー表示...104
  - 変換エラー印刷...105
  - 配合指示データ受信の終了...105

### 入庫指示作成...106

- 入庫指示作成の新規作成...106
- 新規入庫指示の登録...107
- 入庫指示伝票の検索...110
- 入庫指示伝票の修正...110
- 入庫指示伝票の削除...111
- 入庫指示伝票の行削除...112
- 入庫指示伝票リストの印刷...112
- 原料個別ラベルの発行...113
- 原料一括ラベルの発行...114
- 入庫指示伝票一覧の印刷...115
- 入庫指示作成の終了...115

### 入庫実績登録...116

- 入庫実績伝票の登録...116
- 入庫実績の行削除...117
- 入庫実績リストの印刷...118
- 入庫ラベルの発行...119
- 入庫指示のコピー...120
- 入庫実績「展開」について...120
- 入庫実績の確定と保存...121
- 入庫実績伝票の終了...121

### 緊急入庫実績登録...122

- 緊急入庫指示の新規作成...122
- 新規緊急入庫実績の登録...123
- 緊急入庫実績の登録...124
- 緊急入庫実績の確定と保存...125
- 緊急入庫実績の行削除...125
- 緊急入庫実績リスト印刷...126
- 緊急入庫実績ラベル発行...126
- 緊急入庫実績の終了...127

### 入庫実績照会...128

- 入庫実績照会の検索...128
- 入庫実績照会の印刷...129
- 入庫実績照会の CSV 出力...129

- 入庫実績ラベル発行...130
- 入庫実績照会の終了...131
- 出庫指示作成...132
  - 出庫指示作成の新規作成...132
  - 新規出庫指示の登録...134
  - 出庫指示伝票の検索...136
  - 出庫指示伝票の修正...137
  - 出庫指示伝票の削除...137
  - 出庫指示伝票の行削除...138
  - 出庫指示伝票リストの印刷...139
  - 原料個別ラベル発行...140
  - 原料一括ラベル発行...141
  - 出庫指示伝票一覧の印刷...142
  - 出庫指示作成の終了...142
- 出庫実績登録...143
  - 出庫実績伝票の登録...144
  - 出庫実績の行削除...145
  - 出庫実績リストの印刷...146
  - 出庫ラベルの発行...147
  - 出庫指示のコピー...148
  - 出庫指示「展開」について...148
  - 出庫実績の確定と保存...149
  - 出庫実績伝票の終了...149
- 緊急出庫実績登録...150
  - 緊急出庫指示の新規作成...150
  - 新規緊急出庫実績の登録...151
  - 緊急出庫実績の登録...153
  - 緊急出庫実績の確定と保存...154
  - 緊急出庫実績の行削除...154
  - 緊急出庫実績リストの印刷...155
  - 緊急出庫実績ラベル発行...156
  - 緊急出庫実績の終了...156
- 出庫実績照会...157
  - 出庫実績照会の検索...157
  - 出庫実績照会の印刷...158
  - 出庫実績照会の CSV 出力...158
  - 出庫実績ラベル発行...159

- 出庫実績照会の終了...160
- 不足・欠品リスト...161
  - 不足リストの表示...161
  - 欠品リストの表示...162
  - 不足・欠品リストの印刷...163
- 原料入出庫指示受信...164
  - 原料入庫指示データ受信...164
  - 原料出庫指示データ受信...166
  - 原料入出庫指示データ受信(入庫・出庫一括受信)...167
  - 変換エラー表示...169
  - 変換エラー印刷...169
  - 原料入出庫指示受信の終了...169
- 入庫作業進捗モニター...170
  - 入庫作業進捗モニターの検索...170
  - 入庫作業進捗モニターの終了...171
- 出庫作業進捗モニター...172
  - 出庫作業進捗モニターの検索...172
  - 出庫作業進捗モニターの終了...173

## 在庫管理

- 棚卸指示作成...174
  - 棚卸指示作成の新規作成...174
    1. 棚卸指示の自動作成方法...175
    2. 棚卸指示の手動作成方法...176
  - 棚卸指示伝票の行削除...177
  - 棚卸指示伝票リストの印刷...178
  - 棚卸指示作成の終了...178
- 棚卸実績登録...179
  - 棚卸実績登録...179
  - 実在庫数の修正...180
  - 棚卸実績登録の追加...181
  - 棚卸実績登録の終了...182
- 棚卸実績照会...183
  - 伝票指示検索方法...183
  - 実在庫数の修正...184

- 棚卸実績照会の印刷...184
- 棚卸実績照会の CSV 出力...185
- 棚卸実績照会の終了...185

#### 棚卸差異リスト...186

- 棚卸差異リストの表示...186
- 棚卸差異リストの印刷...188
- 棚卸差異リストの CSV 出力...189
- 棚卸差異リストの終了...189

#### 倉庫／棚移動...190

- 倉庫／棚全部移動...190
- 倉庫／棚部分移動...191
- 倉庫／棚移動の削除...192
- 倉庫／棚移動の終了...192

#### 倉庫／棚移動照会...193

- 倉庫／棚移動照会の検索...193
- 倉庫／棚移動照会の CSV 出力...193
- 倉庫／棚移動照会の終了...193

#### 在庫照会と訂正...194

- 在庫照会の検索...195
- 理論在庫数の修正...196
- 在庫照会リストの印刷...197
- 在庫照会の CSV 出力...198
- 在庫データ明細を表示...198
- 在庫照会と訂正の終了...198

#### 在庫データ受信...199

- 在庫データ受信...199
- 変換エラー表示...201
- 変換エラー印刷...201
- 在庫データ受信の終了...201

## 日次処理

#### 日次処理...202

- 日次処理...202
- 日次処理の終了...203

#### 入庫作業日報発行...204

- 入庫作業日報の印刷...204

- 入庫作業日報の CSV 出力...205
- 入庫作業日報発行の終了...205

#### 出庫作業日報...206

- 出庫作業日報の印刷...206
- 出庫作業日報の CSV 出力...207
- 出庫作業日報発行の終了...207

#### 作業履歴照会...208

- 作業履歴照会の表示...208
- 作業履歴照会の印刷...209
- 作業履歴照会の CSV 出力...210
- 作業履歴照会の終了...210

#### 配合履歴照会...211

- 配合履歴照会の表示...211
- 配合履歴照会の印刷...212
- 配合履歴照会の CSV 出力...212
- 配合履歴伝票の展開...213
- 配合履歴照会の終了...213

#### 変更履歴照会...214

- 変更履歴照会の表示...214
- 変更履歴照会の終了...214

## マスタ管理

#### 単位マスタ管理...215

- 単位マスタの追加...215
- 単位マスタの修正...216
- 単位マスタの削除...217
- 単位マスタ CSV 出力...218
- 単位マスタの終了...218

#### 原料分類マスタ管理...219

- 原料分類マスタの追加...219
- 原料分類マスタの修正...220
- 原料分類マスタの削除...221
- 原料分類マスタの印刷...221
- 原料分類マスタ CSV 出力...222
- 原料分類マスタの終了...222

#### 原料部門マスタ管理...223

- 原料部門マスタの追加...223
- 原料部門マスタの修正...224
- 原料部門マスタの削除...225
- 原料部門マスタ CSV 出力...225
- 原料部門マスタの終了...225

#### 仕入先マスタ管理...226

- 仕入先マスタの追加...226
- 仕入先マスタの修正...227
- 仕入先マスタの削除...228
- 仕入先マスタの印刷...229
- 仕入先マスタ CSV 出力...229
- 仕入先マスタの終了...229

#### 出庫先マスタ管理...230

- 出庫先マスタの追加...230
- 出庫先マスタの修正...231
- 出庫先マスタの印刷...232
- 出庫先マスタ CSV 出力...233
- 出庫先マスタの終了...233

#### 作業理由マスタ管理...234

- 作業理由マスタの追加...234
- 作業理由マスタの修正...235
- 作業理由マスタの削除...236
- 作業理由マスタの印刷...236
- 作業理由マスタ CSV 出力...237
- 作業理由マスタの終了...237

#### 原料マスタ管理...238

- 原料マスタの新規追加...238
- 原料マスタの検索...241
- 原料マスタの修正...242
- 原料マスタの削除...243
- 原料マスタの一覧印刷...244
- 原料マスタのバーコード印刷...245
- 原料マスタ CSV 出力...245
- 原料マスタの終了...245

#### 製品マスタ管理...246

- 製品マスタの新規追加...246
- 製品マスタの検索...249

- 製品マスタの修正...249
- 製品マスタの削除...251
- 製品マスタの一覧印刷...252
- 製品マスタ CSV 出力...252
- 製品マスタの終了...252

#### 製品分類管理...253

- 製品分類マスタの追加...253
- 製品分類マスタの修正...254
- 製品分類マスタの削除...255
- 製品分類マスタの印刷...255
- 製品分類マスタ CSV 出力...256
- 製品分類マスタの終了...256

#### 代替原料マスタ管理...257

- 代替原料マスタの追加...257
- 代替原料マスタの修正...258
- 代替原料の削除...259
- 代替原料マスタ CSV 出力...260
- 代替原料マスタの終了...260

#### マスタデータ受信...261

- 原料データ受信...261
- 製品データ受信...263
- レシピデータ受信...266
- 出庫先データ受信...268
- 仕入先データ受信...270
- 担当者データ受信...272
- 変換エラー表示...274
- 変換エラー印刷...274
- マスタデータ受信の終了...274

ヘルプ

#### バージョン情報...275

# はじめに

この度は、アプリケーションソフトウェア「IT-MATEXⅢ」をお買い上げいただきありがとうございます。

このソフトウェアは、Windows10 に対応した在庫管理システムです。本マニュアルでは、「IT-MATEXⅢ」の導入や各メニューの使い方について説明します。ソフトウェアの機能、操作、設定方法をご理解いただくために、ご使用前には必ず本マニュアルをよくお読みください。本マニュアルが皆様のお役に立つことを願っております。

ご注意:

1. このソフトウェアに重大な<sup>かし</sup>瑕疵が発見された場合は、無償で交換します。
2. このソフトウェア及びマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますので、ご了承下さい。
3. このソフトウェアの仕様及び本マニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
4. このソフトウェアを利用するには、緑 ID キーが必要です。

## パッケージの内容

「IT-MATEXⅢ」のパッケージの内容は以下の通りですので、ご確認下さい。

- ・ 「IT-MATEXⅢ」セットアップ CD-ROM1枚
- ・ USB-ID キー1個
- ・ 操作マニュアル1部

## 動作環境

- ・ 対応機種: DOS/V PC(デスクトップパソコンとノートパソコン)
- ・ CPU: Pentium 100MHz 以上
- ・ OS: Windows10
- ・ メモリ: 512MB 以上
- ・ ディスプレイ: Windows 対応のカラーディスプレイ( 解像度 800×600 以上 推奨)
- ・ ドライブ: USB インターフェース、LAN ポート、CD-ROM ドライブ各1基以上
- ・ ハードディスク: 空き容量100MB 以上
- ・ マウス: Windows 対応マウス
- ・ 日本語 FEP: Windows 対応の日本語変換システム

## セットアップ (Windows10)

1.Windows を起動します。

※その他のプログラムを起動している場合は、あらかじめプログラムを全て終了させてください。

2.「IT-MATEXⅢ」のセットアップ CD-ROM を CD-ROMドライブにセットします。

3.[スタート]をクリックし、[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

例えば CD-ROMドライブが E の場合、名前に「E:¥setup」と入力し、[OK]をクリックします。

4.ユーザーID 番号を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

(図-1)



図-1

5.「インストール先のディレクトリ名」を入力します。

デフォルトは「c:¥ IT-MatexIII」になります。(図-2)

[次へ]をクリックすると次のインストール準備画面に入ります。(図-3、図-4)

[キャンセル]をクリックすると取り消されます。

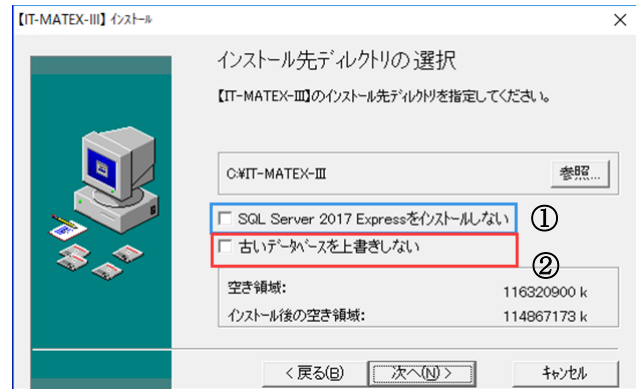


図-2



図-3

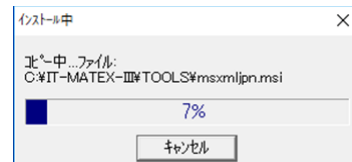


図-4



5-① 「SQLServer 2017Express をインストールしない」に☑をクリックすると、SQLServer はインストールされません。セットアップする PC に SQLServer が既に存在している場合は☑をクリックしてください。

存在しない場合は、□のままに [次へ] をクリックすると、SQLServer 設定の確認メッセージが表示されます。自動で SQLServer がインストールされます。(図-5、図-6)

[キャンセル] をクリックすると取り消されます。

5-② 「古いデータベースを上書きしない」に☑をすると、古いデータベースは更新しません。□であれば更新します。

※ 注：この機能はあくまでも再インストールする際に使う機能なので、初めてインストールする際に☑をすると、DB のフォルダが空白になります。

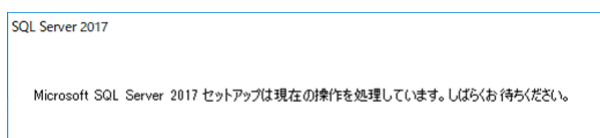


図-5

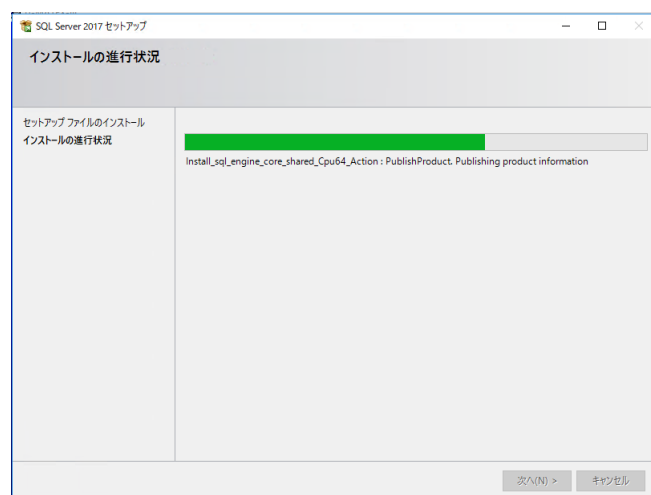


図-6

6. 「SQLServer2017」をインストールした後、「Microsoft SQL Server management Studio」のインストール画面が表示されます。

「インストール」をクリックするとインストールします。(図-7)

「閉じる」をクリックすると画面が閉じます。

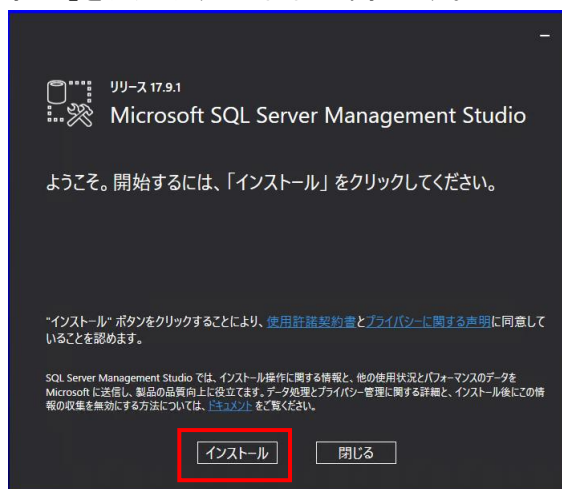


図-7

インストールに時間がかかりますので、処理が終わるまでお待ちください。(図-8、図-9)

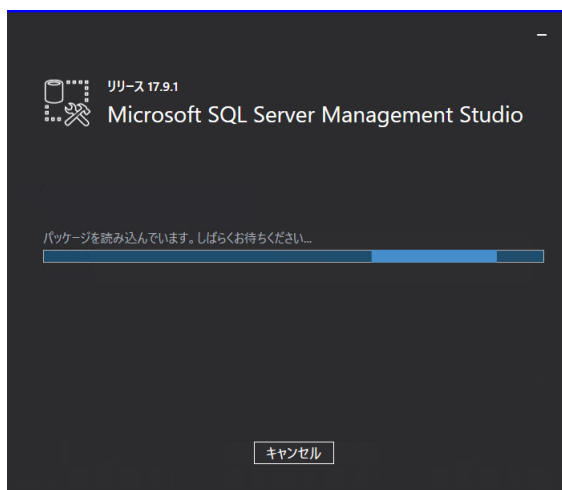


図-8

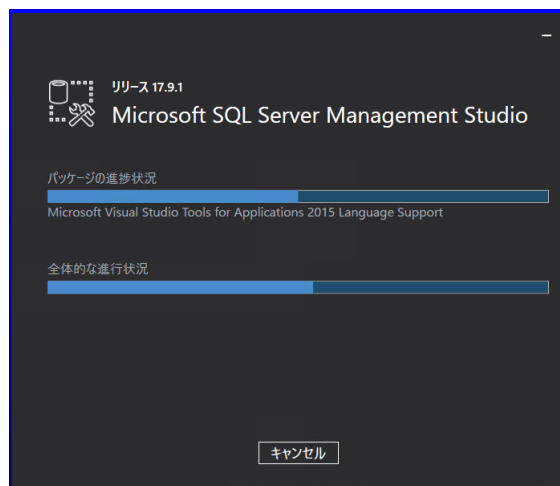


図-9

最後、「セットアップが完了しました」の画面が表示されるので、「閉じる」をクリックします。(図-10)

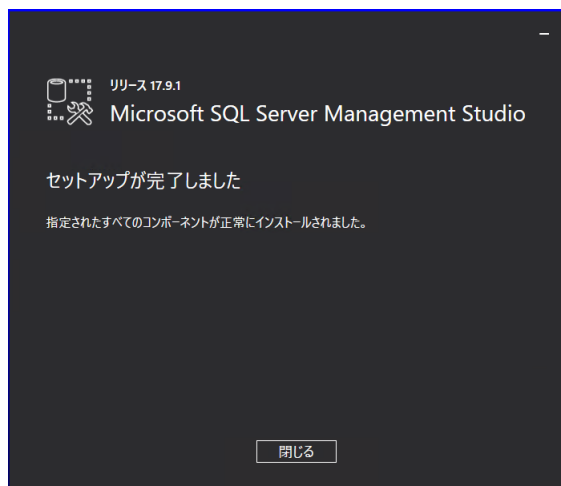


図-10

7.インストールが終了したら、「完了」をクリックします。(図-11)

「スタート」>「プログラム」の中に「IT-MATEXⅢ」のメニューが登録され、その中に「アンインストール」、「IT-MATEXⅢ」、「帳票デザイン」、「JISコンバーター」、「HT通信サーバー」、「DC通信サーバー」の6つのメニューが登録されます。

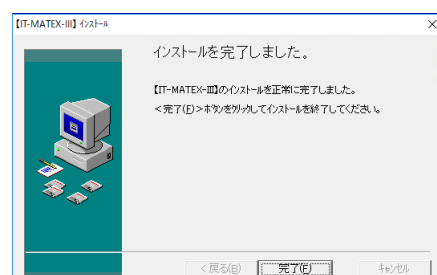


図-11

8.完了後、パソコン再起動のメッセージが表示されます。(図-12)

[OK]をクリックすると再起動します。  
[キャンセル]をクリックすると再起動されません。

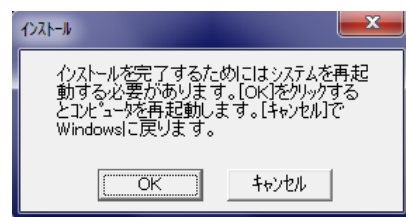


図-12

9.IT-MATEX-III/DB/DelPassword のバッチファイルは必ずダブルクリックして実行してください。  
セットアップ時に内部的に使用したパスワードを削除します。

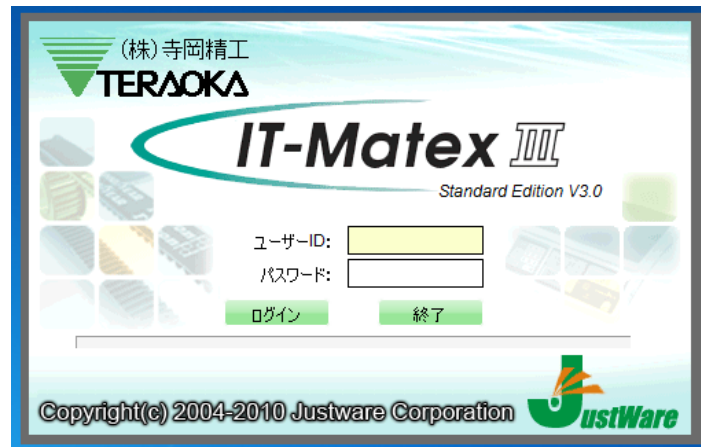
PC > ローカルディスク (C:) > IT-MATEX-III > DB

名前	更新日時	種類	サイズ
DB	2019/05/17 15:09	テキストドキュメント	0 KB
DB	2019/05/17 15:03	Microsoft SQL Ser...	1 KB
DBAttach	2019/05/17 15:03	Windows バッチ ファ	1 KB
DBUpdate	2019/05/17 15:03	Windows バッチ ファ	1 KB
DBUpdate	2018/02/07 18:40	Microsoft SQL Ser...	2,269 KB
DelPassword	2019/05/17 13:46	Windows バッチ ファ	1 KB
DelPassword	2017/07/13 15:29	Microsoft SQL Ser...	1 KB
DWH_III_Data	2019/05/17 15:19	SQL Server Databa...	6,080 KB
DWH_III_Log	2019/05/17 15:19	SQL Server Databa...	3,072 KB

10. IT-MATEX-III/EXE/IT-MATEX-III のアプリを起動します。

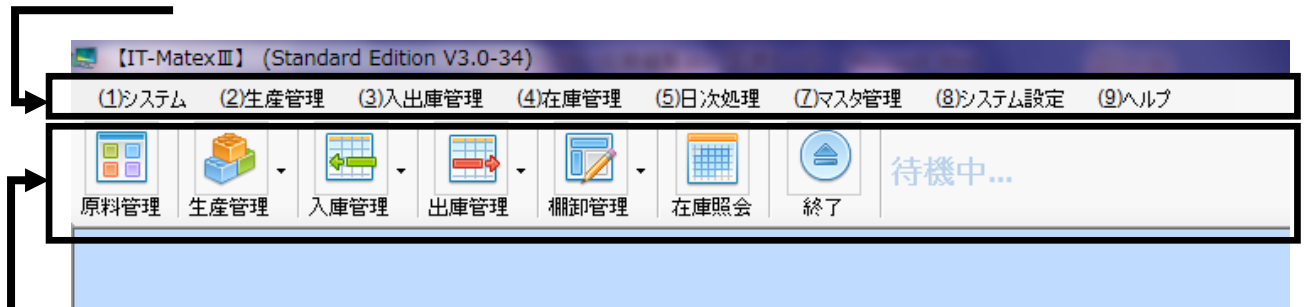


# 画面とメニュー構成



『IT-MATEXⅢ』を起動すると、ログイン画面が表示されるので、ユーザーIDとパスワードを入力して[ログイン]をクリックします。

メニューバー

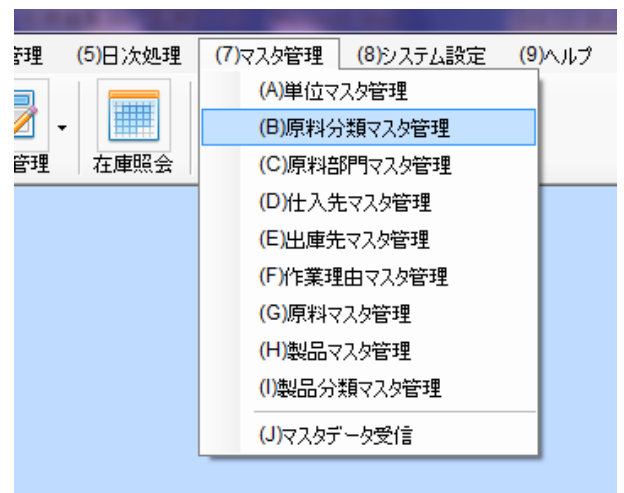


ツールバー

## ◇キーボードでの操作《ショートカットキー》

メニューバーの各項目を選択するには、メニュー名の前の括弧で囲まれた数字を[Alt]キーと同時に押します。その後サブメニューを選択するには[Ctrl]キーと括弧で囲まれた英文字を同時に押します。

各画面で表示されるコマンド名の後の(F1)(F2)等はファンクションキー[F1][F2]に対応しています。



業務は上図の各メニューバー、ツールバーのボタンから選択して行います。

# システム設定

※システム設定では「ITMATEXⅢ」を使用するための基本事項の登録・設定を行います。



## 倉庫マスタ管理

### 【システム設定＞倉庫マスタ管理】

倉庫の番号、名称、種類、棚数、列数、仕切数、又は入出庫の指示呼出方法、作業方式及びロケーション区分等の設定を行います。

【倉庫】管理											
追加(F1) 修正(F2) 削除(F3) 印刷(F4) CSV出力(F5) 終了(F12)											
No.	倉庫番号	倉庫名称	倉庫種類	最大棚数	最大段数	最大列数	最大仕切数	入庫指示呼出方法	出庫指示呼出方法	入庫作業方式	出庫作業方式
1	01	原料倉庫	普通棚倉庫	0	0	0	0	指示明細順	指示明細順	ケースとバラ	ケースとバラ
2	02	半製品倉庫	DC水平自動倉庫	10	10	5	5	指示明細順	指示明細順	ケースとバラ	ケースとバラ
3	03	完成品倉庫	DC垂直型自動...	1	10	10	9	指示明細順	指示明細順	ケースとバラ	ケースとバラ

### ■ 倉庫マスタの登録

①【追加】をクリックすると、「【倉庫】登録・修正画面」が表示されます。

**【倉庫】登録・修正**

\* 倉庫番号:

倉庫名称:

\* 倉庫種類: 0: DC水平自動倉庫

\* 最大棚数:

\* 最大列数:

\* 混載区分: 0: しない

入庫作業方式: 0: バラ

\* 入庫順: 0: 呼出順

\* 出庫順: 0: 先入先出

\* 最大段数:

\* 最大仕切数:

\* ロケーション区分: 0: 固定

出庫作業方式: 0: バラ

入庫指示呼出順序:  
 指示明細順  原料コード順  棚番号順  端末呼出順

出庫指示呼出順序:  
 指示明細順  原料コード順  棚番号順  端末呼出順

(F1) (F2) (F5) (ESC)

②各項目を入力後、 (F5)ボタンをクリックすると登録されます。

項目名	内容	
* 倉庫番号	倉庫の番号を設定します。半角数字 2 文字	
倉庫名称	倉庫の名称を設定します。全・半角 20 文字	
* 倉庫種類	倉庫の種類を選択します。	0:DC 水平自動倉庫 1:DC 垂直型自動倉庫 2:普通棚倉庫
* 最大棚数	倉庫の最大棚数を入力します。有効範囲 1~99。 DC 垂直型自動倉庫は自動的に 1 となります。	
* 最大列数	倉庫の最大列数を入力します。有効範囲 1~9。 DC 垂直型自動倉庫は 0~99 となります。	
* 最大段数	倉庫の最大段数を入力します。有効範囲 1~99。 ※棚数×列数×段数=最大棚番<10000 の範囲以内に設定	
* 最大仕切数	倉庫の最大仕切数を入力します。有効範囲 1~9。	
* 混載区分	倉庫の混載方法を設定します。	0:混載しない 1:混載する 2:混載する(ロット)
* ロケーション区分	ロケーション区分を設定します。	0:固定 1:フリー
* 入庫順	入庫する順番を設定します。	0:呼出順 1:空棚順 2:最終入庫順 3:最終出庫順
* 出庫順	出庫する順番を設定します。	0:先入先出 1:先入後出 2:棚番順 3:有効期限 4:ロット順 5:呼出順
入庫作業方式	入庫作業方法を設定します。	0:バラ 1:ケースとバラ 2:ケース
出庫作業方式	出庫作業方法を設定します。	0:バラ 1:ケースとバラ 2:ケース
入庫指示呼出順序	入庫指示呼出順序を設定します。(指示明細順、原料コード順、棚番号順、端末呼出順)	
出庫指示呼出順序	出庫指示呼出順序を設定します。(指示明細順、原料コード順、棚番号順、端末呼出順)	

## ■ 倉庫マスタの修正

①【倉庫】管理画面より修正したいデータを選択し〔修正〕をクリック、または、修正したいデータをダブルクリックすると「【倉庫】登録・修正画面」が表示されます。



(例)倉庫名称 を 原料倉庫 → 倉庫A に修正したい場合

②変更後、をクリックすると修正が保存されます。

(をクリックすると画面が閉じられ、保存は実行されません。)



★もしくは、下記の方法でも修正可能です。

①〔修正〕をクリックすると「【倉庫】登録・修正画面」が表示されます。

② 修正を行うデータを表示画面左下の で選択します。

③ 変更後、をクリックすると修正が保存されます。

(をクリックすると画面が閉じられ、保存は実行されません。)





## ■ 倉庫マスタの削除

①削除したいデータを選択し、「削除」をクリックすると確認メッセージが表示されます。



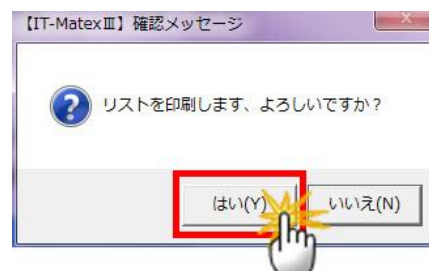
②「はい」をクリックすると選択したデータのみ削除されます。  
削除しない場合は「いいえ」をクリックして下さい。

## ■ 倉庫マスタの印刷

①「印刷」をクリックします。



②確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は「はい」、  
印刷しない場合は「いいえ」を選択してください。

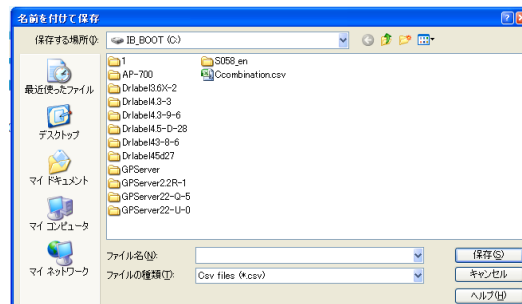


## ■ 倉庫マスタの CSV 出力

①「CSV 出力」をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。  
「ファイル名」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



## ■ 倉庫の終了

「終了」をクリックすると、「【倉庫】管理画面」を終了します。



## 棚番マスタ管理

### 【システム設定＞棚番マスタ管理】

...普通棚倉庫の棚番号の設定・削除を行います。

#### 注意:

【棚番マスタ管理】で追加できるのは普通棚倉庫のみです。

※DC水平自動倉庫、DC垂直自動倉庫の場合は【倉庫マスタ管理】にて登録した「棚・段・列・仕切数」によって自動で作成されるため、修正・追加・削除等はできません。

【棚番】管理 追加(F1) 修正(F2) 削除(F3) 棚ラベル発行(F5) 終了(F12)

倉庫:  棚番号:  ->  コード部:  検索(F11) ページ  001 / 001 ▶ ◀

No.	棚番号	倉庫	コード	名称	対象	備考
-----	-----	----	-----	----	----	----

### ※棚番号の構成方法

倉庫種類	棚番号構成	例	備考
DC 水平自動倉庫	棚数+段数+列数+仕切数	010115	
DC 垂直自動倉庫	段数+列数+0+仕切数	010105	仕切数の前は必ず“0”になります。
普通棚倉庫	開始番号 4 桁+終了番号 4 桁	A123451234512345   B123451234512345	1 桁に数字を最大 5 桁まで 数字以外の場合は最大 1 桁のみ

### ■ 棚番マスタの新規作成

① 「倉庫」フィルタで倉庫名を選択し、[追加]をクリックします。

【棚番】管理 追加(F1) 修正(F2)

倉庫:  棚番号:  ->  検索(F11) ページ  001 / 001 ▶ ◀

No.	棚番号	倉庫	コード	名称
-----	-----	----	-----	----

②「棚番追加」画面が表示されます。ここで普通棚の棚番範囲を設定します。

棚番追加

開始番号:  -  -  -

終了番号:  -  -  -

(F5)  (ESC)

補足: 下記の方法でも「棚番追加画面」の表示が可能です。

①「倉庫」のフィルタにて倉庫名を選択し、[検索]をクリックして棚番号一覧を表示させた後、[追加]をクリックします。

No.	棚番号	倉庫	原料コード	原料名称	備考
1	1111	02	0003		
2	1112	02	0002	製品002	
3	1121	02	03	原料07	
4	1122	02	03	原料07	
5	1211	02	03	原料07	
6	1212	02	03	原料07	
7	1221	02	03	原料07	

②「棚番追加」画面が表示されます。

③棚番追加画面には「開始番号」と「終了番号」2項目があり、それぞれに4つの棚番入力枠があります。1枠の最大入力可能文字数は、数字の場合最大5桁まで、数字以外の場合は1桁に設定されており、4枠合計10桁までの入力が可能です。

### 作成された棚番

No.	棚番号	倉庫	原料コード
1	A111122222	02	
2	A111122223	02	
3	A111122232	02	
4	A111122233	02	
5	A111122322	02	
6	A111122323	02	
7	A111122332	02	
8	A111122333	02	
9	A111123222	02	
10	A111123223	02	
11	A111123232	02	
12	A111123233	02	
13	A111123322	02	
14	A111123323	02	

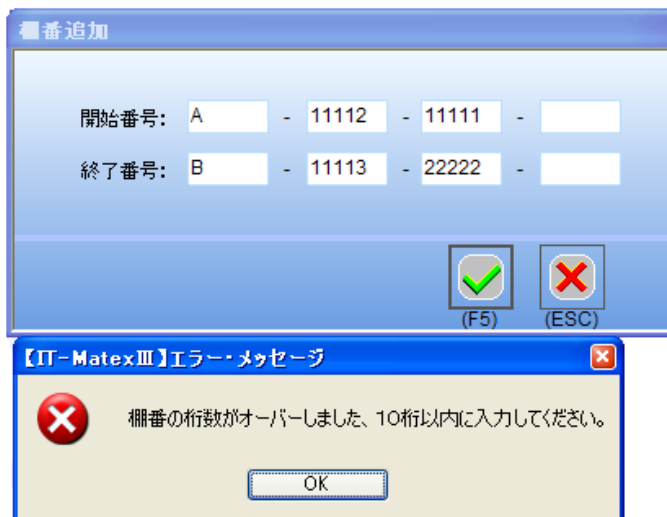
**注意1:**

終了番号は、開始番号より大きい数字でないと登録することができません。

**注意2:**

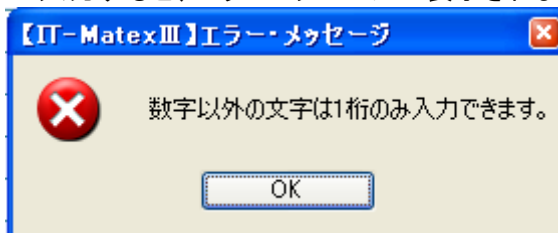
4 枠合計 10 桁以上の入力をした場合、エラーメッセージが表示されます。

(例)11 桁入力してしまった場合



**注意3:**

数字以外の文字を 1 桁以上入力すると、エラーメッセージが表示されます。

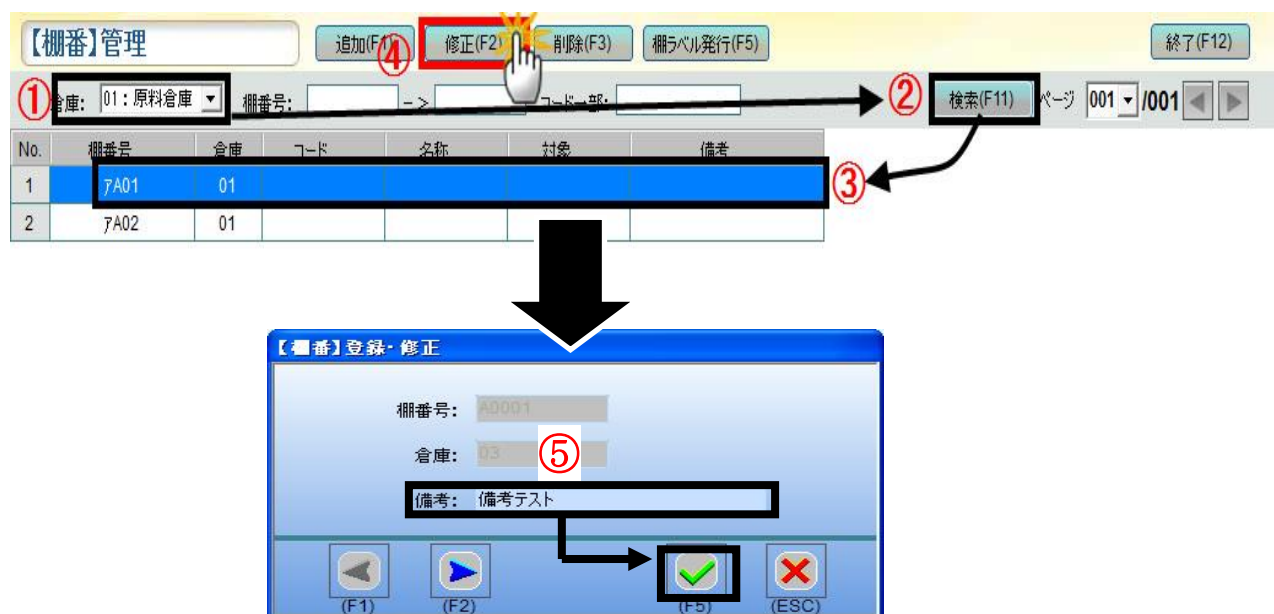


## ■ 棚番マスタの修正

**注意:**

普通倉庫の棚番の「備考欄」のみ、修正が可能です。

- ① 「倉庫」フィルタで倉庫名を選択します。
- ② [検索]をクリックして棚番号一覧を表示させます。
- ③ 一覧で修正したい棚番を選択します。
- ④ 一覧で選択した状態で[修正]をクリックすると「【棚番】登録・修正」ポップアップ画面が表示されます。  
(③の修正したい棚番をダブルクリックする方法でも、「【棚番】登録・修正」ポップアップ画面を表示させることができます。)
- ⑤ 内容を入力してチェックボタンをクリックします。



## ■ 棚番マスタの削除

- ①「倉庫」フィルタで削除したい倉庫名を選択し、「検索」をクリックして棚番号一覧を表示させます。
- ②削除したい棚番号の行を選択し、「削除」をクリックします。

No.	棚番号	倉庫	コード	名称	対象	備考
1	7A01	01				
2	7A02	01				

### 注意1:

削除ができるのは普通倉庫の棚番号のみです。

### 注意2:

棚に在庫がある場合は、削除する事ができません。

メニュー>「在庫管理」>「倉庫/棚移動」画面で、削除したい棚番号の倉庫在庫を空にして下さい。

### 補足: 削除機能について

連番で複数の項目を選択する場合は、

マウスの左鍵を押したまま削除したい範囲をスクロールして選択し、「削除」をクリックします。

連番ではない複数の項目を選択する場合は、「Ctrl」キーを押しながら項目を選択し、

「削除」をクリックすると選択箇所を同時に削除する事ができます。

## ■ 棚番マスタの棚ラベル発行

- ①「倉庫」フィルタで倉庫名を選択し、「検索」をクリックします。
- ②棚番号一覧が表示され、「棚ラベル発行」をクリックすると確認メッセージが表示されます。
- ③「はい」をクリックすると選択した倉庫内全ての棚番ラベルを発行します。  
ラベルの発行をしない場合は「いいえ」をクリックして下さい。

No.	棚番号	倉庫	コード	名称	対象	備考
1	000111	02				
2	000112	02				

【IT-MatexⅢ】確認メッセージ

? 1260枚の棚ラベルを発行します、よろしいですか

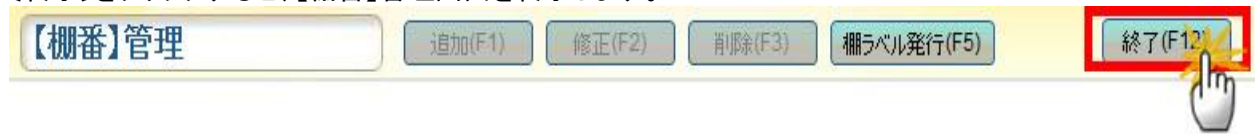
はい(Y) いいえ(N)

### 注意:

棚番を指定してラベル発行をすることはできません。

■ 棚番マスタの終了

[終了]をクリックすると、【棚番】管理画面を終了します。



## 担当者マスタ管理

### 【システム設定＞担当者マスタ管理】

担当者のIDとパスワードの設定を行います。

ここで設定をしたパスワードは、PDA・DI-2000 と共通のパスワードとなります。

No.	担当者ID	担当者名	パスワード	権限
1	admin	管理員	2010	システム管理者

### ■ 担当者マスタの登録

デフォルトでは担当者ID「admin」、担当者名「管理員」、パスワード当年「YYYY」と設定されています。

① [追加] をクリックすると「【担当者】登録・修正画面」が表示されます。

【担当者】管理

追加(F1) 修正(F2)

①

【担当者】登録・修正

② 担当者ID:


③ 担当者名称:

④ パスワード:

⑤ 権限:  システム管理者  現場管理者  作業者

(F1) (F2) (F5) (ESC)

② 担当者IDを全角・半角16文字以内で入力します。(必須入力項目)

担当者IDを入力後、 のボタンをクリックすれば、担当者IDのみで登録する事も可能です。(右図)

【担当者】登録・修正

\* 担当者ID: 001

担当者名称:

パスワード:

権限:  システム管理者  現場管理者  作業者

(F1) (F2) (F5) (ESC)



- ③担当者名称を全角・半角 50 文字以内で入力します。
- ④パスワードを英数半角文字 10 文字以内で入力します。
- ⑤権限を「システム管理者」、「現場管理者」、「作業員」の中から選択します。

**ご 注 意**

権限:  システム管理者  現場管理者  作業員

**システム管理者:**  
すべての操作ができます。

**現場管理者:**  
「システム設定」の操作ができません。

**作業員:**  
「生産/マスタ/日次処理/システム設定」操作ができません。在庫数と実績数のチェックができますが修正ができません。

**ご 注 意**

【担当者】管理    追加(F1)    修正(F2)    削除(F3)    印刷(F4)    CSV出力(F5)

No.	担当者ID	担当者名	パスワード	権限
1	admin	管理員	2010	システム管理者

【担当者】登録・修正

担当者ID: admin  
 担当者名称: 管理員  
 パスワード: 2010  
 権限:  システム管理者  現場管理者  作業員

登録済みの担当者IDを入力するとエラーメッセージが表示されます。「OK」を押し、使用していない番号に変更して登録を行ってください。

【IT-MatexⅢ】エラー・メッセージ

✖ データが既に存在しています。確認してください。

OK

## ■ 担当者マスタの修正

### 注意:



担当者ID以外の変更が可能です。

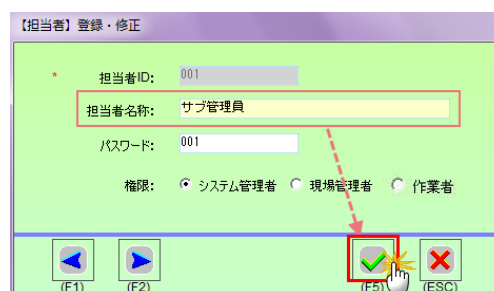
担当者IDを変更したい場合は、一度削除を行ってから再度登録をしてください。

- ①「【担当者】管理画面」で修正したいデータを選択し[修正]をクリック、  
または、修正したいデータをダブルクリックすると【担当者】登録・修正画面が表示されます。

(例) 担当者名称 を テスト用 → サブ管理者 に  
修正したい場合







- ② 変更後、をクリックすると修正が保存されます。  
...(  をクリックすると画面が閉じられ、  
...保存は実行されません。)

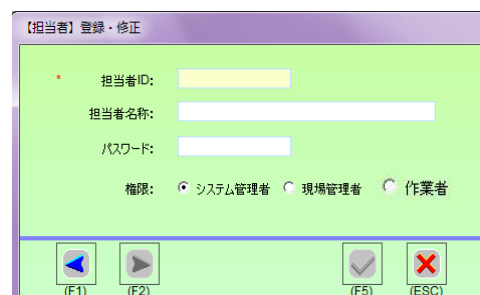


★もしくは、下記の方法でも修正可能です。

- ① [修正]をクリックすると「【担当者】登録・修正画面」が表示されます。

- ② 修正を行うデータを表示画面左下の   で選択します。

- ③ 変更後、をクリックすると修正が保存されます。  
(  をクリックすると画面が閉じられ、保存は実行されません。)



## ■ 担当者マスタの削除

①削除したいデータを選択し、[削除]をクリックすると確認メッセージが表示されます。



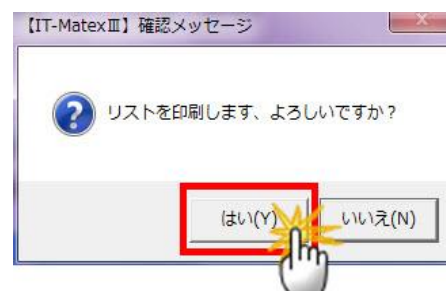
②[はい]をクリックすると選択したデータのみ削除されます。  
削除しない場合は[いいえ]を選択して下さい。

## ■ 担当者マスタの印刷

①[印刷]をクリックします。

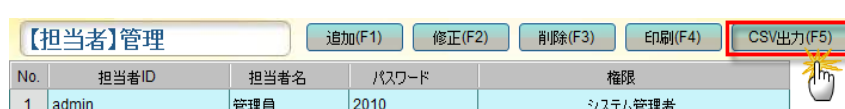


②確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

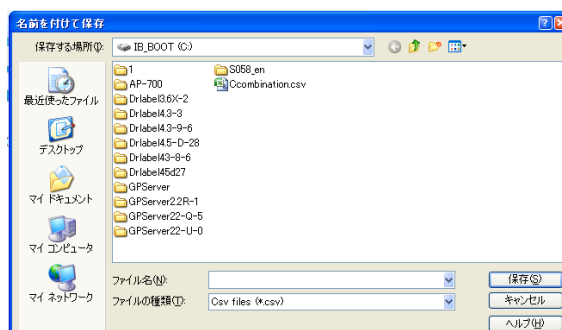


## ■ 担当者マスタ CSV 出力

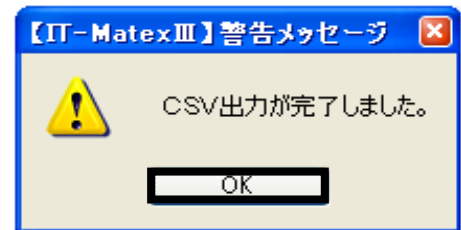
①[CSV 出力]をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので、保存先を指定します。  
「ファイル名」にファイル名称を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



- ③ 出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



■ 担当者マスタの終了

[終了]をクリックして、「【担当者】管理画面」を終了します。



## システムパラメータ設定

### 【システム設定＞システムパラメータ設定】

各設定項目のタブを切替え、システムパラメータの設定を行います。

#### ■ 原料項目表示設定

システムパラメータ設定

設定(F5) 終了(F12)

原料項目表示設定

原料項目表示設定

半製品項目表示設定

製品項目表示設定

入在庫項目表示設定

生産指示項目表示設定

配合項目表示設定

その他項目名称設定

送受信ファイル設定

原料入出庫送受信設定

半製品入出庫送受信設定

製品入出庫送受信設定

原料項目表示設定

単位:  表示する

単価:  表示する

仕入先:  表示する

風袋量:  表示する

スケール番号:  表示する

原料備考①:  表示する

原料備考②:  表示する

原料備考③:  表示する

原料備考④:  表示する

原料備考⑤:  表示する

単位重量:  表示する

基準在庫:  表示する

棚卸区分:  表示する

ケース入数:  表示する

号機:  表示する

原料備考②:  表示する

原料備考④:  表示する

原料項目名称①: 部品備考1

原料項目名称②: 部品備考2

原料項目名称③: 部品備考3

原料項目名称④: 部品備考4

原料項目名称⑤: 部品備考5

①.単位、単価、風袋量、単位重量、基準在庫、棚卸区分、ケース入数、原料備考①～⑤の、表示・非表示の設定をします。

表示設定のチェックボックスがの場合は表示します。の場合は表示しません。

②原料項目名称①～⑤「マスタ管理」→「原料マスタ管理」で表示する備考項目名称を設定します。デフォルトでは「部品備考 1～5」に設定されています。

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある場合のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)

システムパラメータ設定

設定(F5) 終了(F12)

## ■ 製品項目表示設定

①.単位、単価、風袋量、単位重量、基準在庫、棚卸区分、ケース入数、製品備考①～⑤の、表示・非表示の設定をします。

表示設定のチェックボックスがの場合は表示します。の場合は表示しません。

②製品項目名称①～⑤ の空欄に内容を入力すれば「マスタ管理」→「製品マスタ管理」で表示する備考項目名称を設定します。

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある場合のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)

## ■ 入出庫項目表示設定

...入庫項目名称設定または出庫項目名称設定で設定した項目を入庫・出庫指示作成画面での表示設定が行えます。

システムパラメータ設定		設定(F5)	終了(F12)																																																																
原料項目表示設定	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">入庫項目表示設定</td> <td colspan="2">出庫項目表示設定</td> </tr> <tr> <td>仕入先:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 表示する</td> <td>対象:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td>有効期限:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> <td>作業理由:</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td>入庫備考1:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> <td>入庫備考2:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td>入庫備考3:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> <td>入庫備考4:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td>入庫備考5:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> <td>入庫備考6:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td>入庫備考7:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> <td>入庫備考8:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td>入庫備考9:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> <td>出庫備考1:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>出庫備考2:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>出庫備考3:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>出庫備考4:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>出庫備考5:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>出庫備考6:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>出庫備考7:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>出庫備考8:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>出庫備考9:</td> <td><input type="checkbox"/> 表示する</td> </tr> </table>			入庫項目表示設定		出庫項目表示設定		仕入先:	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する	対象:	<input type="checkbox"/> 表示する	有効期限:	<input type="checkbox"/> 表示する	作業理由:	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する	入庫備考1:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考2:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考3:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考4:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考5:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考6:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考7:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考8:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考9:	<input type="checkbox"/> 表示する	出庫備考1:	<input type="checkbox"/> 表示する			出庫備考2:	<input type="checkbox"/> 表示する			出庫備考3:	<input type="checkbox"/> 表示する			出庫備考4:	<input type="checkbox"/> 表示する			出庫備考5:	<input type="checkbox"/> 表示する			出庫備考6:	<input type="checkbox"/> 表示する			出庫備考7:	<input type="checkbox"/> 表示する			出庫備考8:	<input type="checkbox"/> 表示する			出庫備考9:	<input type="checkbox"/> 表示する
入庫項目表示設定		出庫項目表示設定																																																																	
仕入先:	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する	対象:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
有効期限:	<input type="checkbox"/> 表示する	作業理由:	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する																																																																
入庫備考1:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考2:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
入庫備考3:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考4:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
入庫備考5:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考6:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
入庫備考7:	<input type="checkbox"/> 表示する	入庫備考8:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
入庫備考9:	<input type="checkbox"/> 表示する	出庫備考1:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
		出庫備考2:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
		出庫備考3:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
		出庫備考4:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
		出庫備考5:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
		出庫備考6:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
		出庫備考7:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
		出庫備考8:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
		出庫備考9:	<input type="checkbox"/> 表示する																																																																
半製品項目表示設定	<table border="1"> <tr> <td>入庫項目名称①:</td> <td>入庫備考1</td> <td>出庫項目名称①:</td> <td>出庫備考1</td> </tr> <tr> <td>入庫項目名称②:</td> <td>入庫備考2</td> <td>項目名称②:</td> <td>出庫備考2</td> </tr> <tr> <td>入庫項目名称③:</td> <td>入庫備考3</td> <td>項目名称③:</td> <td>出庫備考3</td> </tr> <tr> <td>入庫項目名称④:</td> <td>入庫備考4</td> <td>出庫項目名称④:</td> <td>出庫備考4</td> </tr> <tr> <td>入庫項目名称⑤:</td> <td>入庫備考5</td> <td>出庫項目名称⑤:</td> <td>出庫備考5</td> </tr> <tr> <td>入庫項目名称⑥:</td> <td>入庫備考6</td> <td>出庫項目名称⑥:</td> <td>出庫備考6</td> </tr> <tr> <td>入庫項目名称⑦:</td> <td>入庫備考7</td> <td>出庫項目名称⑦:</td> <td>出庫備考7</td> </tr> <tr> <td>入庫項目名称⑧:</td> <td>入庫備考8</td> <td>出庫項目名称⑧:</td> <td>出庫備考8</td> </tr> <tr> <td>入庫項目名称⑨:</td> <td>入庫備考9</td> <td>出庫項目名称⑨:</td> <td>出庫備考9</td> </tr> </table>			入庫項目名称①:	入庫備考1	出庫項目名称①:	出庫備考1	入庫項目名称②:	入庫備考2	項目名称②:	出庫備考2	入庫項目名称③:	入庫備考3	項目名称③:	出庫備考3	入庫項目名称④:	入庫備考4	出庫項目名称④:	出庫備考4	入庫項目名称⑤:	入庫備考5	出庫項目名称⑤:	出庫備考5	入庫項目名称⑥:	入庫備考6	出庫項目名称⑥:	出庫備考6	入庫項目名称⑦:	入庫備考7	出庫項目名称⑦:	出庫備考7	入庫項目名称⑧:	入庫備考8	出庫項目名称⑧:	出庫備考8	入庫項目名称⑨:	入庫備考9	出庫項目名称⑨:	出庫備考9																												
入庫項目名称①:	入庫備考1	出庫項目名称①:	出庫備考1																																																																
入庫項目名称②:	入庫備考2	項目名称②:	出庫備考2																																																																
入庫項目名称③:	入庫備考3	項目名称③:	出庫備考3																																																																
入庫項目名称④:	入庫備考4	出庫項目名称④:	出庫備考4																																																																
入庫項目名称⑤:	入庫備考5	出庫項目名称⑤:	出庫備考5																																																																
入庫項目名称⑥:	入庫備考6	出庫項目名称⑥:	出庫備考6																																																																
入庫項目名称⑦:	入庫備考7	出庫項目名称⑦:	出庫備考7																																																																
入庫項目名称⑧:	入庫備考8	出庫項目名称⑧:	出庫備考8																																																																
入庫項目名称⑨:	入庫備考9	出庫項目名称⑨:	出庫備考9																																																																
製品項目表示設定																																																																			
入出庫項目表示設定																																																																			
生産指示項目表示設定																																																																			
配合項目表示設定																																																																			
その他項目名称設定																																																																			
送受信ファイル設定																																																																			
原料入出庫送受信設定																																																																			
半製品入出庫送受信設定																																																																			
製品入出庫送受信設定																																																																			
配合送信設定																																																																			

仕入先、有効期限、対象、作業理由、出庫先、入/出庫項目名称①～⑨デフォルトで設定してあります。

①表示設定のチェックボックスがの場合は表示します。の場合は表示しません。

②入/出庫項目①～⑨名称「入/出庫管理」→「入/出庫管理」で表示する項目名称を設定します。  
デフォルトでは「入/出庫備考 1～9」に設定してあります。

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
(変更箇所がある場合のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)

システムパラメータ設定		設定(F5)	終了(F12)
-------------	--	--------	---------

## ■ 生産指示項目表示設定

項目	設定値
配合重量:	1:表示する
① バッチ数:	1:表示する
構成重量:	1:表示する
生産備考1:	0:表示しない
生産備考2:	0:表示しない
生産備考3:	0:表示しない
生産項目名称①:	
② 生産項目名称②:	
生産項目名称③:	

①配合重量、バッチ数、構成重量、生産備考1～3の、表示・非表示の設定をします。  
フィルタで、0:表示しない 1:表示する を設定して下さい。  
※デフォルトでは「1:表示する」 に設定されてあります。

### ②生産指示項目名称

生産備考 1～3の名称を編集します。

(例)①で生産備考1を「1:表示する」に設定した場合、

②「生産項目名称①」の空欄に内容を入力すれば「生産管理」→「生産指示作成」で  
編集した名称が表示されます。

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)



## ■ 配合項目表示設定

システムパラメータ設定

設定(F5)

原料項目表示設定

半製品項目表示設定

製品項目表示設定

入出庫項目表示設定

生産指示項目表示設定

**配合項目表示設定**

その他項目名称設定

送受信ファイル設定

原料入出庫送受信設定

半製品入出庫送受信設定

製品入出庫送受信設定

配合項目表示設定

配合項目名称①:	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する	配合項目名称②:	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する
配合項目名称③:	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する	配合項目名称④:	<input type="checkbox"/> 表示する
配合項目名称⑤:	<input type="checkbox"/> 表示する	配合項目名称⑥:	<input type="checkbox"/> 表示する
配合項目名称⑦:	<input type="checkbox"/> 表示する	配合項目名称⑧:	<input type="checkbox"/> 表示する
配合項目名称⑨:	<input type="checkbox"/> 表示する	配合項目名称⑩:	<input type="checkbox"/> 表示する

配合項目名称①: 配合備考1

配合項目名称②: 配合備考2

配合項目名称③: 配合備考3

配合項目名称④: 配合備考4

配合項目名称⑤: 配合備考5

配合項目名称⑥: 配合備考6

配合項目名称⑦: 配合備考7

配合項目名称⑧: 配合備考8

配合項目名称⑨: 配合備考9

配合項目名称⑩: 配合備考10

①配合項目の表示設定をします。

チェックボックスに☑を入れた場合は表示され、☐の場合は表示されません。

②配合項目名称

配合備考 1～10の欄に名称を入力します。

(例)①で配合備考1☑を入れた場合、②の「配合項目名称①」の空欄に内容を入力すると

「生産管理」→「配合指示作成」で編集した名称が表示されます。

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)

システムパラメータ設定

設定(F5)

終了(F12)

## ■ その他項目名称設定

...「部品」→「原料」への変更がデフォルトで設定されています。

マスタ管理での項目名称「製品」、及び「伝票」名称、「有効期限」「出庫先」「ロット/シリアルNo」「仕入先」名称を変更する事ができます。

その他項目名称設定	
部品:	原料
型式:	型式
製品:	製品
「伝票」名称:	伝票番号
「有効期限」名称:	有効期限
「出庫先」名称:	出庫先
「ロット/シリアルNo」名称:	ロットNo
「仕入先」名称:	仕入先

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)

## ■ 送受信ファイル設定

原料データ、製品データ、レシピデータ、出庫先データ、仕入先データ、生産指示データ、在庫データ、配合指示データ、担当者データの受信元のファイルパスを設定します。

CSVファイルから読み込む時にタイトル行をスキップする … 0:しない 1:する

(「1:する」: 第一行目に項目名等が入力されているCSVファイルの受信時、一行目をタイトル行として無視し、二行目からのデータのみを取込みます。この設定は、全ての受信操作データに適用されます。)

デフォルトでは「0:しない」に設定されています。

①

原料データ受信ファイル  
製品データ受信ファイル  
レシピデータ受信ファイル  
出庫先データ受信ファイル  
仕入先データ受信ファイル  
生産指示データ受信ファイル  
在庫データ受信ファイル  
担当者データ受信ファイル  
在庫データ受信ファイル  
棚卸データ送信ファイル

各データの受信元ファイルまたは送信先ファイルのパスを設定します。  
[参照]をクリックし、ファイル一覧より選択できます。

②

原料受信する前に既存のマスタ全削除  
製品受信する前に既存のマスタ全削除  
在庫受信する前に既存のマスタ全削除



ボックスに☑した場合は、  
原料/製品マスタの受信時、既存のマスタデータが全削除  
されます。  
ボックスが☐の場合は受信したデータは追加されます。

**注意1: マスタ全削除**

受信に失敗した場合でも全てのデータが削除されます。

**注意2:**

「半製品受信する前に既存のマスタを全削除」は高級版の機能のため、選択出来ません。

③

レシピ受信の上下限值%

配合指示受信上下限值%



ボックスに☑した場合は、  
レシピマスタと配合指示を受信する際に「指示上下限值」は%で  
受信されます。  
ボックスに☐した場合は、  
レシピマスタと配合指示を受信する際に「指示上下限值」は数値  
で受信されます。

④

ファイルの自動受信チェックボックス

ボックスに☑した場合は、

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)

システムパラメータ設定

設定(F5)

終了(F12)

## ■ 原料入出庫送受信設定

...原料入出庫実績データファイルの自動取込のポーリング間隔、各受信元ファイルのパス設定、原料入出庫指示データファイルの自動送信のポーリング間隔と各送信先ファイルのパス設定を行います。

### 実績データ送信設定

- ・入出庫実績データ送信監視・・・入出庫実績データの自動送信を選択します。  
0:しない 1:する
- ・監視間隔(ポーリング間隔)・・・0~99999999(秒)で設定します。0はポーリングしません。
- ・入庫実績送信内容・・・送信する入庫実績データの内容を選択します。  
0:全てのデータ 1:予約のデータ 2:緊急のデータ
- ・送信方式・・・入庫実績データの送信方式を設定します。  
0:追加 送信された実績を追加で表示します。  
1:上書 既存の実績をクリアし、新たな送信実績を表示します。  
2:複数ファイル 送信された実績はファイル(ファイル名称\_YMMMDDhhmmss)毎に保存されます。  
複数ファイル送信の場合は予め日次処理設定→送信バックアップ先を設定します。  
送信実績は一旦送信バックアップ先に保存された後、実績送信先にコピーします。
- ・入庫実績データ送信ファイル・・・入庫実績データの送信先ファイルパスを設定します。  
[参照]をクリックし、ファイル一覧より選択できます。
- ・出庫実績送信内容・・・送信する出庫実績データの内容を選択します。  
0:全てのデータ 1:予約のデータ 2:緊急のデータ
- ・送信方式・・・出庫実績データの送信方式を設定します。  
0:追加 送信された実績を追加で表示します。  
1:上書 既存の実績をクリアし、新たな送信実績を表示します。  
2:複数ファイル 送信された実績はファイル(ファイル名称\_YMMMDDhhmmss)毎に保存されます。  
複数ファイル送信の場合は予め日次処理設定→送信のバックアップ先を設定します。  
送信実績は一旦送信バックアップ先に保存された後、実績送信先にコピーします。
- ・出庫実績データ送信ファイル・・・出庫実績データの送信先ファイルパスを設定します。

## 指示データ受信設定

- ・入出庫指示データ受信監視・・・ 入出庫指示データの自動受信の選択をします。  
0:しない 1:する
- ・監視間隔(ポーリング間隔)・・・ 0~99999999(秒)で設定します。(0はポーリングしません。)
- ・入庫同じ伝票番号の受信方式・・・ 同じ伝票番号の入庫指示データの受信方式を設定します。  
0:追加 未処理の指示データを追加します。  
1:行単位上書 未処理の指示データが行ずつ更新されます。  
2:伝票単位上書 伝票中にすべての指示が未処理の場合に更新されます。
- ・出庫同じ伝票番号の受信方式・・・同じ伝票番号の出庫指示データの受信方式を設定します。  
0:追加 未処理の指示データを追加します。  
1:行単位上書 未処理の指示データが行ずつ更新されます。  
2:伝票単位上書 伝票中のすべて指示が未処理の場合に更新されます。
- ・入庫指示データ受信ファイル・・・ 入庫指示データの受信元ファイルパスを設定します。  
[参照]をクリックし、ファイル一覧より選択します。
- ・出庫指示データ受信ファイル・・・ 出庫指示データの受信元ファイルパスを設定します。  
[参照]をクリックし、ファイル一覧より選択します。

### 補足:監視間隔(ポーリング間隔)

IT-MATEXⅢを起動中、設定したパスを自動ポーリングし、指定したファイルがある場合は自動的に取込み、または送信します。取り込まれたCSVファイルは、自動的に日付を付加した名称に変更し保存されます。

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)

システムパラメータ設定

設定(F5)

終了(F12)

## ■ 配合送受信設定

配合実績のデータ送受信設定を行います。

システムパラメータ設定

設定(F5)

終了(F12)

原料項目表示設定

半製品項目表示設定

製品項目表示設定

入出庫項目表示設定

生産指示項目表示設定

配合項目表示設定

その他項目名称設定

送受信ファイル設定

原料入出庫送受信設定

半製品入出庫送受信設定

製品入出庫送受信設定

配合送受信設定

実績データ送信設定

配合実績データ送信監視: 0:しない 送信方式: 0:追加 監視間隔: 0 秒

配合実績データ送信ファイル: 参照...

指示データ受信設定

配合指示データ受信監視: 0:しない 受信方式: 0:追加 監視間隔: 0 秒

配合指示受信ファイル: 参照...

実績データ送信監視 ... 配合実績データの自動送信の選択をします。

0:しない 1:する

実績データ送信監視 ... 配合実績データの送信方式の設定をします。

0:追加 送信された実績を追加で表示します。

1:上書 既存の実績をクリアし、新たな送信実績を表示します。

2:複数ファイル 送信された実績はファイル(ファイル名称\_YMMMDDhhmmss)毎に保存されます。

複数ファイル送信の場合は予め日次処理設定→送信のバックアップ先を設定します。

送信実績は一旦送信バックアップ先に保存された後、実績送信先にコピーします。

監視間隔(ポーリング間隔) ... 0~99999999(秒)で設定します。(0はポーリングしません。)

実績データ送信ファイル ... 実績データの送信先ファイルパスを設定します。

[参照]をクリックし、ファイル一覧より選択できます

配合指示データ受信方式 ... 同じ伝票番号の配合指示データの受信方式を設定します。

0:追加 未処理の指示データを追加します。

1:行単位上書 未処理の指示データが一行ずつ更新されます。

2:伝票単位上書 一つ伝票中の指示がすべて未処理の場合に更新されます。

配合指示受信ファイル ... 指示データの受信先ファイルパスを設定します。

[参照]をクリックし、ファイル一覧より選択できます)

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)

システムパラメータ設定

設定(F5)

終了(F12)

## ■ PDA・DC 端末設定

PDA(ハンディターミナル)・DC の号機よりの倉庫設定と各 PDA(ハンディターミナル)入出荷時の検品照合方式、ラベル発行 有効期限の設定を行います。PDA(ハンディターミナル)・DC の号機の設定は最大 10 台まで設定する事ができます。

- ・PDA・DC号機 … 1つのPDA(ハンディターミナル)に複数の倉庫(最大10個まで)を対応させる場合、カンマで区切って倉庫番号を入力します。
- ・PDA入荷・出荷照合 … PDA端末の入・出荷作業時の照合方法を選択します。  
0:しない 1:原料コード照合 2:原料コード+ロットNo.照合
- ・PDA入庫・出庫ラベル発行 … PDA端末のラベル発行の設定を行います。  
0:しない 1:PDA(HT)発行 2: PC発行
- ・PDA 有効期限…PDA 端末の有効期限を表示するかを選択します。  
0:表示しない 1:表示する

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)



## ■ DI2000 端末設定

DI2000 の端末設定をします。

### 注意:

設定した内容はDI-2000側でも確認できます。(「環境設定」画面>「操作」項目)

システムパラメータ設定

設定(F5) 終了(F12)

製品項目表示設定

入出庫項目表示設定

生産指示項目表示設定

その他項目名称設定

送受信ファイル設定

原料入出庫送受信設定

半製品入出庫送受信設定

製品入出庫送受信設定

配合送信設定

PD4端末設定

DI2000端末設定

DI2000端末設定

作業操作フロー: 0: 配合画面上操作

配合後出庫: 0: しない

検品設定: 0: しない

ログイン画面表示設定: 0: しない

作業操作フロー・・・ DI-2000作業の流れを選択します。

0:配合画面上作業 1:ウィザート方式

配合後出庫・・・ DI-2000で配合実績を登録すると、同時に在庫実績に登録を行うかを選択します。

0:しない 1:する

検品設定・・・ 各原料を計量前に検品を行うかを選択します。

0:しない 1:原料コード 2:原料コード+有効期限

ログイン画面設定・・・ 配合作業時に作業者のログイン認証を行うかの選択をします。

0:しない 1:する

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)

システムパラメータ設定

設定(F5) 終了(F12)

## ■ 日次処理設定

日次処理の各作業項目の設定を行います。

The screenshot shows the 'System Parameter Setting' (システムパラメータ設定) window with the 'Daily Processing Setting' (日次処理設定) tab selected. The settings are as follows:

- 履歴登録: 0: 処理する
- 入庫作業日報発行: 1: 処理しない
- 出庫作業日報発行: 1: 処理しない
- 欠品リスト発行: 1: 処理しない
- 在庫データ送信: 1: 処理しない
- 入出庫実績送信: 1: 処理しない
- 作業指示実績消去: 0: 処理する
- データベースのバックアップ: 1: 処理しない
- 自動日次処理開始時間: 23:00
- 自動日次処理: 0: しない
- 受信のバックアップ先: [参照...]
- 在庫未完成指示リスト: 1: 処理しない
- 出庫未完成指示リスト: 1: 処理しない
- 在庫数を記録する: 1: 処理しない
- 配合実績送信: 1: 処理しない
- 入出庫実績送信と消去方式: 1: 全てのデータ  明細送信
- 配合実績送信と消去方法: 2: 配合パッチ完了デ  明細送信
- バックアップ先パス名: [参照...]
- 送信のバックアップ先: [参照...]

- ・ 履歴登録 ...履歴の有無を選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 入庫作業日報発行 ... 入庫作業日報発行の有無を選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 入庫未完成指示リスト ... 入庫未完成指示リスト発行の有無を選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 出庫作業日報発行 ... 出庫作業日報発行の有無を選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 出庫未完成指示リスト ... 出庫未完成指示リスト発行の有無を選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 欠品リスト発行 ... 欠品リスト発行の有無を選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 在庫数を記録する ... 作業履歴照会画面の在庫数表示の有無。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 在庫データ送信 ... 在庫データを「送受信ファイル設定」で設定した送信先に送信の有無を選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 入出庫実績送信 ... 入出庫実績データを「製品送受信設定」で設定した送信先に送信を選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 配合実績送信 ... 配合実績送信の有無を選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 作業指示実績消去 ... 作業実績消去の選択をします。  
0: 処理する 1: 処理しない
- ※二重送信を防ぐ為、「作業履歴登録」「入出庫実績送信」の両方を「0: 処理しない」に設定した場合のみ、マスクが解除されて、変更が可能になります。
- ・ データベースのバックアップ ... データベースのバックアップを選択します。  
0: 処理する 1: 処理しない
  - ・ 入出庫実績送信と消去方式 ... 入出庫実績送信を「処理する」と選択した場合の、データ送信方法を選択します。
  - ・ 明細送信 ... チェックを入れると実績を明細で送信します。

「入在庫実績送信と消去方式」の選択項目	
1:全てのデータ	実績登録完了、未完了に関わらず全てのデータ消去し、実績があるデータは送信します。
2:実績のあるデータ	実績登録を完了したデータのみを送信し、送信したデータのみを消去します。
3:完了した伝票	指示書内すべての明細実績が完了した伝票のみ送信し、送信した伝票データのみ消去します。
4:実績のある伝票	明細に実績のある伝票のみ送信し、送信した伝票データのみ消去します。
5:欠品しないデータ	指示データに実績があったデータのみを送信し、実績数 $\geq$ 指示データのみ消去し、実績数 $<$ 指示データは、新しい指示数=旧指示数 $\cdot$ 実績数に変更します。

- ・ 自動日次処理開始時間 …… 自動で日次処理を行う開始時刻を設定します。  
(次項目、「自動日次処理」が「1:する」を選択時のみ有効)
- ・ 配合実績送信と消去方式 …… 入在庫実績送信を「処理する」と選択した場合の、データ送信方法を選択します。
- ・ 明細送信 …… チェックを入れると実績を明細で送信します。

「配合実績送信と消去方式」の選択項目	
1:全てのデータ	実績登録完了、未完了に関わらず全てのデータ消去し、実績があるデータは送信します。
2:配合バッチ完了データ	配合バッチ登録を完了したデータのみを送信し、送信したデータのみを消去します。
3:配合伝票完了データ	配合指示書内すべての明細実績が完了した伝票のみ送信し、送信した伝票データのみ消去します。

- ・ 自動日次処理 …… 指定した時刻に日次処理を自動で行う処理を選択します。  
0:しない 1:する
- ・ バックアップ先パス名 ……データベースのバックアップ先パス名を設定します。
- ・ 受信のバックアップ先 ……指示の受信バックアップ先パス名を設定します。
- ・ 送信のバックアップ先 ……実績の送信バックアップ先パス名を設定します。

## ■ その他の設定

追跡管理、履歴/生産指示の保存期間、在庫数量/配合構成数量の桁数設定、出庫指示の生成方式、管理する倉庫、レシピの上下限値の設定

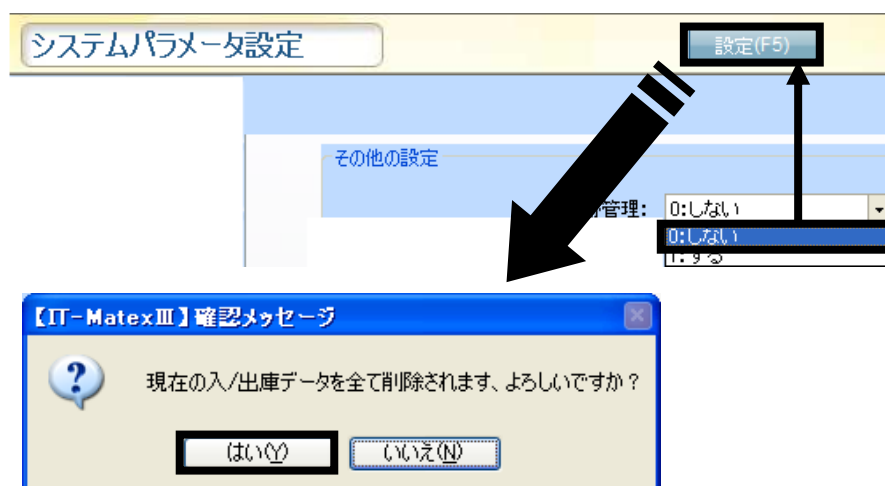
追跡管理 ... 0:しない 1:する

(「1:する」に設定をすると、入出庫をする際にロット No で管理することができます。

「0:しない」に設定すると、入出庫をする際にロット No で管理はできません。)

**注意:** 追跡管理の設定を「1:する」→「0:しない」に切り替えて設定した場合

「する」→「しない」に切替えて、設定すると入出庫のデータが全て削除されます。



〔はい〕を選択すると、入出庫のデータは全削除され、「追跡する」に切り替えます。

〔いいえ〕を選択するとキャンセルされます。

履歴の保存期間・・・0:一年 1:二年 2:三年

日次処理する際に設定期間以内の履歴を削除します。

生産指示の保存期間・・・0:一年 1:二年 2:三年

日次処理する際に設定期間以内の履歴を削除します。

在庫数量の精度・・・在庫数の小数点精度を設定します。

0:無 1:一位 2:二位 3:三位 4:四位 5:五位 6:六位

配合構成数量・・・配合関連の小数点精度を設定します。

0:無 1:一位 2:二位 3:三位 4:四位 5:五位 6:六位 7:七位 8:八位

※DI2000II 本体→環境設定→表示設定→【計量画面の表示単位 マスタ設定単位】に設定すると計量する際に配合構成数量の精度によって指示量と実績量の小数点桁数が表示されます。

出庫指示を纏める・・・生産指示作成画面中の【各種指示作成】を行う際に生成された出庫指示の方式

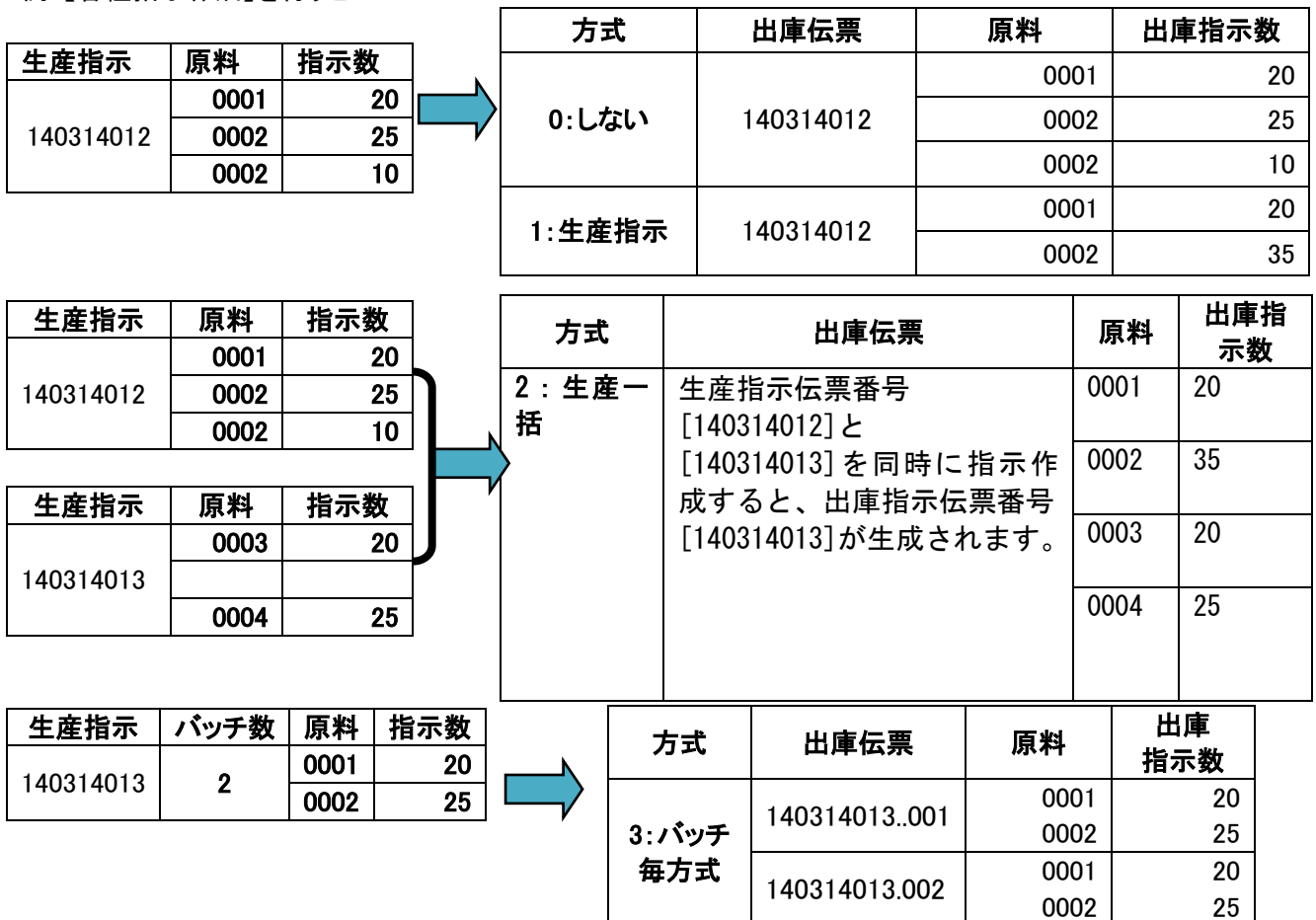
0:しない 生産指示作成する際に同じアイテムがあった場合は纏めてない事

1:生産指示 生産指示作成する際に同じアイテムがあった場合は纏めて表示する

2:生産一括 複数の生産指示を同時に【各種指示作成】を行う際に生成された出庫指示を纏めて表示します。

3:バッチ毎方式 出庫指示はバッチ毎に表示します。

例:【各種指示作成】を行うと



出庫方式 ……生産指示作成画面中の【各種指示作成】を行う際に生成された出庫の方式

0:バラ 出庫指示はバラで生成されます。

1:ケース 出庫指示は原料のケース入数を計算して生成されます。

2:ケースとバラ 出庫指示はケースとバラに分けて生成されます。

出庫指示伝票番号(バラ)の場合は【生産指示伝票番号】で表示されます。

出庫指示伝票番号(ケース)の場合は【生産指示伝票番号.C】で表示されます。

例:【各種指示作成】を行うと

生産指示	原料	ケース入数	指示数
140314012	0001	5	20
	0002	3	25



方式	出庫伝票	原料	出庫指示数
バラ	140314012	0001	20
		0002	25
ケース	140314012	0001	20
		0002	27
ケースとバラ	140314012	0002	1
	140314012. C	0001	20
		0002	24

上位からレシピーデータと配合指示を受け取った際、自動的に上下限値を何%設定します。

注:上位データ中には上下限値が存在した場合は上位データの方を優先します。

その他の設定

追跡管理: 1:する

単重量の単位設定: mg

型式の管理: 0:しない

バッチ番号を配合ロットの後ろに構成: 0:しない

履歴の保存期間: 1:二年

生産指示の保存期間: 2:三年

在庫数量精度: 3:3位

配合構成数量: 8:8位

出庫指示を継める: 0:しない

出庫方式: 0:バラ

上限: 0 %

下限: 0 %

単位重量の単位設定・・・原料マスタの単位重量の単位を設定します。

g mg

※DC350 で計量する際に単位重量によって個数を量ります。

batch番号を配合ロットの後ろに構成:オンライン版の DI2000II で緊急計量する際に配合ロットの後ろにbatch番号を付けるかどうかの設定です。

0:しない 1:する

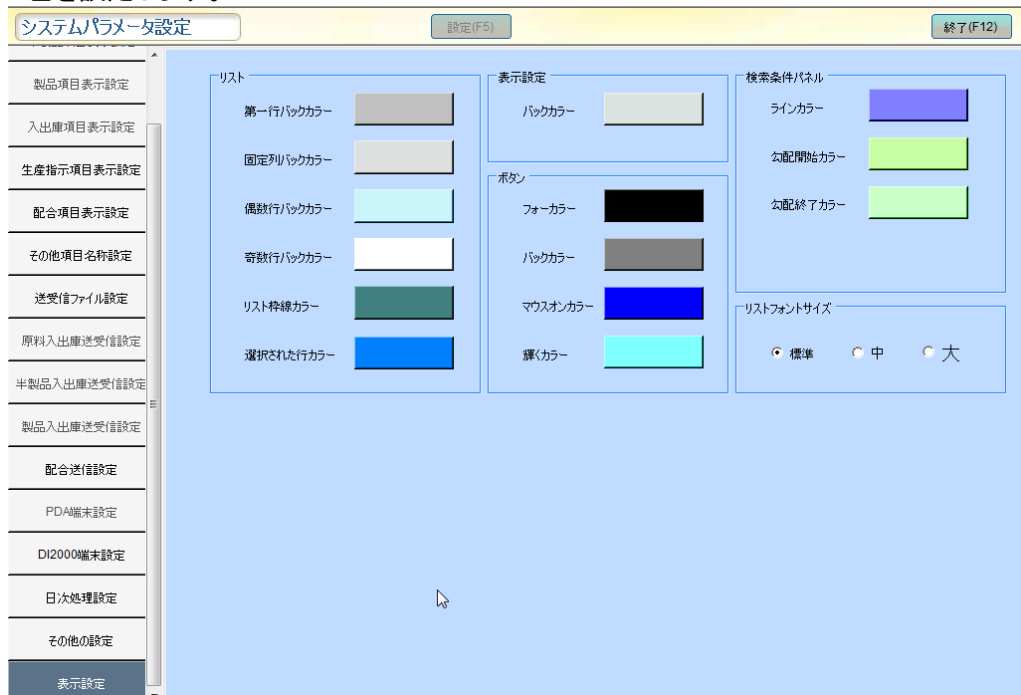
※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)



## ■ 表示設定

画面上の色を設定します。



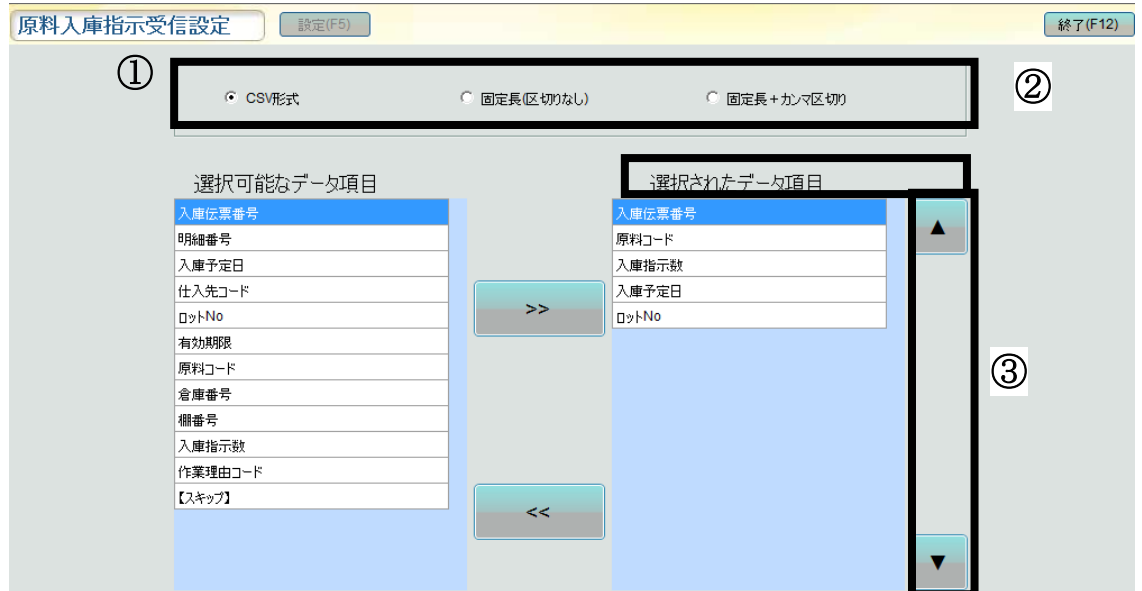
※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが解除され、クリックすることができます。)





## 入在庫データ受信設定

【システム設定＞入在庫データ受信設定＞原料入庫指示受信設定】

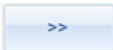


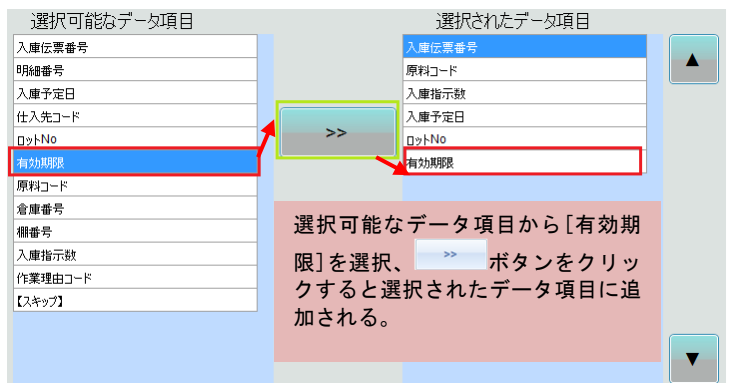
① 受信するデータの形式設定を選択します。

CSV形式
  固定長(区切りなし)
  固定長+カンマ区切り

CSV形式	(, )カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、

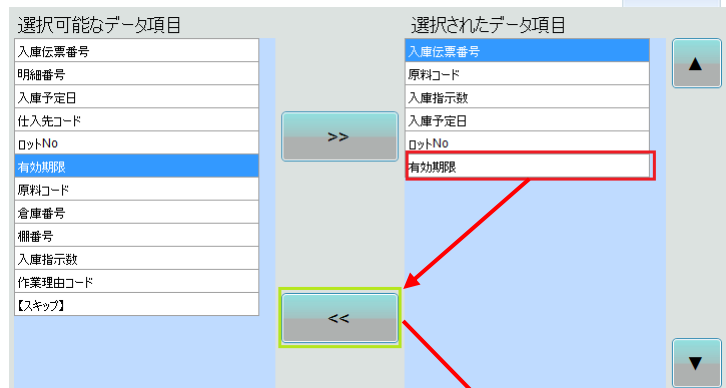
 をクリックします。



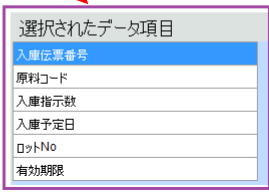
### 補足: 選択方法

- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は [Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

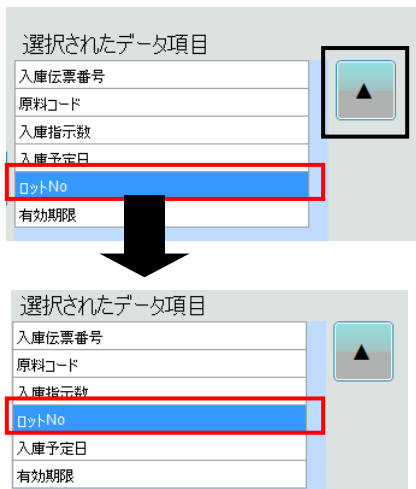
②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、<< ボタンをクリックします。



選択されたデータ項目から[有効期限]を選択、<< ボタンをクリックすると、選択された項目へ追加される



③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合  
 (例)「ロットNO」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると、順番が1つ上に上がります。  
 上記と同じ要領で▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。

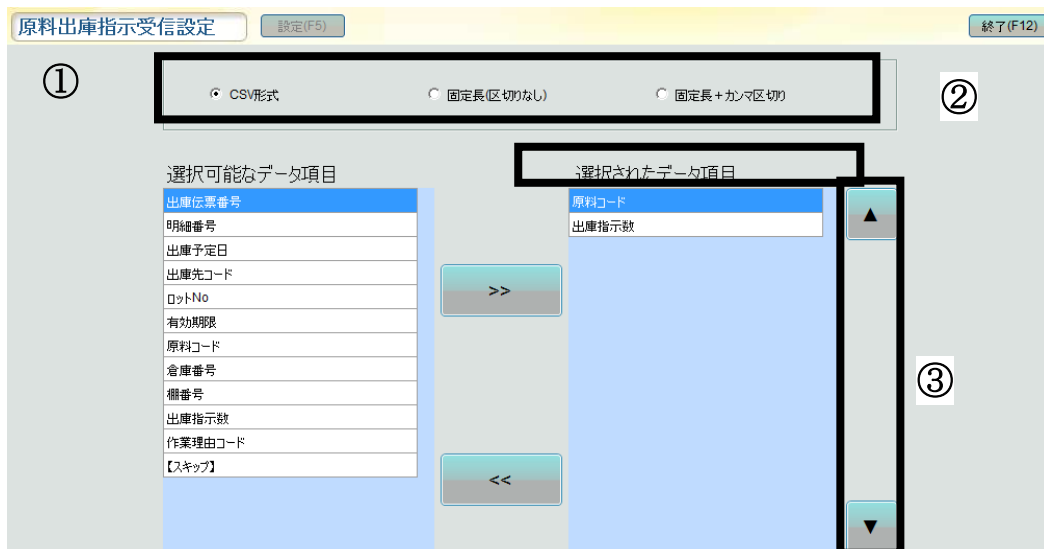


**注意:**  
 「選択されたデータ項目」一覧から[原料コード]、[入庫指示数]を削除する事はできません。削除を実行しようとするとエラーメッセージが表示されます。

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
 (変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)



【システム設定＞入出庫データ受信設定＞原料出庫指示受信設定】

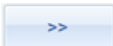


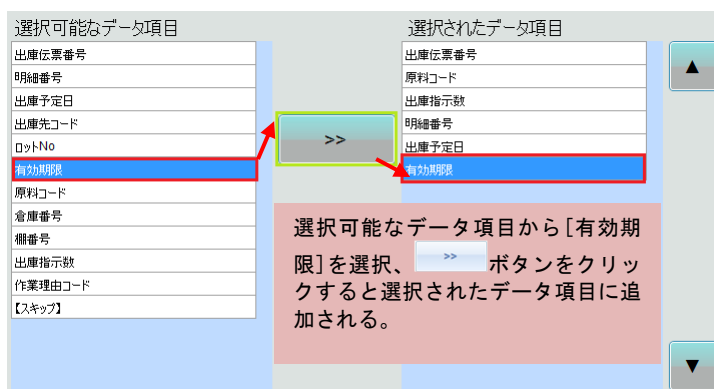
① 受信するデータの形式設定を選択します。

CSV形式     固定長(区切りなし)     固定長+カンマ区切り

CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、

 をクリックします。



**補足: 選択方法**

- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は [Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、

画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、<< ボタンをクリックします。

The screenshot shows two panels: '選択可能なデータ項目' (Selectable Data Items) on the left and '選択されたデータ項目' (Selected Data Items) on the right. In the left panel, 'ロットNo' (Lot No.) is selected. A '>>' button is between the panels. In the right panel, '有効期限' (Expiration Date) is selected. A '<<' button is below the right panel. Red arrows point from the '<<' button to the '有効期限' item in the right panel. A yellow callout box contains the text: '選択されたデータ項目から[有効期限]を選択、<< ボタンをクリックすると、選択された項目へ追加される' (Select [Expiration Date] from the selected data items, click the << button, and it will be added to the selected items).

③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合

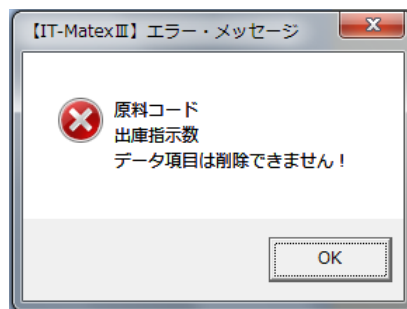
(例)「ロットNO」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると、順番が1つ上に上がります。

上記と同じ要領で▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。

The screenshot shows the '選択されたデータ項目' (Selected Data Items) list. The items are: 出庫伝票番号, 原料コード, 出庫指示数, 明細番号, 出庫予定日, 有効期限, and ロットNo. A red box highlights 'ロットNo'. An upward-pointing arrow button is to the right. A large black arrow points down to a second screenshot where '有効期限' is now highlighted with a red box, and 'ロットNo' has moved up to the position immediately below '出庫予定日'.

**注意:**

「選択されたデータ項目」一覧から[原料コード]、[出庫指示数]を削除することはできません。削除を実行しようとするとエラーメッセージが表示されます。



※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)

原料出庫指示受信設定

設定(F5)

## 入在庫実績データ送信設定

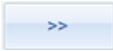
【システム設定＞入在庫実績データ送信設定＞原料入庫実績送信設定】

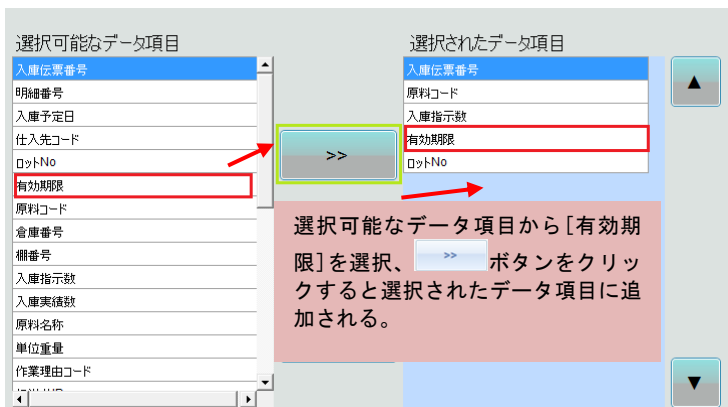


①受信するデータの形式設定を選択します。

CSV形式
  固定長(区切りなし)
  固定長+カンマ区切り

CSV形式	(, )カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、 をクリックします。

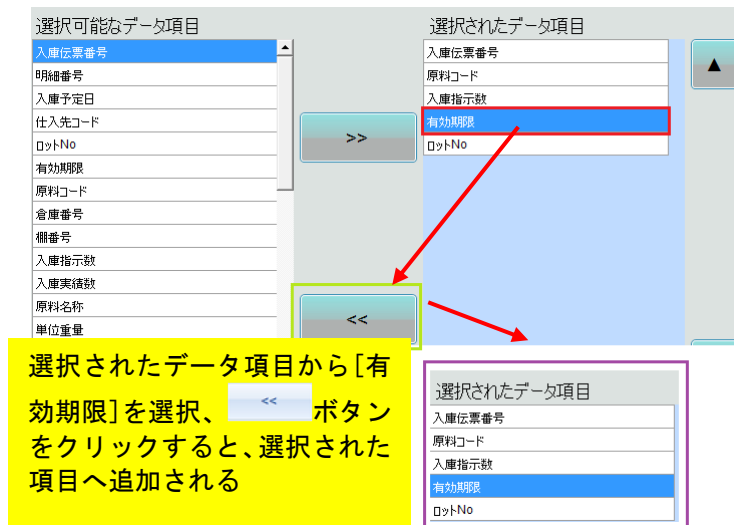


### 補足: 選択方法

- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は [Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、

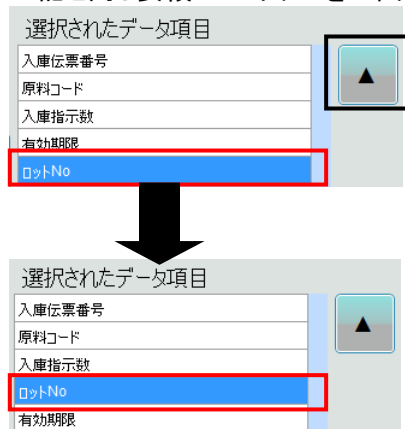
画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、<< ボタンをクリックします。



③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合

(例)「ロットNO」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると、順番が1つ上に上がります。

上記と同じ要領で▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。



※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)



...

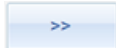
【システム設定＞入在庫実績データ送信設定＞原料出庫実績送信設定】

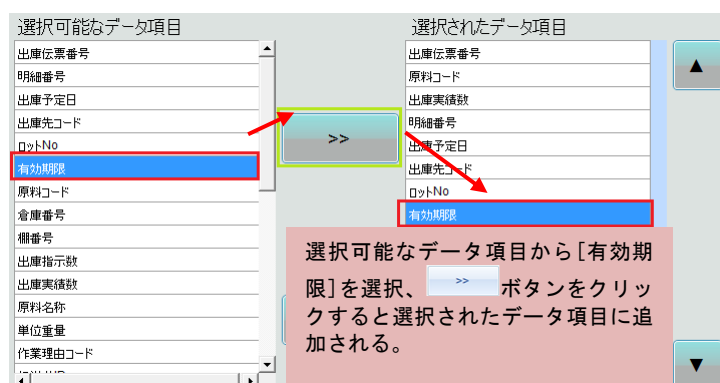


①受信するデータの形式設定を選択します。



CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

②-1「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、 をクリックします。

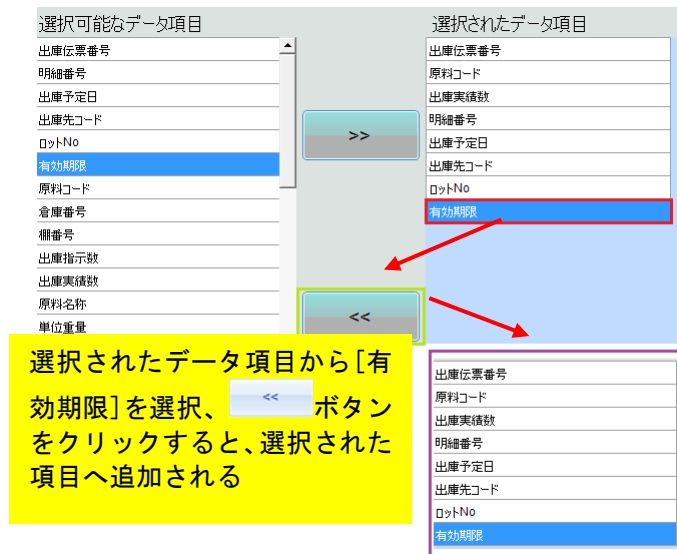


**補足: 選択方法**

- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は [Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、

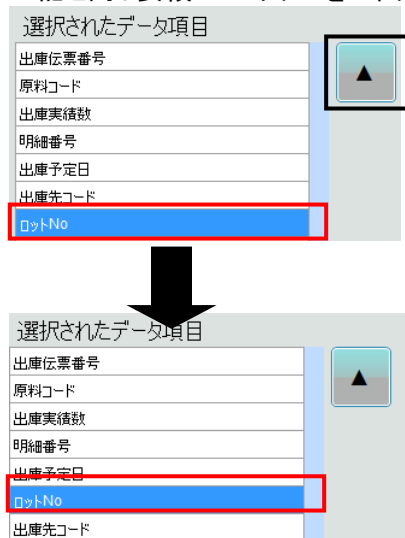
画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、<< ボタンをクリックします。



③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合

(例)「ロットNO」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると、順番が1つ上に上がります。

上記と同じ要領で▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。



※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)



...



## 在庫データ送受信設定

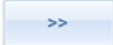
【システム設定＞在庫データ送受信設定＞在庫データ受信設定】

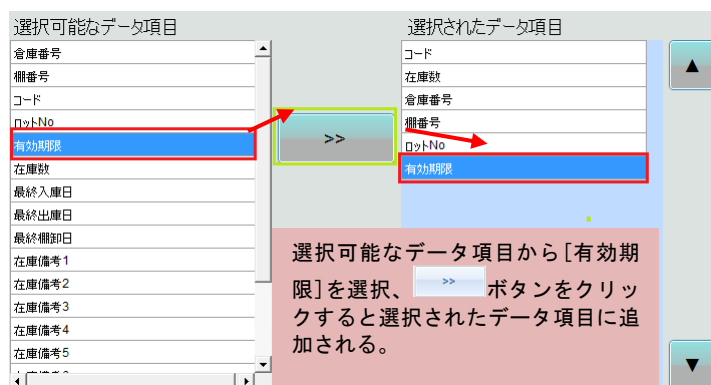


① 受信するデータの形式設定を選択します。

CSV形式
  固定長(区切りなし)
  固定長+カンマ区切り

CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、 をクリックします。



### 補足: 選択方法

- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は [Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、

画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、<< ボタンをクリックします。

The screenshot shows two panels: '選択可能なデータ項目' (Selectable Data Items) on the left and '選択されたデータ項目' (Selected Data Items) on the right. In the left panel, '有効期限' (Expiration Date) is highlighted in red. A red arrow points from this item to the '<<' button between the panels. Another red arrow points from the '<<' button to the '有効期限' item in the right panel. A third red arrow points from the '<<' button to a yellow callout box. Below the right panel, a purple callout box shows the '有効期限' item highlighted in blue in the '選択されたデータ項目' list.

**選択されたデータ項目から[有効期限]を選択、<< ボタンをクリックすると、選択された項目へ追加される**

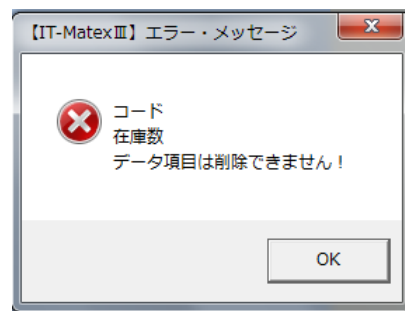
③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合

(例)「ロットNO」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると、順番が1つ上になります。

上記と同じ要領で▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。

The screenshot shows the '選択されたデータ項目' list with 'ロットNo' highlighted in red. An upward-pointing arrow button is visible to the right. A large black arrow points down to a second screenshot where 'ロットNo' is now in the second position, and the upward-pointing arrow button is now highlighted in blue.

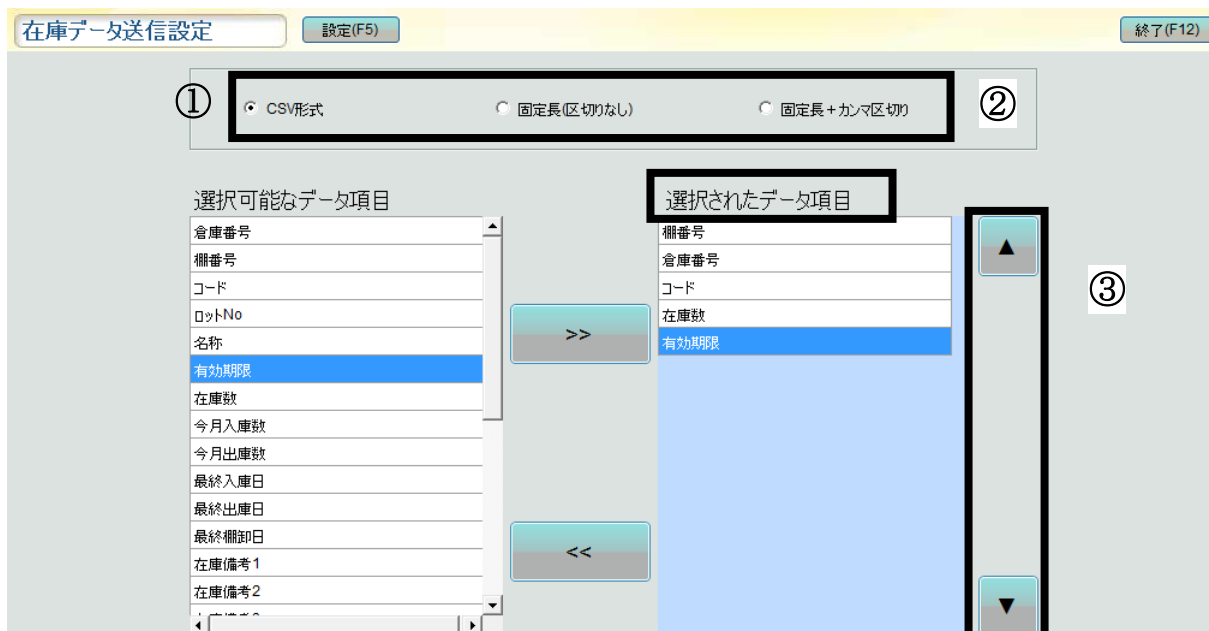
**注意：**  
「選択されたデータ項目」一覧から[コード]、[在庫数]を削除する事はできません。削除を実行しようするとエラーメッセージが表示されます。



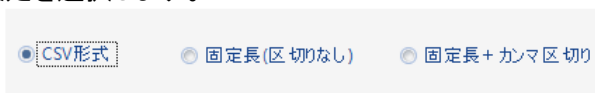
※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)

The image shows two buttons: '在庫データ受信設定' (Inventory Data Reception Settings) and '設定(F5)' (Settings (F5)).

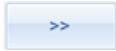
【システム設定＞在庫データ送受信設定＞在庫データ送信設定】

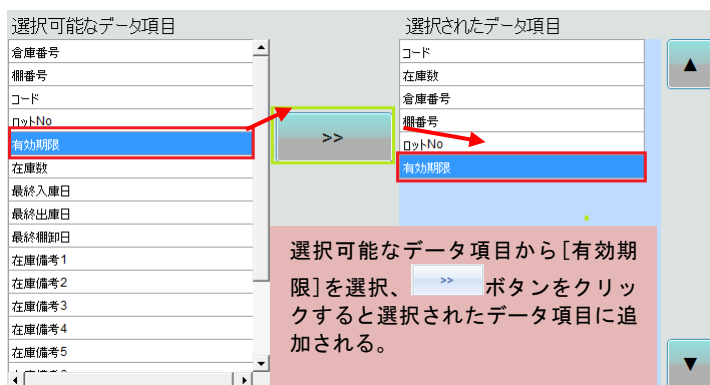


①受信するデータの形式設定を選択します。



CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

②-1「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、 をクリックします。



**補足: 選択方法**

- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は[Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、

画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、<< ボタンをクリックします。

The screenshot shows two panels: '選択可能なデータ項目' (Selectable Data Items) on the left and '選択されたデータ項目' (Selected Data Items) on the right. In the left panel, '有効期限' (Expiration Date) is highlighted in blue. A red arrow points from this item to the '>>' button. Another red arrow points from the '<<' button to the '有効期限' item in the right panel. A third red arrow points from the '<<' button to the '<<' button itself. Below the panels, a yellow box contains text: '選択されたデータ項目から[有効期限]を選択し、<< ボタンをクリックすると、選択された項目へ追加される' (Select [Expiration Date] from the selected data items, click the << button, and it will be added back to the available items). To the right, a purple box highlights the '有効期限' item in the '選択されたデータ項目' list.

③ 「選択され

(例)「ロットNO」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると、順番が1つ上に上がります。

上記と同じ要領で▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。

The screenshot shows the '選択されたデータ項目' (Selected Data Items) list. In the first part, 'ロットNo' is highlighted in blue, and a red box is around it. A red arrow points to the ▲ button. In the second part, 'コード' is highlighted in blue, and a red box is around it. A red arrow points to the ▲ button. A large black arrow points from the first part to the second part, indicating the sequence of operations.

**注意:**

「選択されたデータ項目」一覧から[コード]を削除することはできません。削除を実行しようとするとエラーメッセージが表示されます。



※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)

在庫データ送信設定

設定(F5)

## 棚卸データ送信設定

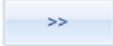
### 【システム設定＞棚卸データ送信設定】

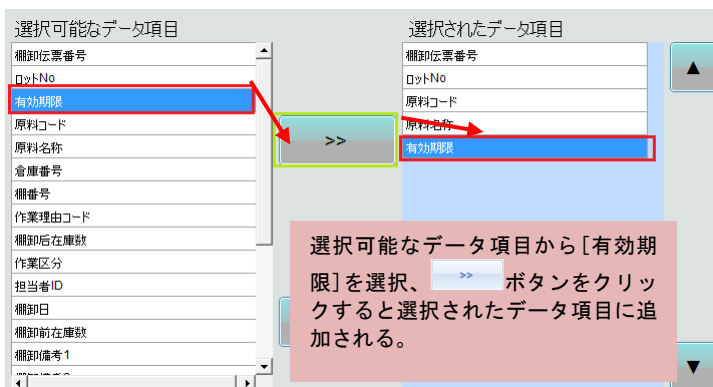


①受信するデータの形式設定を選択します。

CSV形式
  固定長(区切りなし)
  固定長+カンマ区切り

CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断


②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、  をクリックします。

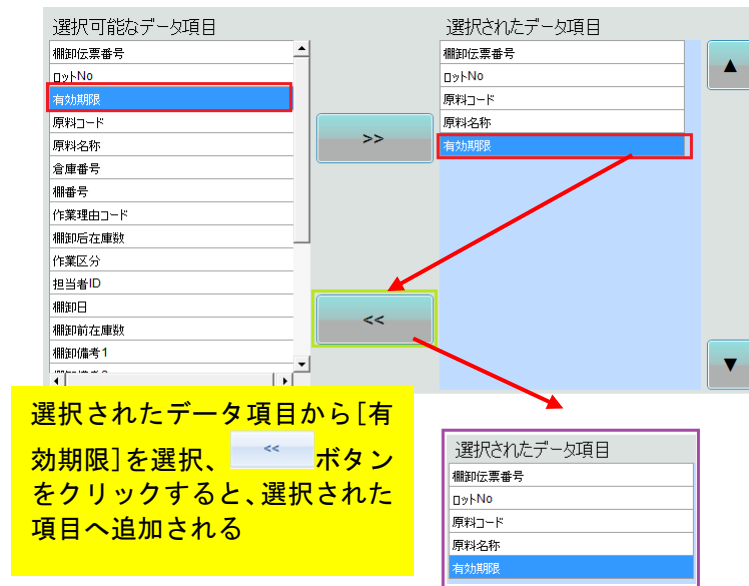


#### 補足: 選択方法


- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は [Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。


②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、

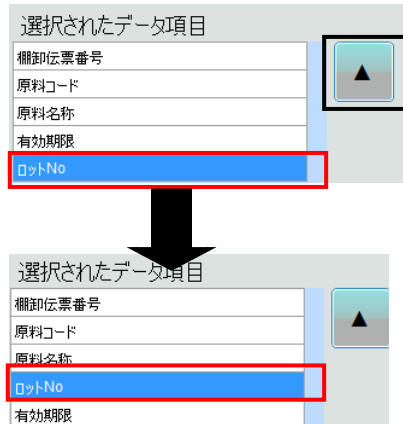
画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、 をクリックします。



③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合

(例)「ロットNO」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある ボタンを1回クリックすると、順番が1つ上に上がります。

上記と同じ要領で ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。



※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)

棚卸データ送信設定

設定(F5)

# 原料データ受信設定

## 【システム設定＞原料データ受信設定】




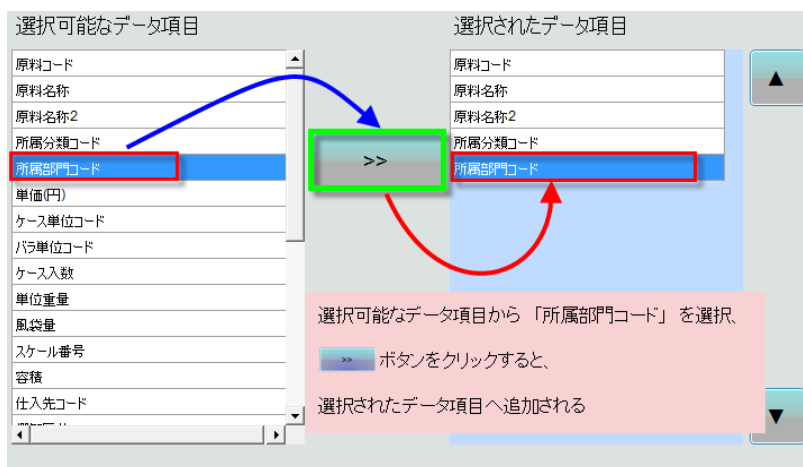
①受信するデータの形式設定を選択します。

CSV形式
  固定長(区切りなし)
  固定長+カンマ区切り

CSV形式	(, )カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、

 をクリックします。



### 補足: 選択方法

- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は[Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、<< ボタンをクリックします。

The screenshot shows two panels: '選択可能なデータ項目' (Selectable Data Items) on the left and '選択されたデータ項目' (Selected Data Items) on the right. In the left panel, '所属部門コード' is selected. In the right panel, '所属部門コード' is also selected and highlighted with a red box. A blue arrow points from this item to the '<<' button between the panels. A green box highlights the '<<' button, and a hand icon indicates a click. Below the panels, a yellow box contains the following text:

選択されたデータ項目から「所属部門コード」を選択、<< ボタンをクリックすると、選択されたデータ項目から削除されます

To the right of this text, a purple-bordered box shows the '選択されたデータ項目' panel after the removal, where '所属部門コード' is no longer present.

③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合  
 (例)「原料名称」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると、順番が1つ上に上がります。  
 上記と同じ要領で▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。

The screenshot shows the '選択されたデータ項目' panel with '原料名称' selected. A green box highlights the ▲ button to its right. A large black arrow points down to the next state where '原料名称' has moved up to the top position. To the right, a '注意' (Note) box contains the following text:

**注意:**  
 「選択されたデータ項目」一覧から原料コードを削除する事はできません。削除を実行しようとするとエラーメッセージが表示されます。

Below the note, an error message dialog box is shown with the title '【IT-MatexⅢ】エラー・メッセージ' and the text: '原料コード データ項目は削除できません!' (Raw material code data item cannot be deleted!). An 'OK' button is at the bottom.

※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
 (変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)





## 製品データ受信設定


### 【システム設定＞製品データ受信設定】

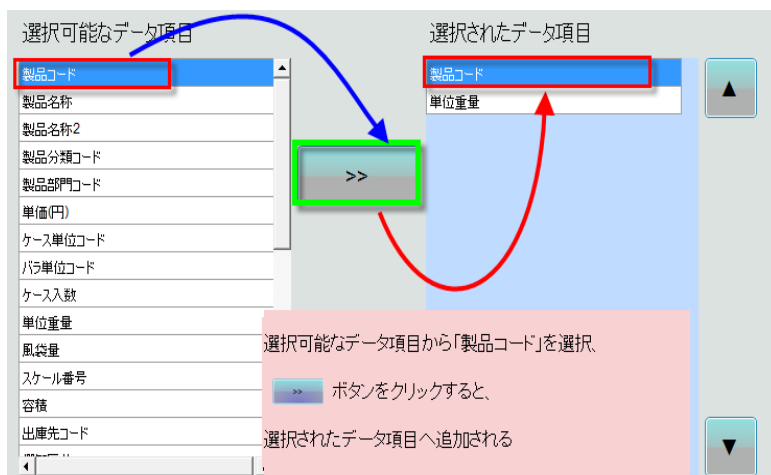


①受信するデータの形式設定を選択します。

CSV形式     固定長(区切りなし)     固定長+カンマ区切り


CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断します。

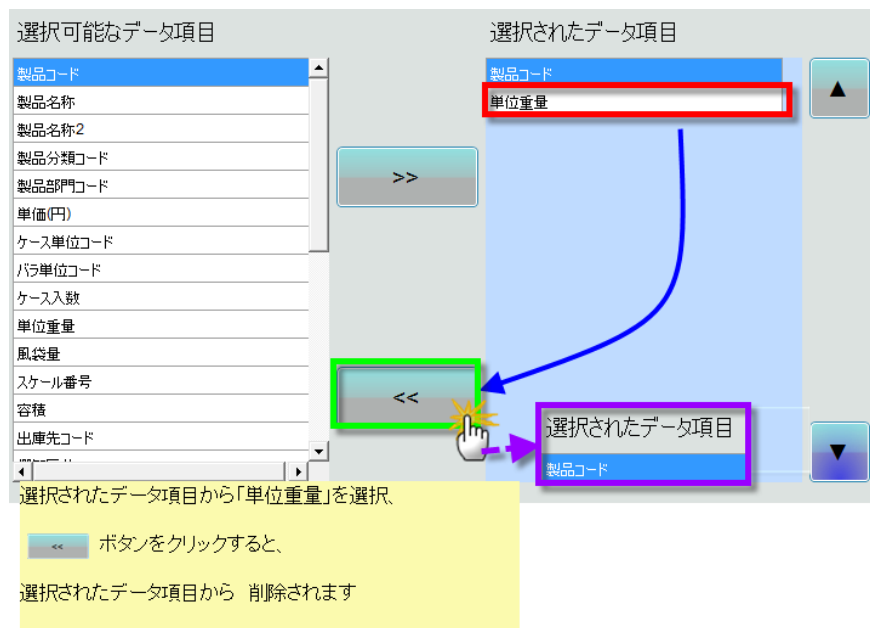
②-1「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、 をクリックします。



#### 補足: 選択方法

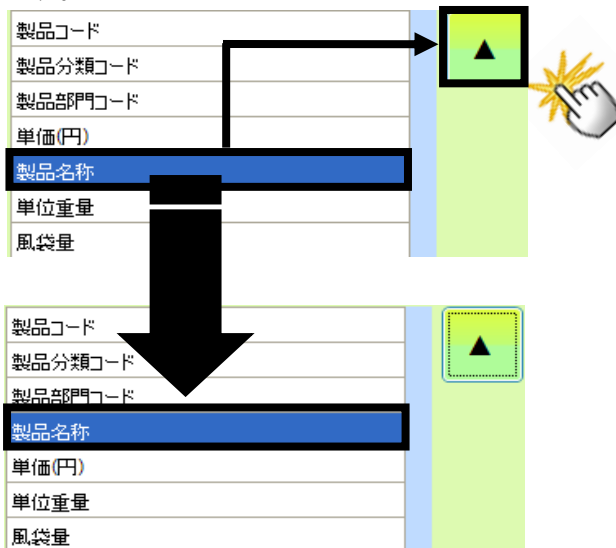
- 全ての項目を選択する場合は[Ctrl]キー+Aで一括選択できます。
- 連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- 連番ではない複数の項目を選択する場合は[Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、 をクリックします。

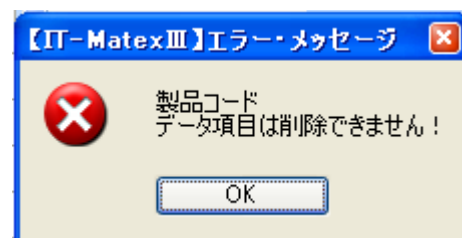


③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合

(例)「製品名称」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ上に上がります。上記と同じ要領で▼ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。



**注意:**  
「選択されたデータ項目」一覧から製品コードを削除する事はできません。削除を実行しようとするエラーメッセージが表示されます。



※設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)

製品データ受信設定

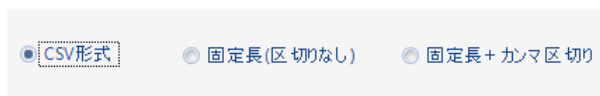
設定(F5)

# レシピデータ受信設定

【システム設定>レシピデータ受信設定】




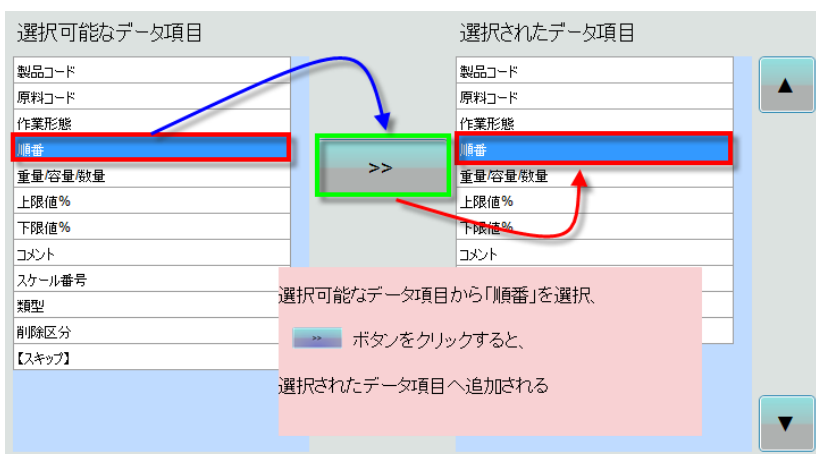
① 受信するデータの形式設定を選択します。



CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、

 をクリックします。



### 補足: 選択方法

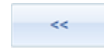
・全ての項目を選択する場合は [Ctrl] キー+A で一括選択できます。

・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。

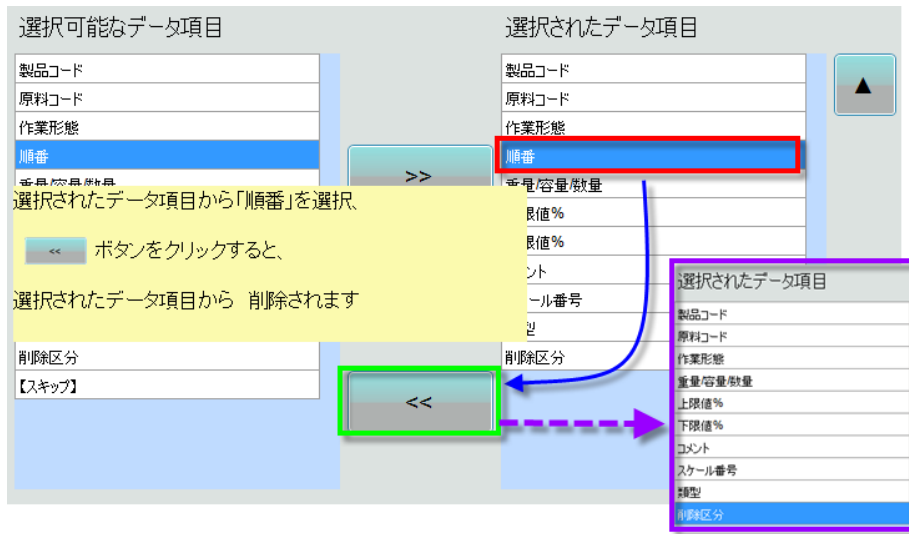
・連番ではない複数の項目を選択する場合は [Ctrl] キーを押しながら項目を選択してください。

②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合

画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、

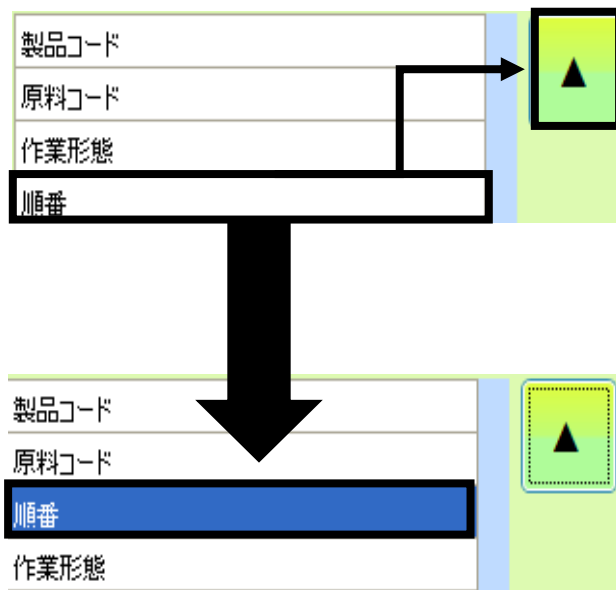


をクリックします。



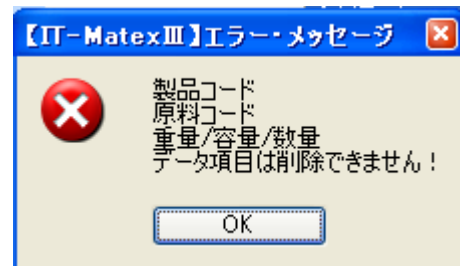
③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合

(例)「順番」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ上に上がります。上記と同じ要領で▼ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。



**注意:**

「選択されたデータ項目」一覧から、「製品コード」「原料コード」「重量/容量/数量」を削除することはできません。削除を実行しようとするとエラーメッセージが表示されます。



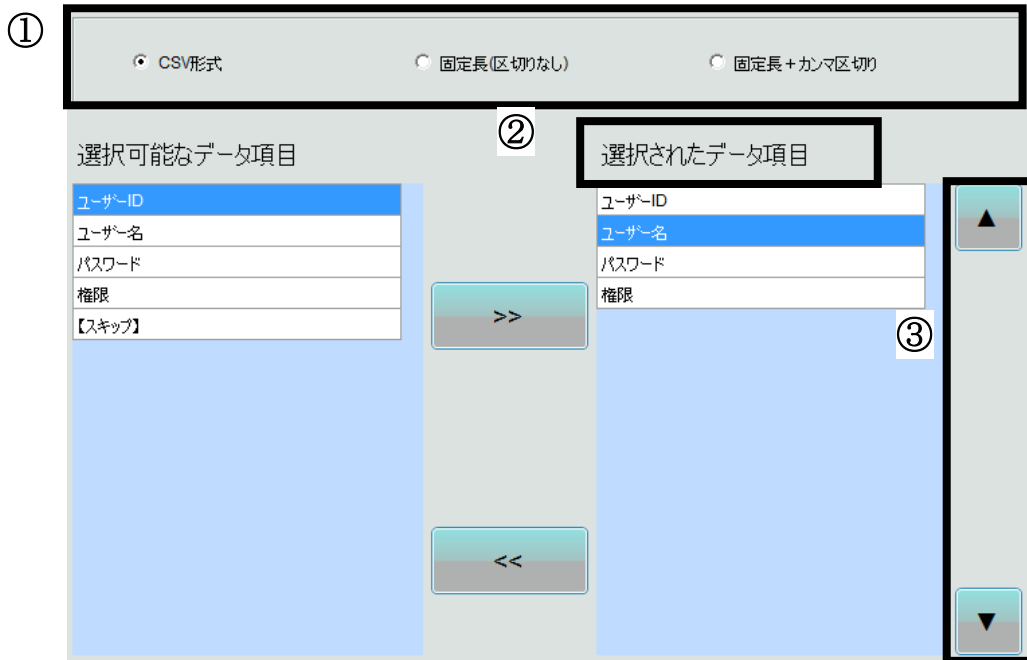
※設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。

(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)

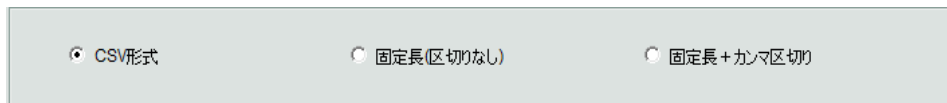
レシピデータ受信設定

設定(F5)


## 担当者受信設定

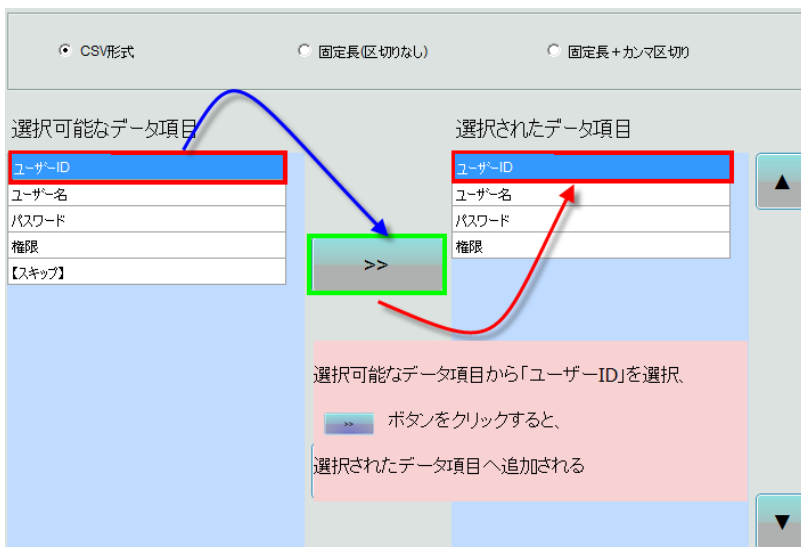


① 受信するデータの形式設定を選択します。



CSV形式	(, )カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

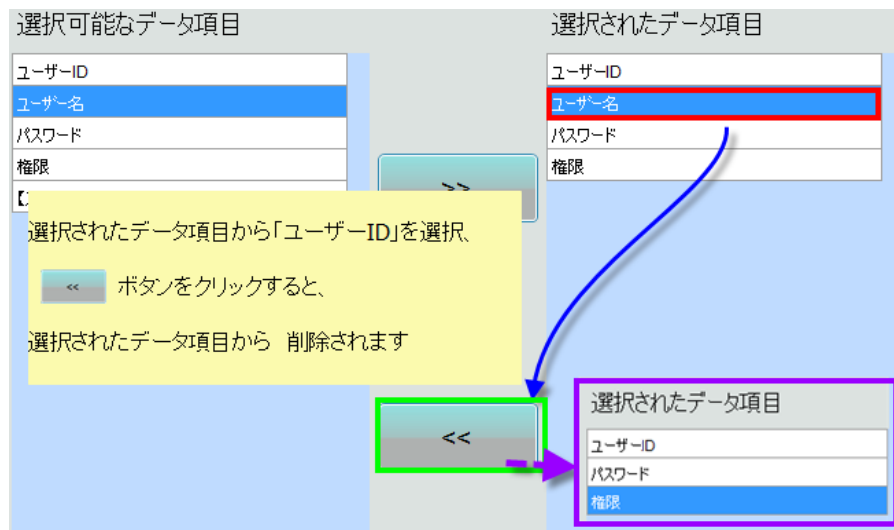
②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、 をクリックします。



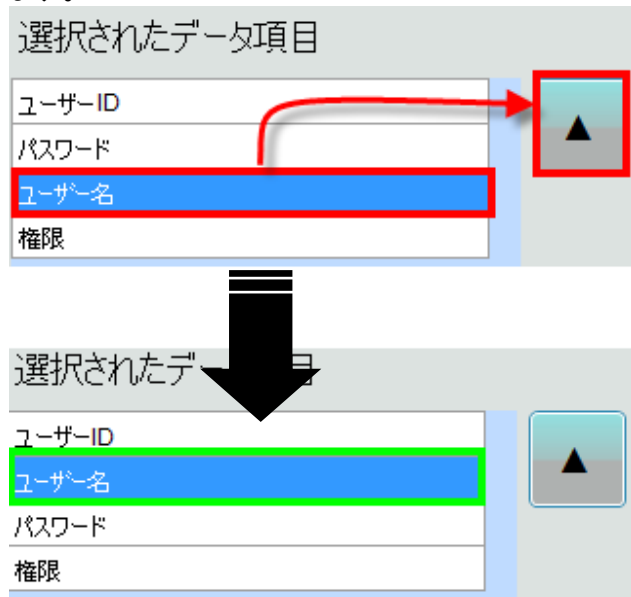
### 補足: 選択方法

- ・全ての項目を選択する場合は[Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は[Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

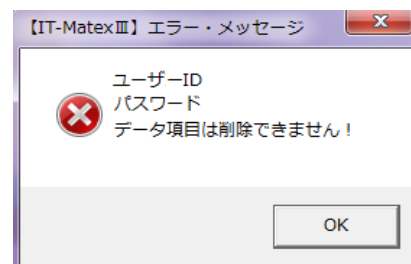
②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、<< ボタンをクリックします。



③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合  
 (例)「ユーザー名」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ上に上がります。上記と同じ要領で▼ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。



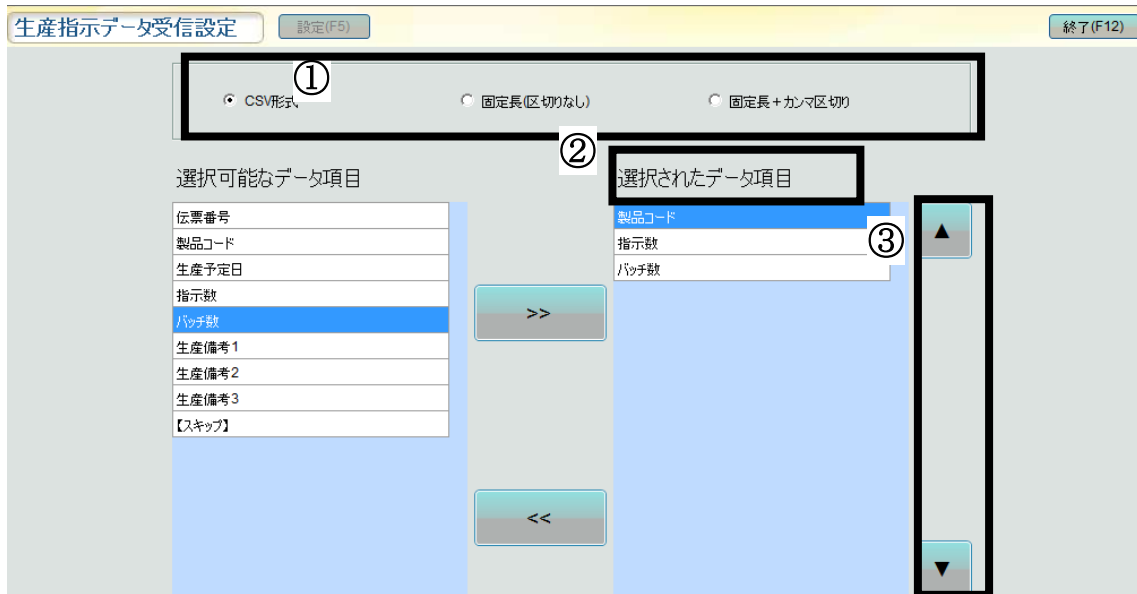
**注意:**  
 「選択されたデータ項目」一覧からユーザーID・パスワードを削除する事はできません。削除を実行しようとするとエラーメッセージが表示されます。



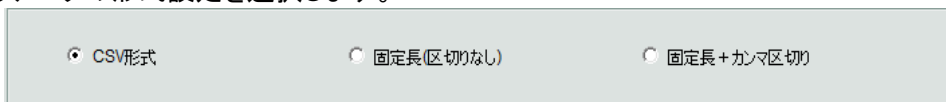
※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
 (変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)



## 生産指示データ受信設定

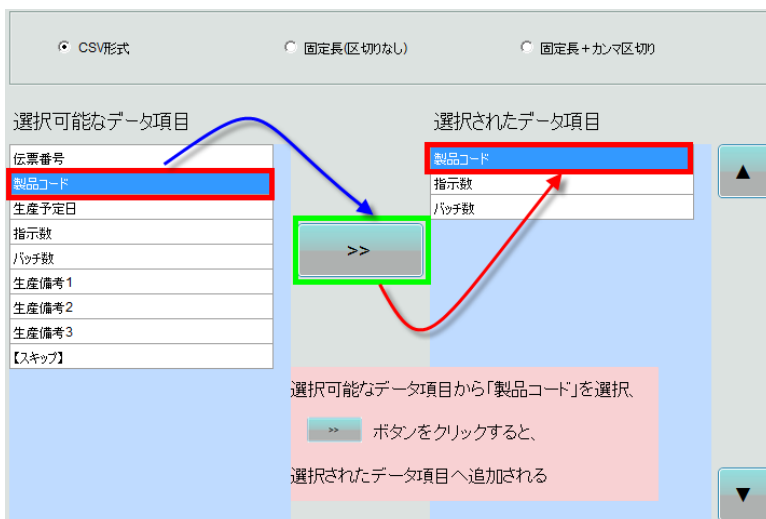


① 受信するデータの形式設定を選択します。




CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

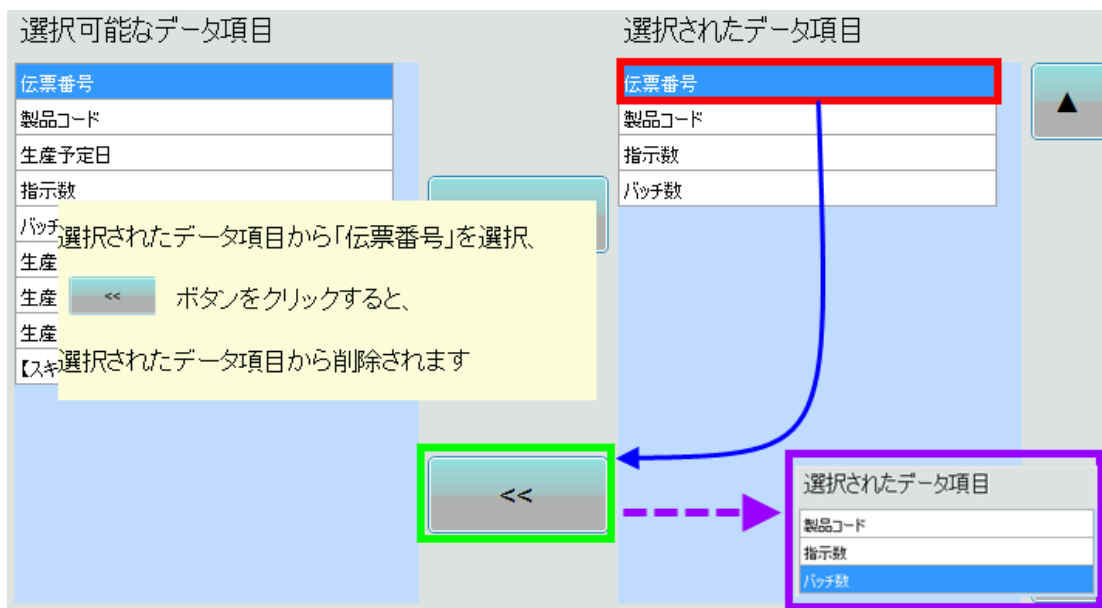
②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、>> をクリックします。





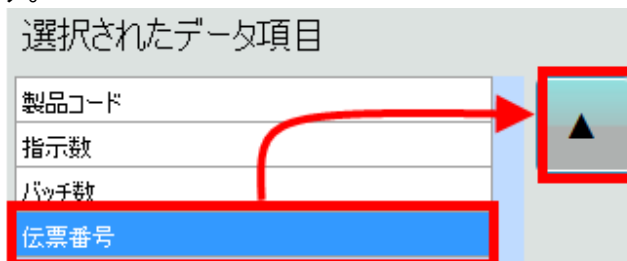
### 補足: 選択方法

- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は [Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

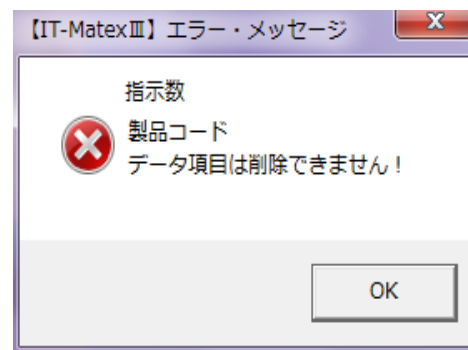
②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、 をクリックします。



③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合  
 (例)「伝票番号」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある ボタンを1回クリックすると順番が1つ上に上がります。上記と同じ要領で ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。



**注意:**  
 「選択されたデータ項目」一覧から製品コード・原料コード・指示値を削除することはできません。削除を実行しようとするとエラーメッセージが表示されます。



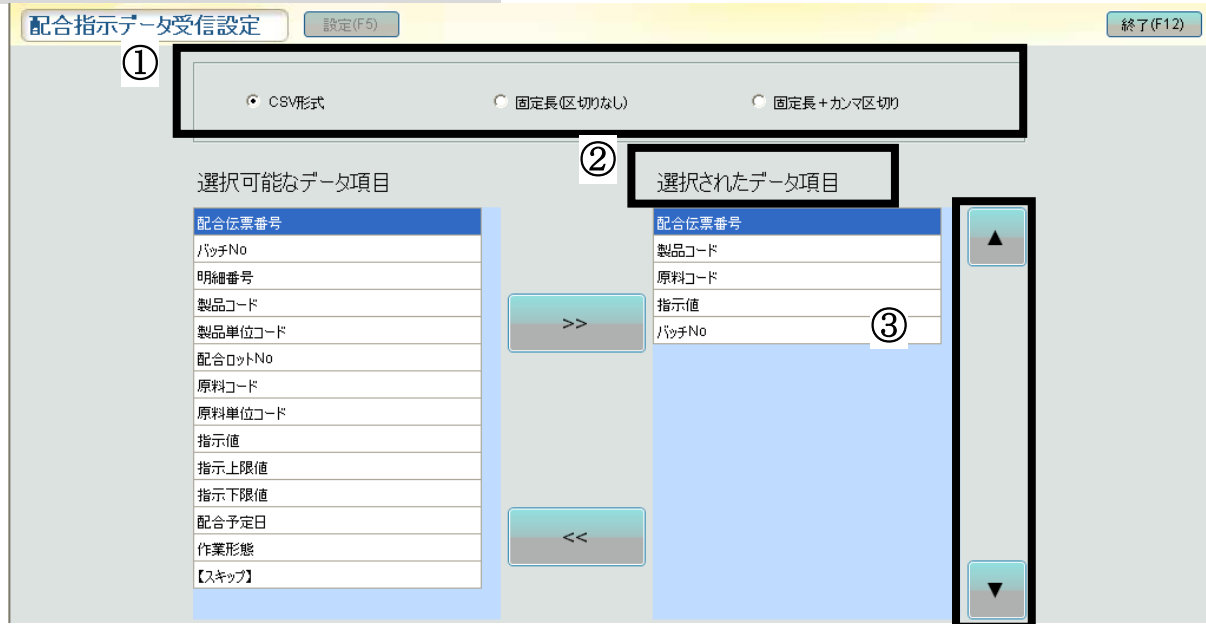
※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
 (変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)





## 配合指示データ受信設定

### 【システム設定＞配合指示データ受信設定】

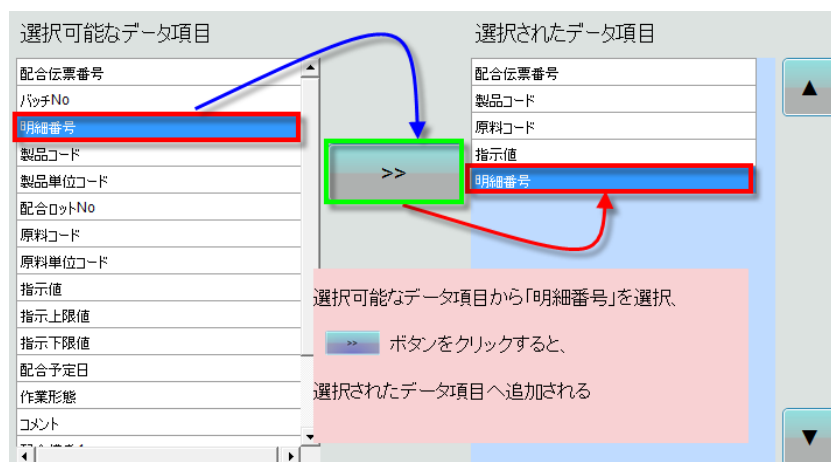


① 受信するデータの形式設定を選択します。

CSV形式     固定長(区切りなし)     固定長+カンマ区切り


CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断

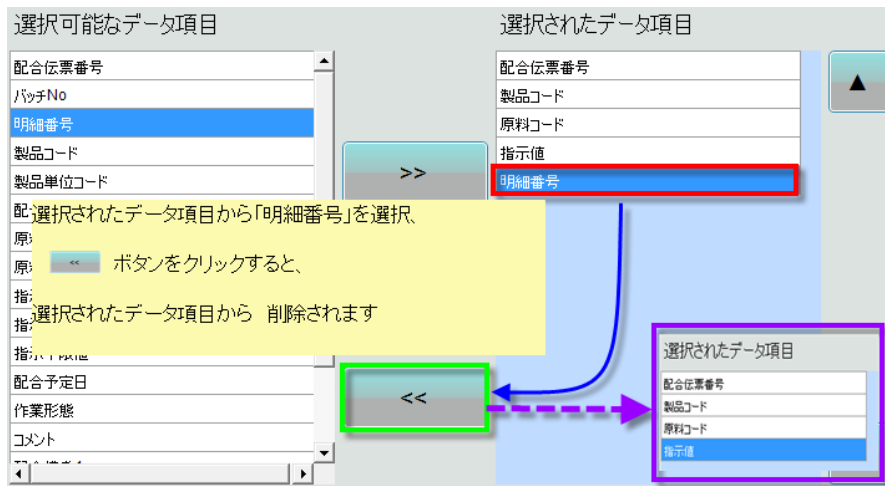
②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧で受信する項目を選択し、>> をクリックします。



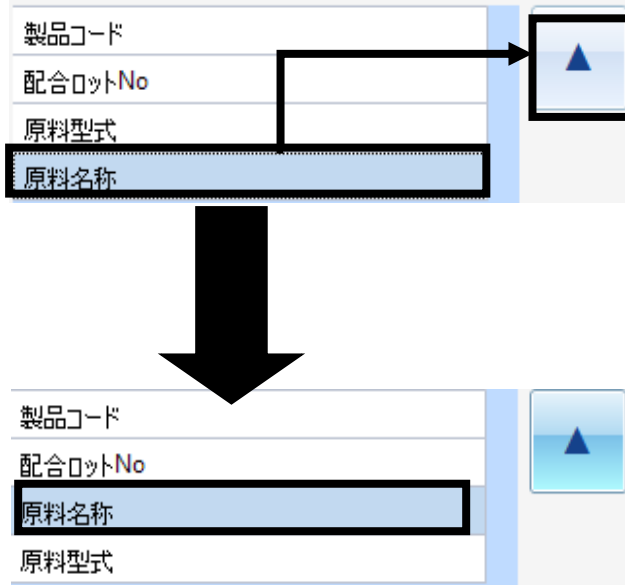
#### 補足: 選択方法

- ・全ての項目を選択する場合は [Ctrl]キー+A で一括選択できます。
- ・連番で複数の項目を選択する場合はマウスの左鍵を押したまま範囲をスクロールして選択します。
- ・連番ではない複数の項目を選択する場合は [Ctrl]キーを押しながら項目を選択してください。

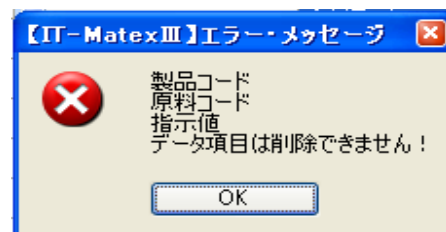
②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、 をクリックします。



③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合  
(例)「原料名称」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある▲ボタンを1回クリックすると順番が1つ上に上がります。上記と同じ要領で▼ボタンを1回クリックすると順番が1つ下がります。



**注意:**  
「選択されたデータ項目」一覧から製品コード・原料コード・指示値を削除する事はできません。削除を実行しようとするとエラーメッセージが表示されます。



※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
(変更箇所がある時のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)

配合指示データ受信設定

設定(F5)

## 配合実績データ送信設定


【システム設定＞配合実績データ送信設定】

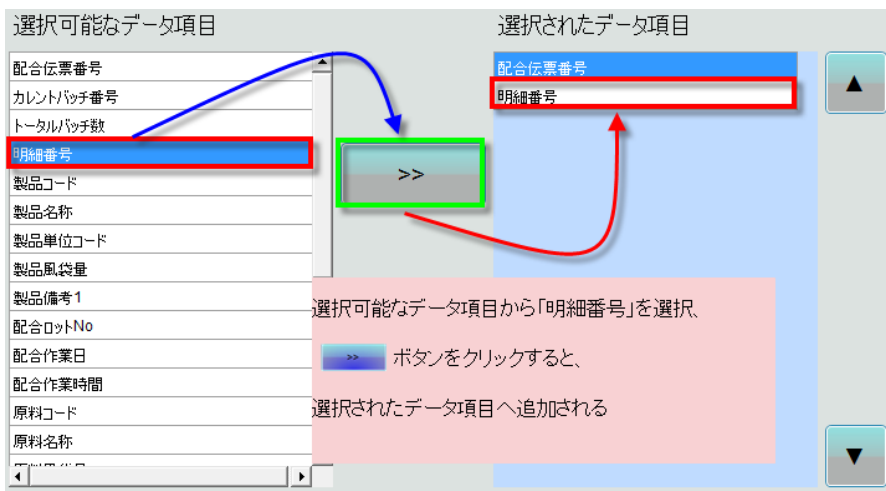


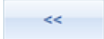
① 受信するデータの形式設定を選択します。

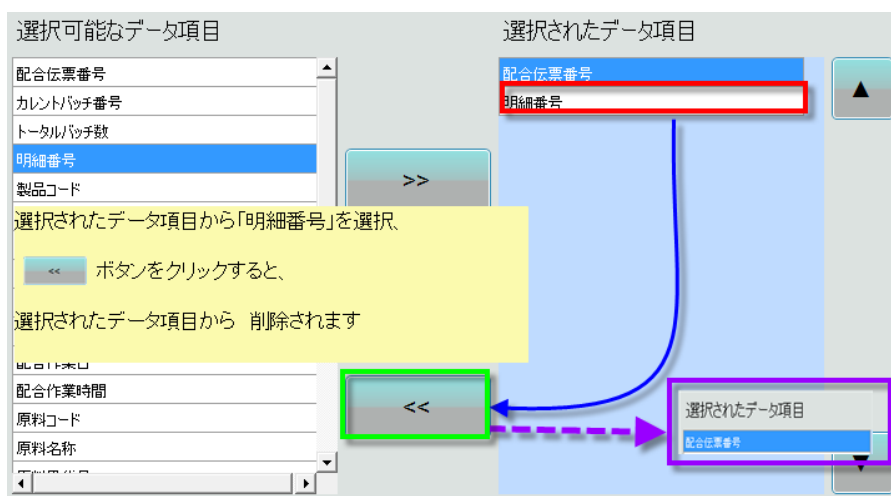
CSV形式     固定長(区切りなし)     固定長+カンマ区切り

CSV形式	(,)カンマ区切り
固定長(区切りなし)	バイト数で区切り(半角1バイト、全角2バイト)
固定長+カンマ区切り	バイト数とカンマ区切りをあわせて区切りを判断



②-1 「選択されたデータ項目」へ追加する場合、画面左側の「選択可能なデータ項目」一覧より受信する項目を選択し、 をクリックします。




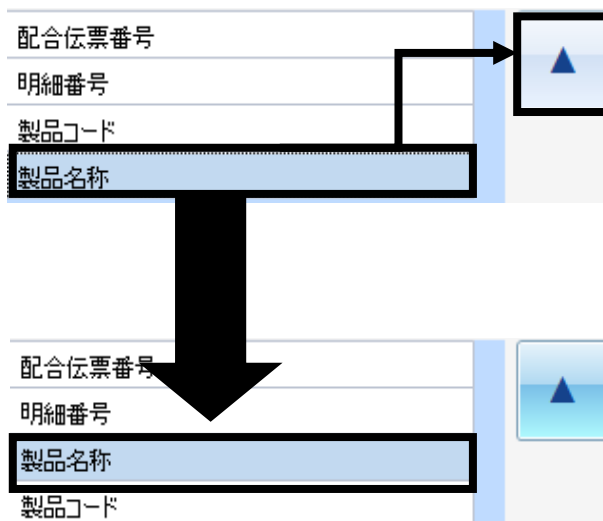
②-2 「選択されたデータ項目」から削除する場合、画面右側の「選択されたデータ項目」で削除する項目を選択し、 をクリックします。



③ 「選択されたデータ項目」の並び順を変更する場合

(例)「製品名称」の並び順を変更するとします。変更する項目を選び、画面右側にある ボタンを1回クリックすると順番が1つ上に上がります。上記と同じ要領で ボタンをクリックすると順番が1つ下がります。

※ ボタンの位置がずれていたのを移動した。



※ 設定変更後は、[設定]をクリックし、保存を行ってください。  
(変更箇所がある場合のみ、[設定]のマスクが外れクリックすることができます。)

配合実績データ送信設定

設定(F5)

## データベースのバックアップ

### 【システム設定＞データベースのバックアップ】

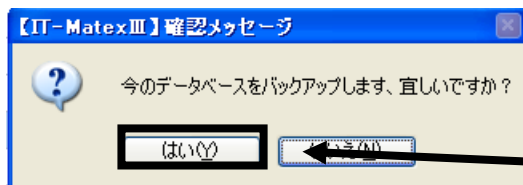
データベースのバックアップを保存します。

システムパラメータ設定画面で指定したパスにtxtファイルが作成されます。

#### 補足:パスの設定

「システムパラメータ設定」>「日次処理設定」>「バックアップ先パス名」

「データベースのバックアップ」をクリックすると、  
確認メッセージが表示されます。  
[はい]を選択すると、バックアップを作成します。  
バックアップしない場合は[いいえ]を選択して下さい。



## データベースの復元

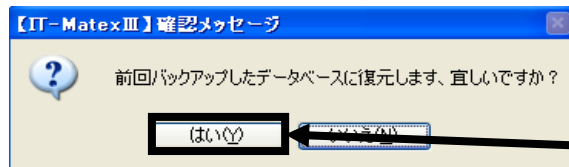
### 【システム設定＞データベースの復元】

保存されているバックアップデータを参照し、復元を行います。

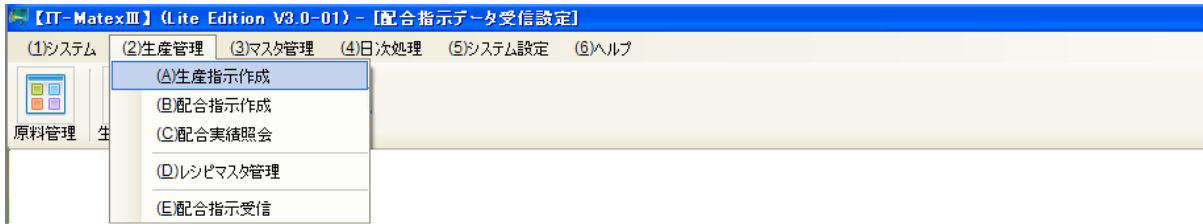
「データベースの復元」をクリックすると、  
確認メッセージが表示されます。

〔はい〕を選択すると、前回バックアップしたデータを参照し、  
データベースの復元を行います。

復元を行わない場合は〔いいえ〕を選択して下さい。



# 生産管理



## 生産指示作成

【生産管理>生産指示作成】

生産指示作成

保存(F1) 削除(F3) 生産指示リスト印刷(F4) 伝票ラベル一括発行(F6) 伝票ラベル個別発行(F7) 終了(F12)

生産対象: 2: 製品 伝票番号: 検索(F11)

生産予定日: 2012/01/23 製品コード: 各種指示作成(F5) 生産指示書印刷 合并生産指示

No.	伝票番号	コード	名称	ロットNo.	予定日	配合重量(Kg)	生産量	ロット数	基準量	単位	構成重量(g)	状態

**補足: ツールボタン**

「生産管理」→「生産指示作成」からでも、同じ操作画面になります。

生産対象: デフォルトで設定されています。

生産予定日: デフォルトでチェックが入っており、当日の日付が設定されています。

### ■ 生産指示新規作成

①「伝票番号」下のセルをダブルクリック、もしくはセル上で[スペース]キーを押すと自動で伝票番号が入力されます。

生産指示作成

生産対象: 2: 製品

生産予定日: 2012/01/23

No.	伝票番号	コード
	120123001	

**【伝票番号の表示ルール】**  
 (例: 左図 伝票番号 120123001)

12 01 03 001  
年 月 日 枝番

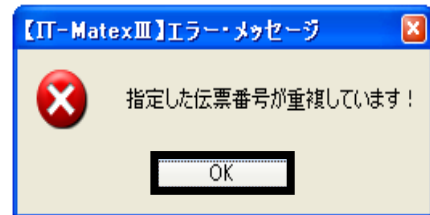
作成日: 2012年01月03日  
 ※枝番は001から始まります。

### ※伝票番号を手入力する場合

自動で採番された番号を[Delete]キーで消去し、半角英数字16桁以内で伝票番号を入力します。  
[Enter]キーを押すか、他のセルをクリックすると画面に反映されます。

#### 注意:

登録済みの伝票番号を再入力すると、「指定した伝票番号が重複しています」というエラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、登録されていない番号に変更してから再度登録を行ってください。



②「コード」「名称」「ロット No」等の各項目を入力し、[保存]をクリックします。  
すると、入力内容が赤文字から黒文字へ切り替わり、保存が完了します。

No.	伝票番号	コード	名称	ロットNo.	予定日	配合重量(Kg)	生産量	パツチ数	基準量	単位	構成重量(g)	状態
1	120123001	Z001	Z001		2012/01/23	2,500,000,000	2,000,000,000	1,000,000,000	2,000,000,000	kg	2,500,000,000,000	未処理

No.	伝票番号	コード	名称	ロットNo.	予定日	配合重量(Kg)	生産量	パツチ数	基準量	単位	構成重量(g)	状態
1	120123001	Z001	Z001		2012/01/23	2,500,000,000	2,000,000,000	1,000,000,000	2,000,000,000	kg	2,500,000,000,000	未処理

### ■ 生産指示の検索

検索条件を指定して検索をします

No.	伝票番号	コード	名称	ロットNo.	予定日	配合重量(Kg)	生産量	パツチ数	基準量	単位	構成重量(g)	状態
1	120123001	Z001	Z001		2012/01/23	2,500,000,000	2,000,000,000	1,000,000,000	2,000,000,000	kg	2,500,000,000,000	未処理

① 「生産対象」「伝票番号」「生産予定日」「製品コード」の検索条件を入力、もしくは選択します。

② [検索]をクリックすると、条件に対応したデータが一覧表示されます。

検索条件を指定しない場合(全てのデータ表示)

① 「生産予定日」のチェックを外します。

② [検索]をクリックすると、全てのデータが一覧表示されます。

#### 補足:【生産予定日検索方法】

「生産予定日」のフィルタをクリックするとカレンダーが表示されるので、カレンダーの日付をクリックし、生産予定日を設定します。

※「生産予定日」のチェックボックスにチェックが入っている場合は、生産予定日の日付が検索条件に追加されます。入っていない場合は、検索条件に追加されません。



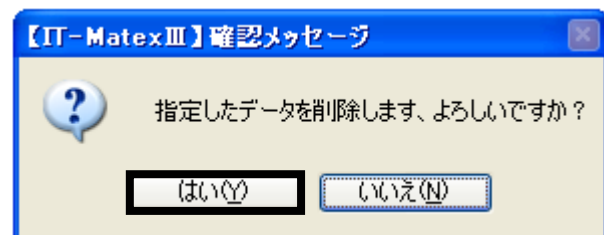
## ■ 生産指示の削除

削除が行えるデータは、配合・出庫指示生成前のデータのみとなります。

- ① 削除する行を選択し、[削除]をクリックします。

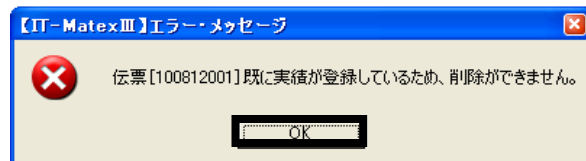
No.	伝票番号	コード	名称	ロットNo.	予定日
1	091110001	11	11		2009/11/10
2	091110002	1002	製品名称1		2009/11/10

- ② 確認メッセージが表示されるので、  
[はい]を選択すると選択したデータのみ削除されます。  
削除しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意：

実績登録済の生産指示を削除することは  
できません。  
削除しようとする  
エラーメッセージが表示されます。



## ■ 各種指示生成

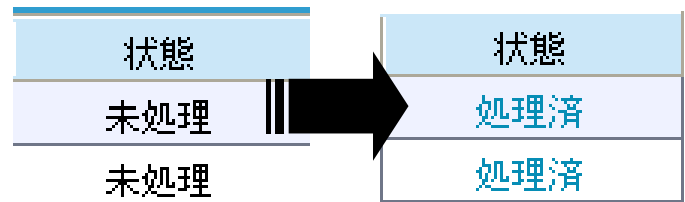
- ① 配合指示生成をする、  
生産指示の該当データを表示させます。

(例)2011/12/16生産予定日で検索

- ② データを選択して[各種指示生成]をクリックすると、選択されたデータの配合指示が作成されます。

- ③ 確認メッセージが表示されるので、  
配合指示生成をする場合は[はい]、  
生成をしない場合は[いいえ]を選択してください。

- ④ 展開を完了すると黒字から青字に変わり、  
「状態」の欄が「未処理」から「処理済」に  
変わります。この処理で配合指示にデータが  
反映されます。



項目	備考
配合重量※	レシピ構成の合計重量を表示します。 変更することが可能で、変更値によって構成の重量を再計算します。
生産量	デフォルトで製品の基準量を表示します。 変更することが可能で、変更値によって構成の生産量を再計算します。
バッチ数	デフォルトでは“1”に設定されています。変更することが可能です。
基準量	製品の基準量を表示します。変更することはできません。
単位	製品のバラ単位を表示します。
構成重量	レシピ構成の合計重量を表示します。変更することができません。

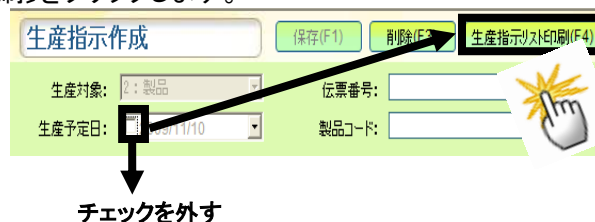
### 注意:

配合重量“0”の場合は各種指示生成を行うことができません。  
予め「レシピデータ管理」構成の重量を登録しておいてください。

## ■ 生産指示リストの印刷

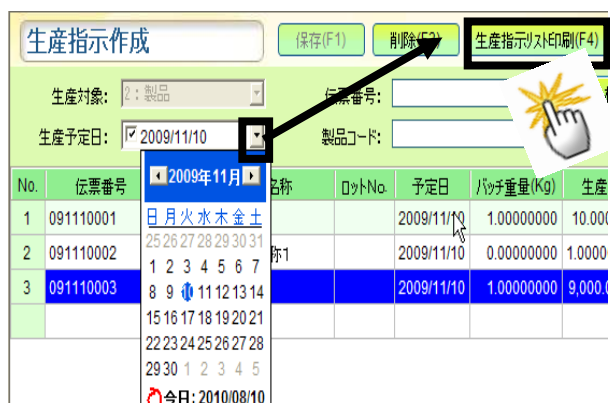
### ①-1 全ての生産指示リストを印刷する場合

「生産予定日」のチェックを外し、「生産指示リスト印刷」をクリックします。



### ①-2 生産予定日を指定し、生産指示リストを印刷する場合日付を変更する場合

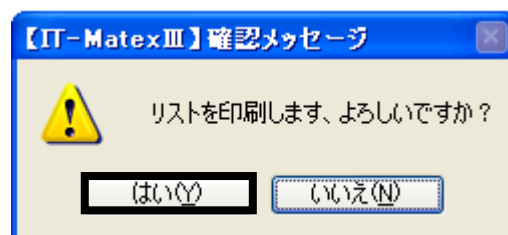
「生産予定日」のフィルタをクリックするとカレンダーが表示されるので、リストを発行したい日付を選択し、「生産指示リスト印刷」をクリックします。



#### 補足：

「生産予定日」のフィルタをクリックすると自動でチェックボックスにチェックが入ります。

② 確認メッセージが表示されるので、印刷する場合は[はい]、印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

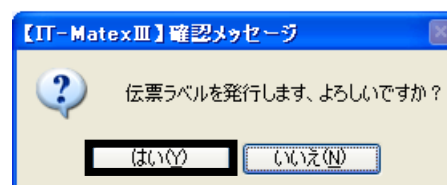


## ■ 生産指示の伝票ラベル一括発行

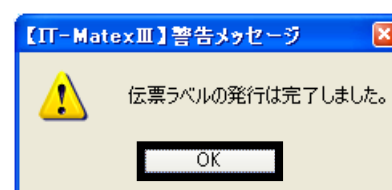
状態が「未処理」の伝票ラベルを一括で発行できます。

- ① ラベル発行するデータを表示し、〔伝票ラベル一括発行〕をクリックします。

- ② 確認メッセージが表示されるので、発行する場合は〔はい〕、発行しない場合は〔いいえ〕を選択してください。



- ③ 発行が完了すると報告メッセージが表示されるので、〔OK〕をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。

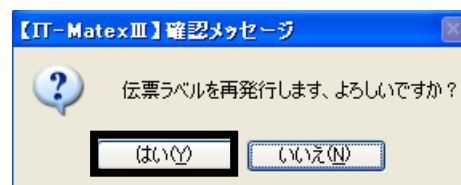


## ■ 生産指示の伝票ラベル個別発行

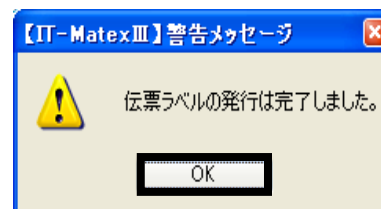
配合指示生成確定前に、ラベルを個別で1枚毎に発行します。

- ① 〔伝票ラベル個別発行〕をクリックします。

- ② 確認メッセージが表示されるので、印刷する場合は〔はい〕、印刷しない場合は〔いいえ〕を選択してください。

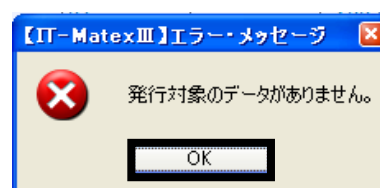


- ③ 発行が完了すると報告メッセージが表示されるので、〔OK〕をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



### 注意:

展開済のデータを選択した場合は、警告メッセージが表示されます。〔OK〕をクリックして、未処理のデータを発行してください。



## ■ 生産指示書印刷

各種指示作成データを生成後、生産指示毎に指示書を発行します。

① [生産指示書印刷]をクリックします。

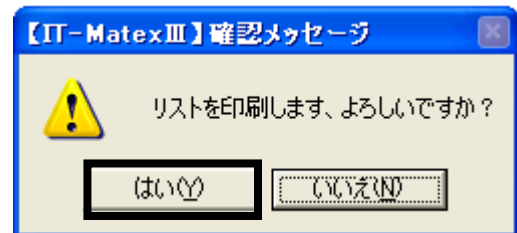
生産指示作成

保存(F1) 削除(F3) 生産指示リスト印刷(F4) 伝票ラベル一括発行(F6) 伝票ラベル個別発行(F7)

生産対象: 2:製品 伝票番号: 検索(F11)  
 生産予定日: 2012/02/13 製品コード: 各種指示作成(F5) **生産指示書印刷**

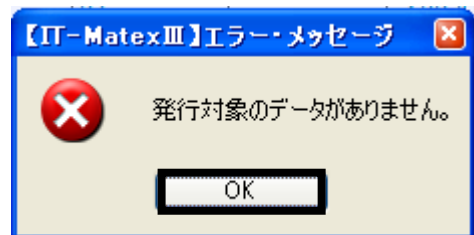
No.	伝票番号	コード	名称	分類名称	ロットNo.	予定日	製造重量(Kg)	生産量
1	120213001	0005	ビスケット		1111	2012/02/13	10.000000	100.000
2	120213002	333	ケーキ		1111	2012/02/13	10.010000	1.000
3	120213003	334	甘口ビスケット		1111	2012/02/13	10.000000	1.000

② 確認メッセージが表示されるので、  
 印刷する場合は[はい]、  
 印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

状態が未処理の場合は生産指示書の発行はできません。  
 未処理の場合に生産指示書の発行をしようとすると、  
 警告メッセージが表示されます。  
 [OK]をクリックし、展開済のデータを発行してください。



## ■ 生産指示作成の終了...

[終了]をクリックすると、【生産指示作成】管理画面を終了します。

生産指示作成

保存(F1) 削除(F3) 生産指示リスト印刷(F4) 伝票ラベル一括発行(F6) 伝票ラベル個別発行(F7) **終了(F12)**

生産対象: 2:製品 伝票番号: 111216001 検索(F11)  
 生産予定日: 2011/12/16 製品コード: 111111 各種指示作成(F5) 生産指示書印刷 合并生産指

# 配合指示作成

## 【生産管理＞配合指示作成】

配合指示作成

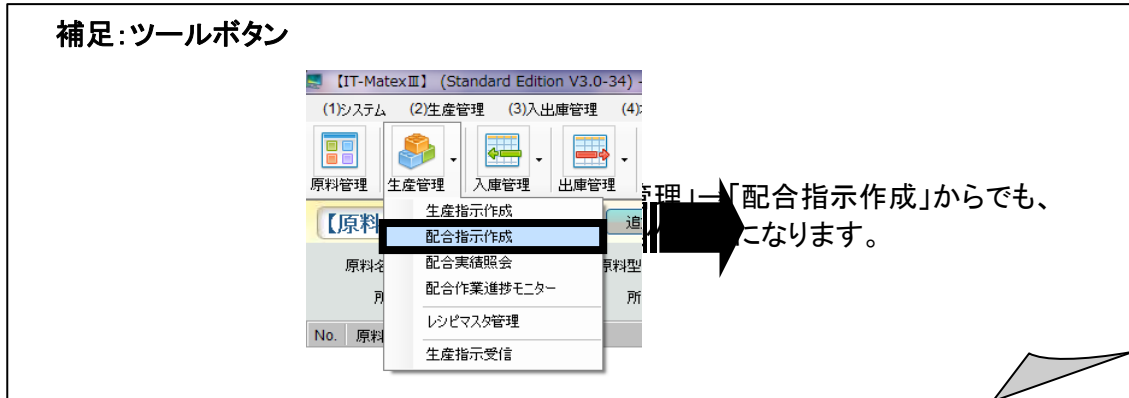
保存(F1) 伝票削除(F2) 行削除(F3) 配合指示書印刷(F4) 伝票すべて一括発行(F6) 伝票すべて個別発行(F7) 終了(F12)

伝票番号: [ ] 検索(F11) 配合コード: [ ] 配合型式: [ ]

配合予定日: 2011/12/16 配合名称: [ ] 配合量: [ ]

No.	展開	バッチ番号	配合ロット	原料コード	原料名称	指示数	実績数	コメント	配合状態	配合備考1	配合備考2	配合備考3
-----	----	-------	-------	-------	------	-----	-----	------	------	-------	-------	-------

### 補足: ツールボタン



## ■ 配合指示の修正(指示数のみ修正可能)

- ① 変更したい伝票番号を「伝票番号」のフィルタで選択します。  
(例) 伝票番号 120213001

配合指示作成

伝票番号: 120213001

配合予定日: DI120130002  
DI201201300001  
120202001  
120207001  
120207002  
120208001  
120213001  
2001

No.	展開
1	+
2	+

- ② 選択した伝票番号の内容が表示されるので、修正したい行の項目箇所をダブルクリックします。  
指示数のみ変更が可能です。

原料名称	指示数	実績数
牛乳	800.000...	0.000000
牛乳	750.000	0.000000
牛乳	750.000	0.000000
甘口ビス...	10.000.0...	0.000000
甘口ビス...	10.000.0...	0.000000

- ③ 変更終了後、[保存]をクリックします。  
データ保存が実行されると、データが赤字から黒字へ変わります。  
[保存]をクリックせず終了した場合は、データの保存は実行されません。

配合指示作成

保存(F1) 伝票削除(F2) 行削除(F3)

伝票番号: 120213001 検索(F11) 配合コード: 0005

配合予定日: 2012/02/08 配合名称: ビスケット

No.	展開	バッチ番号	配合ロット	原料コード	原料名称	指示数	実績数
1	-			0007	牛乳	750.000	0.000000
		1	1111			750.000	0.000000

## ■ 配合指示の伝票削除

- ① 削除する伝票番号をフィルタで選択します。  
(例) 091110001

No.	展開	バッチ番号	配合ロット

- ② 選択した伝票番号内容が画面表示された後、  
[伝票削除]をクリックします。

No.	展開	バッチ番号	配合ロット	原料コード	原料名
1	+	10		12	12

- ③ 確認メッセージが表示され、[はい]を選択すると選択した伝票データが削除されます。  
削除しない場合は[いいえ]を選択してください。  
尚、処理済の配合指示は削除することができません。

【IT-MatexⅢ】確認メッセージ

指定した伝票を削除します、よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

### 注意:

一度伝票の削除をすると、「生産指示作成」で「各種指示生成」を再度行ってもデータは反映されません。反映が必要な場合は、「生産指示作成」にある元データを削除して再作成してください。

## ■ 配合指示の行削除

実績を登録していない指示を削除します。

- ① 削除した指示の明細行を選択して[行削除]をクリックします。

配合指示作成

伝票番号: 091110001 検索(F11) 配合コード: 11 配合型式: 配合予定日: 2009/11/10 配合名称: 11 配合量: 1,000

No.	展開	バッチ番号	配合ロット	原料コード	原料名称	ロットNo	数量	実績数	コメント	配合状態
1	-	10		12	12		10,000.000	0.000		
1		-1					1,000.000	0.000		未処理

- ② 確認メッセージが表示されるので、[はい]を選択すると選択した伝票データが削除されます。削除しない場合は[いいえ]を選択してください。

【IT-MatexⅢ】確認メッセージ

指定したデータを削除します、よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

- ③ 行削除してから[保存]をクリックすると、行削除作業が保存されます。尚、処理済の配合指示は行削除することができません。

配合指示作成

伝票番号: 091110003 検索(F11) 配合コード: 11 配合予定日: 2009/11/10 配合名称: 11

No.	展開	バッチ番号	配合ロット	原料コード	原料名称	ロットNo
1	-	9000		12	12	
2			-2			

## ■ 配合指示書の印刷

- ① 印刷する「伝票番号」をフィルタで選択します。

配合指示作成

伝票番号: 091110001 配合予定日: 091110003

No.	展開	バッチ番号	配合ロット
-----	----	-------	-------

- ② 伝票内容が表示されるので、[配合指示書印刷]をクリックします。

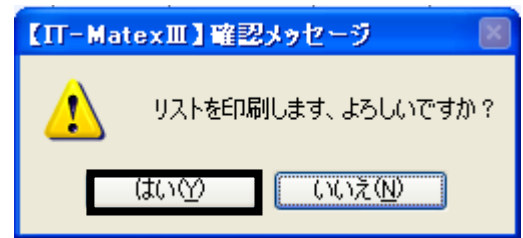
配合指示作成

伝票番号: 091110001 検索(F11) 配合コード: 11 配合予定日: 2009/11/10 配合名称: 11

No.	展開	バッチ番号	配合ロット	原料コード	原料名称	ロットNo	指示数
1	+	10		12	12		



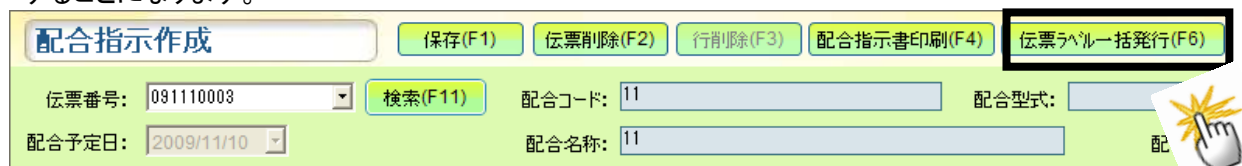
- ③ 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



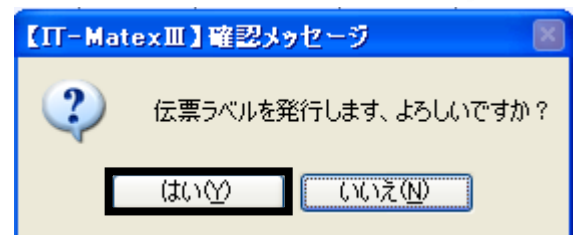
### ■ 配合指示の伝票ラベル一括発行

...配合指示登録された伝票ラベルを一括発行します。

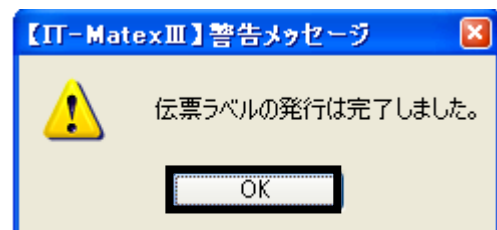
- ① [伝票ラベル一括発行]をクリックします。  
この時、伝票が画面表示されている場合でも、していない場合でも、全ての配合指示伝票ラベルを発行することになります。



- ② 確認メッセージが表示されます。  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

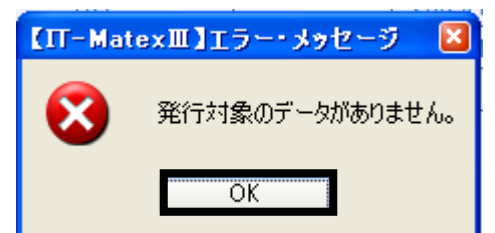


- ③発行が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



#### 注意:

配合指示登録済みのデータがある場合、  
警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、データ登録をしてから発行を行ってください。



## ■ 配合指示の伝票ラベル個別発行

伝票を選択し、ラベルを個別に発行します。

- ① ラベル発行する「伝票番号」をフィルタで選択します。

- ② 「伝票ラベル個別発行」をクリックします。

- ③ 確認メッセージが表示されます。  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

- ④ 発行が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。

**注意:**  
伝票選択を行っていない場合、  
エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、伝票選択をしてから発行をしてください。

## ■ 配合指示作成の終了

「終了」をクリックすると、【配合指示作成】管理画面を終了します。

# 配合実績照会

## 【生産管理>配合実績照会】

No.	展開	伝票番号	トータルバッチ数	カレントバッチ番号	製品コード	製品名称	製品ロット	原料コード	原料名称	原料ロット	有効期限	配合日時
-----	----	------	----------	-----------	-------	------	-------	-------	------	-------	------	------

**補足: ツールボタン**

「生産管理」→「配合実績照会」からでも、同じ操作画面になります。

## ■ 配合実績照会の検索

No.	展開	伝票番号	トータルバッチ数	カレントバッチ番号	製品コード	製品名称	製品ロット	原料コード	原料名称	原料ロット	有効期限
-----	----	------	----------	-----------	-------	------	-------	-------	------	-------	------



- ① 「配合コード一部」「原料コード一部」「配合日」「配合ロットNo」「原料ロットNo」「伝票番号」「担当者」の検索条件を入力もしくは選択し、[検索]をクリックします。
- ② 条件に該当するデータが一覧表示されます。

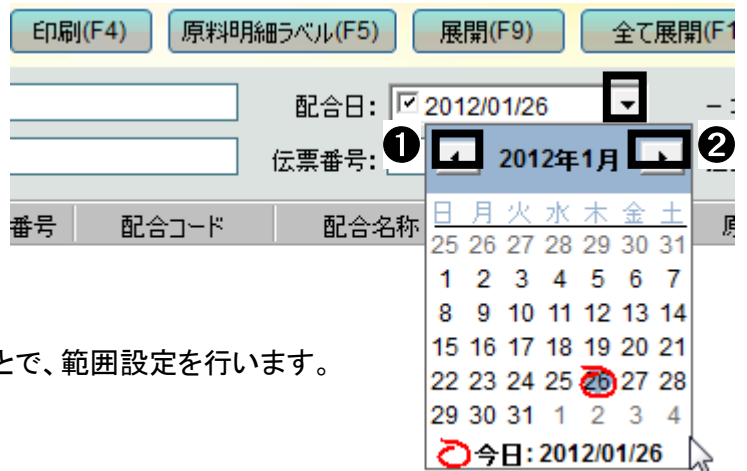
**補足:**  
配合日のチェックを両方とも外し、条件入力せずに[検索]をクリックすると、全ての配合実績データを表示します。

※【**配合日検索方法**】

「配合日」のフィルタをクリックするとカレンダーが表示されます。

カレンダーの日付を選択し、  
配合日を設定します。

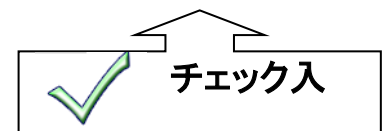
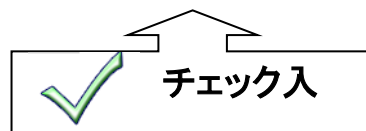
- ①  ... 前月のカレンダーを表示
- ②  ... 翌月のカレンダーを表示



検索条件を配合日で検索する場合は、  
チェックボックスに チェックを入れる・外す ことで、範囲設定を行います。

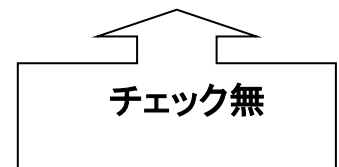
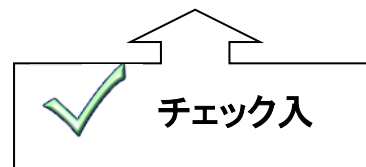
・ **範囲指定をする場合**

(例) 2012年01月01日～2012年01月26日



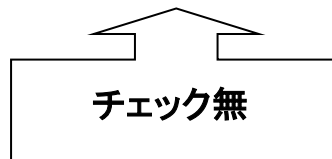
・ **指定日以降の場合**

(例) 2012年01月01日以降



・ **指定日以前の場合**

(例) 2012年01月26日以前



**展開(F9)**

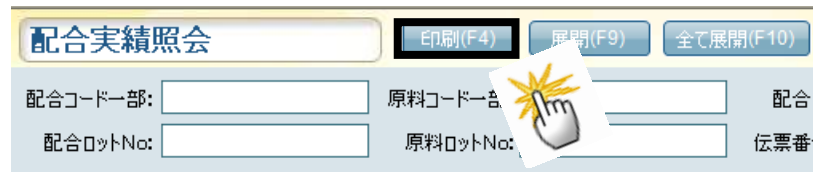
... 抽出データの中で選択したデータを展開表示します。

**全て展開(F10)**

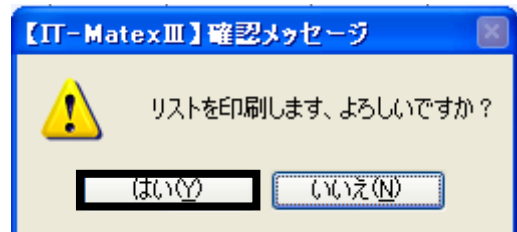
... 抽出データ内の全データを展開表示します。

## ■ 配合実績照会の印刷

- ① [印刷]をクリックします。

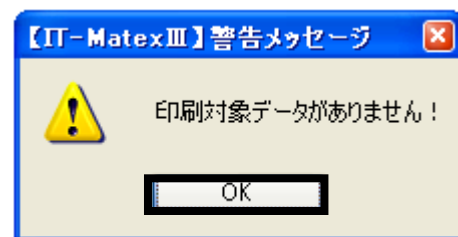


- ② 確認メッセージが表示されるので、印刷する場合は[はい]、印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



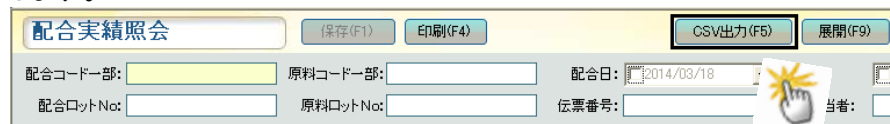
### 注意:

データ表示がされていない場合、[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。[OK]をクリックし、データを表示させてから印刷を行ってください。

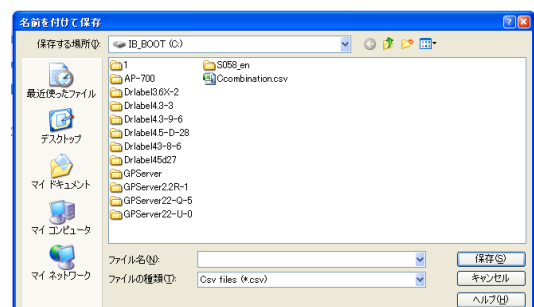


## ■ 配合実績照会の CSV 出力

- ① [CSV 出力]をクリックします。



- ② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。「ファイル名」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



## ■ 配合実績照会の DI2000 各種ラベル再発行

配合実績照会 [保存(F1)] [印刷(F4)] [CSV出力(F5)] [展開(F9)] [全て展開(F10)] [終了(F12)]

製品コード部: [ ] 原料コード部: [ ] 配合日: [2016/08/29] -> [2016/08/29] [検索(F11)]

製品ロットNo: [ ] 原料ロットNo: [ ] 伝票番号: [ ] 担当者: [ ] [DI2000各種ラベル再発行]

- ①DI2000IIで発行したの各種ラベルを再発行します。  
デフォルトでマスクをかけています。リスト中の配合実績を選択すると有効になります。

配合実績照会 [保存(F1)] [印刷(F4)] [CSV出力(F5)] [展開(F9)] [全て展開(F10)] [終了(F12)]

製品コード部: [ ] 原料コード部: [ ] 配合日: [2016/08/29] -> [2016/08/29] [検索(F11)]

製品ロットNo: [ ] 原料ロットNo: [ ] 伝票番号: [ ] 担当者: [ ] [DI2000各種ラベル再発行]

No.	展開	伝票番号	トータルバッチ数	カレントバッチ番号	製品コード	製品名称	製品ロット	原料コード	原料名称	原料ロット	有効期限
1	-	160829001	3		1001	玉子チャーハン					
				1				001	玉子	111	
				1				003	ライス	111	
				2				001	玉子	111	
				2				003	ライス	111	
				3				001	玉子	111	
				3				003	ライス	111	

- ②[DI2000 各種ラベル再発行]をクリックすると発行選択画面が表示されます。  
発行したいラベル種類を選択します。

DI2000各種ラベル再発行

原料明細ラベル  原料結果ラベル  配合結果ラベル

[印刷(F4)] [終了(F5)]

- ③[印刷]ボタン或いは[F4]を押すと確認メッセージが表示され、[はい]を押すと発行されます、[いいえ]を押すとキャンセルします。

DI2000各種ラベル再発行

原料明細ラベル  原料結果ラベル  配合結果ラベル

[印刷(F4)] [終了(F5)]

【IT-Matex III】確認メッセージ

⚠ 原料明細ラベルを発行します。よろしいですか？

[はい(Y)] [いいえ(N)]

4.[終了]を押すと発行をキャンセルします。

DI2000各種ラベル再発行

原料明細ラベル     原料結果ラベル     配合結果ラベル

印刷(F4)    終了(F5)

#### ■ 配合実績照会の終了

[終了]をクリックすると、【配合実績照会】管理画面を終了します。

配合実績照会    印刷(F4)    展開(F9)    全て展開(F10)    終了(F12)

配合コード一部:    原料コード一部:    配合日: 2010/01/07    -> 2010/01/07    検索(F11)

配合ロットNo:    原料ロットNo:    伝票番号:    担当者:

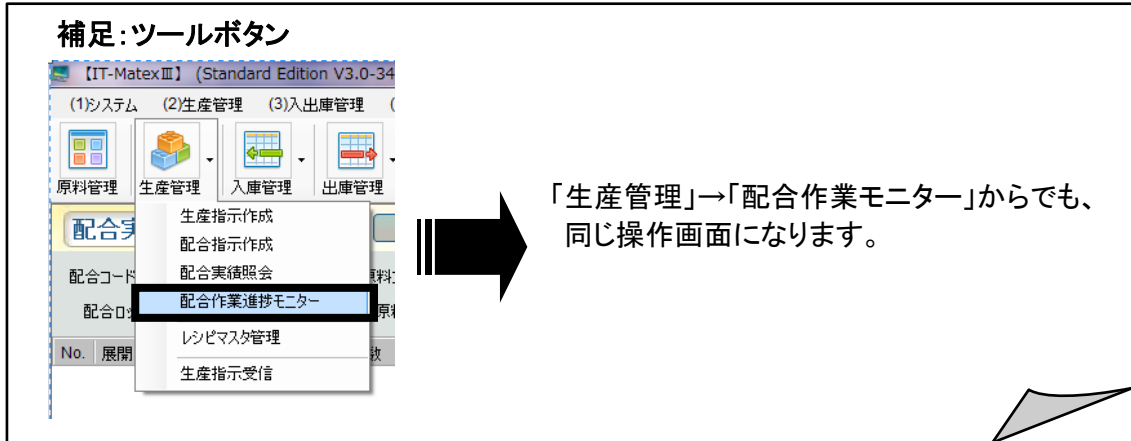
## 配合作業進捗モニター

### 【生産管理＞配合作業進捗モニター】

配合作業進捗モニター 終了(F12)

伝票番号:  ->  検索(F11)

No.	伝票番号	配合コード	配合型式	配合名称	指示件数	完了件数	残件数	完了率	投入完了件数	投入完了率
-----	------	-------	------	------	------	------	-----	-----	--------	-------



#### ■ 配合作業進捗モニター

現在の配合作業の進捗状況は伝票単位で表示します。

#### ①-1 伝票番号を指定して一覧表示させたい場合

「伝票番号」欄に画面表示したい伝票番号の範囲を指定し、検索をクリックすると、指定した該当範囲の進捗状況が一覧で表示されます。

(例) 伝票番号140314001～140314008の進捗状況を一覧表示させる。

伝票番号:  ->  検索(F11)

配合作業進捗モニター

伝票番号:  ->  検索(F11)

No.	伝票番号	配合コード	配合名称	指示件数	完了件数	残件数	完了率
1	140314001	1000	製品1000	2	1	1	50.00%
2	140314002	1000	製品1000	2	1	1	50.00%
3	140314008	1000	製品1000	3	0	3	0.00%



①-2 全てのデータ表示一覧の場合

「伝票番号」欄を空欄にしたまま[検索]をクリックすると、全進捗状況が一覧で表示されます。

伝票番号:  ->  検索(F11) 

No.	伝票番号	配合コード	配合名称	指示件数	完了件数	残件数	完了率
1	140314001	1000	製品1000	2	1	1	50.00%
2	140314002	1000	製品1000	2	1	1	50.00%
3	140314008	1000	製品1000	3	0	3	0.00%
4	2001	1000	製品1000	1	0	1	0.00%
5	2002	1000	製品1000	2	0	2	0.00%
	合計			10	2	8	20.00%

■ 配合作業進捗モニターの終了

[終了]をクリックすると、【配合作業進捗モニター】管理画面を終了します。

配合作業進捗モニター 終了(F12) 

補足：一覧に表示されたデータの詳細内容を確認したい場合

配合作業進捗一覧で、詳細内容を確認したい一行をダブルクリックすると、該当伝票の配合指示作成画面に遷移し、詳細内容が表示されます。

(例)伝票番号 140314001 の詳細を確認したい場合

1	140314001	1000	製品1000	2	1	1	50.00%
2	140314002	1000	製品	2	1	1	50.00%



配合指示作成 保存(F1) 伝票削除(F2) 行削除(F3) 配合指示書印刷(F4) 伝票一括発行(F6) 伝票個別発行(F7) 終了(F12)

伝票番号:  検索(F11) 配合コード:  配合型式:

配合予定日:  配合名称:  配合量:

No.	展開	バッチ番号	配合ロット	原料コード	原料名称	配合予定日時	指示数	実績数	グループ	配合状態	配合備考1	配合備考2	配合備考3
1	+			0001	原料0001		33.333	33.333					
2	+			0002	原料0002		0.077	0.000					

# レシピマスタ管理

## 【生産管理>レシピマスタ管理】

製品のレシピマスタ登録、修正をします。

**補足: ツールボタン**

【IT-MatexⅢ】 (Standard Edition V3.0-34)

(1)システム (2)生産管理 (3)入出庫管理 (4)

原料管理 生産管理 入庫管理 出庫管理

配合

伝票番

No. 伝

生産指示作成  
配合指示作成  
配合実績照会  
配合作業進捗モニター  
**レシピマスタ管理**  
生産指示受信

「生産管理」→「レシピデータ管理」からでも、同じ操作画面になります。

## ■ レシピマスタの新規作成

- ① レシピ側(左枠)の[検索]をクリックすると、マスタ管理>製品マスタの登録済データが全て表示されます。

### 補足:

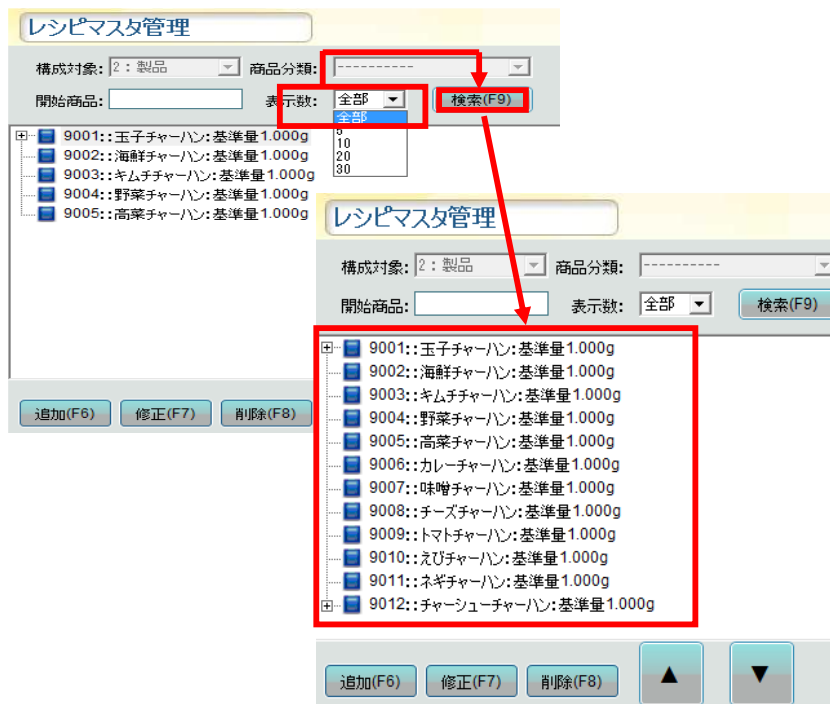
「開始製品」で番号を入力して検索した場合、入力した番号以降の番号データを表示させることができます。

(例) 開始商品に「9001」と入力した場合、～9000 までのレシピは表示されず、9001～のレシピが表示されます。

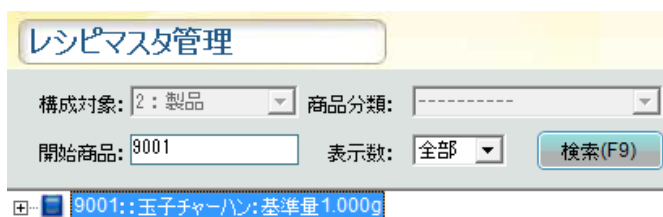
9001::	玉子チャーハン:基準量1.000g
9002::	海鮮チャーハン:基準量1.000g
9003::	キムチチャーハン:基準量1.000g
9004::	野菜チャーハン:基準量1.000g
9005::	高菜チャーハン:基準量1.000g
9006::	カレーチャーハン:基準量1.000g
9007::	味噌チャーハン:基準量1.000g
9008::	チーズチャーハン:基準量1.000g
9009::	トマトチャーハン:基準量1.000g
9010::	えびチャーハン:基準量1.000g
9011::	ネギチャーハン:基準量1.000g
9012::	チャーシューチャーハン:基準量1.000g

**補足:**

「表示数」フィルタで表示するデータ数を「全部・5・10・20・30」から選択できます。  
※デフォルトは「5」に設定されています。



②作成したいレシピデータをクリックし、  
選択します。(例)9001



③原料側(右枠)画面で操作原料の選択をします。

下図のように、検索条件を全て空欄にしたまま[検索]をクリックすると、登録されている原料項目が全て表示されます。

No.	コード	名称
1	001	白米
2	002	生玉子
3	003	ハム
4	004	葱
5	005	調味料

補足:

ページ表示: ページ 001 /002  
「001」該当の頁を表示します。「002」合計の頁を表示します。

◀ をクリックすると前頁を表示します。

▶ をクリックすると次頁を表示します。

※原料側(右枠)で条件入力し、原料を絞り込み表示させる場合

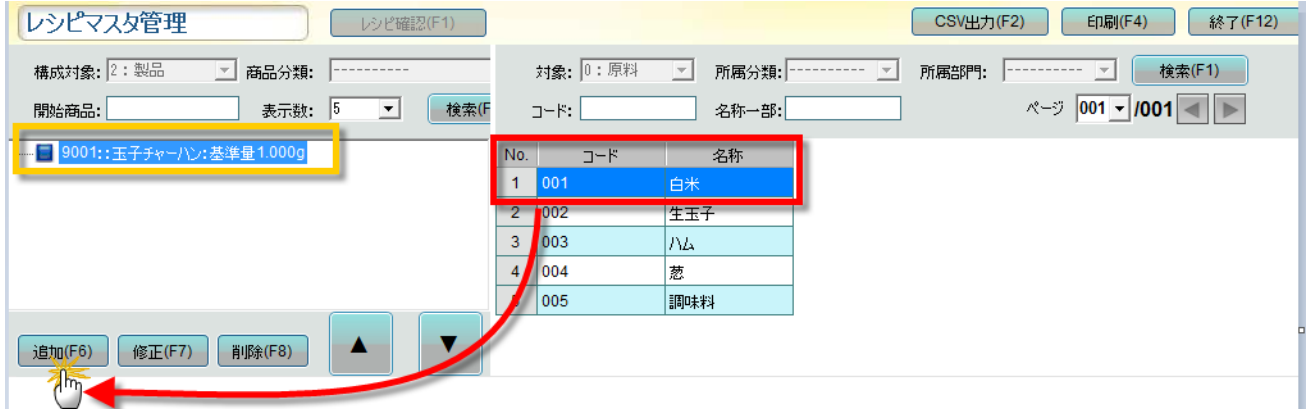
.....(例)原料「豚肉」を検索します。

名称一部に「豚」と入力し、[検索]をクリックすると、原料一覧に「豚肉」が表示されます。

No.	コード	名称	所属分類コード	所属分類	所属部門
	005	豚肉			

項目	内容
対象	デフォルトで設定されます。
所属分類	原料分類マスタで設定した分類がフィルタで選択できます。
所属部門	原料部門マスタで設定した部門がフィルタで選択できます。
コード	原料コードを入力します。 (コード一部のみでも検索可。)
名称一部	原料の名称を入力します。(名称の一部のみでも検索可。)

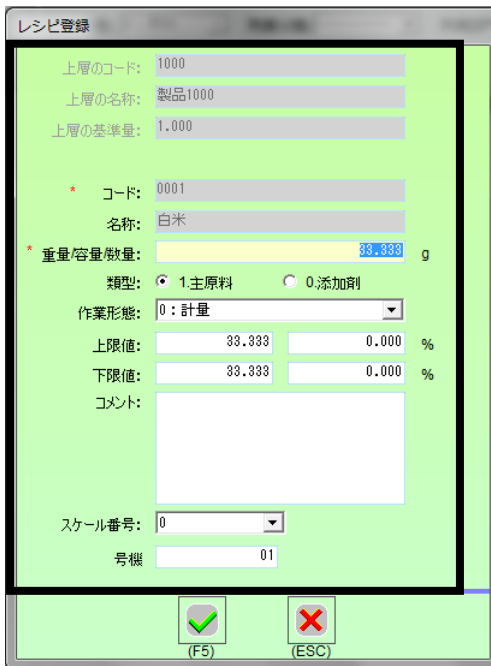
④該当レシピに追加したい原料を選択し、[追加]をクリックします。



⑤[追加]をクリックすると、追加選択した原料のポップアップページが表示されます。

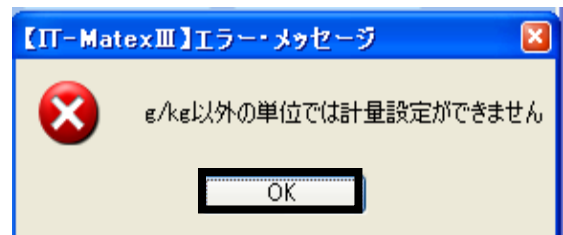
詳細内容を登録し、をクリックすると、レシピに原料データが追加されます。

をクリックした場合、ポップアップ画面が閉じられ、レシピへの原料追加は実行されません。



**注意:**

原料の単位がg/kg以外の場合は、作業形態の計量設定ができません。

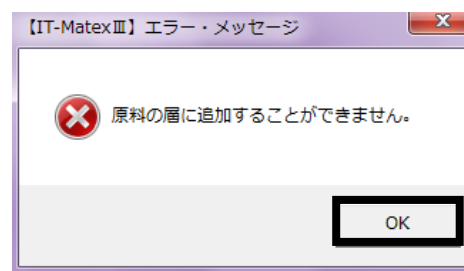
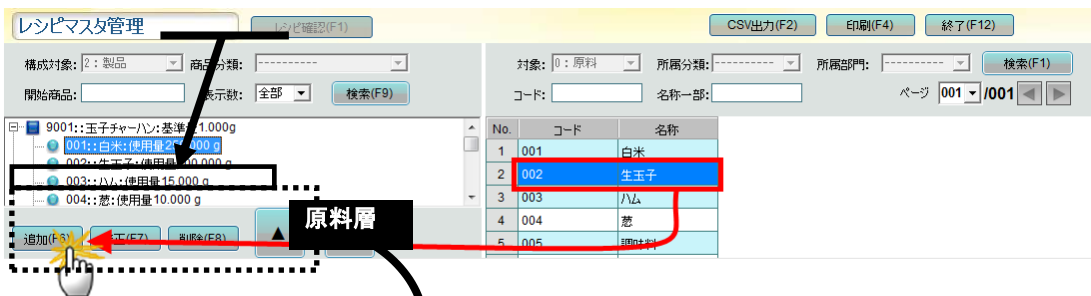
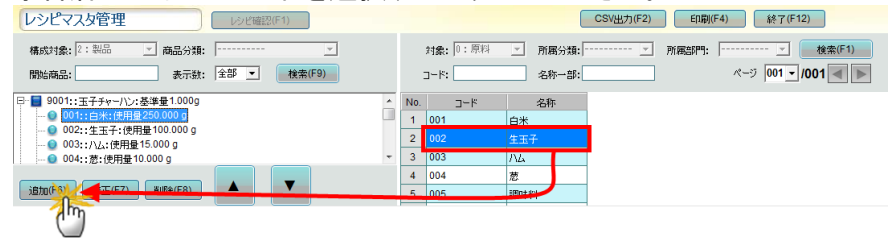


作業形態は 1:非計量、2:表示のみ、3:非表示  
4:計量のみいずれかに設定して登録してください。

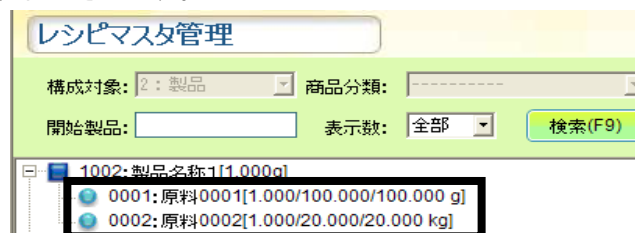
必須項目	内容
* 重量/容量/数量	英数字32桁まで入力可能
類型	原料の種類を表示します。【1:主原料 0:添加剤】
作業形態	0:計量 DI2000では、秤で計量・置数入力の両方が可能です。 1:非計量 DI2000では、置数入力のみ可能です。 2:表示のみ DI2000では、画面にデータ表示はさせませんが計量はしません。 3:非表示 DI2000では、画面表示も計量もしません。 但し、配合指示には表示させます。 4:計量のみ DI2000では、秤で計量・置数入力の両方が可能ですが、在庫には反映しません。
上限値	レシピの上限値を入力します。 【%を入力すると、自動計算されます。】
下限値	レシピの下限値を入力します。 【%を入力すると、自動計算されます。】
コメント	全角・半角64文字以内で入力できます。 登録した内容は【配合指示作成】中「コメント」に反映されます。
スケール番号	DI2000の秤番号を設定します。 「0」DI2000と接続した全ての秤を使えます。 「1」DI2000と接続した秤番号1を使えます。 「2」DI2000と接続した秤番号2を使えます。 ※もし「原料マスタ管理」と「レシピ管理」に両方にスケール番号を登録した場合は、「レシピ管理」の設定を優先します。
号機	DI2000 号機の設定です。カンマ区切りで入力することで、最大5台まで設定する事が可能です。デフォルト“00”のまま設定した場合は、自動的に全ての DI2000 号機に接続されます。 注:もしアイテムマスタとレシピマスタに両方号機を設定した場合はレシピマスタの方を優先します。 <b>補足:</b> (例)原料01、02、03号機で配合したい場合は「01, 02, 03」で設定します。

**注意:**

レシピ展開後の原料層に原料を追加することは出来ません。  
原料層ではなくレシピ名を選択するようにして下さい。

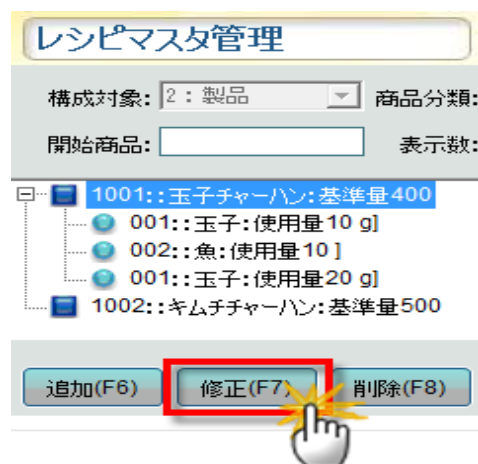


⑥ 製品データの中に構成原料データが紐付けされます。





## ■ 製品構成の修正

- 修正する構成原料データをダブルクリック。もしくは、修正する構成原料データを選択し[修正]をクリックします。

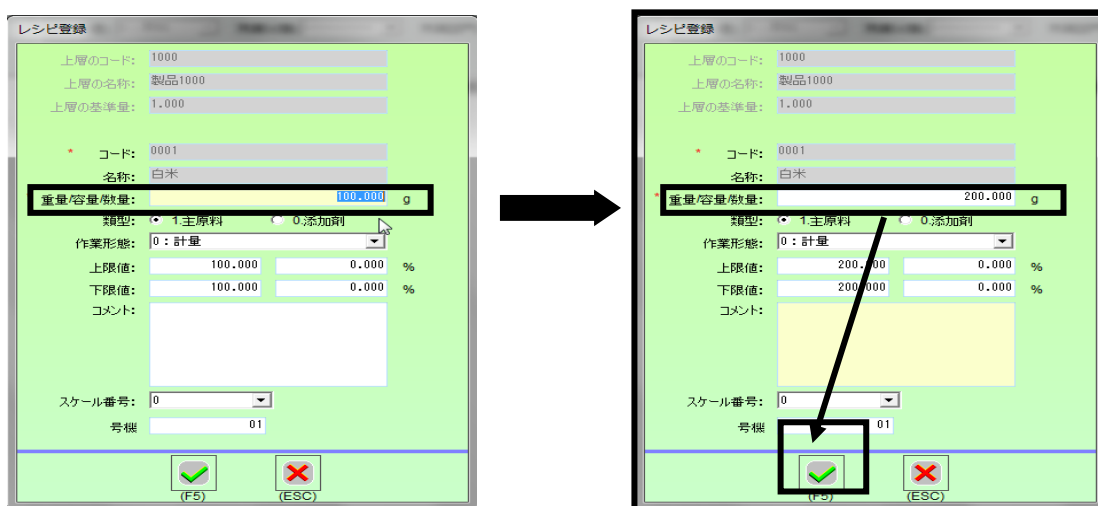


- レシピ登録画面が表示され、コード・名称以外の修正ができます。

内容変更後、 をクリックすると登録保存されます。

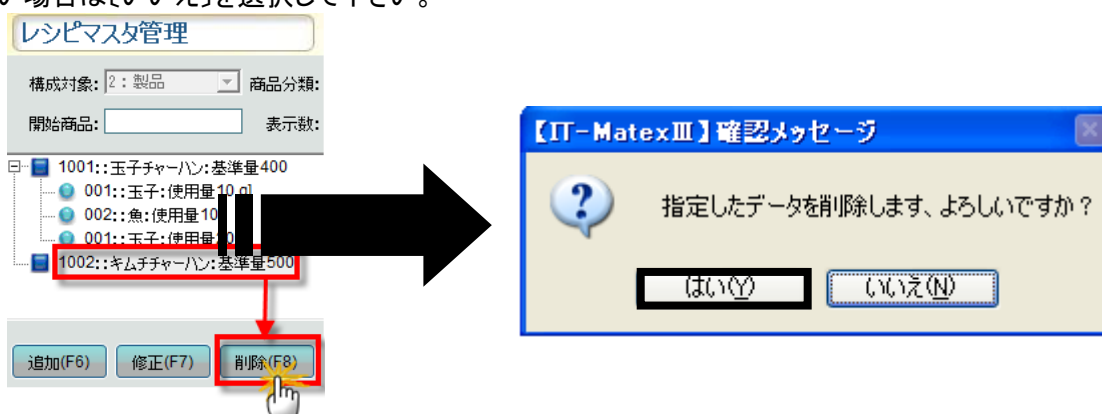
 をクリックすると画面を閉じ、登録保存はされません。

(例) 重量/容量/数量 100g → 200gに修正する場合



## ■ 製品構成の削除

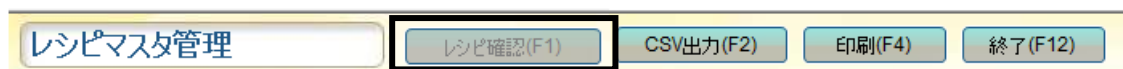
- 削除する構成原料データを選択し[削除]をクリックします。
- [はい]を選択すると、選択したデータのみ削除されます。削除しない場合は[いいえ]を選択して下さい。



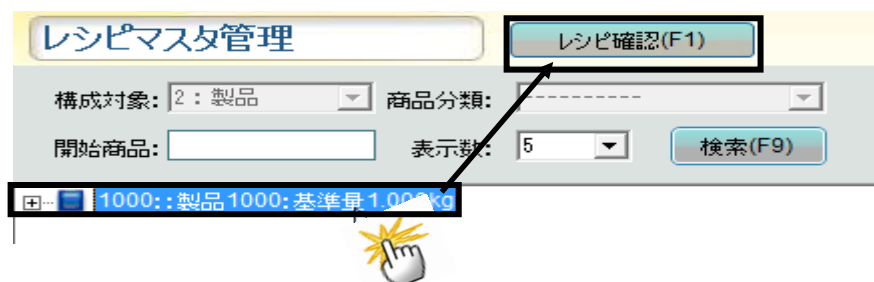


## ■ レシピ確認

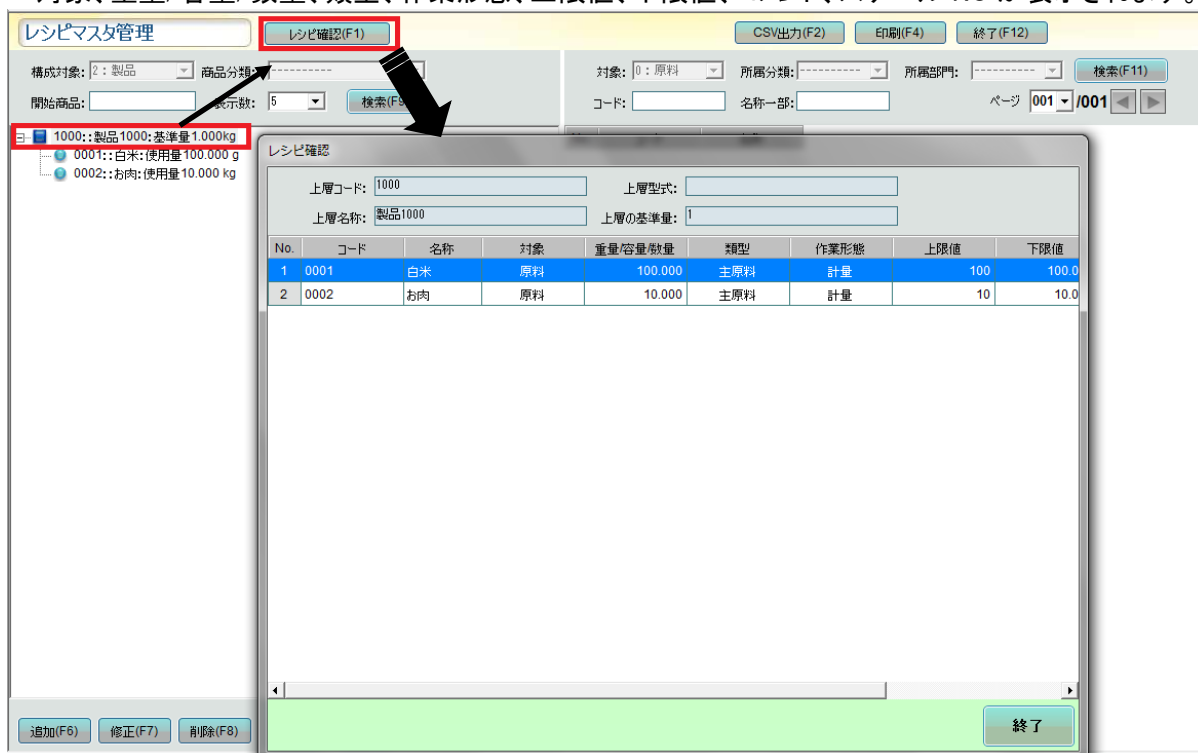
上下層のレシピ内容を確認します。デフォルトでマスクをかけます。



①カーソルは確認したい上層レシピを選択します。【レシピ確認】ボタンのマスクを解消されます。



②選択したレシピの上層のコード、型式(高級版以上使える機能)、名称、基準量及び下層のコード、名称、対象、重量/容量/数量、類型、作業形態、上限値、下限値、コメント、スケール NO が表示されます。



③レシピ確認画面を閉じる場合は右下の【終了】ボタンを押します。

レシピマスタ管理

レシピ確認(F1) CSV出力(F2) 印刷(F4) 終了(F12)

構成対象: 2: 製品 商品分類: -----

対象: 0: 原料 所属分類: ----- 所属部門: ----- 検索(F11)

開始商品: 表示数: 5 検索(F9)

コード: 名称一部: ページ 001 / 001

1000::製品1000;基準量1.000kg  
0001::白米;使用量100.000g  
0002::お肉;使用量10.000kg

レシピ確認

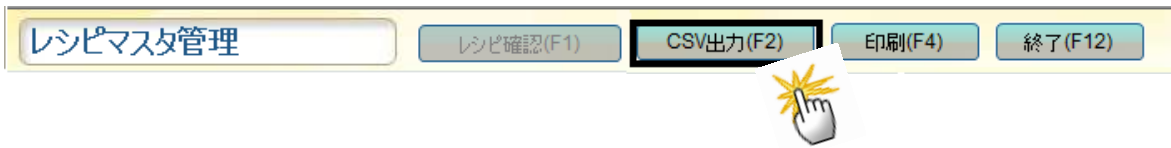
上層コード: 1000 上層型式: -----  
上層名称: 製品1000 上層の基準量: 1

No.	コード	名称	対象	重量/容量/数量	類型	作業形態	上限値	下限値
1	0001	白米	原料	100.000	主原料	計量	100	100.0
2	0002	お肉	原料	10.000	主原料	計量	10	10.0

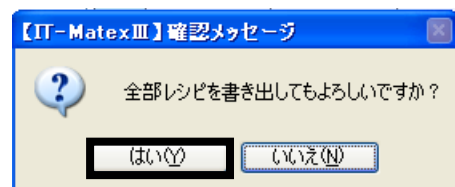
追加(F6) 修正(F7) 削除(F8) 終了

## ■ レシピマスタの CSV 出力

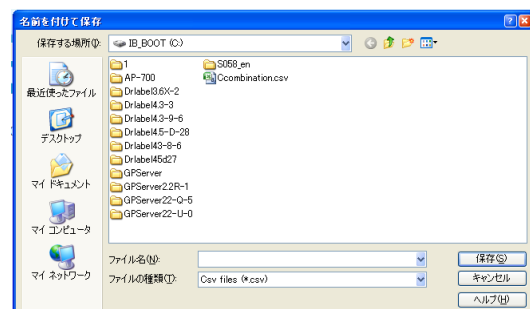
① [CSV出力]をクリックします。



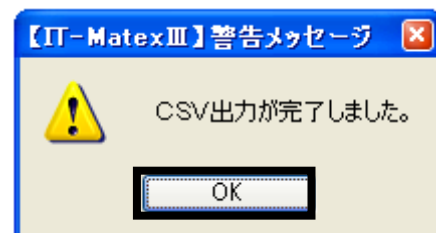
② 確認メッセージが表示されます。  
出力する場合は[はい]、  
出力しない場合は[いいえ]を選択してください。



③ ファイル指定の画面が表示されるので、  
保存先を指定します。

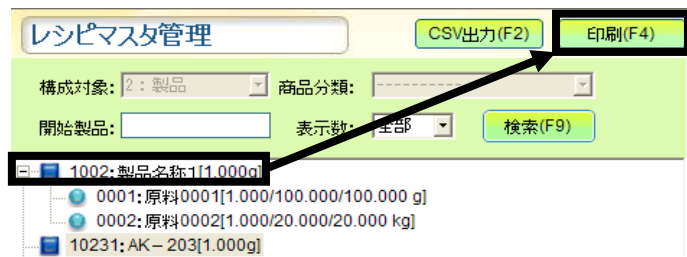


④出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



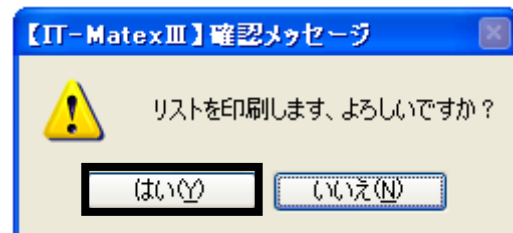
## ■ レシピマスタの印刷

- ① 構成がある製品を選択し、  
[印刷]をクリックします。



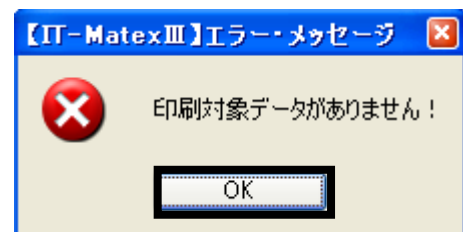
- ② 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

印刷を実行すると、  
選択した製品のリストが印刷されます。



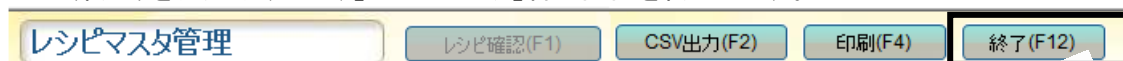
### 注意:

レシピデータが未選択、あるいは構成原料データが登録されていない製品を選択し、  
[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、  
データの再選択を行ってから印刷を行ってください。



## ■ レシピマスタの終了

[終了]をクリックすると、【レシピマスタ】管理画面を終了します。

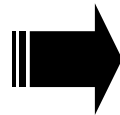
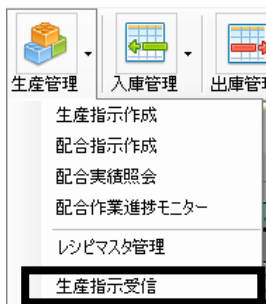


## 生産指示データ受信

### 【生産管理>生産指示受信】

データ受信結果		
受信件数:	0	件
エラー件数:	0	件
追加件数:	0	件
更新件数:	0	件
削除件数:	0	件

### 補足: ツールボタン



「生産管理」→「生産指示受信」からでも、  
同じ操作画面になります。

### ■ 生産指示データ受信

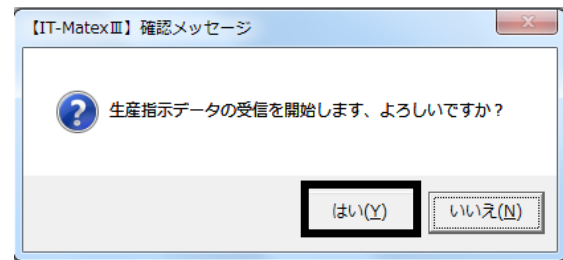
テキストファイル(CSV)で保存されている生産指示データを取り込みます。

予め、「システム設定」>「システムパラメータ設定」→「送受信ファイル設定」で設定を行ってください。

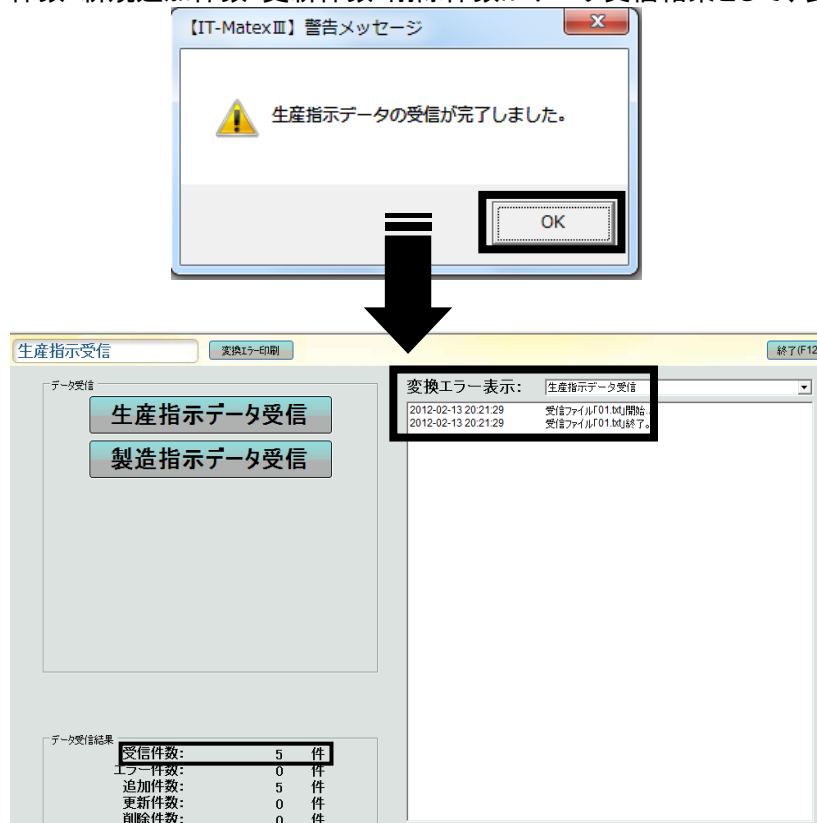
① [生産指示データ受信]をクリックします。

データ受信結果		
受信件数:	0	件
エラー件数:	0	件
追加件数:	0	件
更新件数:	0	件
削除件数:	0	件

- ② 確認メッセージが表示されるので  
データを受信する場合は[はい]、  
受信しない場合は[いいえ]を選択してください。

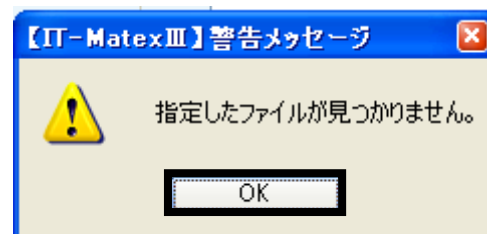


- ③ 報告メッセージが表示されるので、[OK]をクリックすると、  
受信件数・エラー件数・新規追加件数・更新件数・削除件数がデータ受信結果として、表示されます。



**注意:**

生産指示データ受信の設定を行っていない場合、エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、生産指示データ受信の設定を行ってください。



## ■ 変換エラー表示

[変換エラー表示]フィルターで、「生産指示データ受信」を選択します。

※「空白」にするとエラー欄に表示はされません。

記録されたエラー内容はインストール先の IT-MATEX-III\TMP に保存されます。  
日付ごとにファイルが作成され、一日に複数回受信する場合には、前回受信したデータに上書きをして取り込みます。

2012-02-13 20:25:07	受信ファイル「01.txt」開始...
[生産]2012-02-13 20:25:07	ER [#0001]データ項目の数は一致していません!
[生産]2012-02-13 20:25:07	ER [#0002]データ項目の数は一致していません!
[生産]2012-02-13 20:25:08	ER [#0003]データ項目の数は一致していません!
[生産]2012-02-13 20:25:08	ER [#0004]データ項目の数は一致していません!
[生産]2012-02-13 20:25:08	ER [#0005]データ項目の数は一致していません!
2012-02-13 20:25:08	受信ファイル「01.txt」終了。

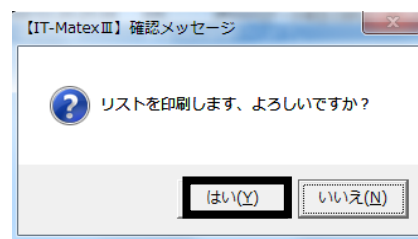
## ■ 変換エラー印刷

①変換エラー表示欄で印刷する生産指示データ受信を選択します。

②エラーメッセージが表示されます。[変換エラー印刷]ボタンをクリックします。

③確認メッセージが表示されます。

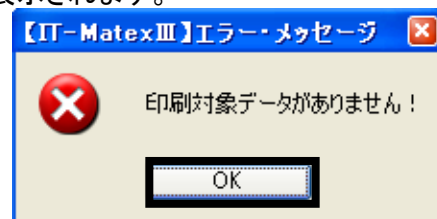
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。  
印刷を実行すると、選択した製品のリストが印刷されます。



### 注意:

変換エラー表示が未選択、または変換エラー表示内で空欄を選択して[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。

[OK]をクリックし、  
変換エラー表示欄の「生産指示データ受信」選択を行ってから印刷を行ってください。



■ 生産指示データ受信の終了

[終了]をクリックすると、【生産指示データ受信】管理画面を終了します。

生産指示受信

変換エラー印刷

終了(F12)





## 配合指示データ受信

生産指示受信

変換エラー印刷

終了(F12)

データ受信

生産指示データ受信

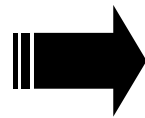
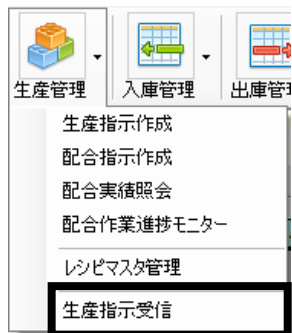
配合指示データ受信

変換エラー表示:

データ受信結果

受信件数:	0	件
エラー件数:	0	件
追加件数:	0	件
更新件数:	0	件
削除件数:	0	件

### 補足: ツールボタン



「生産管理」→「生産指示受信」からでも、  
同じ操作画面になります。

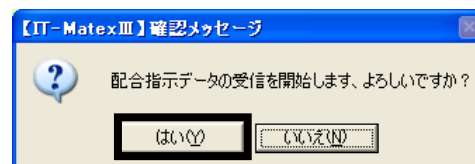
## ■ 配合指示データ受信

テキストファイル(CSV)で保存されている配合指示データを取り込みます。  
予め、「システム設定」>「システムパラメータ設定」→「送受信ファイル設定」で設定を行ってください。

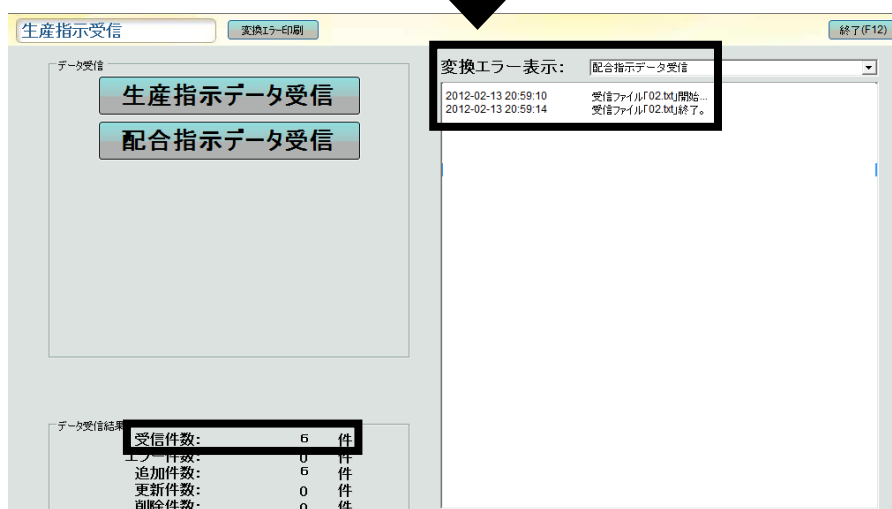
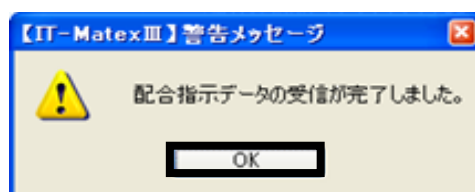
- ① [配合指示データ受信]をクリックします。



- ② 確認メッセージが表示されるので  
データ受信する場合は[はい]、  
受信しない場合は[いいえ]を選択してください。

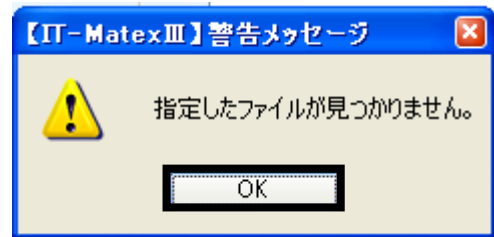


- ③ 報告メッセージが表示されるので、[OK]をクリックすると、  
受信件数・エラー件数・新規追加件数・更新件数・削除件数がデータ受信結果として、表示されます。



**注意:**

配合指示データ受信の設定を行っていない場合、  
エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、  
配合指示データ受信の設定を行ってください。

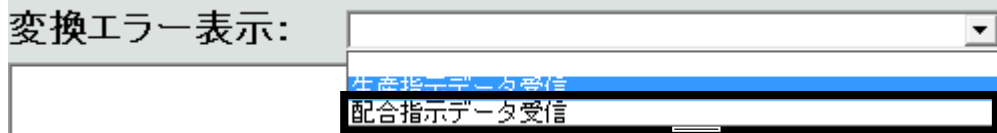


**■ 変換エラー表示**

「配合指示データ受信」、「配合指示データ受信」を行うことで、表示されたエラーを確認できます。  
[変換エラー表示]フィルターで、「配合指示データ受信」または「配合指示データ受信」を選択します。  
※「空白」にするとエラー欄に表示はされません。

選択した受信項目に該当する受信エラーが表示されます。

(例)「配合指示データ受信」を選択する場合

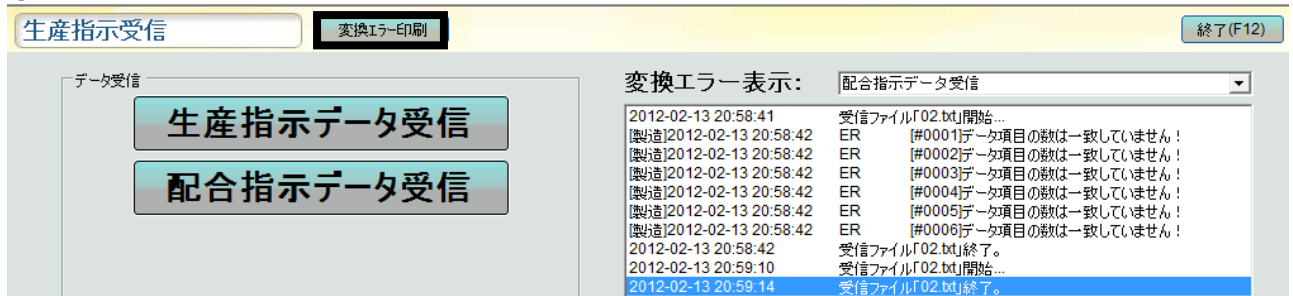


記録されたエラー内容はインストール先の IT-MATEX-III¥TMP に保存されます。  
日付ごとにファイルが作成され、一日に複数回受信する場合には、前回受信したデータに上書きをして取り込みます。

受信ファイル「配合指示データ.txt」開始...			
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0001]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0002]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0003]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0004]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0005]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0006]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0007]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0008]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0009]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:55	ER	[#0010]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:56	ER	[#0011]データ項目の数は一致していません!
配合	2009-11-12 12:12:56	ER	[#0012]データ項目の数は一致していません!
受信ファイル「配合指示データ.txt」終了...			

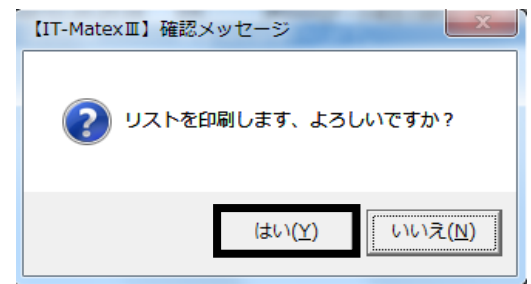
## ■ 変換エラー印刷

① 変換エラー表示欄に配合指示データ受信を選択します。



② エラーメッセージが表示されます。[変換エラー印刷]ボタンをクリックします。

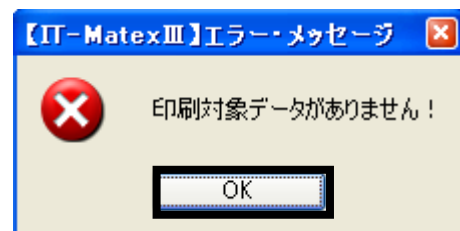
③ 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。  
印刷を実行すると、選択した製品のリストが印刷されます。



### 注意:

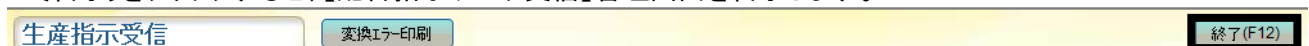
変換エラー表示が未選択、または変換エラー表示内で空欄を選択して[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。

[OK]をクリックし、  
変換エラー表示欄の「配合指示データ受信」で  
データを選択してから、印刷を行ってください。

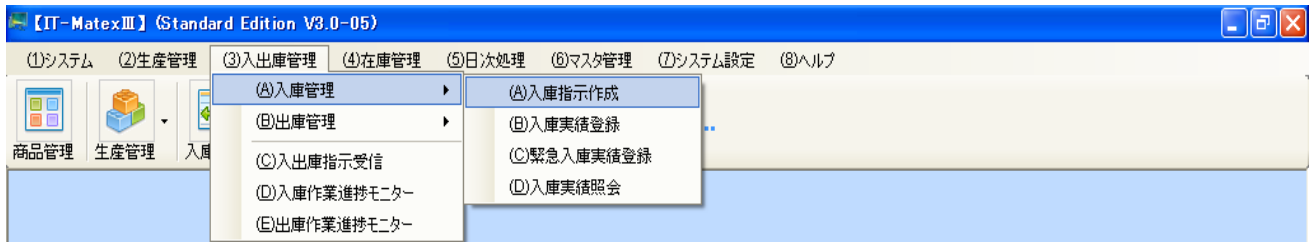


## ■ 配合指示データ受信の終了

[終了]をクリックすると、【配合指示データ受信】管理画面を終了します。

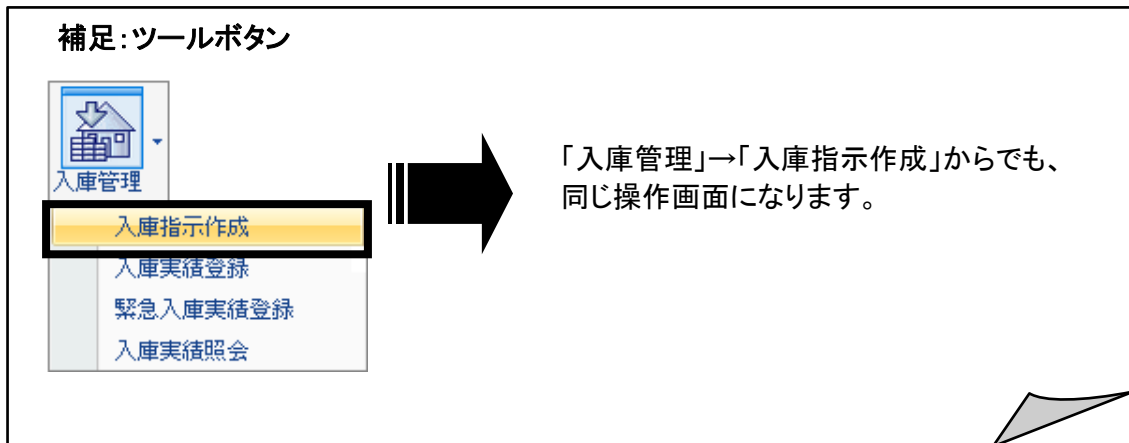


# 入 出 庫 管 理

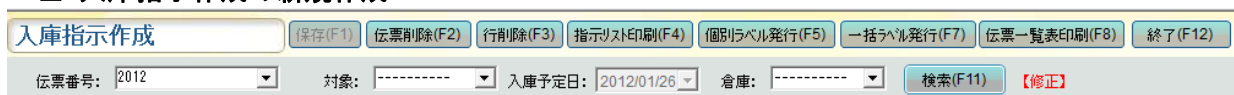


## 入庫指示作成

【入出庫管理>入庫管理>入庫指示作成】



### ■ 入庫指示作成の新規作成



- ① 「伝票番号」に半角英数字16桁以内で伝票番号を入力します。  
[Enter]キーを押すと入力した番号が確定され、一覧に新規入庫指示行が作成されます。
- ② 「対象」フィルタで「0:原料」「2:製品」のどちらかを選択します。  
(例)対象:「原料」を設定した場合、一覧表ではマスタに登録済の原料データのみが表示されます。



③「入庫予定日」フィルタをクリックすると  
カレンダーが表示されます。  
カレンダーの日付を選択し、入庫予定日  
を設定します。

① ◀ … 前月のカレンダーを表示

② ▶ … 翌月のカレンダーを表示



④「倉庫」フィルタで倉庫名を選択します。

### ■ 新規入庫指示の登録

入庫指示作成 [保存(F1)] [伝票削除(F2)] [行削除(F3)] [指示リスト印刷(F4)] [個別行レベル発行(F5)] [一括レベル発行(F7)] [伝票一覧表印刷(F8)] [終了(F12)]

伝票番号: 20120124 対象: 0:原料 入庫予定日: 2012/01/24 倉庫: 01:倉庫01 検索(F11) 【新規】

No.	コード	名称	対象	在庫数	指示数	ロットNo	有効期限	倉庫名称	棚番	仕入先	作業理由	処理区分	状態
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	

⑤-I コードをクリックし、アイテム絞りこみのポップアップ画面が表示されます。

入庫指示作成 [保存(F1)] [伝票削除(F2)] [行削除(F3)] [指示リスト印刷(F4)] [個別行レベル発行(F5)] [一括レベル発行(F7)] [伝票一覧表印刷(F8)]

伝票番号: 20120124 対象: ..... 入庫予定日: 2012/01/21 倉庫: ..... 検索(F11) 【新規】

No.	コード	名称	予約入庫日	在庫数	指示数	ロットNo	倉庫名称	棚番	仕入先

【絞り込み】

No.	コード	名称
1	0001	小麦粉
2	0002	バター
3	0003	水
4	0004	砂糖
5	1001	製品1001

コード: [ ]

名称一部: [ ]

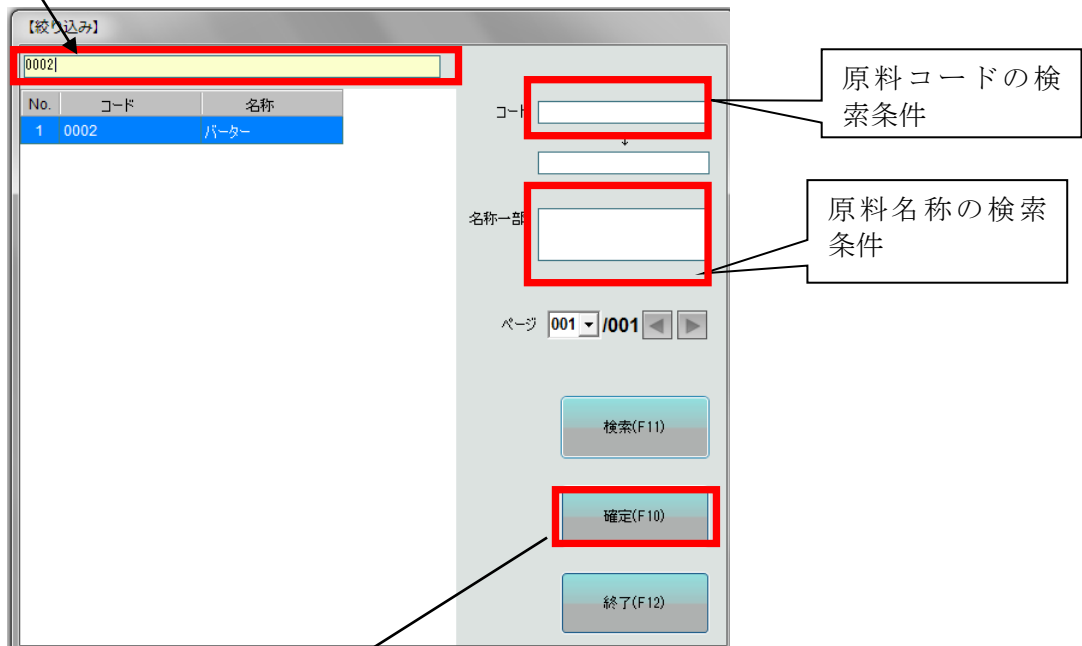
ページ: 001 / 001

[検索(F11)]

[確定(F10)]

[終了(F12)]

⑤-II 絞りこみの枠中に原料コードを入力し、3秒ほどになると自動的に検索されます。



⑤-III 「確定」あるいは「Enter」キーを押すと絞り込んだ原料コードが一覧に登録されます。

No.	コード	名称	予約入庫日	在庫数	指示数	ロットNo	倉庫名称	欄番
1	0002	バター	2016-01-22	15.000			倉庫01	000000

⑥選択したコードの名称が表示されます。  
(例)コード0001の名称

No.	コード	名称
1	0001	小麦粉

⑦選択したコードの対象が表示されます。  
(例)コード0001の対象

コード	名称	対象
0001	小麦粉	原料

⑧選択したコードの在庫数が表示されます。

コード	名称	対象	在庫数
0001	小麦粉	原料	326.000

(例)コード0001の在庫数

⑨選択したコードの指示数を入力します。  
(例)コード0001の入庫指示数100を入力します。

コード	名称	対象	在庫数	指示数
0001	小麦粉	原料	326.000	100

⑩選択したコードのロットNo.を入力します。  
また、既存データがある場合、ロットNo.を修正することも可能です。

コード	名称	対象	在庫数	指示数	ロットNo
0001	小麦粉	原料	326.000	100.000	QLB-001

(例)コード0001の入庫ロットNo.QLB-001を入力します。

※「システム設定」>「システムパラメータ」>「その他の設定」>「追跡管理」を[1:する]に設定している場合は、一覧に「ロットNo.」の入力列が表示されます。「2:しない」に設定している場合は、「ロットNo.」の入力列は表示されません。

⑪有効期限を入力します。原料マスタに「有効期限」日数を既に登録済の場合は、システムが自動的に当日+有効日数で計算します。

ロットNo	有効期限
QLB-001	20120130

⑫倉庫を選択します。

⑬選択された倉庫の棚番を選択します。

⑭仕入データを選択します。

⑮作業理由を選択します。

⑯ハンディに送信するかどうかを選択します。

「1:する」を設定した場合はハンディに送信します。

「0:しない」を設定した場合はハンディに送信しません。

⑰現在の入庫指示作業の状態を表示します。

処理区分

1:する

0:しない

1:する

状態	状態
未処理	もしくは 入庫済

新規入庫指示入力後、  
[保存]をクリックするとデータを保存します。

入庫指示作成 保存(F1)

データ保存が実行されるとデータが赤字から黒字へ変わります。  
[保存]をクリックせずに終了した場合、データ保存はされません。



## ■ 入庫指示伝票の検索

...選択した伝票データを検索条件「対象」・「倉庫」別に表示します。

- ① 「伝票番号」フィルタで検索したい伝票番号を選択します。  
(例)20120124



- ② フィルタで「対象」・「倉庫」を選択し、[検索]をクリックします。



- ③ 選択した検索条件に該当した伝票データのみを表示します。

コード	名称	対象	在庫数	指示数	ロットNo	有効期限	倉庫名称
0001	小麦粉	原料	324.279	100.000		20120131	倉庫01
0002	バター	原料		100.000			倉庫01

## ■ 入庫指示伝票の修正

- ① 修正したい伝票番号を「伝票番号」のフィルタから選択します。  
(例)1010



- ② 選択した伝票番号の一覧が表示されるので、修正したい項目箇所をダブルクリックします。

※「対象」「棚番」「在庫数」「状態」以外の項目箇所の変更が可能です。

(例)No2 指示数 100 →200 に修正した場合  
修正箇所の行が赤字になります。



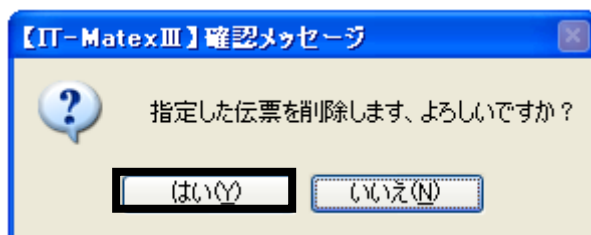
- ③ 修正終了後、[保存]をクリックしてデータ保存を実行すると、データが赤字から黒字へ切り替わります。  
[保存]をクリックせず終了した場合、データ保存はされません。

## ■ 入庫指示伝票の削除

- ① 伝票番号フィルタで削除したい伝票番号を選択し、[伝票削除]をクリックします。

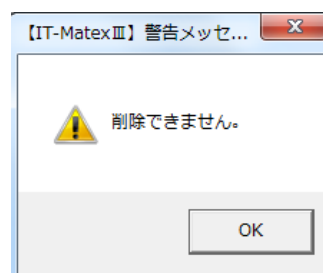
No.	コード	名称	対象	在庫数	指示数
1	0001	小麦粉	原料	324.279	100.000
2	0002	バター	原料		200.000

- ② 確認メッセージが表示されます。  
[はい]を選択した場合、  
選択した伝票のみ削除されます。  
削除しない場合は[いいえ]を選択して下さい。



### 注意:

入庫指示が未処理状態の場合に、  
入庫指示伝票を削除することが可能です。  
入庫指示が処理済状態の伝票を削除しようとすると、  
エラーが表示されます。



## ■ 入庫指示伝票の行削除

- ① 一覧で削除したいデータを選択し、  
〔行削除〕をクリックすると  
確認メッセージが表示されます。

No.	コード	名称	対象	在庫数	指示数	ロットNo
1	0001	小麦粉	原料	324.279	100.000	
2	0002	バター	原料		200.000	

- ② 〔はい〕を選択すると、選択したデータのみ削除されます。  
削除しない場合は〔いいえ〕を選択して下さい。

### 注意:

入庫指示が未処理状態の場合に、  
入庫指示伝票の行削除が可能です。  
入庫指示が処理済状態の伝票を行削除しようとすると、  
エラーが表示されます。

## ■ 入庫指示伝票リストの印刷

- ① 伝票番号フィルタで、  
指示内容を印刷したい伝票番号を選択し、〔指示リスト印刷〕をクリックします。

No.	コード	名称	対象	在庫数	指示数	ロットNo	有効期限
1	0001	小麦粉	原料	324.279	100.000		2012/01/24
2	0002	バター	原料		200.000		

- ② 確認メッセージが表示されます。  
〔はい〕を選択すると、選択した伝票のみ削除されます。  
削除しない場合は〔いいえ〕を選択してください。

### 注意:

入庫指示が未処理状態の場合に、  
入庫指示伝票リストを印刷することが可能です。  
入庫指示が処理済状態の伝票を印刷しようとすると、  
エラーが表示されます。

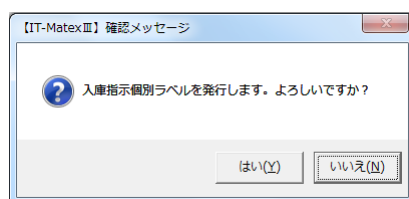
## ■ 原料個別ラベルの発行

原料の入庫ラベルを発行します。

- ① 発行したい原料入庫指示行を選択して、[ラベル発行]をクリックします。

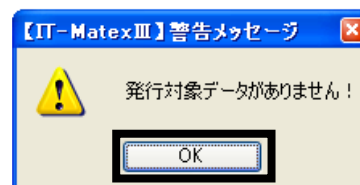


- ② 確認メッセージが表示されるので、発行する場合は[はい]、発行しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

入庫指示が未処理状態の場合に、原料個別ラベルを発行することが可能です。入庫指示が処理済状態の伝票を発行しようとする、エラーが表示されます。



### 補足:

「システム設定」>「システムパラメータ設定」>「PDA端末設定」で、入庫ラベル発行が「2:PC発行」に設定されている場合に、PCからの入庫実績ラベル発行ができます。

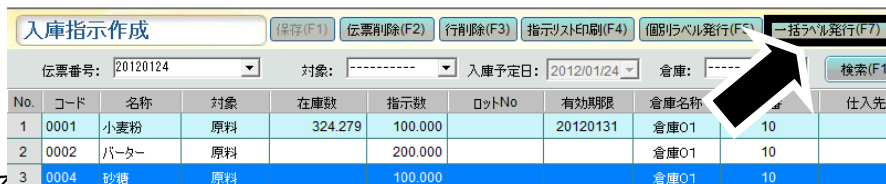
### 入庫実績ラベル発行のルール

- ①原料マスタで原料のケース入り数が登録されていない場合、実績数量分のラベルが発行されます。  
(例)実績数30でケース入り数入力なしの場合・・・1枚ラベル発行
- ②原料マスタで原料のケース入り数が登録されている場合  
(例)実績数30でケース入り数10の場合・・・3枚ラベル発行

## ■ 原料一括ラベルの発行

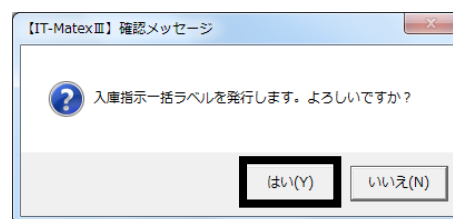
伝票番号中の原料の入庫ラベルを一括発行します。

- ① [一括発行ラベル]をクリックします。



No.	コード	名称	対象	在庫数	指示数	ロットNo	有効期限	倉庫名称	仕入先
1	0001	小麦粉	原料	324.279	100.000		2012/01/24	倉庫01	10
2	0002	バター	原料		200.000			倉庫01	10
3	0004	砂糖	原料		100.000			倉庫01	10

- ② 確認メッセージが表示されるので、発行する場合は[はい]、発行しない場合は[いいえ]を選択してください。



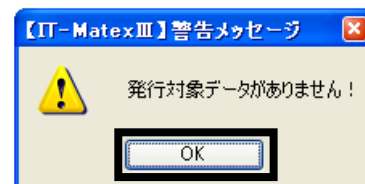
【IT-MatexⅢ】確認メッセージ

？ 在庫指示一括ラベルを発行します。よろしいですか？

はい(Y) いいえ(N)

### 注意:

入庫指示が未処理状態の場合に、原料一括ラベルを発行することが可能です。入庫指示が処理済状態の伝票を発行しようとすると、エラーが表示されます。



【IT-MatexⅢ】警告メッセージ

！ 発行対象データがありません！

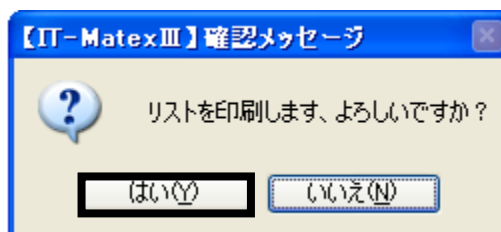
OK

## ■ 入庫指示伝票一覧の印刷

- ① [伝票一覧表印刷]をクリックします。

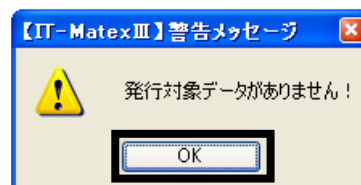
No.	コード	名称	対象	在庫数	指示数	ロットNo	有効期限	倉庫名称	棚番	仕入先
1	0001	小麦粉	原料	324.279	100.000		20120131	倉庫01	10	
2	0002	バター	原料		200.000			倉庫01	10	
3	0004	砂糖	原料		100.000			倉庫01	10	

- ② 確認メッセージが表示されるので、印刷する場合は[はい]、印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

入庫指示が未処理状態の場合に、入庫指示伝票一覧ラベルを印刷することが可能です。入庫指示が処理済状態の伝票を発行しようとすると、エラーが表示されます。



## ■ 入庫指示作成の終了

[終了]をクリックすると、【入庫指示作成】画面を終了します。

入庫指示作成

保存(F1) 伝票削除(F2) 行削除(F3) 指示リスト印刷(F4) ラベル発行(F5) 伝票一覧表印刷(F8) 終了(F12)

## 入庫実績登録

### 【入出庫管理>入庫管理>入庫実績登録】

入庫実績登録 確定(F2) 行削除(F3) 実績リスト印刷(F4) ラベル発行(F5) 指示北~(F7) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)

伝票番号:  対象:  入庫指示日: 2009/11/17 検索(F11) 添加(F8)

入庫実際日: 2009/11/17 倉庫:

No.	展開	コード	型式	名称	対象	指示数	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	欄
-----	----	-----	----	----	----	-----	-------	------	-----	----	---

#### 補足: ツールボタン



「入庫管理」→「入庫実績登録」からでも、同じ操作画面になります。

### ■ 入庫実績伝票の登録

① 在庫実績登録 ③ 確定(F2) 行削除(F3) 実績リスト印刷(F4) ラベル発行(F5) 指示北~(F7) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)

伝票番号: 20120124 対象: 0: 原料 入庫指示日: 2012/01/25 ⑤ 検索(F11) ⑥ 添加(F8)

② 入庫実際日: 2012/01/25 倉庫:  ⑦

① 実績登録する伝票番号をフィルタで選択します。



② 「入庫実際日」のフィルタをクリックすると、カレンダーが表示されます。  
カレンダーの日付を選択し、入庫作業した日を設定します。

① ... 前月のカレンダーを表示。

② ... 翌月のカレンダーを表示



③ 「対象」フィルタで「0: 原料」「2: 製品」のどちらかを選択し、[検索]をクリックすると、検索条件「伝票番号」で指定している

伝票内から、選択した対象のみを検索することができます。

④倉庫番号を指定して検索をすると、検索条件「伝票番号」で指定している伝票内から、指定した倉庫のみを表示することができます。

⑤入庫指示作成画面で設定された「入庫予定日」を表示します。

⑥各条件を選択してから「検索」をクリックします。

⑦既存の入庫指示データに、別ロットで入庫実績を登録したい場合に「追加」をクリックすると、別ロットの入力行が追加表示されます。



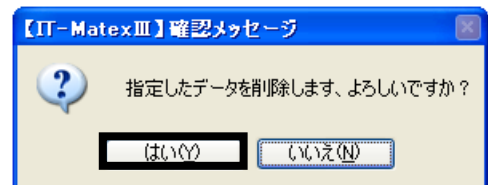
## ■ 在庫実績の行削除

①削除したい指示データ明細行を選択し、「削除」をクリックします。



②確認メッセージが表示されます。

削除する場合は「はい」、  
削除しない場合は「いいえ」を選択してください。



### 注意:

未処理状態の実績データのみ、削除が可能です。  
未処理以外のデータを選択すると「行削除」にはマスクがかけられ、  
クリックできないようになっています。



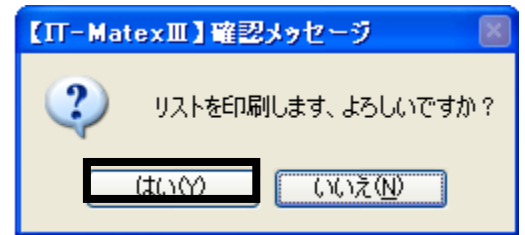


## ■ 入庫実績リストの印刷

① 「実績リスト印刷」をクリックします。

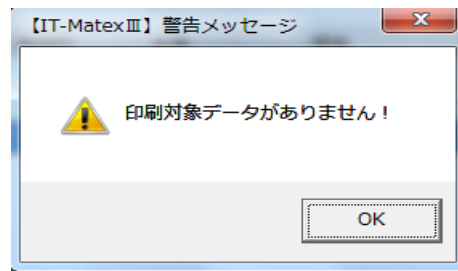
No.	展開	コード	名称	対象	数量	ロットNo	有効期限	実績
1	-	0001	小麦粉	原料	100.000		20120131	
					100.000		20120131	
2	+	0002	バター	原料	200.000			
3	+	0004	砂糖	原料	100.000			

② 確認メッセージが表示されるので、印刷する場合は[はい]、印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

入庫実績が入庫済状態の場合に、入庫実績リストを印刷することが可能です。未処理状態のデータを印刷しようとすると、エラーが表示されます。



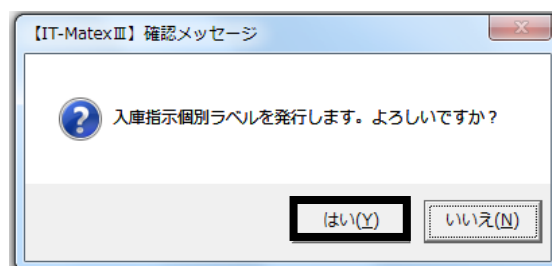
## ■ 入庫ラベルの発行

① [ラベル発行]をクリックします。



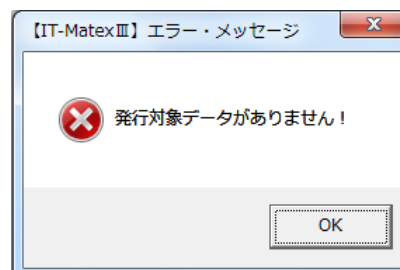
No.	展開	コード	名称	対象	指示数	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫
1	+	0001	小麦粉	原料	100.000		20120131		倉庫01
2	+	0002	バター	原料	200.000				倉庫01

② 確認メッセージが表示されるので、発行する場合は[はい]、発行しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

入庫実績が入庫済状態の場合に入庫ラベルを発行することが可能です。  
未処理状態の入庫ラベルを発行しようとすると、エラーが表示されます。



### ■ 入庫指示のコピー

実績数が指示数と同じ場合、[指示コピー]をクリックすると「指示数」が「実績数」の欄にコピーされます。実績数にコピーが反映されると黒文字から赤文字にかわります。

生産管理  
入庫実績登録

伝票番号: 20120124 対象: ----- 入庫指示日: 2012/02/06 検索(F11) 追加(F8)

入庫実際日: 2012/02/06 倉庫: -----

確定(F2) 行削除(F3) 実績リスト印刷(F4) ラベル発行(F5) 指示コピー(F7)

No.	展開	コード	名称	指示数	ロットNo	実績数	倉庫	欄番
1	-	0001	小麦粉	100.000	QLB-001	100.000	倉庫01	
				100.000	QLB-001	100.000	倉庫01	

「指示数」が「実績数」にコピーされる。

### ■ 入庫実績「展開」について

実績数が指示数と違う場合の入力方法

入庫実績登録

伝票番号: 20120124 対象: ----- 入庫指示日: 2012/01/24 検索(F11) 追加(F8)

入庫実際日: 2012/01/26 倉庫: -----

確定(F2) 行削除(F3) 実績リスト印刷(F4) ラベル発行(F5) 指示コピー(F7) 展開(F9) 全て展開(F10)

No.	展開	コード	名称	対象	指示数	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	欄番	仕入先	作業理由
1	+	0001	小麦粉	原料	100.000		20120131		倉庫01	10		
2	+	0002	バター	原料	200.000				倉庫01	10		
3	+	0004	砂糖	原料	100.000				倉庫01	10		

#### ・[展開]

上図の状態、一覧で展開したいコード行を選択後に[展開]をクリック、または展開欄にある「+」をクリックすると、選択した行の明細行が表示されます。

表示された明細行で、追加入力・修正したいセルをダブルクリックすると、入力ができるようになります。

入庫実績登録

伝票番号: 20120124 対象: ----- 入庫指示日: 2012/01/24 検索(F11) 追加(F8)

入庫実際日: 2012/01/26 倉庫: -----

確定(F2) 行削除(F3) 実績リスト印刷(F4) ラベル発行(F5) 指示コピー(F7) 展開(F9)

展開すると、  
「+」は「-」にかわります。

No.	展開	コード	名称	対象	指示数	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	欄番	仕入先
	-	0001	小麦粉	原料	100.000		20120131		倉庫01	10	
					100.000		20120131		倉庫01	10	

#### ・[全て展開]

[全て展開]をクリックすると一覧に表示されている全ての伝票データの配下に、明細行が追加されます。表示された明細行で、追加入力・修正したいセルをダブルクリックすると、入力ができるようになります。

## ■ 入庫実績の確定と保存

全ての入庫実績の登録を終えてから[確定]をクリックして保存します。

「実績数」が登録されていないデータがある場合は  
[確定]にマスクがかけられ、確定できません。

行	数量	コード	名称	材質	実行額	口付No	有効期間	実績数
1	-	0001	小窓材	厚板	100.000	QLB-001	20120130	100.000

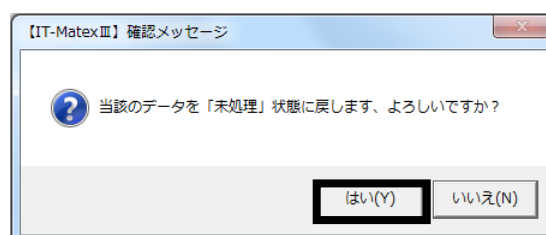
補足:「入庫済」状態は「未処理」状態に戻すことができます。

①入庫実績の明細行「状態」項目のセルをダブルクリックします。

②確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると「未処理」状態に戻ります。

[いいえ]を選択すると、「入庫済」状態のままになります。



## ■ 入庫実績伝票の終了

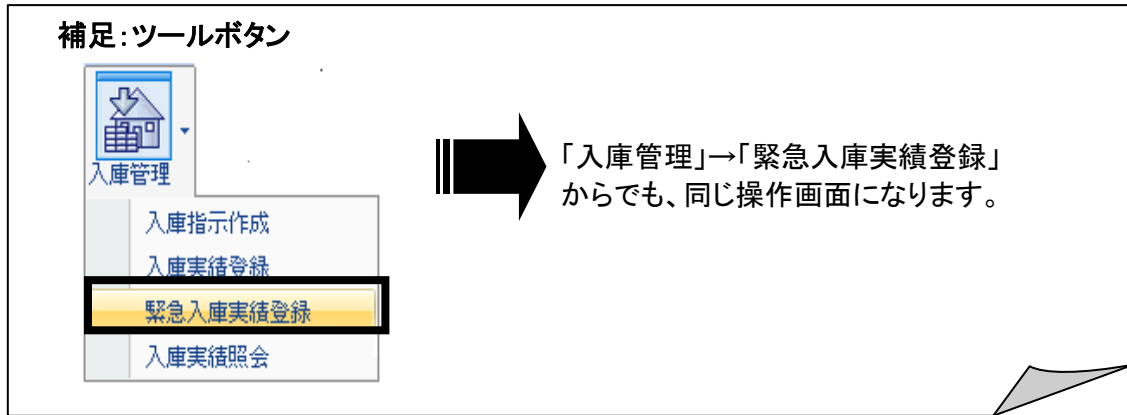
[終了]をクリックすると、【入庫実績伝票】管理画面を終了します。



## 緊急在庫実績登録

### 【入出庫管理＞入庫管理＞緊急在庫実績登録】

入庫指示書のない入庫作業の場合、緊急在庫実績画面で入庫実績登録を行います。  
ハンディでも同様の処理ができます。



### ■ 緊急在庫指示の新規作成

① 「伝票番号」に半角英数字16桁以内で伝票番号を入力します。  
[Enter]キーを押すと入力した番号が確定され、一覧に新規の緊急在庫実績行が作成されます。

② 「対象」フィルタで「0:原料」「2:製品」のいずれかを選択します。  
(例)対象:「原料」の場合は一覧表中にマスタ登録済の原料データのみを表示します。

③ 「入庫実際日」のフィルタをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーの日付を選択し、入庫作業した日を設定します。

① ... 前月のカレンダーを表示

② ... 翌月のカレンダーを表示

緊急在庫実績登録

伝票番号: 20120124

[ Enter ] 押し

No.	展開	コード	名称	対象
		0001	小麦粉	
		0002	バター	
		0003	水	
		0004	砂糖	

入庫実際日: 2012/01/26

倉庫:

実績数: 2012年1月

① ②

今日: 2012/01/26

④ 「倉庫」フィルタで倉庫名を選択します。

## ■ 新規緊急在庫実績の登録

緊急在庫実績登録

伝票番号: 20120125 対象: ----- 在庫実際日: 2012/01/26 倉庫: -----

確定(F1) 行前除(F2) 実績前除(F3) 実績リスト印刷(F4) ラベル発行(F5) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)

添加(F8)

No.	展開	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	棚番	仕入先	作業理由	状態
		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮

⑤ 「コード」欄のセル上をダブルクリック、  
またはセル上で[スペース]キーを押すと

フィルタが表示されます。

コードを選択し、[Enter]キーを押すと、  
次のセルへ移動します。

コードが選択されると、マスタで登録されているデータが自動的に表示されます。

⑥ 選択したコードの名称が表示されます。

(例)コード0001の名称

⑦ 選択したコードの対象が表示されます。

(例)コード0001の対象原料

⑧ 選択したコードのロットNo.を入力します。また、既存データがある場合、ロットNo.を修正することも可能です。

(例)コード0001の在庫ロットNo.QLB-002を入力します。

※「システム設定」>「システムパラメータ」

>「その他の設定」>「追跡管理」を

[1:する]に設定している場合は、一覧に「ロットNo.」の入力列が表示されます。

「2:しない」に設定している場合は、「ロットNo.」の入力列は表示されません。

⑨ 有効期限を入力します。

原料マスタに「有効期限」日数を登録した

場合は自動的に当日+有効日数で計算します。

⑩ 実績数を入力します。

⑪ 倉庫を選択します。

⑫ 選択された倉庫の棚番を選択します。

No.	コード	名称
1	0001	小麦粉

コード	名称	対象
0001	小麦粉	原料

コード	名称	対象	ロットNo
0001	小麦粉	原料	QLB-002

コード	名称	対象	ロットNo	有効期限
0001	小麦粉	原料		20120131
			QLB-002	20120131

展開	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	実績数
-	0001	小麦粉	原料		20120131	0.000
				QLB-002	20120131	100

⑬仕入先マスタに登録されている仕入先を選択します

仕入先

↓

01:寺岡  
02:寺岡精工

⑭作業理由マスタに登録されている作業理由を選択します。

作業理由

↓

01:緊急入庫

⑮現在入庫指示の作業状態を表示します。

状態

未処理

もしくは

状態

入庫済

⑯実績を入力するための明細行を表示します

緊急入庫実績登録

伝票番号: 20120124 対象: ----- 入庫実際日: 2012/01/25 倉庫: ----- 追加(F8)

No.	展期	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	実績	倉庫	棚番	仕入先	作業理由	状態
1	-	0001	小麦粉	原料	20120130	20120130	0.000	倉庫01	10			未処理
					20120130			倉庫01	10			未処理

⑰  
[展開]:クリックすると、一覧で選択されている伝票データの下に、データ入力可能な明細行が表示されます。  
[全て展開]:クリックすると、一覧に表示されている全ての伝票データの下に、入庫実績数入力行が1行作成されます。

### ■ 緊急入庫実績の登録

①複数の実績を登録したい入庫指示行を選択し、[追加]をクリックします。

伝票番号: 20120124 対象: ----- 入庫実際日: 2012/01/26 倉庫: ----- 追加(F8)

コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	棚番	仕入先	作業理由	状態
0001	小麦粉	原料	20120131	20120131	0.000	倉庫01	10			未処理
			20120131			倉庫01	10			未処理

②選択した実績登録の下に、実績入力可能な明細行が表示されます。  
追加したい実績分だけ[追加]をクリックして、入力行を表示させる必要があります。  
(以下例:[追加]を2回クリックして、2つの緊急入庫実績を登録する場合。)

0001	小麦粉	原料	20120131	20120131	0	倉庫01	10			未処理
			20120131			倉庫01	10			未処理
			20120131			倉庫01	10			未処理

↓

0001	小麦粉	原料	20120131	20120131	200.000	倉庫01	10			未処理
			QLB-002	0120131	100.000	倉庫01	10			未処理
			QLB-003	0120131	100.000	倉庫01	10			未処理

③追加2行に実績数、ロットNO、有効期限をそれぞれ入力します。

④すると、添加データ実績の合計数を自動で計算し、展開元のデータ実績数に合計数を反映します。

コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	実績数
0001	小麦粉	原料		20120131	200.000
			QLB-002	20120131	100.000
			QLB-003	20120131	100.000

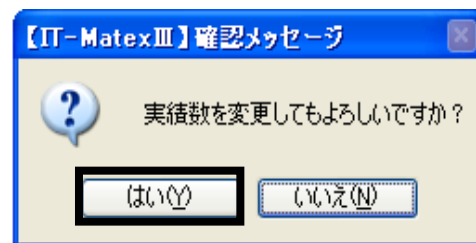
### ■ 緊急在庫実績の確定と保存

[確定]をクリックすると、確認メッセージが表示されます。



[はい]を選択すると、確定されます。

[いいえ]を選択すると確認メッセージが閉じられ、確定はされません



### ■ 緊急在庫実績の行削除

**注意:**

未処理状態の実績データのみ、行削除が可能です。

①削除したい行を選択し、行削除ボタンをクリックします。

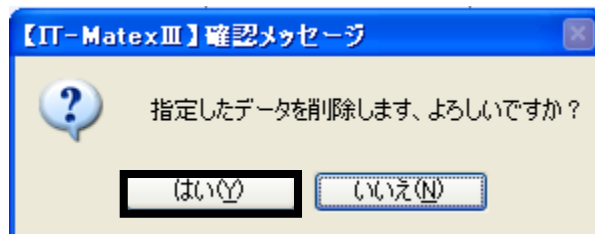


② 確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると、

選択したデータのみ削除されます。

削除しない場合は[いいえ]を選択してください。



**注意:**

展開元のデータを削除した場合は、添加した行もまとめて削除されます。

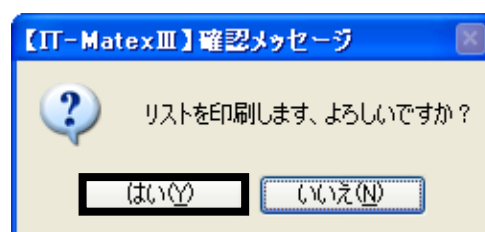


## ■ 緊急在庫実績リスト印刷

- ① [在庫実績リスト印刷]をクリックします。

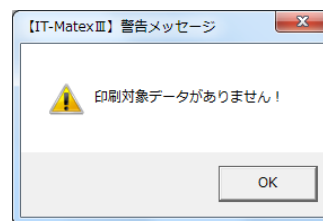
No.	展開	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	欄番
1	-	0001	小麦粉	原料			200.000	倉庫01	
					QLB-002	20120131	100.000	倉庫01	10
					QLB-003	20120131	100.000	倉庫01	10

- ② 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

緊急在庫実績が入庫済状態の場合に、  
緊急在庫実績リストを印刷することが可能です。  
未処理状態のデータがある場合に  
印刷しようとするエラーが表示されます。



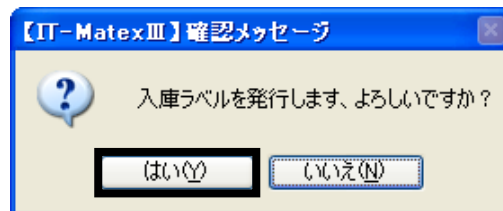
## ■ 緊急在庫実績ラベル発行

在庫実績データごとにラベルを発行します。

- ① 発行したい在庫実績行を選択し  
[ラベル発行]をクリックします。

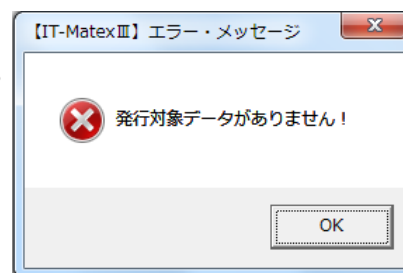
No.	展開	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	欄番
1	-	0001	小麦粉	原料			200.000	倉庫01	
					QLB-002	20120131	100.000	倉庫01	10
					QLB-003	20120131	100.000	倉庫01	10

- ② 確認メッセージが表示されるので、  
発行する場合は[はい]、  
発行しない場合は[いいえ]を選択してください。



**注意:**

緊急在庫実績が入庫済状態の場合に印刷することが可能です。  
未処理状態のデータがある場合に  
印刷しようとするエラーが表示されます。



■ 緊急在庫実績の終了

[終了]をクリックすると、緊急在庫実績画面を終了します。

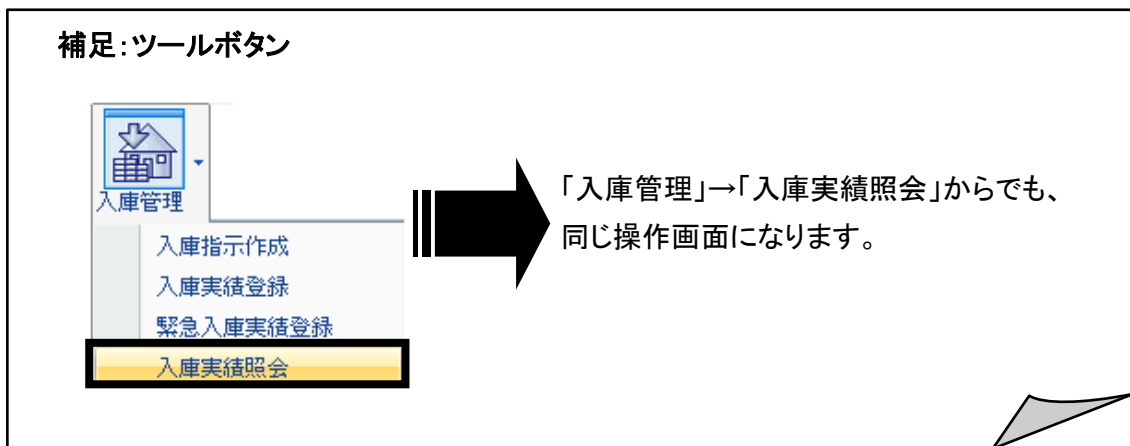


## 入庫実績照会

### 【入出庫管理>入庫管理>入庫実績照会】

入庫実績の照会ができます。

No.	伝票番号	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	指示数	実績数	倉庫	欄番
1	20120124	0001	小麦粉	原料	QLB-003	20120131	200.000	100.000	倉庫01	10
2	20120124	0001	小麦粉	原料	QLB-002	20120131	200.000	100.000	倉庫01	10



### ■ 入庫実績照会の検索

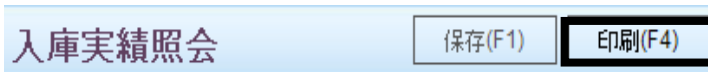
① 「伝票番号」・「入庫日」・「作業者」・「入庫倉庫」・「コード」・「対象」・「仕入先」・「作業理由」・「各備考」の検索条件を入力もしくは選択し、[検索]をクリックします。

② 条件に対応したデータが一覧表示されます。

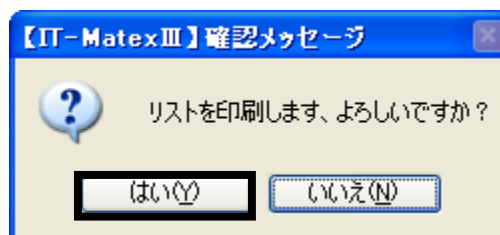
**補足:**  
条件入力せずに[検索]をクリックすると、全ての入庫実績データを表示します。

## ■ 入庫実績照会の印刷

① [印刷] をクリックします。

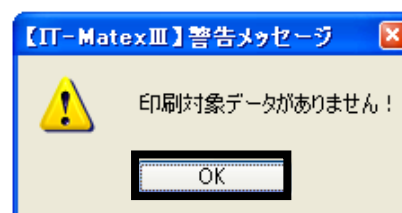


② 確認メッセージが表示されるので、印刷する場合は[はい]、印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



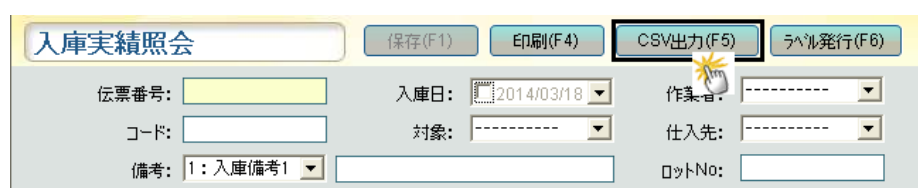
### 注意:

データ表示をしていない状態で[印刷]をクリックすると、警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、データ表示をしてから印刷を行ってください。

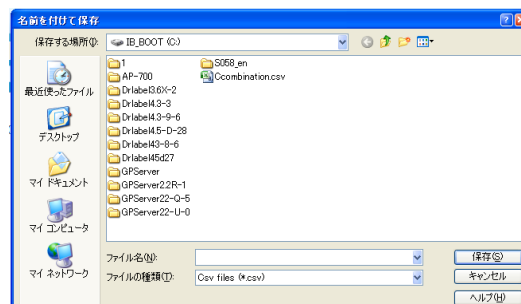


## ■ 入庫実績照会の CSV 出力

① [CSV 出力] をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。「ファイル名」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



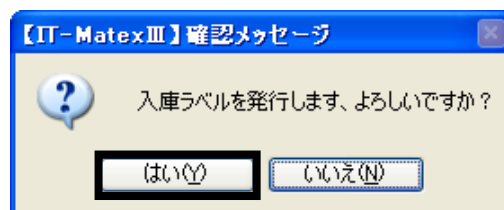
## ■ 入庫実績ラベル発行

入庫実績データごとにラベルを発行します。

- ① 発行したい入庫実績行を選択し  
[ラベル発行]をクリックします。

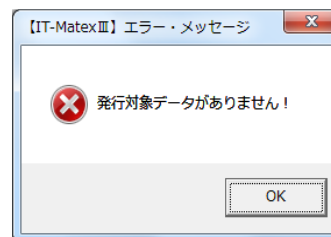
No.	伝票番号	コード	名称	対象	ロットNo
1	20120124	0001	小麦粉	原料	QLB-003
2	20120124	0001	小麦粉	原料	QLB-002

- ② 確認メッセージが表示されるので、  
発行する場合は[はい]、  
発行しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

入庫実績が入庫済状態の場合に  
入庫実績ラベルを発行することが可能です。  
未処理状態の入庫ラベルを発行しようとすると、  
エラーが表示されます。



## ■ 入庫実績照会の終了

[終了]をクリックすると、【入庫実績照会】画面を終了します。



補足:「入庫済」状態は「未処理」状態に戻すことができます。

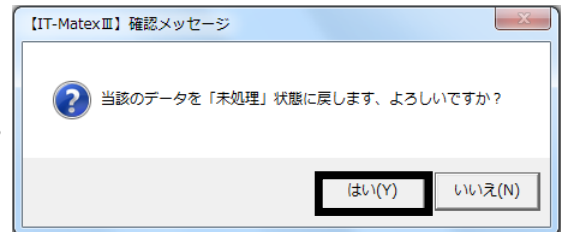
①入庫実績の明細行「状態」項目のセルをダブルクリックします。



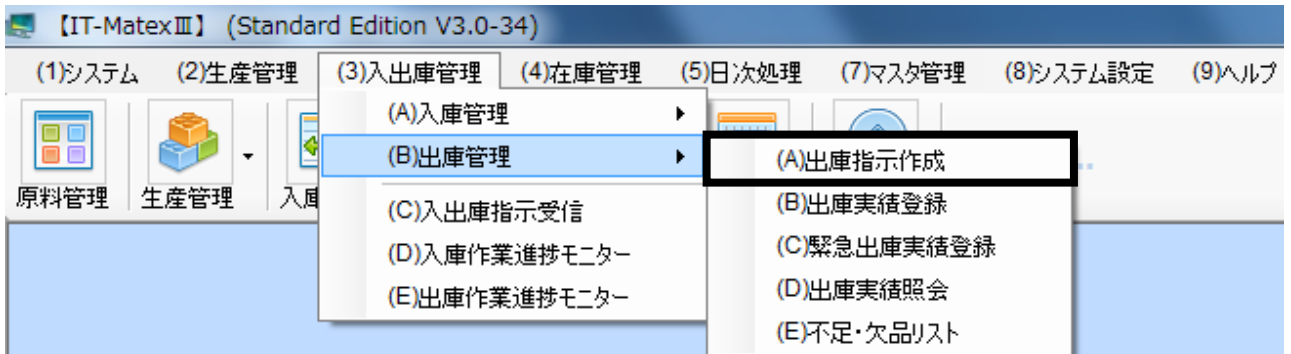
②確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると「未処理」状態に戻ります。

[いいえ]を選択すると、「入庫済」状態のままになります。



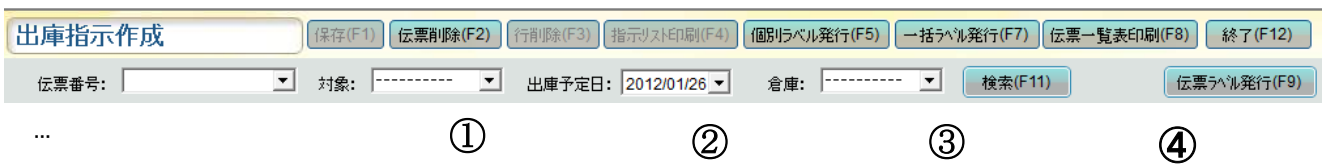
# 出庫指示作成



**補足：ツールボタン**

「出庫管理」→「出庫指示作成」からでも、同じ操作画面になります。

## ■ 出庫指示作成の新規作成



- ① 「伝票番号」に半角英数字16桁以内で伝票番号を入力します。  
〔Enter〕キーを押すと入力した番号が確定され、一覧に新規の出庫指示登録行が作成されます。



- ② 「対象」フィルタで「0:原料」「2:製品」

のどちらかを選択します。

(例)対象:「原料」を設定した場合、一覧表では原料データのみが表示されます。

対象: 0:原料

コード

- 0001:小麦粉
- 0002:バター
- 0003:水
- 0004:砂糖

③ 「出庫予定日」フィルタをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーの日付を選択し、出庫予定日を設定します。

出庫予定日: 2012/02/06 倉庫:

指示 ◀ 2012年2月 ▶

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
🔄 今日: 2012/02/06						

① ◀ … 前月のカレンダーを表示

② ▶ … 翌月のカレンダーを表示

④ 「倉庫」のフィルタで倉庫を選択します。



## ■ 新規出庫指示の登録

出庫指示作成

伝票番号: 20120126 対象: ----- 出庫予定日: 2012/01/26 倉庫: ----- 検索(F11) 【新規】 伝票発行(F9)

No.	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	在庫数	指示数	倉庫名称	備番	出庫先	作業理由	処理区分	状態
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	

⑤-I コードをクリックし、アイテム絞りこみのポップアップ画面が表示されます。

入庫指示作成

伝票番号: 20120124 対象: ----- 入庫予定日: 2016/01/21 倉庫: ----- 検索(F11) 【新規】

No.	コード	名称	予約入庫日	在庫数	指示数	ロットNo	倉庫名称	備番	仕入先

【絞り込み】

No.	コード	名称
1	0001	小麦粉
2	0002	バター
3	0003	水
4	0004	砂糖
5	1001	製品1001

コード:

名称一部:

ページ: 001 / 001

検索(F11) 確定(F10) 終了(F12)

⑤-II 絞りこみの枠中に原料コードを入力し、3秒ほどになると自動的に検索されます。

【絞り込み】

0002

No.	コード	名称
1	0002	バター

コード:

名称一部:

ページ: 001 / 001

検索(F11) 確定(F10) 終了(F12)

原料コードの検索条件

原料名称の検索条件

⑤-III 「確定」あるいは「Enter」キーを押すと絞り込んだ原料コードが一覧に登録されます。

入庫指示作成

伝票番号: 20120124 対象: ----- 入庫予定日: 2016/01/22 倉庫: ----- 検索(F11)

No.	コード	名称	予約入庫日	在庫数	指示数	ロットNo	倉庫名称	備番
1	0002	バター	2016-01-22	15,000			倉庫01	000000

⑥選択したコードの名称が表示されます。

(例)コード0001の名称

No.	コード	名称
1	0001	小麦粉

⑦選択したコードの所属が表示されます。

(例)コード0001の対象

コード	名称	対象
0001	小麦粉	原料

⑧選択したコードの在庫数が表示されます。

(例)コード0001の在庫数

コード	名称	対象	在庫数
0001	小麦粉	原料	326.000

⑨選択したコードの指示数を入力します。

(例)コード0001の入庫指示数100を入力します。

コード	名称	対象	在庫数	指示数
0001	小麦粉	原料	326.000	100



⑩選択したコードのロットNo.を入力します。また、既存データがある場合、ロットNo.を修正することも可能です。

(例)コード0001の入庫ロットNo.QLB-003を入力します。

※「システム設定」>「システムパラメータ」>「その他の設定」>「追跡管理」を「1:する」に設定している場合は、一覧に「ロットNo.」の入力列が表示されます。「2:しない」に設定している場合は、「ロットNo.」の入力列は表示されません。

ロットNo

QLB-003

70001

90001

999

999

QLB-001

QLB-002

QLB-003

⑪該当ロットの有効期限を表示します。

ロットNo	有効期限
QLB-003	20120131

⑫倉庫を選択します。

⑬選択された倉庫の棚番を選択します。

⑭出庫先データを選択します。

⑮作業理由を選択します。

⑯ハンディに送信するかどうかを選択します。

「する」場合はハンディに送信します。

「しない」場合はハンディに送信しません。

処理区分

1:する

0:しない

1:する

⑰現在出庫指示の作業状態を表示します。

状態	状態
未処理	もしくは 出庫済

[保存]をクリックしてデータを保存します。

データ保存が完了すると、データが赤文字から黒字文字へ変わります。

[保存]をクリックせずに終了した場合、  
データ保存はされません。

### ■ 出庫指示伝票の検索

選択した伝票データを検索条件「対象」・「倉庫」別に表示します。

- ① 「伝票番号」フィルタで検索を行う伝票番号を選択します。  
(例) 20120126

- ② フィルタで「対象」・「倉庫」を選択し、[検索]をクリックします。

- ③ 選択した検索条件に該当する伝票データのみを表示します。

コード	名称	対象	在庫数	指示数	ロットNo	有効期限	倉庫名称
0001	小麦粉	原料	324.279	100.000		20120131	倉庫01
0002	バター	原料		100.000			倉庫01

## ■ 出庫指示伝票の修正

- ① 変更したい伝票番号を「伝票番号」フィルタで選択します。

(例)20120126

No.	コード
	120126001
	120126002
	2010
	20120119
	20120126

- ② 選択した伝票番号の一覧が表示されるので、修正したい行の項目箇所をダブルクリックして下さい。

「対象」・「棚番」・「在庫数」・「状態」項目以外の変更が可能です。

変更すると、変更した伝票データの行が赤字になります。

- ③修正終了後、「保存」をクリックしてデータ保存を実行すると、データが赤字から黒字へ切り替わります。

〔保存〕をクリックせず終了した場合、データ保存はされません。

(例)指示数 100 →200 に変更する場合

No.	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	在庫数	指示数
1	0001	小麦粉	原料			274.899	200

## ■ 出庫指示伝票の削除

- ①伝票番号フィルタで削除したい伝票番号を選択し、「伝票削除」をクリックします。

No.	コード	名称	対象	ロットNo
	0001	小麦粉	原料	QLB-003

- ②確認メッセージが表示されます。

〔はい〕を選択した場合、選択した伝票のみ削除されます。

削除しない場合は〔いいえ〕を選択してください。

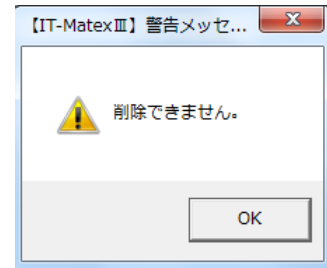
【IT-MatexⅢ】確認メッセージ

? 指定した伝票を削除します、よろしいですか?

(はい(Y)) (いいえ(N))

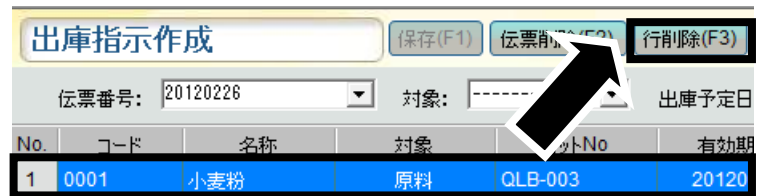
**注意:**

出庫指示が未処理状態の場合に、  
出庫指示伝票を削除することが可能です。  
出庫指示が処理済状態の伝票を削除しようとすると、  
エラーが表示されます。



■ 出庫指示伝票の行削除

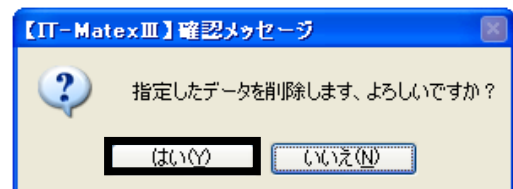
- ① 一覧で削除したいデータを選択し、[行削除]をクリックします。



- ② 確認メッセージが表示されます。

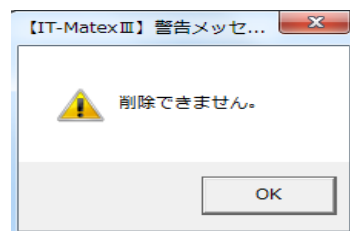
[はい]を選択すると、選択したデータのみ削除されます。

削除しない場合は[いいえ]を選択してください。



**注意:**

出庫指示が未処理状態の場合に、  
出庫指示伝票の行削除が可能です。  
出庫指示が処理済状態の伝票を行削除しようとすると、  
エラーが表示されます。



## ■ 出庫指示伝票リストの印刷

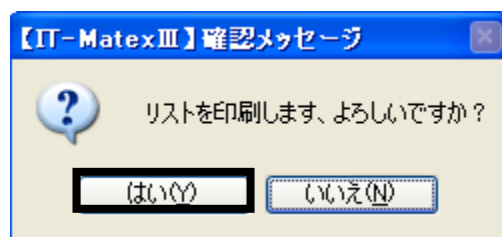
① 指示内容を印刷したい伝票番号を「伝票番号フィルタ」で選択し、〔指示リスト印刷〕をクリックします。



② 確認メッセージが表示されます。

〔はい〕を選択すると、選択した伝票のみ削除されます。

印刷しない場合は〔いいえ〕を選択してください。



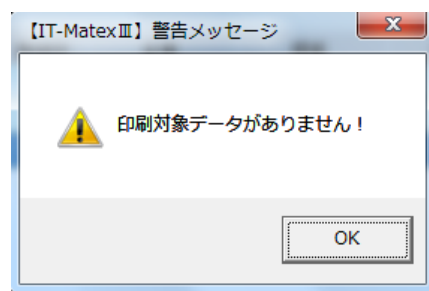
### 注意:

出庫指示が未処理状態の場合に、

出庫指示伝票リストを印刷することが可能です。

出庫指示が未処理済状態の伝票リストを印刷しようとすると、

エラーが表示されます。



## ■ 原料個別ラベル発行

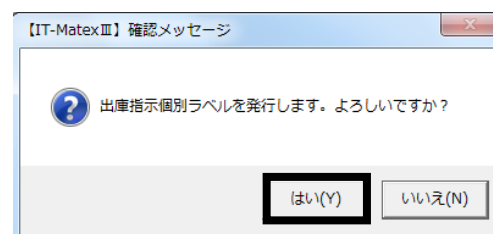
原料の出庫ラベルを発行します。

- ① 発行したい原料入庫指示行を選択して[ラベル発行]をクリックします。



No.	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	在庫数	指示数
1	0001	小麦粉	原料	QLB-003	20120131	100.000	200.0

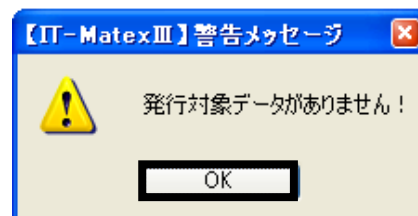
- ② 確認メッセージが表示されるので、  
発行する場合は[はい]、  
発行しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

出庫指示が未処理状態の場合に、原料個別ラベルを発行することが可能です。

出庫指示が未処理済状態のラベルを  
発行しようとする、エラーが表示されます。



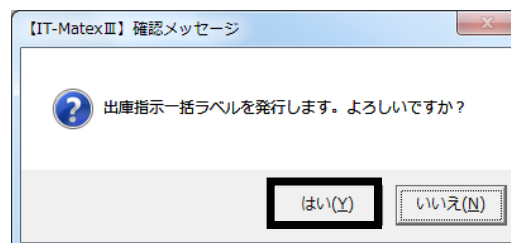
## ■ 原料一括ラベル発行

一覧に表示されている、全ての伝票番号の原料の出庫ラベルを一括発行します。

- ① [一括発行ラベル]をクリックします。

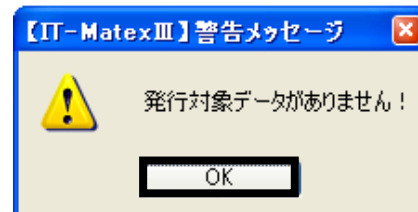
No.	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	在庫数	指示数	倉庫名称
1	0001	小麦粉	原料	QLB-003	20120131	100.000	200.000	倉庫01
2	0002	バター	原料			0.000	100.000	倉庫01

- ② 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

出庫指示が未処理状態の場合に、  
原料一括ラベルを発行することが可能です。  
出庫指示が未処理済状態のラベルを発行しようとすると、  
エラーが表示されます。





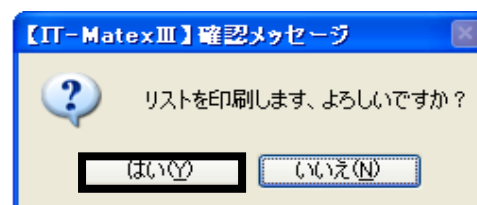
## ■ 出庫指示伝票一覧の印刷

① [伝票一覧表印刷]をクリックします。



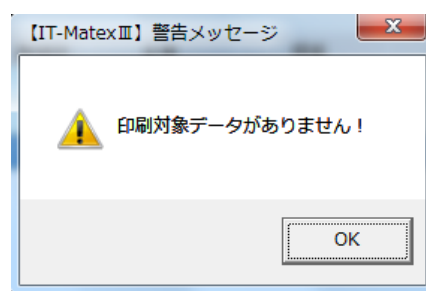
No.	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	在庫数	指示数	倉庫名称	機番	出
1	0001	小麦粉	原料	QLB-003	20120131	100.000	200.000	倉庫01	10	
2	0002	バター	原料			0.000	100.000	倉庫01	10	

② 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



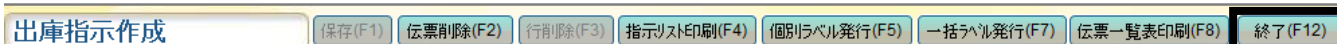
### 注意:

出庫指示が未処理状態の場合に、  
出庫指示伝票一覧を印刷することが可能です。  
出庫指示が未処理済状態の伝票を印刷しようとすると、  
エラーが表示されます。



## ■ 出庫指示作成の終了

[終了]をクリックすると、【入庫指示作成】画面を終了します。

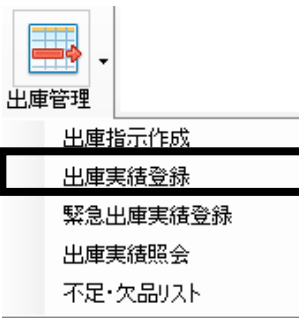


## 出庫実績登録

### 【入庫管理>出庫管理>出庫実績登録】

出庫実績登録		確定(F2)	行削除(F3)	実績リスト印刷(F4)	ラベル発行(F5)	指示北 <sup>▲</sup> (F7)	展開(F9)	全て展開(F10)	終了(F12)
伝票番号:	20120226	対象:	-----	出庫指示日:	2012/01/26	検索(F11)	添加(F8)		
出庫実際日:	2012/01/26	倉庫:	-----						

#### 補足: ツールボタン



「入庫管理」→「出庫実績登録」からでも、  
同じ操作画面になります。


## ■ 出庫実績伝票の登録


① 出庫実績登録をする伝票番号を、フィルタで選択します。



②「出庫実際日」フィルタをクリックすると、カレンダーが表示されます。カレンダーの日付を選択し、出庫作業した日を設定します。



①  ... 前月のカレンダーを表示

②  ... 翌月のカレンダーを表示

③「対象」フィルタで「0:原料」「2:製品」のどちらかを選択し、[検索]をクリックすると、検索条件「伝票番号」で指定している伝票内から、選択した対象のみを検索することができます。

④倉庫番号を指定して検索をすると、検索条件「伝票番号」で指定している伝票内から、指定した倉庫のみを表示することができます。

⑤入庫指示作成画面の「出庫予定日」を表示します。

⑥各条件を選択してから[検索]をクリックします。

⑦既存の出庫指示データに、  
別ロットで出庫実績を登録したい場合に  
〔添加〕をクリックすると、別ロットの入力行  
が追加表示されます。

No.	展開	コード	名称	対象	指示数	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	帳番
1	-	0001	小麦粉	原料	200.000	QLB-003	20120131	0.000	倉庫01	10
					200.000	QLB-003	20120131			
					0	CLB-002	20120131		倉庫01	10

## ■ 出庫実績の行削除

①指示データ明細行を選択し、〔削除〕をクリックします。

No.	展開	コード	名称	対象	指示数
1	-	0001	小麦粉	原料	200.000
					200.000
					0

②確認メッセージが表示されます。

削除する場合は〔はい〕

削除しない場合は〔いいえ〕を選択してください。

### 注意:

出庫済データを選択して、削除しようとしても、  
〔行削除〕にはマスクがかけられて、  
行削除を実行することはできません。

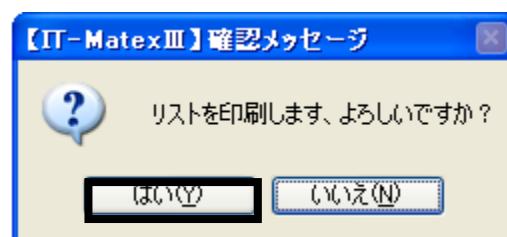
No.	展開	コード	名称	状態	指示数
1	+	0001	小麦粉	未処理	200.000
2	-	0002	バター	出庫済	100.000
				出庫済	100.000

## ■ 出庫実績リストの印刷

① [実績リスト印刷]をクリックします。

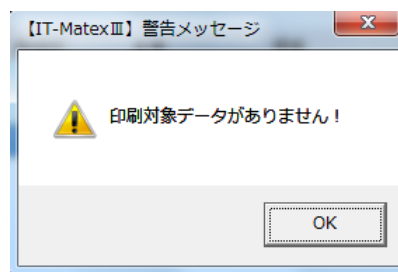
No.	展開	コード	名称	対象	数量	ロットNo	有効期限
1	+	0001	小麦粉	原料	200.000	QLB-003	2012013

② 確認メッセージが表示されますので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

出庫実績が出庫済状態の場合に、  
出庫実績リストの印刷が可能です。  
未処理状態のデータを印刷しようとすると、  
エラーが表示されます。



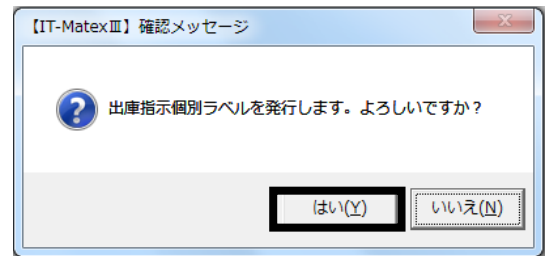
## ■ 出庫ラベルの発行

① [ラベル発行]をクリックします。



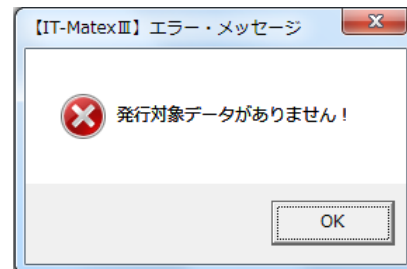
No.	展開	コード	名称	対象	指示数	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫
1	+	0001	小麦粉	原料	200.000	QLB-003	20120131	100.000	倉庫0

② 確認メッセージが表示されるので、  
発行する場合は[はい]、  
発行しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

出庫実績が出庫済状態の場合に、  
出庫ラベルの発行することが可能です。  
未処理状態の出庫ラベルを発行しようとすると、  
エラーが表示されます。



## ■ 出庫指示のコピー

実績数が指示数と同じ場合

①[指示コピー]をクリックします

No.	展開	コード	名称	対象	指示数	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	棚番
1	-	0001	小麦粉	原料	200,000	QLB-003	20120126	200,000	倉庫01	10
					200,000	QLB-003	20120126	200,000	倉庫01	10

②「指示数」が「実績数」の欄にコピーされます。


実績数にコピーが反映されると黒文字から赤文字にかかります。

## ■ 出庫指示「展開」について

実績数が指示数と違う場合の入力方法

No.	展開	コード	名称	対象	指示数	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	棚番	仕入先	作業理由
1	+	0001	小麦粉	原料	100,000		20120131		倉庫01	10		
2	+	0002	バター	原料	200,000				倉庫01	10		
3	+	0004	砂糖	原料	100,000				倉庫01	10		

### ・[展開]

上図の状態、一覧で展開したいコード行を選択後に[展開]をクリック、または展開欄にある  をクリックすると、選択した行の明細行が表示されます。

表示された明細行で、追加入力・修正したいセルをダブルクリックすると、入力ができるようになります。

展開すると、  
+ は - に  
かわります。

No.	展開	コード	名称	対象	指示数	ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	棚番	仕入先
1	+	0001	小麦粉	原料	100,000		20120131		倉庫01	10	
	-				100,000		20120131		倉庫01	10	

## ・[全て展開]

[全て展開]をクリックすると一覧に表示されている全ての伝票データの下に、明細行が追加されます。  
表示された明細行で、追加入力・修正したいセルをダブルクリックすると、入力ができるようになります。

## ■ 出庫実績の確定と保存

入庫実績を全て登録した後、[確定]をクリックして保存します。

「実績数」が登録されていないデータがある場合は  
[確定]ボタンにマスクがかけられ、  
確定することができません。

No.	展開	コード	名称	対象
1	-	0001	小麦粉	原料

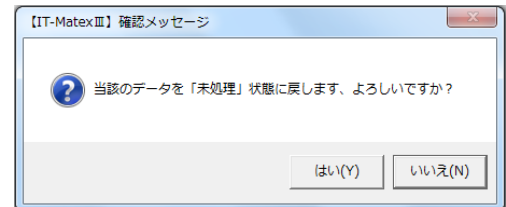
補足:「出庫済」状態は「未処理」状態に戻すことができます。

①出庫実績の明細行「状態」項目のセルをダブルクリックします。

②確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると「未処理」状態に戻ります。

[いいえ]を選択すると、「出庫済」状態のままになります。



## ■ 出庫実績伝票の終了

[終了]をクリックすると、出庫実績伝票画面を終了します。

出庫実績登録 確定(F2) 行削除(F3) 実績リスト印刷(F4) ラベル発行(F5) 指示コード(F7) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)



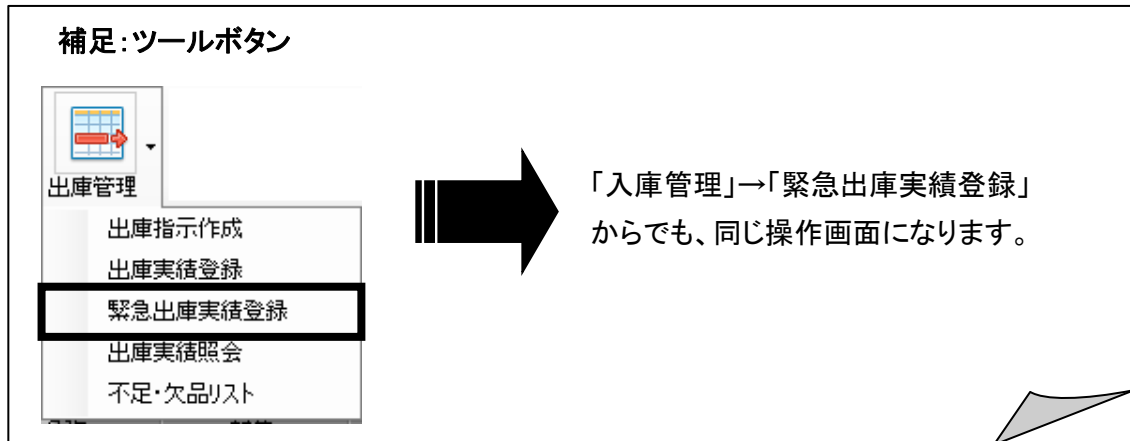


## 緊急出庫実績登録

### 【入庫管理>出庫管理>緊急出庫実績登録】

出庫指示書のない出庫の場合、緊急出庫実績画面で出庫実績登録を行います。

ハンディでも同様の処理ができます。



### ■ 緊急出庫指示の新規作成

① 「伝票番号」に半角英数字16桁以内で伝票番号を入力します。

〔Enter〕キーを押すと入力した番号が確定され、一覧に新規の緊急入庫実績行が作成されます。

緊急出庫実績登録

伝票番号: 20120124

〔Enter〕  
押す

No.	展開	コード	名称

② 「対象」フィルタで「0:原料」「2:製品」のいずれかを選択します。

(例)対象:「原料」の場合は一覧表中にマスタ登録済の原料データのみを表示します。

対象: 0:原料

コード

- 0001:小麦粉
- 0002:バター
- 0003:水
- 0004:砂糖

③「出庫実績日」フィルタをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーの日付を選択し、出庫予定日を設定します。

① ... 前月のカレンダーを表示

② ... 翌月のカレンダーが表示

④「倉庫」フィルタで倉庫名を選択します。

### ■ 新規緊急出庫実績の登録

⑤「コード」欄のセル上をダブルクリック、またはセル上で[スペース]キーを押すとフィルタが表示されます。

フィルタでコードを選択し、[Enter]キーを押すと、次のセルへ移動します。

コードが選択されると、マスタで登録されているデータが自動的に表示されます。

⑥選択したコードの名称が表示されます。

(例)コード0001の名称

No.	コード	名称
1	0001	小麦粉

⑦選択したコードの所属が表示されます。

(例)コード0001の対象原料。

コード	名称	対象
0001	小麦粉	原料

⑧選択したコードの在庫のロットNoを選択します。

(例)コード0001出庫ロットNo.QLB-001を選択します。

※「システム設定」>「システムパラメータ」>「その他の設定」>「追跡管理」を

「1:する」に設定している場合は、一覧に「ロットNo.」の入力列が表示されます。

「2:しない」に設定している場合は、

「ロットNo.」の入力列は表示されません。

- ⑨在庫のロットNo.の有効期限が表示されま  
す。  
有効期限の枠をクリックして修正すること  
ができます。

コード	名称	対象	ロットNo	有効期限
0001	小麦粉	原料	QLB-001	20120130

- ⑩実績数を入力します。

コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	実績数
0001	小麦粉	原料	QLB-001	20120130	0.000

- ⑪倉庫を選択します。

- ⑫選択した倉庫の棚番を選択します。

- ⑬出庫先を選択します。出庫先マスタに登録  
されている出庫先を選択します

出庫先

:

01:出庫先01  
02:出庫先02

- ⑭作業理由マスタに登録されている  
作業理由を選択します。

作業理由

:

02:追加出庫

- ⑮現在の出庫指示作業状態を表示します。

状態

未処理

もしくは

状態

出庫済

- ⑯実績を入力するための明細行を表示します

- ⑰

〔展開〕:クリックすると、一覧で選択されてい  
る伝票データの下に、データ入力可能な  
明細行が表示されます。

〔全て展開〕:クリックすると、一覧に表示され  
ている全ての伝票データの下に、出庫実績  
数入力行が1行作成されます。

## ■ 緊急出庫実績の登録

①複数の実績を登録したい出庫指示行を選択し、[添加]をクリックします。

対象:	出庫実績日:	2012/02/06	倉庫:	①	添加(F8)	新規	②
ロットNo	有効期限	実績数	倉庫	棚番	出庫先	作業理由	状態
		0.000	倉庫01				未処理
20120101			倉庫01	10			未処理

②選択した実績登録の下に、実績入力可能な明細行が表示されます。

追加したい実績分だけ[添加]をクリックして、入力行を表示させる必要があります。

(以下例:[添加]を2回クリックして、2つの緊急入庫実績を登録する場合。)

0001	小麦粉	原料		20120131	0	倉庫01	10		未処理
				20120131		倉庫01	10		未処理
				20120131		倉庫01	10		未処理

↓

0001	小麦粉	原料		20120131	200.000	倉庫01	10		未処理
			QLB-002	20120131	100.000	倉庫01	10		未処理
			QLB-003	20120131	100.000	倉庫01	10		未処理

③添加2行に実績数、ロットNO、有効期限をそれぞれ入力します。

④すると、添加データ実績の合計数を自動で計算し、展開元のデータ実績数に合計数を反映します。

コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	実績数
0001	小麦粉	原料		20120131	200.000
			QLB-002	20120131	100.000
			QLB-003	20120131	100.000

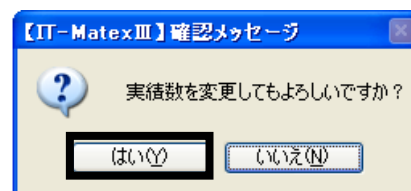
## ■ 緊急出庫実績の確定と保存



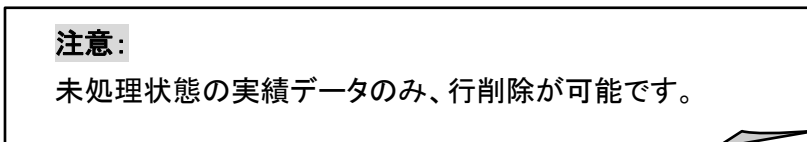
[確定]をクリックすると、確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると、確定されます。

([いいえ]を選択すると確認メッセージが閉じられ、確定はされません。)



## ■ 緊急出庫実績の行削除



①削除したい行を選択し、削除します。

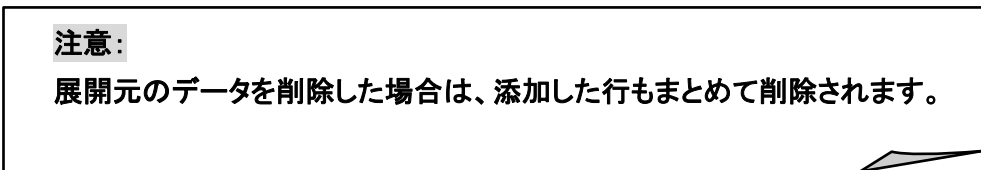
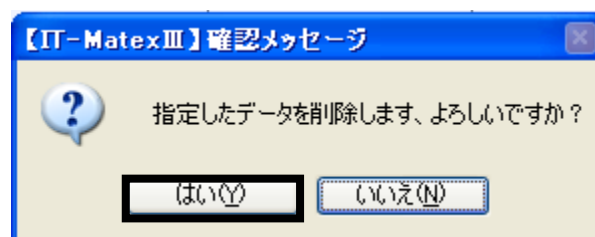


② 確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると、

選択したデータのみ削除されます。

削除しない場合は[いいえ]を選択してください。

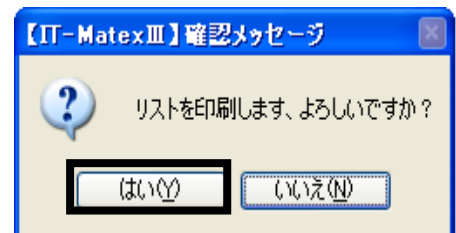


## ■ 緊急出庫実績リストの印刷

- ① [出庫実績リスト印刷]をクリックします。

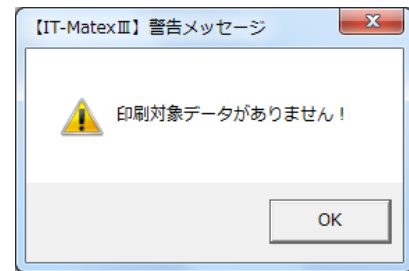
No.	展開	コード	名称	対象	有効期限	実績数	倉庫
1	-	0001	小麦粉	原料		200.000	倉
					QLB-001	20120130	100.000 倉
					QLB-002	20120131	100.000 倉

- ② 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

出庫実績が出庫済状態の場合に、  
緊急出庫実績リストを印刷することが可能です。  
未処理状態のデータがある場合に  
印刷しようとするとエラーが表示されます。



## ■ 緊急出庫実績ラベル発行

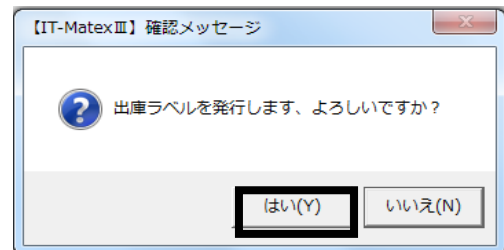
出庫実績データ毎にラベルを発行します。

- ① 発行したい出庫実績行を選択し、  
[ラベル発行]をクリックします。



No.	展開	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	数量	倉庫	欄番
1	-	0001	小麦粉	原料			200.000	倉庫01	
					QLB-001	20120130	100.000	倉庫01	10
					QLB-002	20120131	100.000	倉庫01	10

- ② 確認メッセージが表示されるので、  
発行する場合は[はい]、  
発行しない場合は[いいえ]を選択してください。



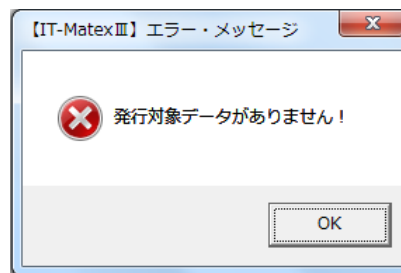
【IT-MatexⅢ】確認メッセージ

出庫ラベルを発行します、よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

### 注意:

出庫実績が出庫済状態の場合に、  
緊急出庫実績ラベルを発行することが可能です。  
未処理状態のデータがある場合に  
発行しようとするとエラーが表示されます。



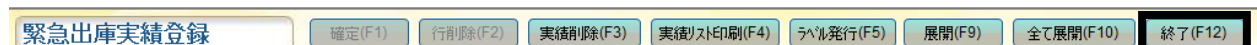
【IT-MatexⅢ】エラー・メッセージ

発行対象データがありません!

OK

## ■ 緊急出庫実績の終了

[終了]をクリックすると、【緊急出庫実績】管理画面を終了します。



緊急出庫実績登録 確定(F1) 行削除(F2) 実績削除(F3) 実績リスト印刷(F4) ラベル発行(F5) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)



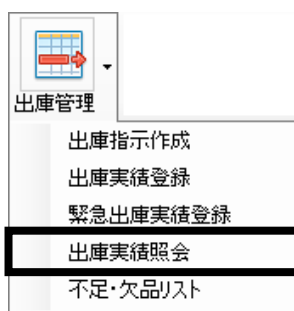
## 出庫実績照会

### 【入庫管理>出庫管理>出庫実績照会】

出庫実績の照会をします。

No.	伝票番号	コード	名称	対象	ロットNo	有効期限	指示数	実績数	倉庫	欄番
1	20120124	0001	小麦粉	原料	QLB-003	20120131	200.000	100.000	倉庫01	10
2	20120124	0001	小麦粉	原料	QLB-002	20120131	200.000	100.000	倉庫01	10

#### 補足: ツールボタン



「出庫管理」→「出庫実績照会」  
からでも、同じ操作画面になります。

#### ■ 出庫実績照会の検索

出庫実績照会									
伝票番号:	出庫日:	2012/01/26	作業:	出庫倉庫:	検索(F11)	終了(F12)			
コード:	対象:		仕入先:	作業理由:	ページ 001 / 001				
備考:									

- ① 「伝票番号」・「出庫日」・「作業者」・「出庫倉庫」・「コード」・「対象」・「仕入先」・「作業理由」・「各備考」の検索条件を入力または選択し、[検索]をクリックします。
- ② 条件に該当するデータが一覧表示されます。

#### 補足:

条件入力せずに[検索]をクリックすると、全ての出庫実績データを表示します。

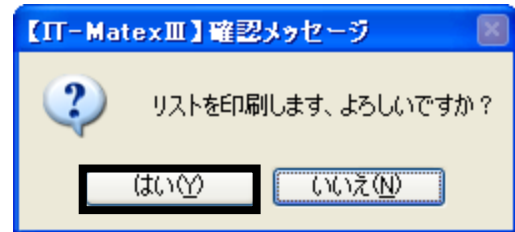


## ■ 出庫実績照会の印刷

① [印刷]をクリックします。

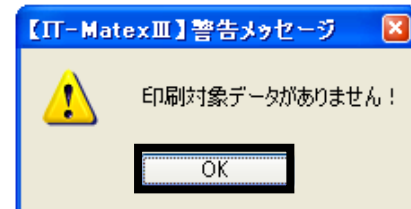


② 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



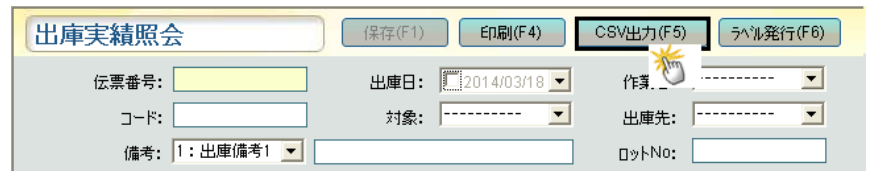
### 注意:

データ表示をしていない状態で[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、データ表示を行ってから印刷を行ってください。

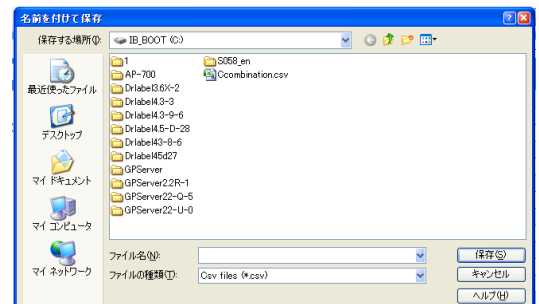


## ■ 出庫実績照会の CSV 出力

① [CSV 出力]をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。  
「ファイル名」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



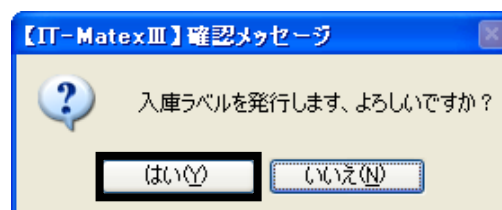
## ■ 出庫実績ラベル発行

出庫実績データごとにラベルを発行します。

- ① ラベル発行をしたい出庫実績行を選択し、[ラベル発行]をクリックします。

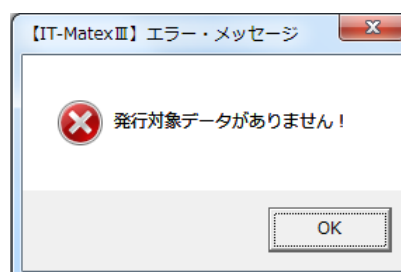
No.	伝票番号	コード	名称	対象	ロットNo
1	20120226	0001	小麦粉	原料	QLB-003

- ② 確認メッセージが表示されるので、発行する場合は[はい]、発行しない場合は[いいえ]を選択してください。



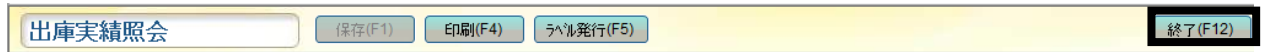
### 注意:

出庫実績が出庫済状態の場合に、出庫実績ラベルの発行することが可能です。未処理状態のアイテムラベルを発行しようとすると、エラーが表示されます。



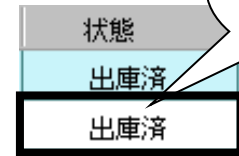
## ■ 出庫実績照会の終了

[終了]をクリックすると、【出庫実績照会】管理画面を終了します。



補足:「入庫済」状態は「未処理」状態に戻すことができます。

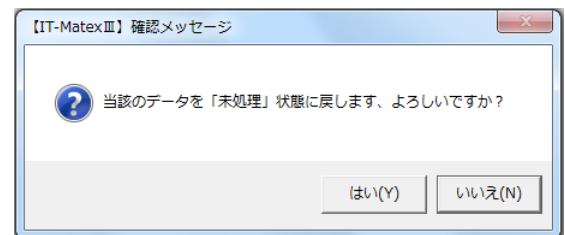
①出庫実績の明細行「状態」項目のセルをダブルクリックします。



②確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると「未処理」状態に戻ります。

[いいえ]を選択すると、「入庫済」状態のままになります。



## 不足・欠品リスト

【入出庫管理>出庫管理>不足・欠品リスト】

[未処理の出庫指示数<在庫数]の場合は不足数が表示されます。

[処理済の出庫指示数>実績数]の場合は欠品数が表示されます。

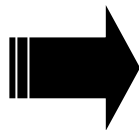
不足・欠品リスト

印刷(F4) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)

伝票番号: [ ] -> [ ] 出庫日: [2009/11/20] -> [2009/11/20] 不足 欠品 検索(F11)

No.	展開	伝票番号	明細件数	コード	型式	名称	対象	倉庫	欄番	指示数	在庫数
-----	----	------	------	-----	----	----	----	----	----	-----	-----

### 補足: ツールボタン



「出庫管理」→「不足・欠品リスト」からでも、同じ操作画面になります。

### ■ 不足リストの表示

予約の出庫指示数と在庫数の引当を表示します。

不足・欠品リスト

印刷(F4) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)

③ コード [0003] -> [0005] 出庫日: [2012/02/07] -> [2012/02/07] ① 不足 欠品 ② 検索(F11)

①[不足]のラジオボタンを選択します。

②[検索]をクリックすると、不足指示の一覧が表示されます。

不足・欠品リスト

印刷(F4) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)

コード [0003] -> [0005] 出庫日: [2012/02/07] -> [2012/02/07] 不足 欠品 検索(F11)

No.	展開	伝票番号	出庫予定日	明細件数	コード	名称	倉庫	欄番	指示数	在庫数	不足数
1	+			1	0003	水	倉庫01	11	500.000	409.000	91.000
2	+			1	0004	砂糖	倉庫01	11	100.000	90.000	10.000
3	+			1	0005	製品/シ	倉庫01		200.000	0.000	200.000

③さらに条件を絞って検索したい場合は検索条件を入力、選択します。

(例)コード範囲を入力して検索します。指定した範囲が検索されます。

不足・欠品リスト 印刷(F4) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)

コード 0003 -> 0004 出庫日: 2012/02/07 -> 2012/02/07 不足 欠品 検索(F11)

No.	展開	伝票番号	出庫予定日	明細件数	コード	名称	倉庫	欄番	指示数	在庫数	不足数
1	+			1	0003	水	倉庫01	11	500.000	409.000	91.000
2	+			1	0004	砂糖	倉庫01	11	100.000	90.000	10.000

**展開(F9)** …[展開]をクリックすると、  
選択されている行の下に入庫実績数入力行が1行作成されます。

**全て展開(F10)** …[全て展開]をクリックすると一覧に表示されている全データの下に  
入庫実績数入力行が1行作成されます。

### ■ 欠品リストの表示

予約の出庫指示数と実際出庫の実績数の引当を表示します。

不足・欠品リスト 印刷(F4) ① ② 終了(F12)

③ コード [ ] -> [ ] 出庫日: 2012/02/07 -> 2012/02/07 不足 欠品 検索(F11)

- ①[欠品]のラジオボタンを選択します。
- ②[検索]をクリックすると、欠品指示の一覧が表示されます。

不足・欠品リスト 印刷(F4) 終了(F12)

コード [ ] -> [ ] 出庫日: 2012/02/07 -> 2012/02/07 不足 欠品 検索(F11)

No.	伝票番号	出庫実績日	コード	名称	倉庫	欄番	ロットNo	指示数	実績数	欠品数
1	2001	2012-02-03	0003	水	倉庫01	11		10.000	1.000	9.000
2	2001	2012-02-06	0004	砂糖	倉庫01	11		220.000	10.000	210.000
3	2001	2012-02-03	0002	バター	倉庫01	11		10.000	1.000	9.000
4	2002	2012-02-03	0002	バター	倉庫01	11		10.000	1.000	9.000

- ③さらに条件を絞って検索したい場合は検索条件を入力、選択します。  
(例)出庫日の範囲を入力して検索します。指定した範囲が検索されます。

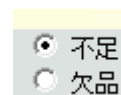
不足・欠品リスト 印刷(F4) 終了(F12)

コード [ ] -> [ ] 出庫日: 2012/02/03 -> 2012/02/04 不足 欠品 検索(F11)

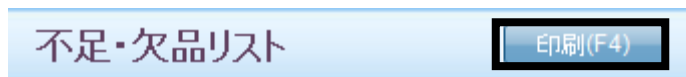
No.	伝票番号	出庫実績日	コード	名称	倉庫	欄番	ロットNo	指示数	実績数	欠品数
1	2001	2012-02-03	0003	水	倉庫01	11		10.000	1.000	9.000
2	2001	2012-02-03	0002	バター	倉庫01	11		10.000	1.000	9.000
3	2002	2012-02-03	0002	バター	倉庫01	11		10.000	1.000	9.000

## ■ 不足・欠品リストの印刷

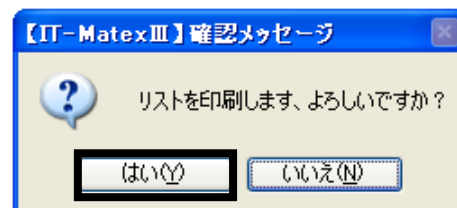
①ラジオボタンの[不足]か[欠品]を選択し、指示データを検索します。



②[印刷]をクリックします。

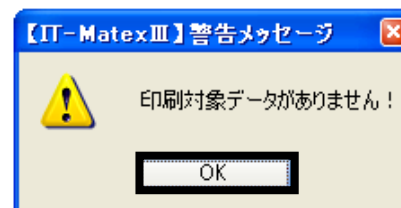


③確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

データ表示をしていない時に、[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、データ表示を行ってから印刷を行って下さい。



## ■ 不足・欠品リストの終了

[終了]をクリックすると、【不足欠品リスト】管理画面を終了します。



## 原料入庫指示受信

### 【入庫管理>部品(原料)入庫指示受信】

原料の入庫・出庫指示データを受信します。

The screenshot shows the '原料入庫指示受信' (Raw Material Inventory Instruction Reception) interface. On the left, there are three buttons: '入庫指示データ受信' (Inventory Instruction Data Reception), '出庫指示データ受信' (Inventory Release Instruction Data Reception), and '入出庫指示データ受信' (Inventory Instruction Data Reception). Below these is a 'データ受信結果' (Data Reception Results) table:

データ受信結果	
受信件数:	5 件
エラー件数:	5 件
追加件数:	0 件

On the right, there is an '変換エラー表示' (Conversion Error Display) window showing a list of errors:

変換エラー表示: 入庫指示データ受信	
受信ファイル「入庫指示データ受信」	
[入庫]2009-11-20 16:07:51	ERR [#0001]データ項目の数は一致していません!
[入庫]2009-11-20 16:07:51	ERR [#0002]データ項目の数は一致していません!
[入庫]2009-11-20 16:07:51	ERR [#0003]データ項目の数は一致していません!
[入庫]2009-11-20 16:07:51	ERR [#0004]データ項目の数は一致していません!
[入庫]2009-11-20 16:07:51	ERR [#0005]データ項目の数は一致していません!

Arrows point from the error window to a dashed box containing the text: 'エラーが発生した場合、エラー理由が表示されます。' (When an error occurs, the error reason is displayed.)

Another arrow points from the 'データ受信結果' table to a dashed box containing the text: '受信件数:受信した件数' (Received count: number of received items), 'エラー件数:取込みできなかったデータ件数' (Error count: number of data items that could not be loaded), and '追加件数:取込みできたデータ件数' (Additional count: number of data items that were loaded).

### ■ 原料入庫指示データ受信

テキストファイル(CSV)で保存されている出庫指示データを取り込みます。

予め、「システム設定」>「システムパラメータ設定」>「入出庫送受信設定」で設定を行ってください。

#### ① [入庫指示データ受信]をクリックします。

The screenshot shows the same '原料入庫指示受信' interface. The '入庫指示データ受信' button is highlighted with a black box. The 'データ受信結果' table now shows zero counts:

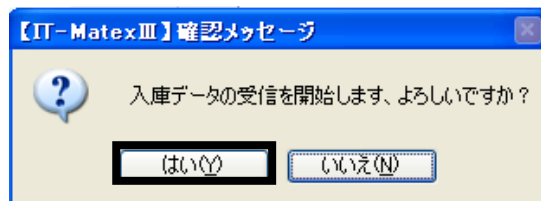
データ受信結果	
受信件数:	0 件
エラー件数:	0 件
追加件数:	0 件

The '変換エラー表示' window is empty.

② 確認メッセージが表示されます。

「はい」を選択すると、

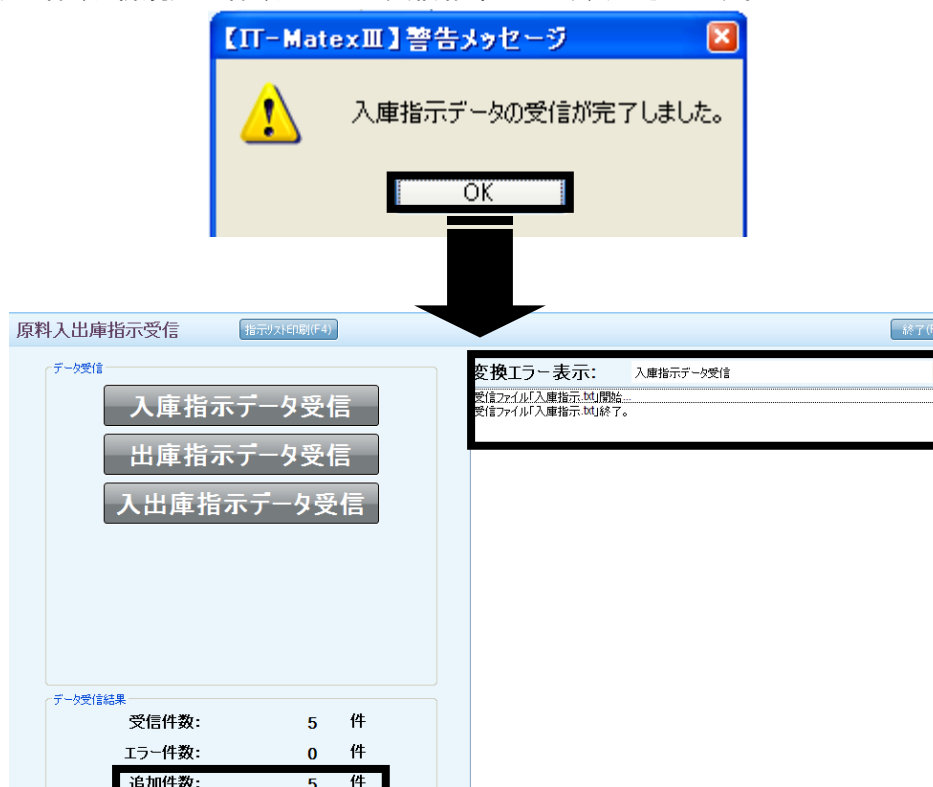
「システム設定」>「システムパラメータ設定」で指定しているデータ受信ファイルパスからデータ受信を開始します。



(「いいえ」を選択すると、確認メッセージが閉じられ、データ受信はされません。)

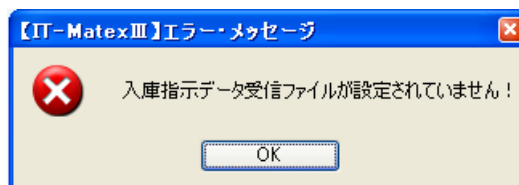
③ 受信が完了すると、警告メッセージが表示され、「OK」をクリックすると、

受信件数・エラー件数・新規追加件数がデータ受信結果として、表示されます。



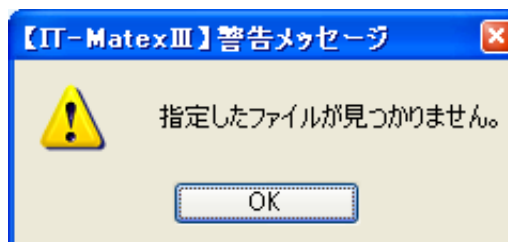
**注意1:**

「システムパラメータ設定」で  
入出庫送受信設定をしていない場合、  
エラーメッセージが表示されます。  
「OK」をクリックして、設定を行ってください。



**注意2:**

設定をしている場合でも、  
報告メッセージが表示される場合があります。  
表示されたら、再度設定を確認してください。





## ■ 原料出庫指示データ受信

テキストファイル(CSV)で保存されている出庫指示データを取り込みます。

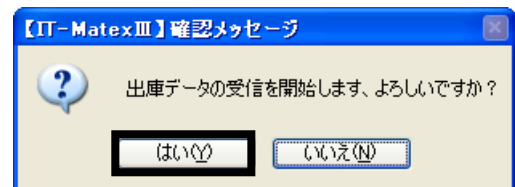
予め、「システム設定」>「システムパラメータ設定」>「入出庫送受信設定」で設定を行ってください。

- ① 「出庫指示データ受信」をクリックします。

データ受信結果	
受信件数:	0 件
エラー件数:	0 件
追加件数:	0 件

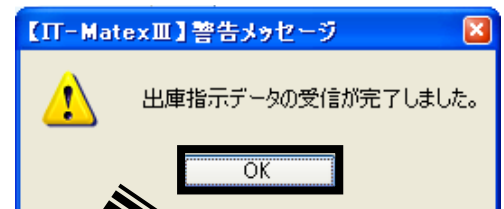
- ② 確認メッセージが表示されます。

データ受信をする場合は[はい]、  
データ受信をしない場合は[いいえ]を選択してください。



- ③ 受信が完了すると、警告メッセージが表示されます。

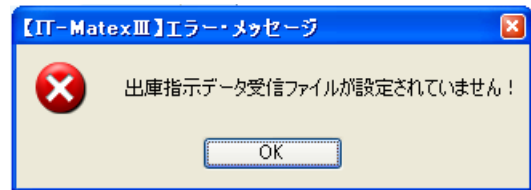
「OK」をクリックすると、  
受信件数・エラー件数・新規追加件数がデータ受信結果として、  
表示されます。



データ受信結果	
受信件数:	5 件
エラー件数:	0 件
追加件数:	5 件

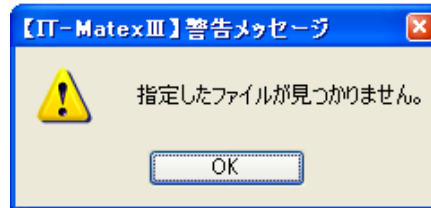
**注意1:**

「システムパラメータ設定」で入在庫送受信設定をしていない場合、エラーメッセージが表示されます。  
「OK」をクリックして、設定を行ってください。



**注意2:**

設定をしている場合でも、報告メッセージが表示される場合があります。  
表示されたら、再度設定を確認してください。



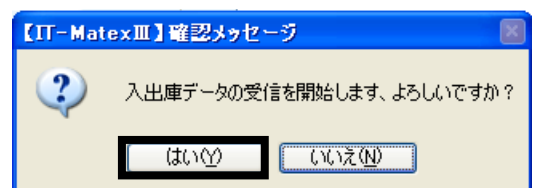
■ 原料入在庫指示データ受信(入庫・出庫一括受信)

- ① [入在庫指示データ受信]をクリックします。



- ② 確認メッセージが表示されます。

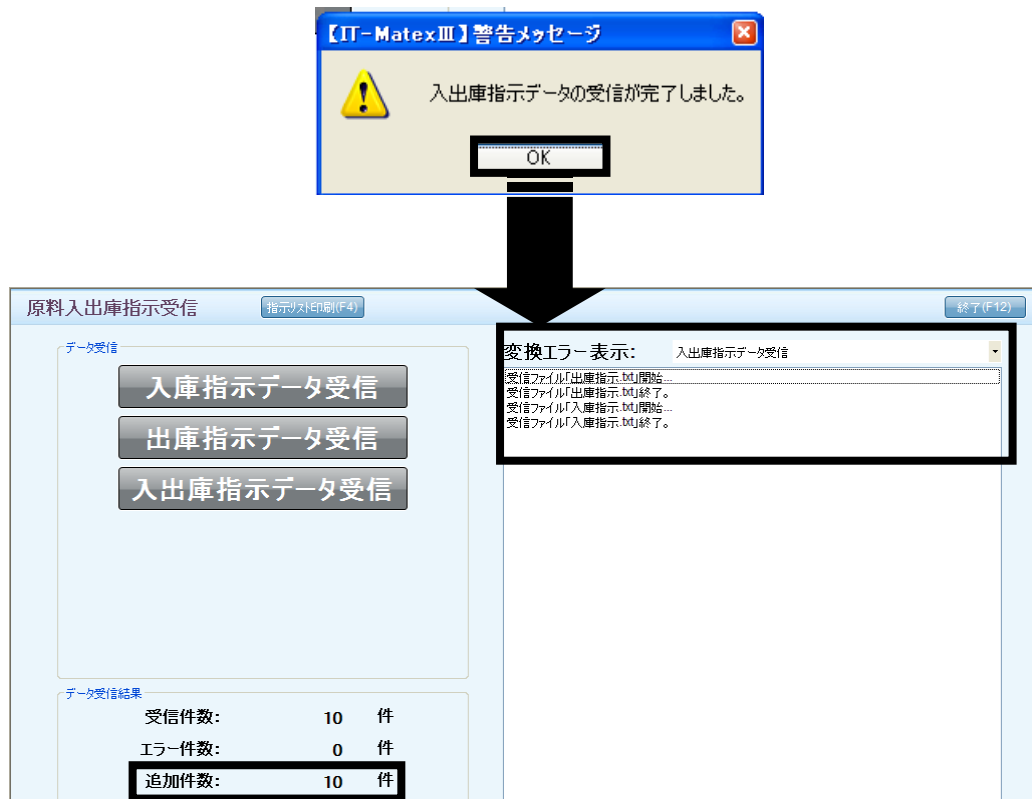
データ受信をする場合は[はい]、受信をしない場合は[いいえ]を選択してください。



③受信が完了すると、警告メッセージが表示されます。

「OK」をクリックすると、

受信件数・エラー件数・新規追加件数がデータ受信結果として、表示されます。

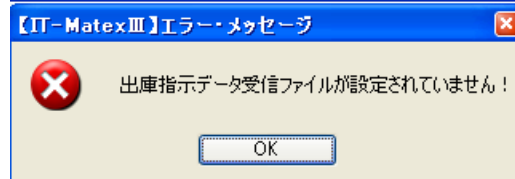
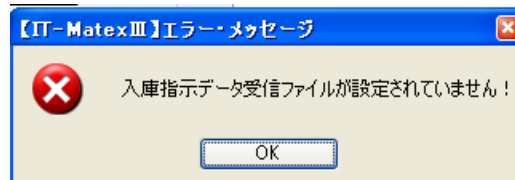


**注意1:**

「システムパラメータ設定」で入出庫送受信設定をしていない場合、

エラーメッセージが表示されます。

「OK」をクリックして、設定を行ってください。

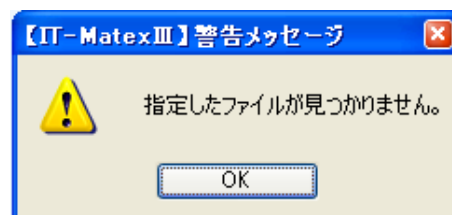


**注意2:**

設定をしている場合でも、

報告メッセージが表示される場合があります。

表示されたら、再度設定を確認してください。



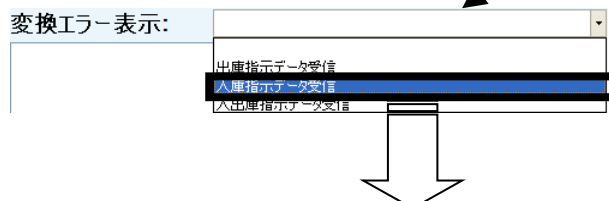
## ■ 変換エラー表示

「出庫指示データ受信」「入庫指示データ受信」「入出庫指示データ受信」を実行した際に発生・表示されたエラーを確認することができます。

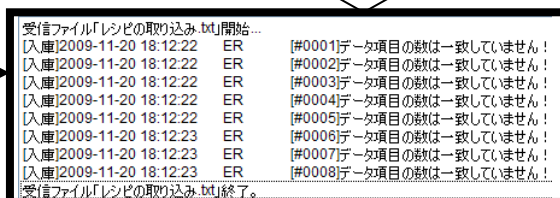


「空白」を選択すると出庫・入庫指示データ受信の全エラーを表示します。

項目を選択しますと該当指示の受信エラーを表示します。



(例) 入庫指示データ受信



## ■ 変換エラー印刷

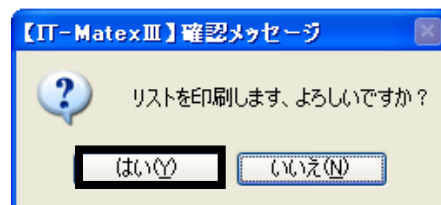
変換エラー表示で表示されたエラー詳細を印刷します。

[指示リスト印刷]をクリックすると確認メッセージが表示されます。



印刷する場合は[はい]、

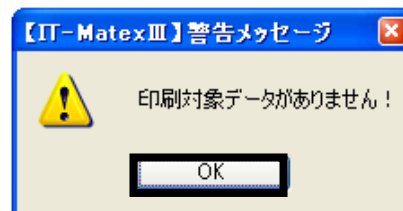
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

データ表示をしていない状態で[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。

「OK」をクリックし、データ表示を行ってから印刷を行ってください。



## ■ 原料入出庫指示受信の終了

[終了]をクリックすると、【原料入出庫指示受信】画面を終了します。



## 入庫作業進捗モニター

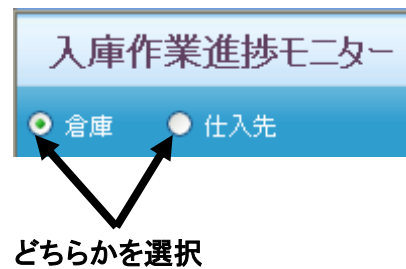
### 【入出庫管理＞入庫作業進捗モニター】

入庫の指示書伝票番号ごとの作業進捗が確認できます。

...

#### ■ 入庫作業進捗モニターの検索

① 作業進捗を表示させる、「倉庫」・「仕入先」のどちらかを選択します。



② 伝票番号及び倉庫番号の範囲を指定して作業進捗を確認したい場合は、検索範囲を入力し、「検索」をクリックします。

③-1 : ①で「倉庫」を選択した場合

入庫作業進捗モニター								
倉庫		仕入先		伝票番号:	->	倉庫番号:	->	検索
No.	伝票番号	倉庫名称	指示件数	完了件数	残件数	欠品件数	完了率	
1	20090728001	01水平	8	0	8	0	0.00%	
2	20090728001	04	2	0	2	0	0.00%	
3	200911	01水平	3	3	0	0	100.00%	
4	合計		13	3	10	0	23.08%	

#### <倉庫表示>

伝票番号 … 伝票No.

欠品件数 … 欠品件数

倉庫名称 … 倉庫名

完了率(%) … 完了率を%で表示

指示件数 … 指示件数

完了件数 … 実績確定件数

残件数 … 実績未確定件数

③-2 :①で「仕入先」を選択した場合

入庫作業進捗モニター							
● 倉庫 ● 仕入先		伝票番号: [ ] -> [ ]	仕入先: [ ] -> [ ]	検索			
No.	伝票番号	仕入先	指示件数	完了件数	残件数	欠品件数	完了率
1	20090728001		10	0	10	0	0.00%
2	200911		3	3	0	0	100.00%
3	合計		13	3	10	0	23.08%

<仕入先表示>

伝票番号 ... 伝票No.

欠品件数 ... 欠品件数

仕入先 ... 仕入先名称

完了率(%) ... 完了率を%で表示

指示件数 ... 指示件数

完了件数 ... 実績確定件数

残件数 ... 実績未確定件数

補足:入庫作業進捗検索後、詳細内容を確認したい場合。

検索後の一覧表示で、詳細内容を確認したい伝票一行をダブルクリックすると、  
該当伝票の入庫指示作成画面に切り替わり、詳細内容を確認することができます。

入庫作業進捗モニター							
● 倉庫 ● 仕入先		伝票番号: [ ] -> [ ]	倉庫番号: [ ] -> [ ]	検索			
No.	伝票番号	倉庫名称	指示件数	完了件数	残件数	欠品件数	完了率
1	20090728001	01水平	8	0	8	0	0.00%
2	20090728001	04	2	0	2	0	0.00%
3	200911	01水平	3	3	0	0	100.00%
4	合計		13	3	10	0	23.08%

入庫指示作成										
伝票番号: 20090728001		対象: [ ]	入庫予定日: 2009/11/24	倉庫: 01水平	検索(F11)		【修正】		終了(F12)	
No.	コード	型式	名称	対象	在庫数	指示数	日付No	有効期限	倉庫名称	備番
1	03	07	砂糖	原料		100.000			01水平	00014201
2	03	08	塩	原料	20.000	100.000			01水平	000116
3	03	09	醤油	原料	40.000	100.000			01水平	000224
4	03	10	味の素	原料	150.000	100.000			01水平	000115
5	03	07	砂糖	原料		100.000			01水平	00014201
6	03	08	塩	原料	20.000	100.000			01水平	000116
7	03	09	醤油	原料	40.000	100.000			01水平	000224
8	03	10	味の素	原料	150.000	100.000			01水平	000115

■ 入庫作業進捗モニターの終了

[終了]をクリックすると、【入庫作業進捗モニター】画面を終了します。

入庫作業進捗モニター

終了(F12)

## 出庫作業進捗モニター

【入出庫管理＞出庫作業進捗モニター】

出庫の指示書伝票番号毎の作業進捗が確認できます。

出庫作業進捗モニター 終了(F12)

倉庫     出庫先   
 伝票番号:  ->    
 倉庫番号:  ->    

No.	① 伝票番号	倉庫名称	指示件数	完了件数	残件数	② 欠品件数	完了率	検品完了件数	検品完了率
-----	--------	------	------	------	-----	--------	-----	--------	-------

### ■ 出庫作業進捗モニターの検索

① 作業進捗を表示させる、「倉庫」・「仕入先」のどちらかを選択します。

出庫作業進捗モニター

倉庫     出庫先

どちらかを選択

② 伝票番号及び倉庫番号の範囲を指定して作業進捗を確認したい場合は、検索範囲を入力し、[検索]をクリックします。

伝票番号:  ->     倉庫番号:  ->    

③-1 : ①で「倉庫」を選択した場合

出庫作業進捗モニター

倉庫     出庫先   
 伝票番号:  ->    
 倉庫番号:  ->    

No.	伝票番号	倉庫名称	指示件数	完了件数	残件数	欠品件数	完了率	検品完了件数	検品完了率
1	200909	01水平	2	0	2	0	0.00%	0	0.00%
2	200910	01水平	2	0	2	0	0.00%	0	0.00%
3	200911	01水平	3	1	2	0	33.33%	0	0.00%
4	合計		7	1	6	0	14.29%		

<倉庫先表示>

伝票番号 … 伝票No.

倉庫名称 … 倉庫名

指示件数 … 指示件数

完了件数 … 実績確定件数

残件数 … 実績未確定件数

欠品件数 … 欠品件数

完了率(%) … 完了率を%で表示

検品完了件数 … 検品完了件数

検品完了率(%) … 検品完了率を%で表示

③-2 :①で「出庫先」を選択した場合

出庫作業進捗モニター									
● 倉庫 ● 出庫先		票番号: <input type="text"/>	->	<input type="text"/>	出庫先: <input type="text"/>	->	<input type="text"/>	検索	
No.	伝票番号	出庫先	指示件数	完了件数	残件数	欠品件数	完了率	検品完了件数	検品完了率
1	200909		2	0	2	0	0.00%	0	0.00%
2	200910		2	0	2	0	0.00%	0	0.00%
3	200911		2	0	2	0	0.00%	0	0.00%
4	200911	寺岡	1	1	0	0	100.00%	0	0.00%
5	合計		7	1	6	0	14.29%		

<出庫先表示>

伝票番号 … 伝票No.

出庫先 … 出庫先名称

指示件数 … 指示件数

完了件数 … 実績確定件数

残件数 … 実績未確定件数

欠品件数 … 欠品件数

完了率(%) … 完了率を%で表示

検品完了件数 … 検品完了件数

検品完了率(%) … 検品完了率を%で表示

**補足: 出庫作業進捗検索後、詳細内容を確認したい場合。**

検索後の一覧表示で、詳細内容を確認したい伝票一行をダブルクリックすると、該当伝票の入庫指示作成画面に切り替わり、詳細内容を確認することができます。

出庫作業進捗モニター									
● 倉庫 ● 出庫先		伝票番号: <input type="text"/>	->	<input type="text"/>	倉庫番号: <input type="text"/>	->	<input type="text"/>	検索	
No.	伝票番号	倉庫名称	指示件数	完了件数	残件数	欠品件数	完了率	検品完了件数	検品完了率
1	200909	01水平	2	0	2	0	0.00%	0	0.00%
2	200910	01水平	2	0	2	0	0.00%	0	0.00%
3	200911	01水平	3	1	2	0	33.33%	0	0.00%
4	合計		7	1	6	0	14.29%		

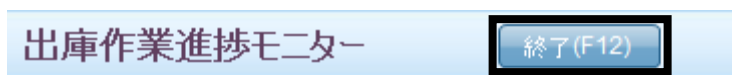
**出庫指示作成**                     

伝票番号:    対象:    出庫予定日:    倉庫:         

No.	コード	型式	名称	対象	ロットNo	有効期限	在庫数	指示数	倉庫名称	棚番	出庫先
1	03	09	醤油	原料			40.000	200.000	01水平	000224	
2	03	10	味の素	原料			150.000	20.000	01水平	000115	

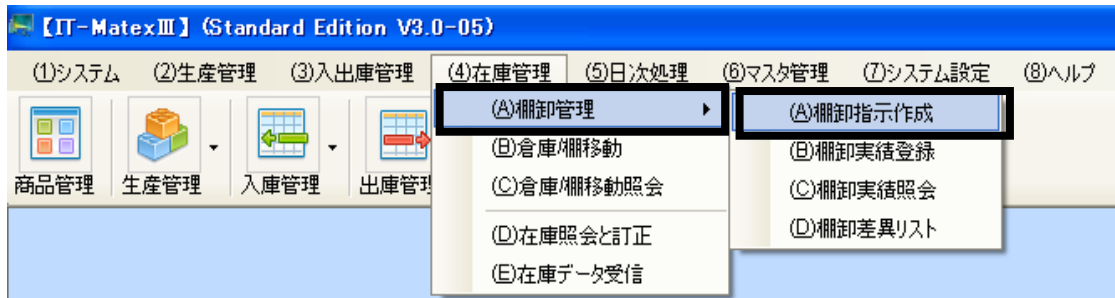
■ 出庫作業進捗モニターの終了

[終了]をクリックすると、【出庫作業進捗モニター】画面を終了します。





# 在庫管理



## 棚卸指示作成

【在庫管理>棚卸管理>棚卸指示作成】

棚卸指示作成

保存(F1) 削除(F3) 印刷(F4) 終了(F12)

伝票番号: [ ] 対象: [ ] 倉庫: [ ] 棚番: [ ] ~ [ ] 作業理由: [ ]

棚卸日: 2009/11/24 原料分類: [ ] 原料部門: [ ] コード: [ ] ~ [ ] ソート: [ ] 作成(F11)

No.	コード	型式	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限	理論在庫数

### 補足: ツールボタン



「棚卸管理」→「棚卸指示作成」からでも、  
同じ操作画面になります。

### ■ 棚卸指示作成の新規作成

① 指示作成

③ 保存(F1) ④ 削除(F3) ⑤ 印刷(F4) ⑥ 終了(F12)

伝票番号: [ ] ② 対象: [ ] 倉庫: [ ] 棚番: [ ] ~ [ ] 作業理由: [ ]

棚卸日: 2009/11/24 ⑦ 原料分類: [ ] 原料部門: [ ] コード: [ ] ~ [ ] ソート: [ ] ⑧ ⑨ 作成(F11)


## 1. 棚卸指示の自動作成方法

項目説明

参考キャプチャー

① 「伝票番号」に半角英数字16桁以内で伝票番号を入力します。(例)20120127

② 「棚卸日」のフィルタをクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーの日付を選択し、棚卸日を設定します。

①  ... 前月のカレンダーを表示

②  ... 翌月のカレンダーを表示

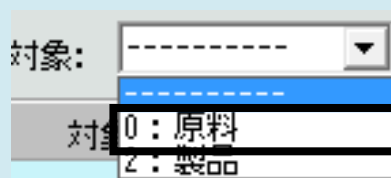
③  ... チェックを入れると

作成日当日の日付を表示



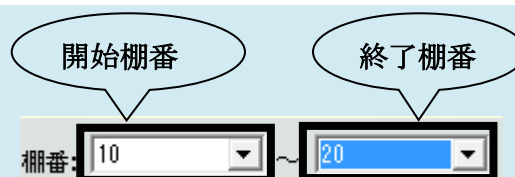
③ 「対象」のフィルタで「0:原料」「2:製品」のどちらかを選択します。

(例)対象:「原料」を選択した場合、一覧表には原料データのみを表示します。

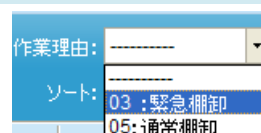


④ 「倉庫」を選択します。

⑤ 棚卸をする棚番の範囲指定をします。フィルタ内には④で選択した「倉庫」の棚番が自動的に設定されます。



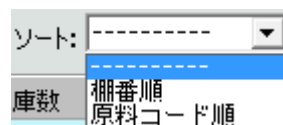
⑥ 選択した内容が、指示作成一覧の作業理由項目に反映されます。



⑦ 「原料分類」「原料部門」「コード」を指定すると、更に項目を設定できます。



⑧ 「ソート」フィルタで「棚番順」「原料コード順」どちらかに選択すると、指示作成時の一覧で、設定した順序によって表示されます。

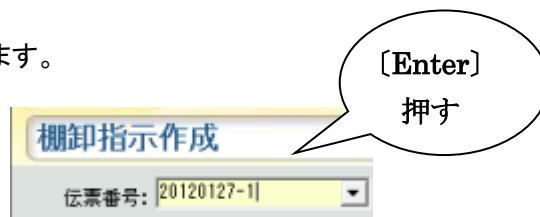


⑨ 上記①～⑧の指定条件を入力した後にクリックします。作成された棚卸指示データは自動的に一覧に表示されます。

作成(F11)

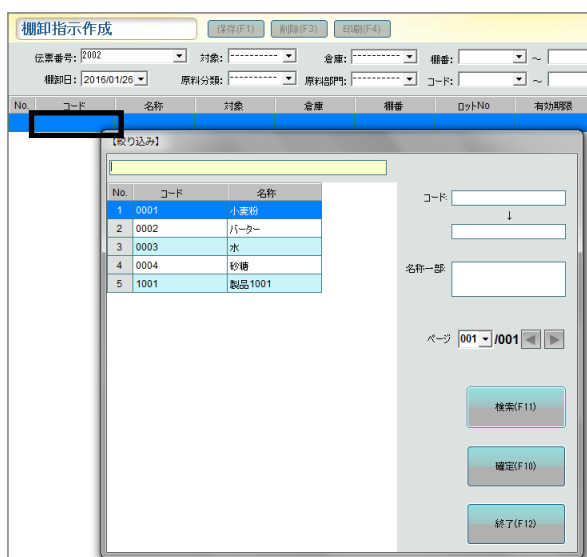
## 2. 棚卸指示の手動作成方法

- ①: ①「伝票番号」に半角英数字16桁以内で伝票番号を入力します。  
[Enter]キーを押すと入力した番号が確定されます。



- ②: ②～⑧の指定条件を入力します。

- ③: 新規作成された棚卸指示入力行の「コード」項目のセル上をダブルクリック、またはセル上で[スペース]キーを押すと、アイテム絞りこみのポップアップ画面が表示されます、棚卸指示を作成したい原料を選択します。



- ④ フィルタ内で棚卸指示を作成したい原料を選択します。

- ⑤ 複数のロットNoがある場合は、「ロットNo.」のセルをダブルクリックし、フィルタでNo.を選択します。  
選択したロットNoの在庫数は自動的に「理論在庫数」に表示されます。

No.	コード	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限	理論在庫数	棚卸状態	作業理由
1	0001	小麦粉	原料	倉庫01	10	123	20120207	100.000	未処理	
2	0002	バター	原料	倉庫01	11	11		10.000	未処理	
3	0002	バター	原料	倉庫01	11	12		10.000		
4	0002	バター	原料	倉庫01	11	12		10.000		

⑥データ入力後、「保存」をクリックします。

データ保存が完了すると、データが赤文字から黒文字へかわります。

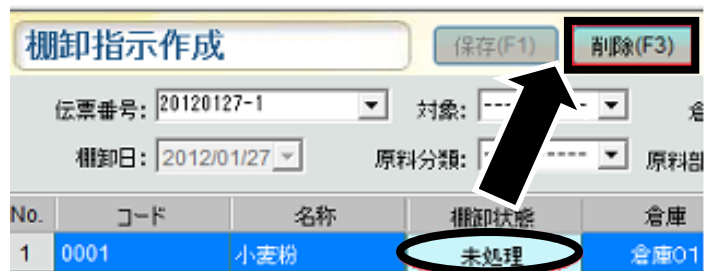
「保存」をクリックせずに終了した場合、データ保存はされません。



### ■ 棚卸指示伝票の行削除

①作成一覧で、削除したい棚卸伝票の一行を選択し、

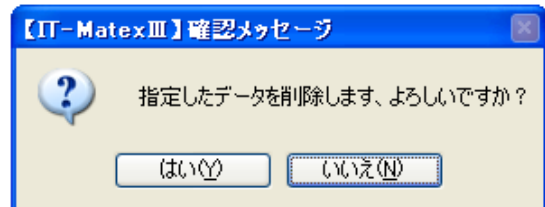
「削除」をクリックします。



②確認メッセージが表示されます。

「はい」を選択すると、選択したデータ行のみ削除されます。

削除しない場合は「いいえ」を選択してください。



### 注意:

「棚卸状態」が未処理状態のデータのみ、削除することができます。

処理済データを選択しても、「削除」ボタンにはマスクが設定されるため、

削除することは出来ません。

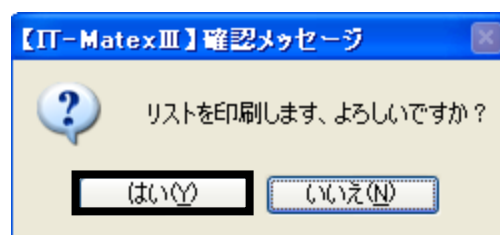


## ■ 棚卸指示伝票リストの印刷

- ① 伝票番号フィルタで棚卸指示内容を印刷したい伝票番号を選択し、  
〔印刷〕をクリックします。

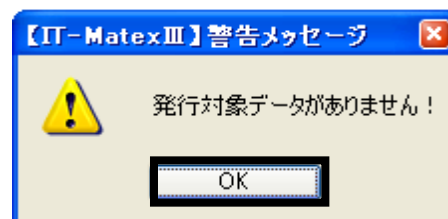
No.	コード	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限	理論在庫数	棚卸状態
1	0001	小麦粉	原料	倉庫01	10	QLB-001	20120130	-100.000	未処理
2	0002	バター	原料	倉庫01	10	444		30.000	未処理
3	0003	水	原料	倉庫01	10			-60.000	未処理

- ② 確認メッセージが表示されます。  
〔はい〕を選択すると、選択した伝票のみ印刷します。  
印刷しない場合は〔いいえ〕を選択してください。



### 注意:

指示が未処理状態の場合に、  
棚卸指示伝票リストを印刷することが可能です。  
処理済状態のデータを印刷しようとする、  
エラーが表示されます。



## ■ 棚卸指示作成の終了

〔終了〕をクリックすると、棚卸指示作成画面を終了します。

棚卸指示作成

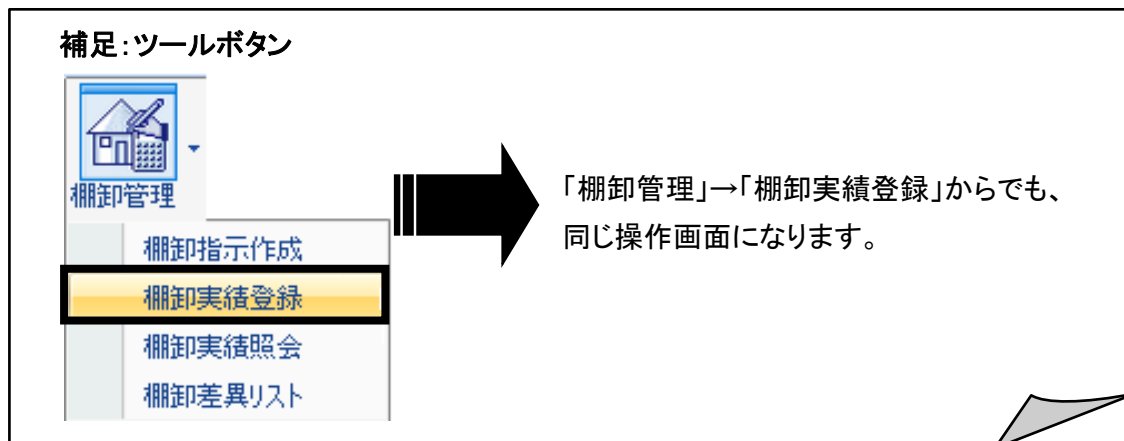
保存(F1) 削除(F3) 印刷(F4) 終了(F12)

## 棚卸実績登録

【在庫管理＞棚卸管理＞棚卸実績登録】

棚卸実績登録 追加(F1) 確定(F2) 終了(F12)

伝票番号: 20120127-1 対象: ----- 棚卸日: 2012/01/27 倉庫: ----- 検索(F11) 【作業中】



### ■ 棚卸実績登録

棚卸実績登録 追加(F1) 確定(F2) 終了(F12)

伝票番号: 20120127-1 対象: ----- 棚卸日: 2012/01/27 倉庫: ----- 検索(F11) 【作業中】

①                                  ②                                  ③                                  ④                                  ⑤

#### 項目説明

#### 参考キャプチャー

① 「伝票番号」フィルタで、実績登録をする棚卸番号を選択します。  
右図例: 20120127-1

No.	コード
	20120127-1

② 「対象」フィルタで「0:原料」「2:製品」のどちらかを選択します。  
(例) 対象: 「原料」を選択した場合は一覧表に原料データのみを表示します。

③ 棚卸指示日がデフォルトで表示されます。

④ 「倉庫」を選択します。

選択すると、該当倉庫のみを検索します。

⑤ 各検索条件を選択した後にクリックします。

〔検索〕ボタンクリック後、検索に該当する棚卸実績登録用の伝票が、一覧に表示されます。  
 「実在庫数」を入力すると、黒文字で表示されていたデータが赤文字にかわります。  
 入力後、〔確定〕をクリックすると赤文字が灰色文字にかわります。

棚卸実績登録

伝票番号: 20120127-1 対象: ----- 棚卸日: 2012/01/27 検索(F11) 【作業中】

No.	コード	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限	理論在庫数	実在庫数
1	0001	小麦粉	原料	倉庫01	10	QLB-001	20120130	-100.000	2.000
2	0002	バター	原料	倉庫01	10	444		30.000	31.000

伝票番号: 20120127-1 対象: ----- 棚卸日: 2012/01/27

コード	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限	理論在庫数	実在庫数
0001	小麦粉	商品	倉庫01	10	QLB-001	20120130	2.000	2.000

確定後、入力した「実在庫数」連動して、「理論在庫数」が更新されます。

### ■ 実在庫数の修正

①棚卸指示の「実在庫数」をダブルクリックし、処理済の棚卸指示の「実在庫数」を修正することができます。

伝票番号: 20120127-1 対象: ----- 棚卸日: 2012/01/27

コード	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限	理論在庫数	実在庫数
0001	小麦粉	商品	倉庫01	10	QLB-001	20120130	2.000	2.000
0002	バター	商品	倉庫01	10	444		32.000	32.000

ダブル  
クリック

②「実在庫数」の数字を入力し直す(修正すると、灰色文字が赤文字にかわります。

0001	小麦粉	商品	倉庫01	10	QLB-001	20120130	2.000	2.000	処理済
0002	バター	商品	倉庫01	10	444		32.000	31.000	処理済

③修正後、〔確定〕をクリックすると、修正した「実在庫数」に連動して「理論在庫数」が更新されます。

棚卸実績登録

追加(F1) 確定(F2)

## ■ 棚卸実績登録の追加

伝票中に新規の棚卸指示を追加します。

- ①「追加」をクリックすると、  
表示されている伝票一覧表の一番下に行が追加されます。

No.	コード	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限
1	0001	小麦粉	原料	倉庫01	10	QLB-001	20120130
2	0002	バター	原料	倉庫01	10	444	

- ②「コード」欄下のセル上をダブルクリック、またはセル上で[スペース]キーを押すと、  
フィルタが表示されます。

表示されたフィルタ内で原料を選択すると、指示が作成されます。

(例下図):コード選択後の指示作成がされた状態

No.	コード	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限	理論在庫数	実在庫数	棚卸状態	作業理由
1	0001	小麦粉	原料	倉庫01	10	QLB-001	20120130	2.000	2.000	処理済	
2	0002	バター	原料	倉庫01	10	444		32.000	32.000	処理済	
3	0003	水	原料	倉庫01	10			-60.000		未処理	

- ③「実在庫数」を入力して[確定]をクリックします。

確定すると、データの赤文字が灰色文字へ  
かわります。

No.	コード	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限	理論在庫数	実在庫数	棚卸状態	作業理由
1	0001	小麦粉	原料	倉庫01	10	QLB-001	20120130	2.000	2.000	処理済	
2	0002	バター	原料	倉庫01	10	444		32.000	32.000	処理済	
3	0003	水	原料	倉庫01	10			-60.000	2.000	未処理	



**補足1:**在庫なしの原料や製品も追加することができます。

**補足2:**処理済みの棚卸指示は「未処理」に戻すことができます。

①一覧の「棚卸状態」のセルをダブルクリックします。



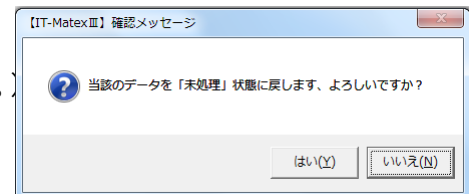
ダブル  
クリック

②確認メッセージが表示されます。

〔はい〕を選択した場合、棚卸状態が未処理に戻ります。

(既に更新した在庫数も棚卸処理をする前の状態に戻ります。)

〔いいえ〕を選択した場合は処理済み状態を継続します。



#### ■ 棚卸実績登録の終了

〔終了〕をクリックすると、棚卸指示実績登録画面を終了します。



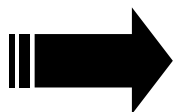
## 棚卸実績照会

【在庫管理>棚卸管理>棚卸実績照会】

棚卸実績の照会をします。

棚卸実績照会	保存(F1)	印刷(F4)	終了(F12)
伝票番号: <input type="text"/>	棚卸日: <input type="text" value="2012/01/27"/>	作業者: <input type="text"/>	検索(F11)
コード: <input type="text"/>	作業理由: <input type="text"/>	棚卸倉庫: <input type="text"/>	

### 補足: ツールボタン



「棚卸管理」→「棚卸実績照会」からでも、  
同じ操作画面になります。

### ■ 伝票指示検索方法

棚卸実績照会	保存(F1)	印刷(F4)	終了(F12)
伝票番号: <input type="text"/>	棚卸日: <input type="text" value="2012/01/27"/>	作業者: <input type="text"/>	検索(F11)
コード: <input type="text"/>	作業理由: <input type="text"/>	棚卸倉庫: <input type="text"/>	

「伝票番号」「棚卸日」「作業者」「コード」「作業理由」「棚卸倉庫」の検索条件を入力、または選択し、  
[検索]をクリックすると、該当するデータが一覧で表示されます。

## ■ 実在庫数の修正

①検索後、一覧表示された棚卸指示データの「実在庫数」のセルをダブルクリックすると、入力枠に切り替わります。

処理済の棚卸指示の「実在庫数」の修正も可能です。

伝票番号:	20120127-1	対象:	-----	棚卸日:	2012/01/27			
コード	名称	対象	倉庫	棚番	ロットNo	有効期限	理論在庫数	実在庫数
0001	小麦粉	商品	倉庫01	10	QLB-001	20120130	2.000	2.000
0002	バター	商品	倉庫01	10	444		32.000	32.000

②「実在庫数」の数字を入力し直す(修正すると、灰色文字が赤文字にかわります。

0001	小麦粉	商品	倉庫01	10	QLB-001	20120130	2.000	2.000	処理済
0002	バター	商品	倉庫01	10	444		32.000	31.000	処理済

③修正後、[保存]をクリックすると、再び赤文字から灰色文字にかわります。

また、修正した「在庫数」に連動して、「理論在庫数」が更新されます。

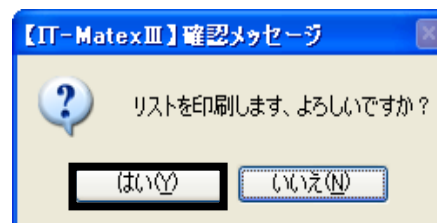


## ■ 棚卸実績照会の印刷

① [印刷]をクリックします。

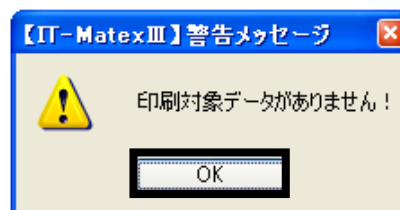


② 確認メッセージが表示されるので、印刷する場合は[はい]、印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



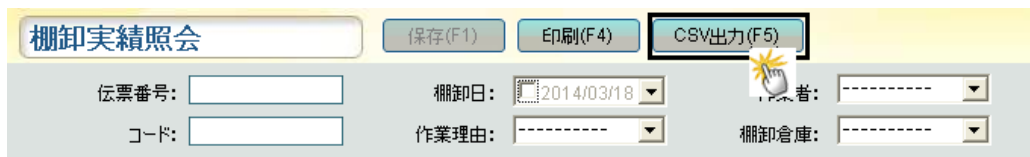
### 注意:

データ表示がされていない時に、[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。[OK]をクリックし、データ表示をさせてから印刷を行って下さい。



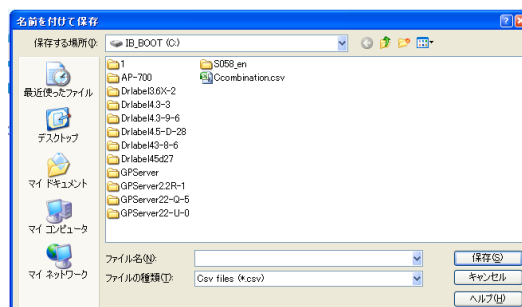
## ■ 棚卸実績照会の CSV 出力

① [CSV 出力]をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。

「ファイル名」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



## ■ 棚卸実績照会の終了

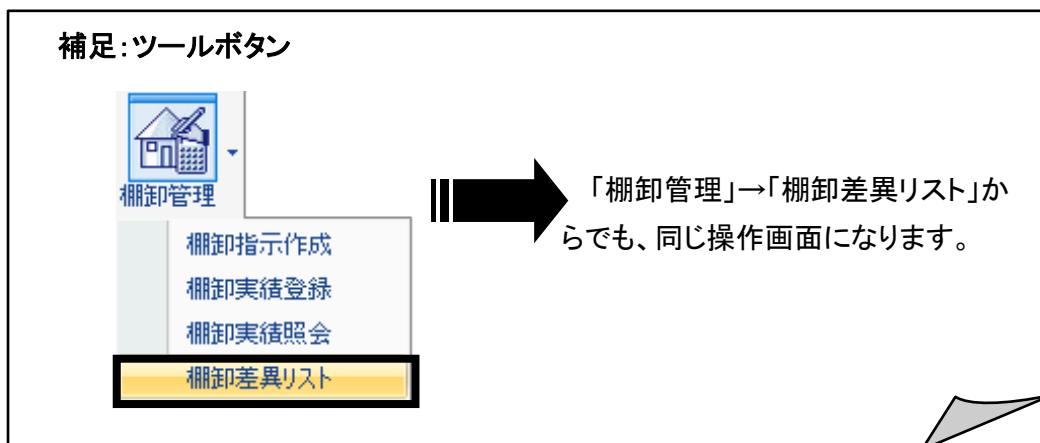
[終了]をクリックすると、棚卸実績照会画面を終了します。



## 棚卸差異リスト

### 【在庫管理>棚卸管理>棚卸差異リスト】

範囲期間内の棚卸で出た差異データ一覧を表示します。



### ■ 棚卸差異リストの表示

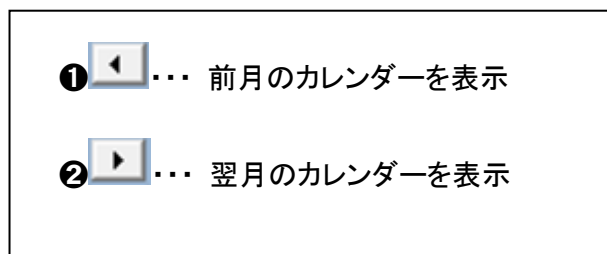
棚卸日の範囲指定を行います。

棚卸日のチェックを両方とも外し、[検索]をクリックすると全ての棚卸差異データを表示します。

### 【棚卸日検索方法】

「棚卸予定日」のフィルタをクリックするとカレンダーが表示されます。

カレンダーの日付を選択し、棚卸日を設定します。



・ 範囲指定をする場合

(例) 2012年01月01日～2012年01月26日



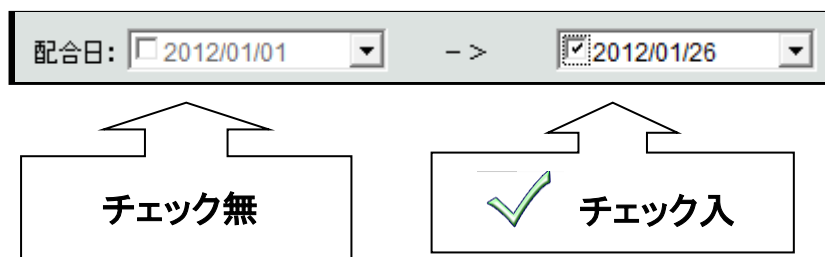
・ 指定日以降の場合

(例) 2012年01月01日以降



・ 指定日以前の場合

(例) 2012年01月26日以前



棚卸日の期間設定後に[検索]をクリックすると、該当範囲の差異データを表示します。

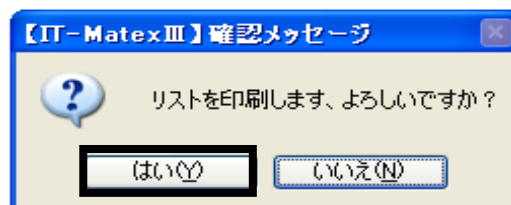
## ■ 棚卸差異リストの印刷

① リストを表示している状態で[印刷]をクリックします。



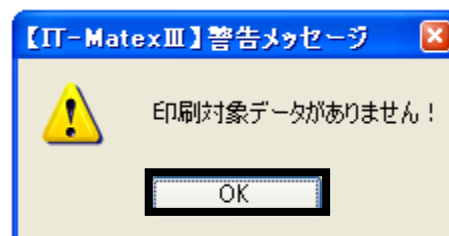
No.	コード	型式	名称	対
1	1008	01	AK-203	半製
2	1013	01	AK-203	半製

② 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



### 注意:

データ表示がされていない時に、  
[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、  
データ表示を行ってから印刷を行ってください。



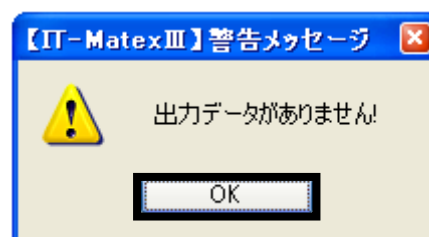
## ■ 棚卸差異リストの CSV 出力

- ① リストを表示している状態で[CSV出力]をクリックします。

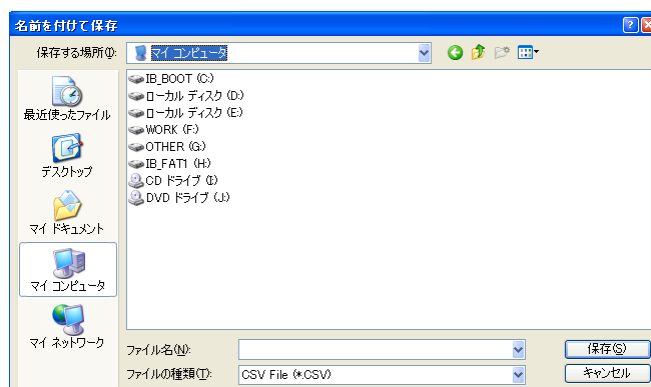
棚卸差異リスト					
棚卸日:		2009/11/24	->	2009/11/24	検索(F11)
No.	コード	型式	名称	対象	ロットNo
1	1008	01	AK-203	半製品	
2	1013	01	AK-203	半製品	
3	1014	01	AK-203	半製品	

### 注意:

リストを表示しないまま[CSV出力]をクリックすると警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、データ表示を行ってから出力を行ってください。



- ② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。



- ③ 出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 棚卸差異リストの終了

[終了]をクリックすると、棚卸差異リスト画面を終了します。





## 倉庫/棚移動

### 【在庫管理>倉庫/棚移動】

倉庫/棚移動 [追加(F1)] [削除(F3)] [移動(F11)] [終了(F12)]

コード: 0001 移動元倉庫: 01 倉庫01  
 名称: 小麦粉 移動元棚番: 10 移動元ロットNo: ----- 現在在庫数: 140 移動数量:

移動先倉庫: 01 倉庫01 移動先棚番: 12

選択	コード	名称	移動数量	移動元倉庫	移動元棚番	移動元ロットNo	移動先倉庫	移動先棚番
----	-----	----	------	-------	-------	----------	-------	-------

### ■ 倉庫/棚全部移動

③

倉庫/棚移動 [追加(F1)] [削除(F3)] [移動(F11)] [終了(F12)]

①  
 ...  
 ②  
 ④

コード: 0001 移動元倉庫: 01 倉庫01  
 名称: 小麦粉 移動元棚番: 10 移動元ロットNo: ----- 現在在庫数: 140 移動数量:

移動先倉庫: 01 倉庫01 移動先棚番: 12

選択	コード	名称	移動数量	移動元倉庫	移動元棚番	移動元ロットNo	移動先倉庫	移動先棚番
----	-----	----	------	-------	-------	----------	-------	-------

① 「コード」フィルタで、棚移動をする原料を選択します。

コードを選択すると、「移動元倉庫コード/名称」、「名称」「移動元棚番」が表示されます。

(例) 原料コード:0001 / 原料名称:小麦粉 / 移動元倉庫:01 / 移動元棚番:10

移動元ロットNoフィルタで、

ロットNoを選択します。

該当ロットの在庫数が表示されます。

移動元ロットNo: 123 現在在庫数: 100

123

② 移動先倉庫のフィルタより移動先を選択し、移動先の棚番を選択します。

(例) 移動先倉庫:02 / 移動先棚番 :001

移動先倉庫: 02 02倉庫 移動先棚番: 001

③ [追加]をクリックします。

④ 棚移動データが画面に表示されます。

倉庫/棚移動 [追加(F1)] [削除(F3)] [移動(F11)] [終了(F12)]

コード: 0001 移動元倉庫: 01 倉庫01  
 名称: 小麦粉 移動元棚番: 10 移動元ロットNo: 123 現在在庫数: 100 移動数量: 100

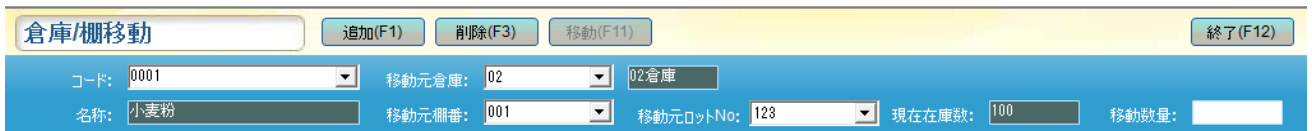
移動先倉庫: 02 02倉庫 移動先棚番: 001

選択	コード	名称	移動数量	移動元倉庫	移動元棚番	移動元ロットNo	移動先倉庫	移動先棚番
☑	0001	小麦粉	100.000	01	10	123	02	001

- ⑤一覧「選択」項目にが  入っています。  
 棚移動をする場合はチェックを入れた状態のまま、[移動]をクリックします。  
 棚移動をしない場合はチェックを外して下さい。  
 チェックを外している状態で[移動]をクリックしても倉庫／棚移動は実行されません。



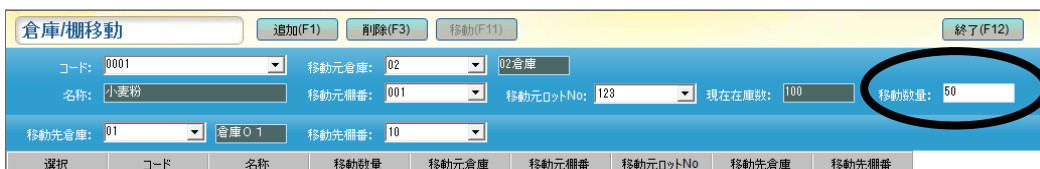
(例)下画像:コード 0001 ロット NO123 を 01 倉庫→02 倉庫への移動完了後



### ■ 倉庫/棚部分移動

(例)上図のコード:0001 / 名称:小麦粉 / 移動元倉庫:倉庫 02 / 移動元ロット No: 123

①移動したい数量を「移動数量」欄に入力します。(例:50 を入力します。)



②移動先倉庫/棚番を選択します。

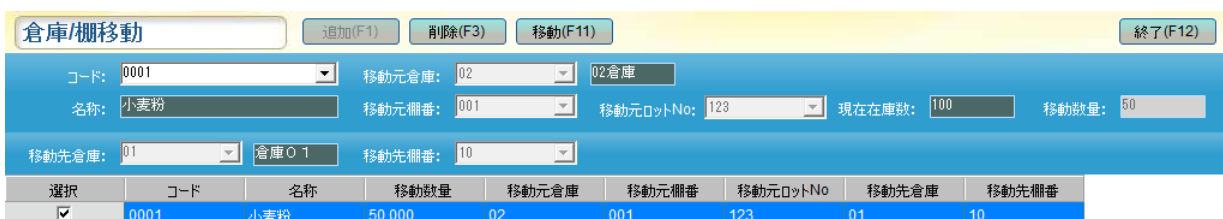


③[追加]をクリックします。



④[移動]ボタンをクリックし、原料 0001 名称小麦粉 ロット NO123

[01 倉庫 棚番 10]中に 50 在庫があります。[02 倉庫 棚番 001]中に50在庫があります。



### 注意:

倉庫マスタの「ロケーション区分:固定」に設定している場合は、同一倉庫中に同じ原料を複数棚番に存在させることはできません。

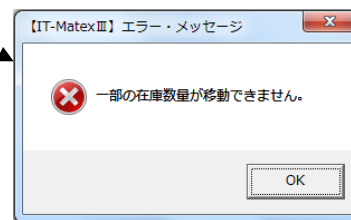
(例) 下図: コード:0001 / 名称:小麦粉 / 倉庫:02 / 棚番:001 → 倉庫:02

倉庫/棚移動

追加(F1) 削除(F3) 移動(F11) 終了(F12)

コード: 0001 移動元倉庫: 02 02倉庫  
名称: 小麦粉 移動元棚番: 001 移動元ロットNo: 123 現在在庫数: 100 移動数量: 50  
移動先倉庫: 02 02倉庫 移動先棚番: 002

棚番:002に部分移動しようとする、エラーが表示されます。



### ■ 倉庫/棚移動の削除

移動作業を行う前のデータを削除します。

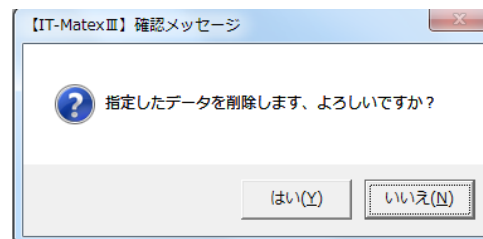
倉庫/棚移動

追加(F1) 削除(F3) 移動(F11) 終了(F12)

コード: 0002 移動元倉庫: 01 倉庫01  
名称: バター 移動元棚番: 11 移動元ロットNo: 現在在庫数: 90 移動数量: 90  
移動先倉庫: 02 02倉庫 移動先棚番: 001

選択	コード	名称	移動数量	移動元倉庫	移動元棚番	移動元ロットNo	移動先倉庫	移動先棚番
<input checked="" type="checkbox"/>	0002	バター	80.000	01	11	02	02	001
<input checked="" type="checkbox"/>	0002	バター	0.000	01	11	11	02	001
<input checked="" type="checkbox"/>	0002	バター	0.000	01	11	12	02	001
<input checked="" type="checkbox"/>	0002	バター	10.000	01	11	13	02	001

[削除]をクリックします、メッセージが表示され、  
[はい]をクリックすると☑のデータが削除されます。  
[いいえ]をクリックするとキャンセルされます。



### ■ 倉庫/棚移動の終了

[終了]をクリックすると、倉庫/棚移動画面を終了します。

倉庫/棚移動

追加(F1) 削除(F3) 移動(F11) 終了(F12)

## 倉庫/棚移動照会

### 【在庫管理>倉庫・棚移動照会】

倉庫/棚移動照会 CSV出力(F5) 終了(F12)

名称一部:  型式一部:  コード:  -  検索(F11) ページ 001 /001

#### ■ 倉庫/棚移動照会の検索

倉庫/棚移動照会 CSV出力(F5) 終了(F12)

名称一部:  型式一部:  コード:  -  検索(F11) ページ 001 /001



- ① 「名称一部」「形式一部」「コード」の検索条件を入力し、[検索]をクリックします。
- ② 条件に該当するデータが一覧表示されます。

#### ■ 倉庫/棚移動照会の CSV 出力

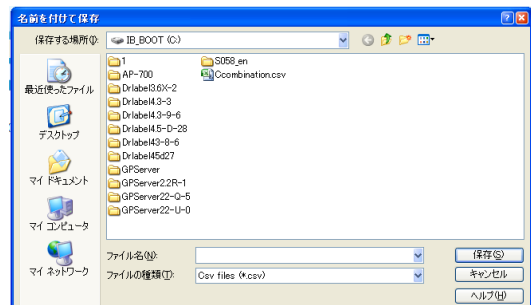
- ① [CSV 出力]をクリックします。

倉庫/棚移動照会 CSV出力(F5) 終了(F12)

名称一部:  型式一部:  コード: 0001 - 0001 検索(F11) ページ 001 /001

No.	コード	名称	対象	移動元倉庫No	移動元倉庫名称	移動元棚番	移動先倉庫No	移動先倉庫名称	移動先棚番
1	0001	砂糖	原料	01	倉庫01	010000	01	倉庫01	010003
2	0001	砂糖	原料	01	倉庫01	010000	01	倉庫01	010003
3	0001	砂糖	原料	000102	倉庫01	010000	01	倉庫01	010003
4	0001	砂糖	原料	000103	倉庫01	010000	01	倉庫01	010003

- ② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。  
「ファイル名」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



#### ■ 倉庫/棚移動照会の終了

[終了]をクリックすると、【倉庫/棚移動照会】管理画面を終了します。

倉庫/棚移動照会 CSV出力(F5) 終了(F12)

名称一部:  型式一部:  コード:  -  検索(F11) ページ 001 /001



## 在庫照会と訂正

### 【在庫管理>在庫照会と訂正】

在庫照会と訂正

保存(F1) 印刷(F4) 展開(F9) 明細表示(F10) 表示総金額 0.00 円 終了(F12)

倉庫番号: [-----] 欄番号: [ ] -> [ ]  在庫がゼロ  在庫が基準在庫より少ない

最終入出庫日: [2012/01/27] 以前 ロットNo: [ ] -> [ ] 対象: [-----]

有効期限日: [2012/01/27]迄 コード: [ ] -> [ ] 分類: [-----]

欄卸日: [2012/01/27]以前 名称一部: [ ] 型式: [ ] 部門: [-----] ページ 001 /001

空欄記録削除(F2) 検索(F11)

No.	展開	コード	名称	単価	理論在庫数	金額	单位名称	倉庫	倉庫名称	対象	欄番	ロットNo
-----	----	-----	----	----	-------	----	------	----	------	----	----	-------

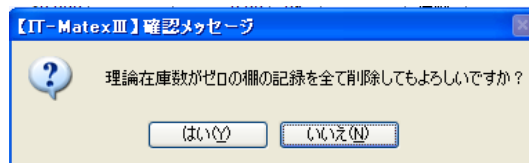
#### 補足: ツールボタン



メニューの「在庫照会」からでも、  
同じ操作画面になります。

すべての在庫データの合計金額を表示します。

理論在庫数が“0”の原料データを表示上から削除します。  
クリックすると確認メッセージが表示されるので、  
削除する場合は〔はい〕、削除しない場合は〔いいえ〕を選択してください



## ■ 在庫照会の検索

①-1

①-2

在庫照会と訂正

保存(F1) 印刷(F4) 展開(F9) 明細表示(F10) 表示総金額 0.00 円 終了(F12)

倉庫番号: [ ] 棚番号: [ ] -> [ ]  在庫がゼロ  在庫が基準在庫より少ない

最終入/出庫日: [2012/01/27] 以前 ロットNo: [ ] -> [ ] 対象: [ ]

有効期限日: [2012/01/27]迄 コード: [ ] -> [ ] 分類: [ ]

棚卸日: [2012/01/27]以前 名称一部: [ ] 型式: [ ] 部門: [ ] ページ 001 / 001

空欄記録削除(F2) 検索(F11)

No.	展開	コード	名称	単価	理論在庫数	金額	単位名称	倉庫	倉庫名称	対象	棚番	②
-----	----	-----	----	----	-------	----	------	----	------	----	----	---

①-1 「倉庫番号」・「棚番号」・「コード」・「最終出庫日」・「ロットNo.」・「原料名一部」・「ソート」  
「コード」・「分類」・「対象」・「最初入庫日」・「部門」の検索条件を入力もしくは選択します。

①-1 各検索条件を選択、入力します。

①-2 「在庫がゼロ」・「在庫が基準在庫より少ない」で検索する場合は、

それぞれの左横にあるにチェックを入れます。

※「在庫がゼロ」と「在庫が基準在庫より少ない」は同時に選択することはできません。

② 「検索」をクリックすると選択した検索条件に該当する在庫データが一覧表示されます。

### 補足:

検索条件を入力せずに「検索」をクリックすると、全ての在庫データを表示します。

## ■ 理論在庫数の修正

### 注意:

在庫照会画面に「理論在庫数」のみ修正することができます。

① 修正するデータ行を選択します。

(例)コード:0001 / 名称 :小麦粉

在庫照会と訂正

保存(F1) 印刷(F4) 展開

倉庫番号: [-----] 棚番号: [ ] ->

最終入/出庫日: [2012/01/27] 以前 ロットNo: [ ] ->

有効期限日: [2012/01/27]迄 コード: [ ] ->

棚卸日: [2012/01/27] 以前 名称一部: [ ] 型式: [ ]

No.	展開	コード	名称	単価	理論在庫数
1	+	0001	小麦粉	0.00	488.899
2	+	0002	バター	0.00	370.000

② **+** もしくは[展開]をクリックします。

展開されると **+** が **-** にかわり、選択したデータの明細行が表示されます。

在庫照会と訂正

保存(F1) 印刷(F4) **展開(F9)**

倉庫番号: [-----] 棚番号: [ ] ->

最終入/出庫日: [2012/01/27] 以前 ロットNo: [ ] ->

有効期限日: [2012/01/27]迄 コード: [ ] ->

棚卸日: [2012/01/27] 以前 名称一部: [ ] 型式: [ ]

No.	展開	コード	名称	単価	理論在庫数	金	単位
1	-	0001	小麦粉	0.00	688.899	0...	k
					346.279		
					100.000		
					100.000		

③ 作成された行の理論在庫数をダブルクリック、もしくはセルを選択して[スペース]キーを押すと、在庫数が入力できるようになります。

(例) 100→110に変更

ダブルクリック または  
[スペース]キーを押す

コード	名称	単価	理論在庫数
0001	小麦粉	0.00	688.899
			346.279
			100.000

- ④在庫数を入力するとデータが黒文字から赤文字にかわります。  
 [保存]をクリックし、修正が完了すると黒文字にかわります。

**在庫照会と訂正** 保存(F1) 印刷(F4) 展開

倉庫番号: [-----] 棚番号: [ ] ->  
 最終入/出庫日: [2012/01/27] 以前 ロットNo: [ ] ->  
 有効期限日: [2012/01/27] 迄 コード: [ ] ->  
 棚卸日: [2012/01/27] 以前 名称一部: [ ] 型式: [ ]

No.	展開	コード	名称	単価	理論在庫数
1	-	0001	小麦粉	0.00	698.899
					346.279
					110.000

■ 在庫照会リストの印刷

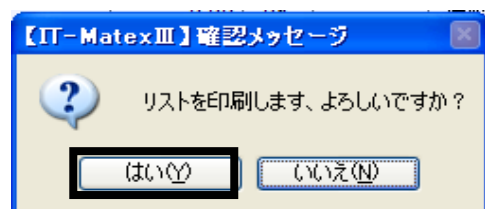
- ① 在庫データを一覧表示している状態で[印刷]をクリックします。

**在庫照会と訂正** 保存(F1) 印刷(F4)

倉庫番号: [-----] 棚番号: [ ]  
 最終入/出庫日: [2012/01/27] 以前 ロットNo: [ ]  
 有効期限日: [2012/01/27] 迄 コード: [ ]  
 棚卸日: [2012/01/27] 以前 名称一部: [ ]

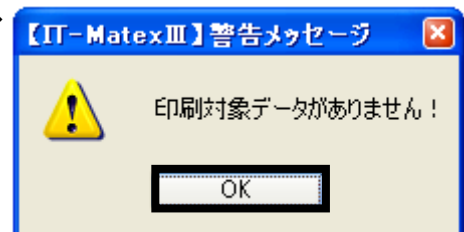
No.	展開	コード	名称	単価	理論在庫
1	+	0001	小麦粉	0.00	6
2	+	0002	バター	0.00	3

- ② 確認メッセージが表示されるので、  
 印刷する場合は[はい]、  
 印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



**注意:**

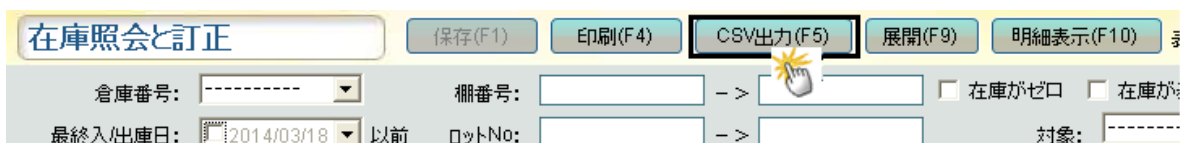
データ一覧表示をしていない状態で[印刷]をクリックすると、  
 警告メッセージが表示されます。  
 [OK]をクリックし、  
 データ表示を行ってから印刷を行ってください。



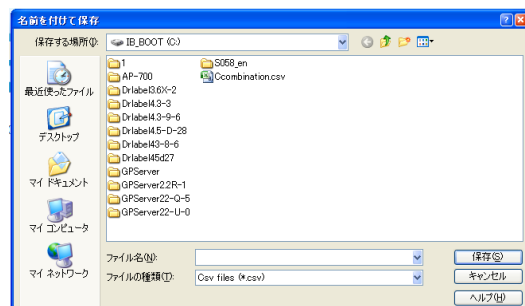


## ■ 在庫照会の CSV 出力

① [CSV 出力] をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。  
「ファイル名」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



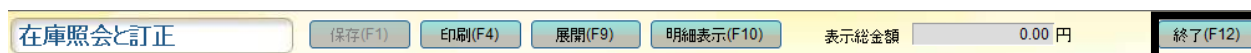
## ■ 在庫データ明細を表示

[明細表示] をクリックすると、一覧で表示される在庫データはすべて明細行で表示されます。

No.	コード	名称	単価	理論在庫数	金額	単位名	倉庫	倉庫名称
1	0001	小麦粉	0.00	346.279	0.00	kg	01	倉庫01
2	0001	小麦粉	0.00	110.000	0.00	kg	01	倉庫01
3	0001	小麦粉	0.00	100.000	0.00	kg	01	倉庫01

## ■ 在庫照会と訂正の終了

[終了] をクリックすると、在庫照会と訂正画面を終了します。



## 在庫データ受信

### 【在庫管理>在庫データ受信】

在庫データ受信

受信ファイル「在庫受信設定.txt」開始...

[在庫]2009-12-01 14:50:15 ER [#0001]データ項目の数は一致していません！

[在庫]2009-12-01 14:50:15 ER [#0002]データ項目の数は一致していません！

[在庫]2009-12-01 14:50:15 ER [#0003]データ項目の数は一致していません！

[在庫]2009-12-01 14:50:15 ER [#0004]データ項目の数は一致していません！

受信ファイル「在庫受信設定.txt」終了。

エラーの場合、エラー理由が表示されます。

受信件数:	4	件
エラー件数:	4	件
追加件数:	0	件

受信件数: 受信した件数

エラー件数: 取込みできなかったデータ件数

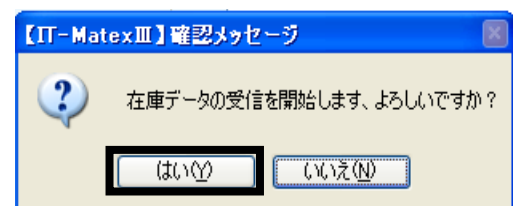
追加件数: 取込みできたデータ件数

### ■ 在庫データ受信

- ① 「在庫データ受信」をクリックします。

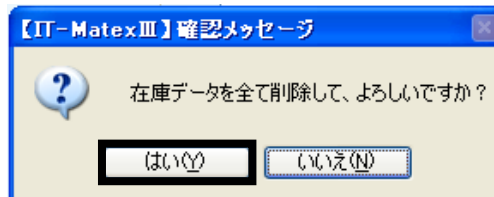


- ② 「在庫データ受信開始」の確認メッセージが表示されます。  
「はい」をクリックすると次の確認メッセージが表示されます。  
（「いいえ」を選択すると確認メッセージを閉じます。）

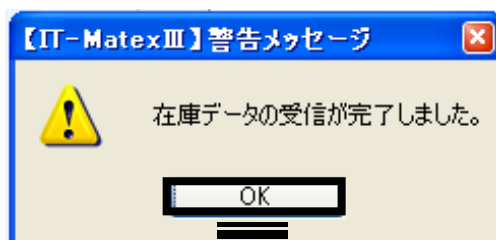


③ 「在庫データを全て削除」の確認メッセージが表示されます。

在庫データを削除する場合は[はい]、  
削除しない場合は[いいえ]を選択してください。

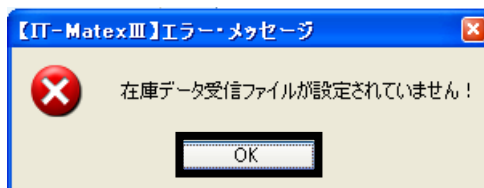


④ 在庫データ受信が完了すると報告メッセージが表示されるので、[OK]をクリックすると、  
受信件数・エラー件数・新規追加件数がデータ受信結果として、表示されます。

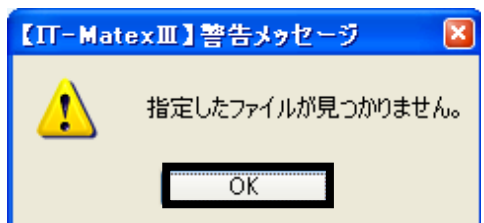


**注意:**

(a) 「システムパラメータ設定」で設定していない場合、  
エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、設定を行ってください。

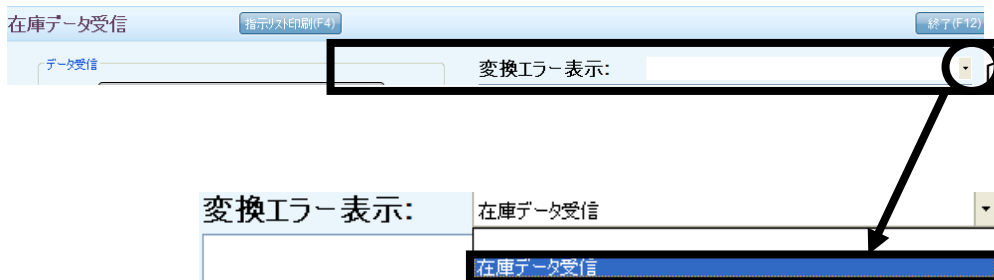


(b) 設定をしている場合でも、  
報告メッセージが出る場合がありますので  
再度設定を確認してください。



## ■ 変換エラー表示

「在庫データ受信」時に発生したエラーを「変換エラー表示」フィルタで確認出来ます。



## ■ 変換エラー印刷

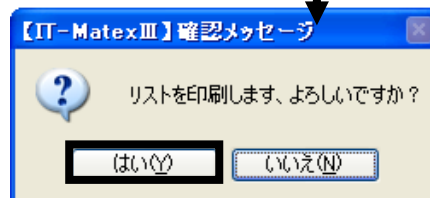
変換エラー表示で表示されたエラー詳細を印刷します。

[指示リスト印刷]をクリックすると確認メッセージが表示されます。

印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

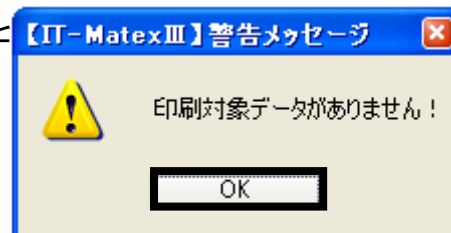
在庫データ受信

指示リスト印刷(F4)



### 注意:

データ表示をしていない状態で[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。  
「OK」をクリックし、  
データ表示を行ってから印刷を行ってください。



## ■ 在庫データ受信の終了

[終了]をクリックすると、在庫データ受信画面を終了します。

在庫データ受信

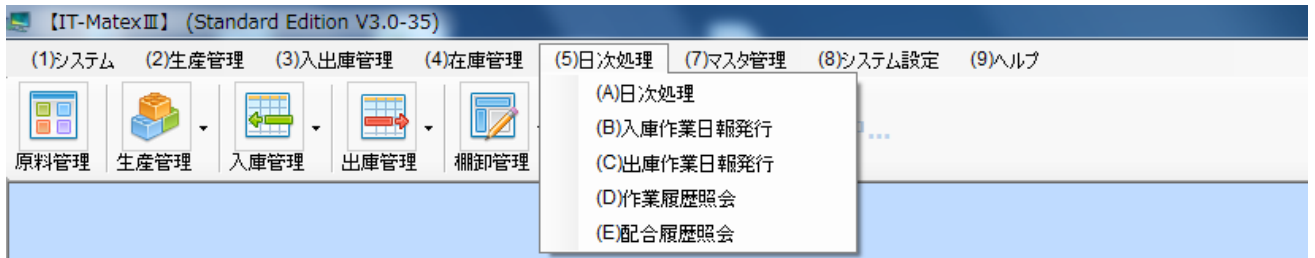
指示リスト印刷(F4)

終了(F12)

# 日 次 処 理

## 日 次 処 理

### 【日次処理>日次処理】



### ■ 日次処理

データ送信・履歴登録・データベースのバックアップを一括で行います。

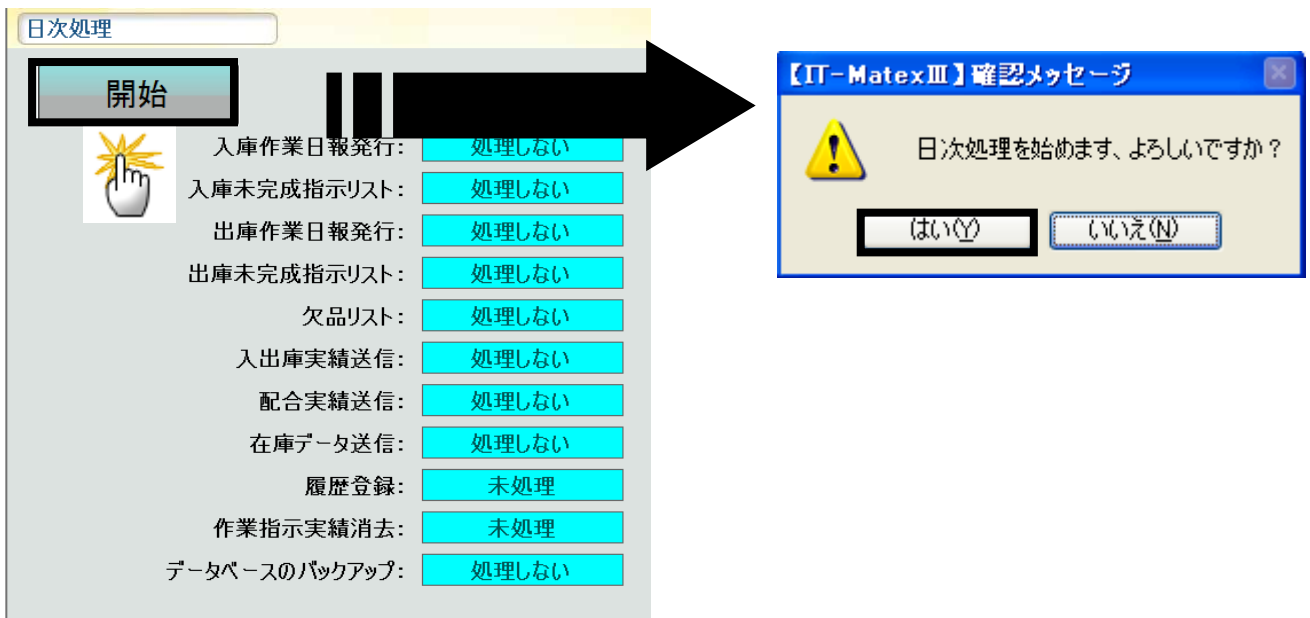
※ 予め、「システム設定」>「システムパラメータ設定」>「日次処理設定」で、  
処理する項目の設定が必要です。

処理をしない設定の項目は〔処理しない〕、処理をする設定の項目は、〔未処理〕と表示されています。

①〔開始〕をクリックすると確認メッセージが表示されます。

〔はい〕を選択した場合、日次処理作業が順次開始されます。

〔いいえ〕を選択した場合、確認メッセージが閉じられ、日次処理は開始されません。



②処理が完了した項目は〔未処理〕表示から、〔処理済〕表示へと変わります。

入庫作業日報発行	入庫作業日報を発行します。	
入庫未完成指示リスト	未処理の入庫指示リストを発行します。	
出庫作業日報発行	入庫作業日報を発行します。	
出庫未完成指示リスト	未処理の出庫指示リストを発行します。	
欠品リスト	欠品リストを発行します。	
入出庫実績送信	入出庫実績を送信します。	
配合実績送信	配合実績を送信します。	
在庫データ送信	在庫実績を送信します。	
履歴登録	履歴の登録を行います。	※登録処理後、 日次処理＞履歴照会で確認できます。
データベースのバックアップ	データベースをテキストファイルで保存し、バックアップを取ります。	
作業指示実績消去	作業実績を全て削除します。履歴画面にバックアップします。	

#### ■ 日次処理の終了

[終了]をクリックすると、【日次処理】画面を終了します。



## 入庫作業日報発行

### 【日次処理>入庫作業日報発行】

入庫作業日報発行										印刷(F4)	終了(F12)		
倉庫: [ ]													
No.	伝票番号	原料コード	原料名称	実績数	予定数	過不足数	在庫数	作業予定日	仕入先	作業理由	欄番	ロ>No.	倉庫番号

#### ■ 入庫作業日報の印刷

当日の入庫実績数が登録された場合のみ表示されます。

- ① 入庫作業日報を発行する倉庫を「倉庫」フィルタで選択します。(例)01:01水平

入庫作業日報発行	
倉庫:	01:01水平
No.	伝票番号
	01:01水平
	02:02普通
	03:03
	04:04倉庫
	05:05

- ② 当日の入庫データ一覧が表示されるので、[印刷]をクリックします。

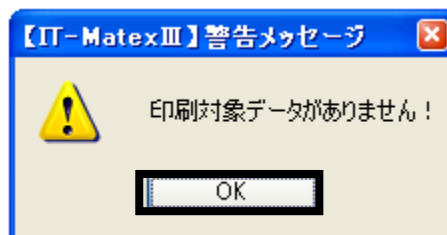
入庫作業日報発行				印刷(F4)
倉庫: 01:01水平				
No.	伝票番号	原料コード	原料型式	
1	200909	03	08	
2	200909	03	09	

- ③ 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

【IT-MatexⅢ】確認メッセージ	
?	リストを印刷します、よろしいですか？
はい(Y)	いいえ(N)

**注意1:**

データ表示をしていない時に、[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、  
データ表示を行ってから印刷を行ってください。



**注意2:**

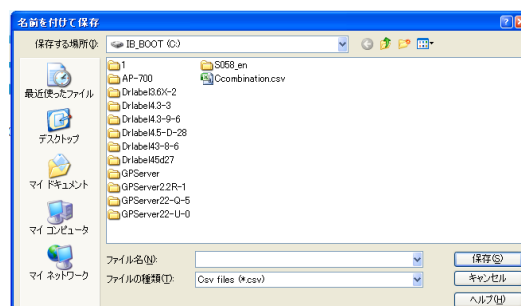
【日次処理】で「作業指示実績消去」処理を行った場合は、データが消去されるので、一括処理後はこのメニューでの日報の発行は行えません。  
「作業指示実績消去」処理をしない設定は、「システムパラメータ設定」の「日次処理設定」にて「1:処理しない」を設定変更してください。

■ 入庫作業日報の CSV 出力

① [CSV 出力]をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。  
「ファイル名」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



■ 入庫作業日報発行の終了

[終了]をクリックすると、【入庫作業日報発行】画面を終了します。





## 出庫作業日報発行

### 【日次処理＞出庫作業日報発行】

No.	棚番	原料コード	原料型式	原料名称	実績数	指示数	過不足数	出庫総数	伝票番号	予定日	倉庫番号	出庫先
-----	----	-------	------	------	-----	-----	------	------	------	-----	------	-----

#### ■ 出庫作業日報の印刷

- ① 出庫作業日報を発行する倉庫を「倉庫」フィルタで選択します。

(例)01:01 水平

No.	棚番	原料型式	原料名称
-----	----	------	------

- ② 出庫先を指定する場合は「出庫先」フィルタで選択します。(指定しなくても可)

(例)01:ジャストウェア

No.	棚番	原料コード	原料型式
-----	----	-------	------

- ③ 当日の入庫データ一覧が表示されるので、[印刷]をクリックします。

No.	棚番	原料コード	原料名
1	000116	03	08
2	000224	03	09

- ④ 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

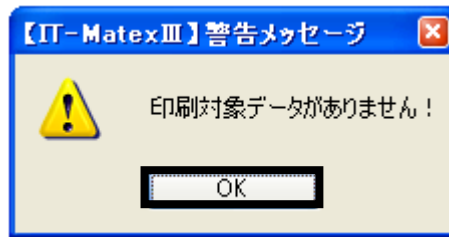
【IT-MatexⅢ】確認メッセージ

? リストを印刷します、よろしいですか?

(はい(Y)) (いいえ(N))

**注意1:**

データ表示をしていない時に、[印刷]をクリックすると警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、データ表示を行ってから印刷を行ってください。

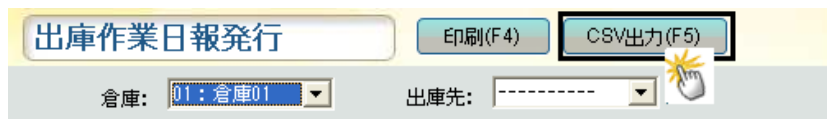


**注意2:**

【日次処理】にて、「作業指示実績消去」処理を行った場合は、データが消去されるので一括処理後はこのメニューでの日報の発行は行えません。  
「作業指示実績消去」処理をしない設定は、「システムパラメータ設定」>「日次処理設定」で「1:処理しない」を設定変更してください。

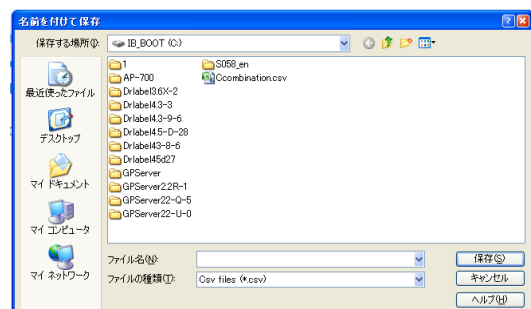
■ 出庫作業日報の CSV 出力

① [CSV 出力]をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。

「ファイル名」を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



■ 出庫作業日報発行の終了

[終了]をクリックすると、【出庫作業日報発行】画面を終了します。



## 作業履歴照会

### 【日次処理＞作業履歴照会】

作業履歴照会 印刷(F4) CSV出力(F5) 実績ラベル発行(F6) 終了(F12)

作業区分: [-----] 作業実績日: [2012/01/26] -> [2012/01/26] 対象: [-----] 伝票番号: [-----]

コード一部: [-----] 型式一部: [-----] 名称一部: [-----] 作業理由: [-----] 検索(F11)

仕入先・出庫先: [-----] 作業者一部: [-----] ロットNo/シリアルNo: [-----] 倉庫番号: [-----] ページ 001 / 001

備考: [-----]

No.	履歴登録時間	作業実績時間	作業区分	コード	名称	対象	ロットNo	実績数	予定数	過不足数	在庫数	指示区分
-----	--------	--------	------	-----	----	----	-------	-----	-----	------	-----	------

#### 注意:

作業履歴照会を行うには、「システム設定」>「システムパラメータ設定」>「日次処理設定」の履歴登録を「0:処理する」に設定しておく必要があります。  
また、照会前に「日次処理」を行い、作業履歴登録を終えておく必要があります。

#### ■ 作業履歴照会の表示...

作業履歴照会 印刷(F4) CSV出力(F5) 実績ラベル発行(F6) 終了(F12)

作業区分: [-----] 作業実績日: [2012/01/26] -> [2012/01/26] 対象: [-----] 伝票番号: [-----]

コード一部: [-----] 型式一部: [-----] 名称一部: [-----] 作業理由: [-----] 検索(F11)

仕入先・出庫先: [-----] 作業者一部: [-----] ロットNo/シリアルNo: [-----] 倉庫番号: [-----] ページ 001 / 001

備考: [-----]

No.	倉庫名称	作業理由	伝票番号	仕入先・出庫先	作業者	入庫備考1/出庫	入庫備考2/出庫	入庫備考3/出庫	入庫備考4/出庫	入庫
-----	------	------	------	---------	-----	----------	----------	----------	----------	----

#### ① 「作業区分」・「作業実績日」・「対象」・「コード一部」・「名称一部」・「作業理由」・

「仕入先・出庫先」・「作業者一部\*」・「ロットNo/シリアルNo」・「倉庫番号」の検索条件を入力、もしくは選択し、[検索]をクリックします。

\*作業者一部 ... 作業者とは入出庫実績登録を行ったログイン担当者です。  
入出庫実績を登録する際に、自動的に入力されます。

#### ② 条件に対応した作業履歴データが一覧表示されます。

#### 補足:

配合日のチェックを両方とも外し、  
条件入力をせずに[検索]をクリックすると、  
全ての作業履歴データを表示します。  
(作業実績日のチェックを外すと日付がマスクされます。)

作業実績日: [2009/12/02] -> [2009/12/02]

## ■ 作業履歴照会の印刷

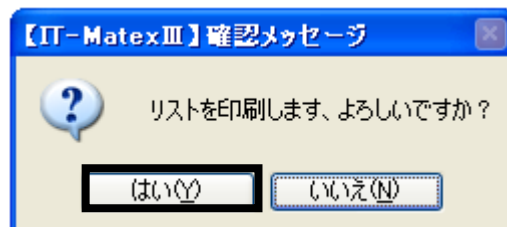
①作業履歴照会のデータ表示している状態で[印刷]をクリックします。

作業履歴照会

印刷(F4)

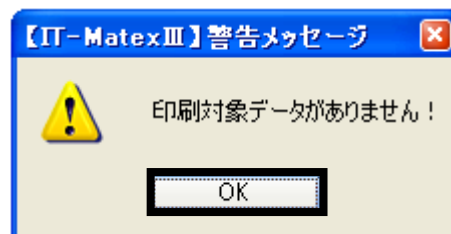


② 確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



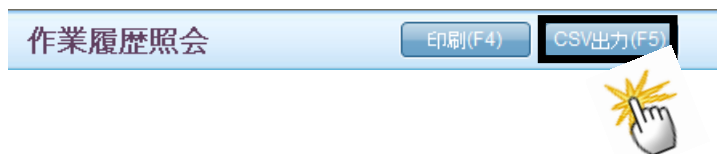
### 注意:

データ表示をしていない時に[印刷]をクリックすると、  
警告メッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、  
データ表示を行ってから印刷を実行してください。

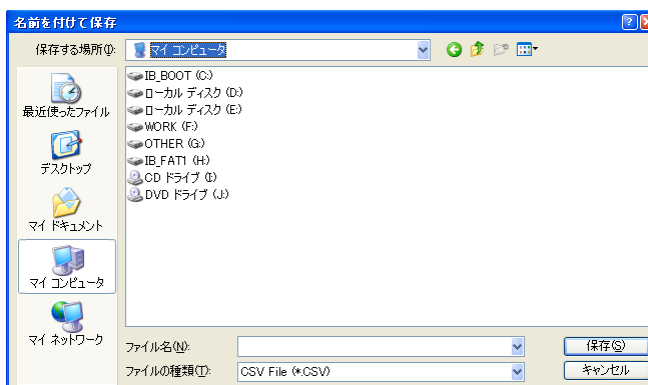


## ■ 作業履歴照会の CSV 出力

① [CSV 出力] をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので  
保存先を指定します。



③ 出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK] をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 作業履歴照会の終了

[終了] をクリックすると、【作業履歴照会】画面を終了します。



# 配合履歴照会

## 【日次処理＞配合履歴照会】

配合履歴照会

印刷(F4) CSV出力(F5) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)

配合日:  ->  伝票番号:

原料コード一部:  原料ロットNo:  原料型式一部:

配合コード一部:  配合ロットNo:  作業者一部:

No.	展開	履歴登録時間	伝票番号	トータル批次数	カレント批次	配合コード	配合名称	配合ロットNo	原料コード	原料名称	原料ロットNo	有効期限
-----	----	--------	------	---------	--------	-------	------	---------	-------	------	---------	------

### 注意:

配合履歴照会を行うには、「システム設定」>「システムパラメータ設定」>「日次処理設定」の履歴登録を「0:処理する」に設定しておく必要があります。

また、照会前に「日次処理」を行い、配合履歴登録を終えておく必要があります。

## ■ 配合履歴照会の表示

配合履歴照会

印刷(F4) CSV出力(F5) 展開(F9) 全て展開(F10) 終了(F12)

配合日:  ->  伝票番号:

原料コード一部:  原料ロットNo:  原料型式一部:

配合コード一部:  配合ロットNo:  作業者一部:

No.	展開	履歴登録時間	伝票番号	トータル批次数	カレント批次	配合コード	配合名称	配合ロットNo	原料コード	原料名称	原料ロットNo	有効期限
-----	----	--------	------	---------	--------	-------	------	---------	-------	------	---------	------

① 「配合日」・「伝票番号」・「原料コード一部」・「原料ロットNo」・「作業者一部」・「配合コード一部」・「配合ロットNo」の検索条件を入力もしくは選択し、[検索]をクリックします。

② 条件に該当した作業履歴データが一覧表示されます。

### 補足:

配合日のチェックを両方とも外し、条件入力をせずに[検索]をクリックすると全ての配合履歴データを表示します。  
(配合日のチェックを外すと日付がマスクされます。)

配合日:  2011/12/16 ->  2011/12/16

配合日:  2011/12/16 ->  2011/12/16

配合日:  2011/12/16 ->  2011/12/16

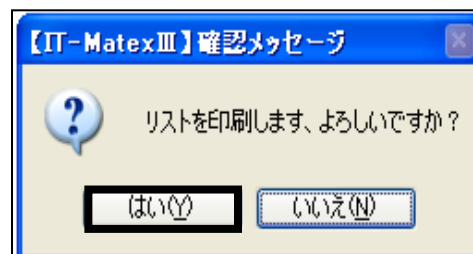
配合日:  2011/12/16 ->  2011/12/16

## ■ 配合履歴照会の印刷

① [印刷]をクリックしてください。



②登録されている【配合履歴】一覧のリストを印刷します。  
確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

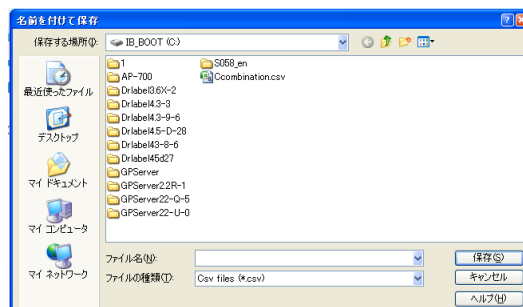


## ■ 配合履歴照会のCSV出力

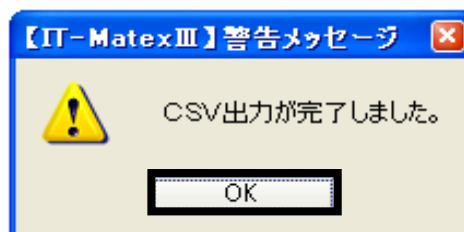
① [CSV出力]をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので、  
保存先を指定します。



③ 発行が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。

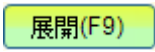
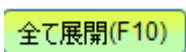


## ■ 配合履歴伝票の展開

配合履歴の明細を表示する際に使用します。

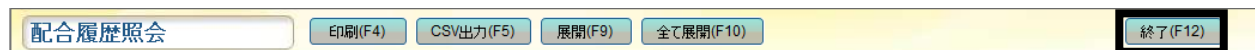
〔展開〕で開いたデータを閉じる場合は、

再度〔展開〕をクリックすると展開した詳細部分の表示が閉じられます。

	〔展開〕をクリックすると、 選択されている行の下に配合履歴の明細行が表示されます。
	〔全て展開〕をクリックすると、 全ての伝票データの下に配合履歴の明細行が表示されます。

## ■ 配合履歴照会の終了

〔終了〕をクリックすると、【配合履歴照会】画面を終了します。





## 変更履歴照会

### 【日次処理>変更履歴照会】

変更履歴照会										終了(F12)
変更日付:	2014/04/17	業務区分:		作業区分:		作業種類:		検索(F11)		
伝票番号:		コード:		名称一部:						
No.	業務区分	作業区分	作業種類	伝票番号	明細番号	サブ明細番号	コード	名称	倉庫	種

入/出庫、棚卸、配合の指示/実績画面、移動指示および在庫画面の新規、修正、削除、ステータスの変更を記録します。

### ■ 変更履歴照会の表示

① 「変更日付」・「業務区分」・「作業区分」・「作業理由」・「伝票番号」・「コード」・「名称一部」の検索条件を入力もしくは選択し、「検索」をクリックします。

② 条件に該当した変更履歴データが一覧表示されます。

例: 変更日付: 2014/04/17 業務区分: 配合 作業区分: 指示 作業種類: 修正 検索する場合は該当条件の一覧が表示されます。

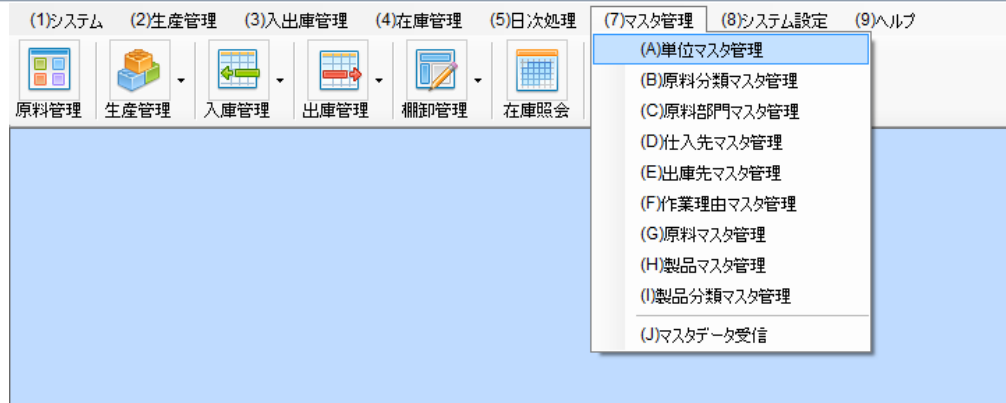
変更履歴照会										終了(F12)		
変更日付:	2014/04/17	業務区分:	4: 配合	作業区分:	0: 指示	作業種類:	2: 修正	検索(F11)				
伝票番号:		コード:		名称一部:								
No.	業務区分	作業区分	作業種類	伝票番号	明細番号	サブ明細番号	コード	名称	ロットNo	変更時間	変更内容	作業者
1	配合	指示	修正	140417001	1		1001	原料1001		2014/04/17 10:35:06	修正前:【指示数(10,000)】 修正後:【指示数(8,000)】	管理員
2	配合	指示	修正	140417001	2		1001	原料1001		2014/04/17 10:35:07	修正前:【指示数(10,000)】 修正後:【指示数(8,000)】	管理員

### ■ 変更履歴照会の終了

【終了】を押すと、【変更履歴照会】画面を終了します。

変更履歴照会										終了(F12)
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---------

# マスタ管理



## 単位マスタ管理

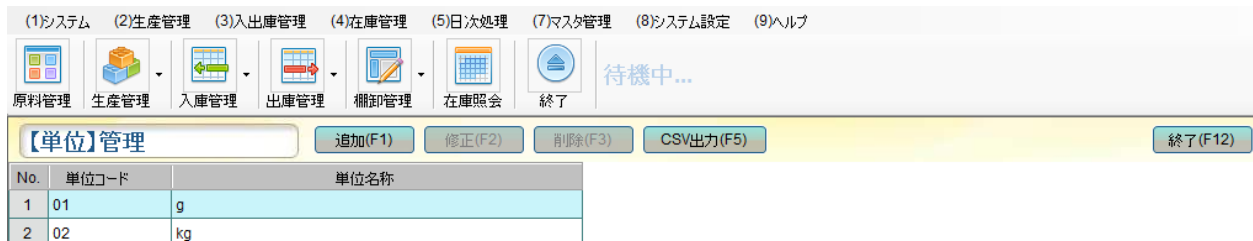
### 【マスタ管理>単位マスタ管理】

倉庫で管理する原料の単位を登録します。

登録された単位は、原料マスタ管理で原料登録時の選択項目になります。

デフォルトでは 01:g 02:kgが登録されています。

※削除、編集はできません。



### ■ 単位マスタの追加

① [追加]をクリックすると、

【単位】登録・修正画面が表示されます。

② 単位コードを半角数字 2 桁以内で入力します。

(必須入力)


③ 単位名称を全角・半角 10 文字以内で入力します。


(必須入力)

③ 単位名称を全角・半角 10 文字以内で入力します。

(必須入力)

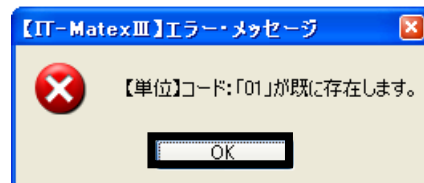


④  をクリックすると登録が保存されます。

(  をクリックすると画面が閉じられ、保存は実行されません。)

**注意:**

登録済みの単位コードを入力すると  
エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、使用していない番号に変更してから  
登録を行ってください。



## ■ 単位マスタの修正

**注意:**

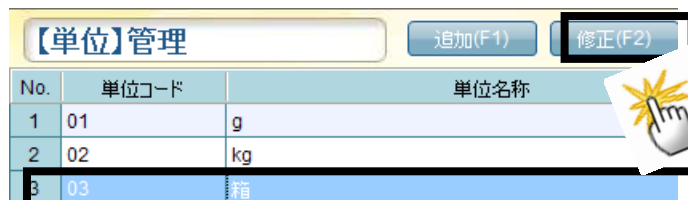
一度登録した単位コードの修正はできません。  
単位コードの修正を行いたい場合は、該当の単位マスタを一度削除し、再登録してください。

① 【単位】管理画面で修正したいデータを選択し、  
[修正]をクリックすると【単位】登録・修正画面が表示されます。

(例) 単位コード: 03


単位名称: 箱


→ 「箱1」へ修正したい場合

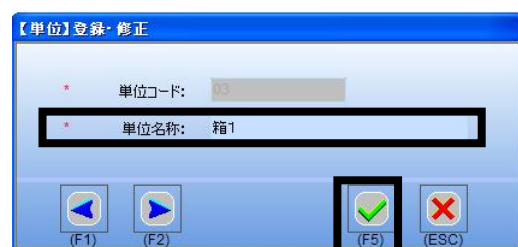


**補足:**

一覧画面で修正したいデータをダブルクリックする方法でも、登録・修正画面が表示されます。



② 単位名称を変更後、 をクリックすると修正が保存されます。

( をクリックすると画面が閉じられ、  
.....保存は実行されません。)




★もしくは、下記の方法でも修正可能です。


① 【単位】管理画面一覧にて[修正]をクリックすると【単位】登録・修正画面が表示されます。

② 表示画面左下の  をクリックして、  
修正を行うデータを選択します。




 前データへ移行します。  次データへ移行します。

③ 单位名称を変更後、 をクリックすると修正が保存されます。

( をクリックすると画面が閉じられ、保存は実行されません。)

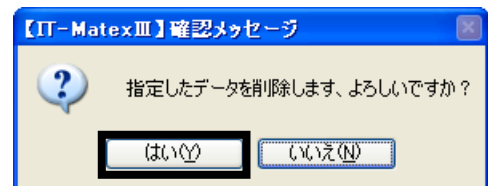
## ■ 単位マスタの削除

① 一覧で削除したいデータを選択し、  
[削除]をクリックします。  
(例)単位コード:03/单位名称:箱



No.	単位コード	单位名称
1	01	g
2	02	kg
3	03	箱
4	04	粒

② 確認メッセージが表示されます。  
[はい]を選択した場合、選択したデータのみ削除されます。  
削除しない場合は[いいえ]を選択してください。

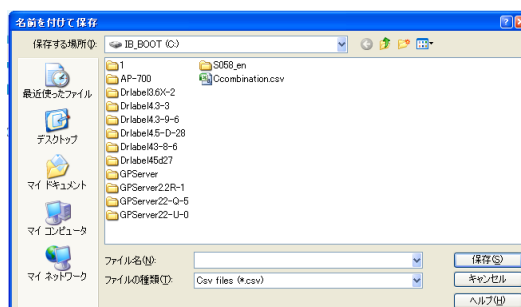


## ■ 単位マスタ CSV 出力

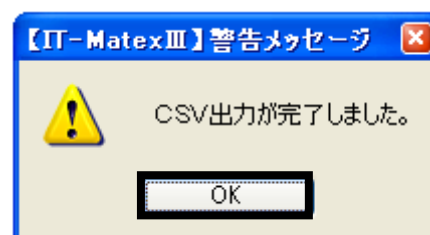
- ① [CSV出力]をクリックします。



- ② ファイル指定の画面が表示されるので、保存先を指定します。

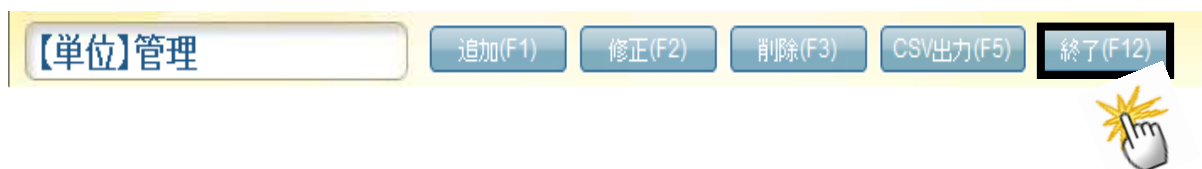


- ③ 出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 単位マスタの終了

- [終了]をクリックすると、【単位】管理画面を終了します。



## 原料分類マスタ管理

### 【マスタ管理＞原料分類マスタ管理】

倉庫で管理する原料の種類を登録します。

登録された単位は、原料マスタ管理で原料登録時の選択項目になります。

※分類別管理が必要の無い場合は、登録する必要はありません。

No.	原料分類コード	原料分類名称
1	01	原料分類01
2	02	原料分類02

### ■ 原料分類マスタの追加

① [追加]をクリックすると【原料分類】登録・修正画面が表示されます。





② 原料分類コードを半角数字 4 桁以内で入力します。

(必須入力)

③ 原料分類名称を全角・半角 20 文字以内で

入力します。(必須入力)

④  をクリックすると登録が保存されます。

(  をクリックすると画面が閉じられ、登録の保存は実行されません。)

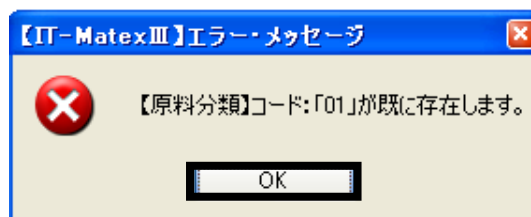
### 注意:

登録済みの原料分類コードを入力すると  
エラーメッセージが表示されます。

[OK]をクリックし、

使用していない番号に変更してから

再度登録を行ってください。



## ■ 原料分類マスタの修正

### 注意:

原料分類名称の修正は可能ですが、一度登録した原料分類コードの修正はできません。

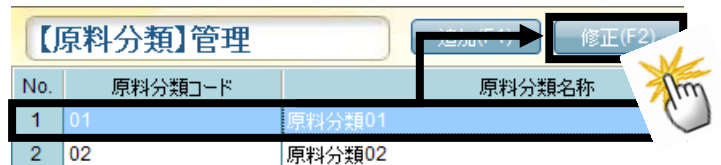
原料分類コードを変更したい場合は、該当の原料分類マスタを一度削除し、再登録してください。

- ① 【原料分類】管理画面で修正したいデータを選択し、[修正]をクリックします。

(例)原料分類コード:01

原料分類名称:原料分類 01


→「原料分類 001」へ修正したい場合




### 補足:

一覧画面で修正したいデータをダブルクリックする方法でも、登録・修正画面が表示されます。

- ② 【原料分類】登録・修正画面が表示されます。

原料分類名称を変更後、をクリックすると

修正が保存されます。



( をクリックすると画面が閉じられ、

修正の保存は実行されません。)




★もしくは、下記の方法で修正可能です。


- ① [修正]をクリックすると【原料分類】登録・修正画面が表示されます。

- ② 表示画面左下の   をクリックし、  
修正を行うデータを選択します。



 前データへ移行します。  次データへ移行します。

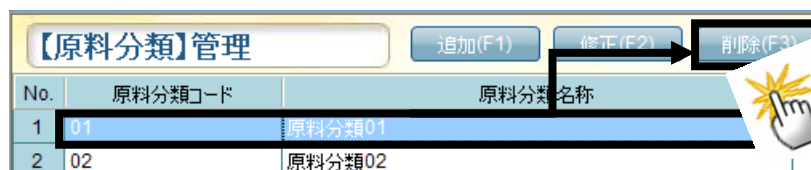
- ③ 原料分類名称を変更後、 をクリックすると登録が保存されます。

( をクリックすると画面が閉じられ、登録の保存は実行されません。)

## ■ 原料分類マスタの削除

① 一覧で削除したいデータを選択し、[削除]をクリックします。

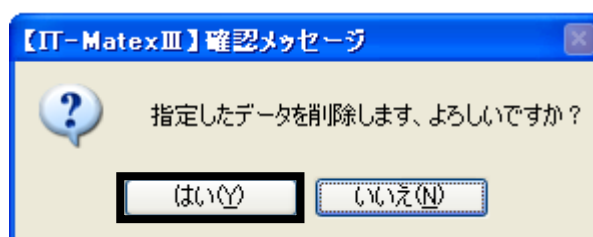
(例) 原料分類名称 01



② 確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択した場合、選択したデータのみ削除されます。

([いいえ]を選択すると確認メッセージが閉じられ、削除は実行されません。)



## ■ 原料分類マスタの印刷

① [印刷]をクリックすると確認メッセージが表示されます。

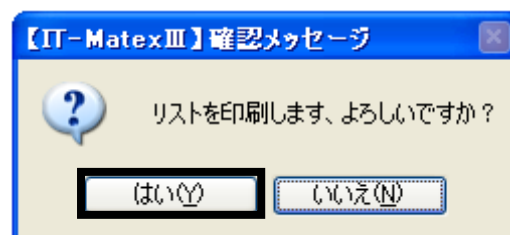


② 登録されている【原料分類】管理一覧の倉庫リストを印刷します。

確認メッセージが表示されるので、

印刷する場合は[はい]、

印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



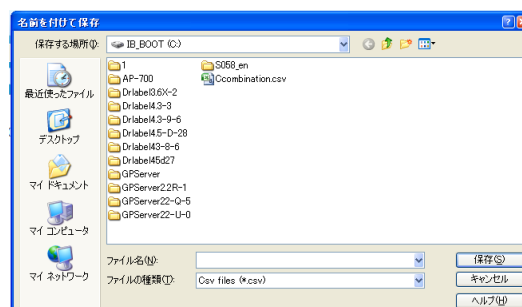


## ■ 原料分類マスタ CSV 出力

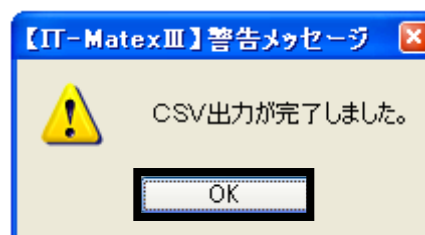
- ① [CSV 出力]をクリックします。



- ② ファイル指定の画面が表示されるので  
保存先を指定します。

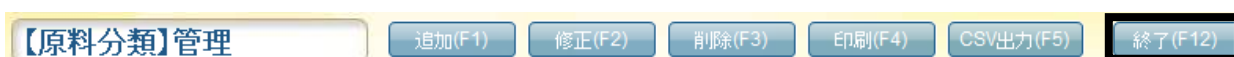


- ③ 出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 原料分類マスタの終了

[終了]をクリックすると、【原料分類】管理画面を終了します。



## 原料部門マスタ管理

### 【マスタ管理＞原料部門マスタ管理】

倉庫で管理する原料の管理方法や、分類(種類別)より大きなカテゴリなどの部門を登録します。

登録された内容は、原料マスタ管理で原料登録時の選択項目になります。


※原料分類マスタと同様、部門設定等必要の無い場合は、登録する必要はありません

No.	原料部門コード	原料部門名称
29	0001	箱あり
30	0002	箱有り


### ■ 原料部門マスタの追加

- ① [追加]をクリックすると【原料部門】登録・修正画面が表示されます。



- ② 原料部門コードを半角数字 4 桁以内で  
入力します。(必須入力)
- ③ 原料部門名称を全角・半角 20 文字以内で  
入力します。(必須入力)
- ④  をクリックすると登録が保存されます。



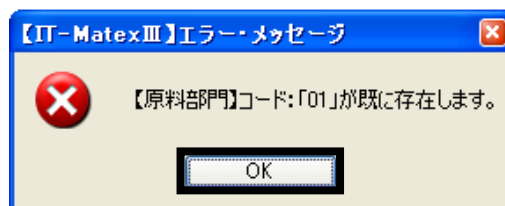
- (  をクリックすると画面閉じられ、登録の保存は実行されません。)

#### 注意:

登録済みの原料部門コードを入力すると

エラーメッセージが表示されます。

[OK]をクリックし、使用していない番号に変更してから  
登録を行ってください。



## ■ 原料部門マスタの修正

### 注意:

原料部門名称の修正は可能ですが、一度登録した原料部門コードの修正はできません。

原料部門コードを変更したい場合は、該当の原料部門マスタを一度削除し、再登録してください。

- ① 【原料部門】管理画面で修正したいデータを選択し、[修正]をクリックします。

(例) 原料部門コード:02

原料部門名称:箱なし


→「箱詰」に修正したい場合




### 補足:

一覧画面で修正したいデータをダブルクリックする方法でも、登録・修正画面が表示されます。

- ② 【原料部門】登録・修正画面が表示されます。



原料部門名称を変更後、 をクリックすると修正が保存されます。



( をクリックすると画面が閉じられ、修正の保存は実行されません。)


★もしくは、下記の方法で修正可能です。


- ① [修正]をクリックすると【原料部門】登録・修正画面が表示されます。

- ② 表示画面左下の  をクリックし、修正を行うデータを選択します。


- ③ 原料部門名称を変更後、

 をクリックすると修正が保存されます。

 前データへ移行します。

 次データへ移行します。



( をクリックすると画面が閉じられ、修正の保存は実行されません。)

## ■ 原料部門マスタの削除

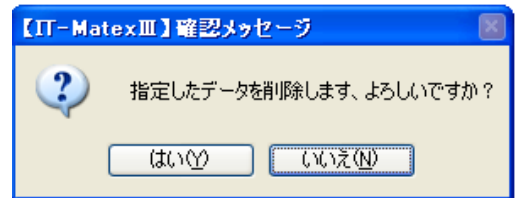
- ① 一覧で削除したいデータを選択し、[削除]をクリックします。

(例) 原料部門名称:箱詰



- ② 確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると、選択したデータのみ削除されます。  
削除しない場合は[いいえ]を選択してください。

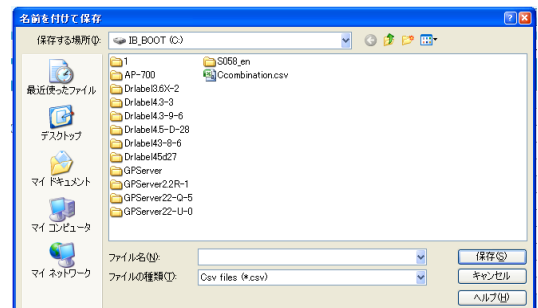


## ■ 原料部門マスタ CSV 出力

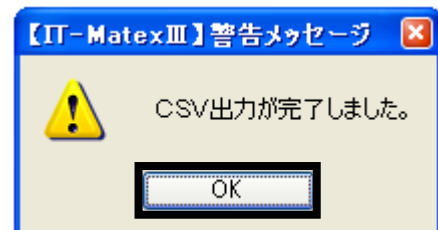
- ① [CSV 出力]をクリックします。



- ② ファイル指定の画面が表示されるので  
保存先を指定します。



- ③出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 原料部門マスタの終了

[終了]をクリックすると、【原料部門】管理画面を終了します。



## 仕入先マスタ管理

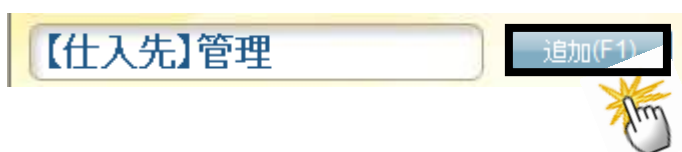
### 【マスタ管理＞仕入先マスタ管理】

仕入先データを登録します。

#### ■ 仕入先マスタの追加

① 「追加」をクリックすると【仕入先】登録・修正画面が表示されます。

No.	仕入先コード	仕入先名称	担当者名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	E-Mailアドレス	備考
1	01	寺岡	さと	0000000	中央区	03-0000-0000	03-0000-0000	123.hotmail.co...	得意先
2	02	寺岡精工	すずき	1700000	豊島区	03-1111-1111	03-1111-1111	AAA.com	得意先



② 「仕入先コード」を半角数字 8 桁以内で入力します。(必須入力)

③ 下記項目を入力します。

全角・半角文字の範囲数は同じです。

仕入先名称・・・ 40 文字以内

担当者・・・ 12 文字以内

郵便番号・・・ 7 文字以内


住所・・・ 50 文字以内


電話番号・・・ 12 文字以内

FAX・・・ 12 文字以内

E-MAIL・・・ 32 文字以内

備考・・・ 32 文字以内

④  をクリックすると登録保存されます。

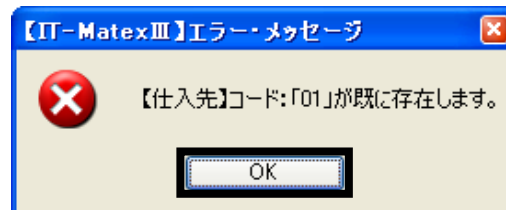
( をクリックすると画面が閉じられ、登録の保存は実行されません。)

#### 注意:

登録済みの仕入先コードを入力すると

エラーメッセージが表示されます。

[OK]をクリックし、使用していない番号に変更してから登録を行ってください。



## ■ 仕入先マスタの修正

### 注意:

一度登録した仕入先コードの修正はできません。

仕入先コードを変更したい場合は、該当の原料部門マスタを一度削除し、再登録してください。

- ① 【仕入先】管理画面で修正したいデータを選択し、[修正]をクリックします。

(例)仕入先コード:02

... 仕入先名:寺岡精工→「 ジャストウェア 」に修正したい場合

【仕入先】管理				
No.	仕入先コード	仕入先名称	担当者名	郵便番
1	01	寺岡	さ	0000000
2	02	寺岡精工	すずき	1700000




### 補足:

一覧画面で修正したいデータをダブルクリックする方法でも、登録・修正画面が表示されます。

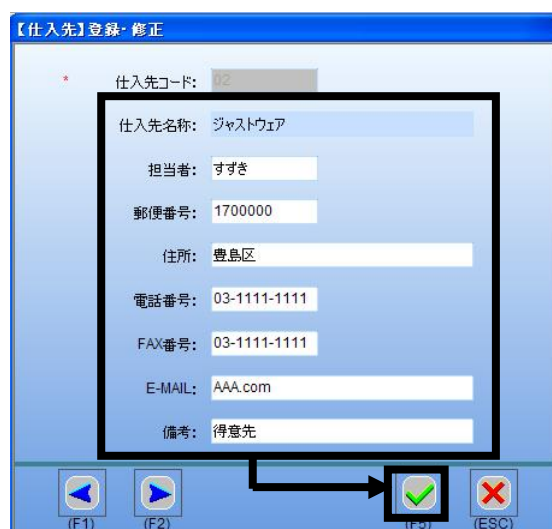
- ② 【仕入先】登録・修正画面が表示されます。

データ内容を変更後、

 をクリックすると修正が保存されます。



 をクリックすると画面が閉じられ、

修正の保存は実行されません。)





★もしくは、下記の方法で修正可能です。

① [修正]をクリックすると【仕入先】登録・修正画面が表示されます。

② 表示画面左下   をクリックし、  
修正を行うデータを選択します。

③ データ内容を変更後、

 をクリックすると、登録が保存されます。

(  をクリックすると画面が閉じられ、  
.....登録の保存は実行されません。)



前データへ移行します。



次データへ移行します。

## ■ 仕入先マスタの削除

① 一覧で削除したいデータを選択し、[削除]をクリックします。

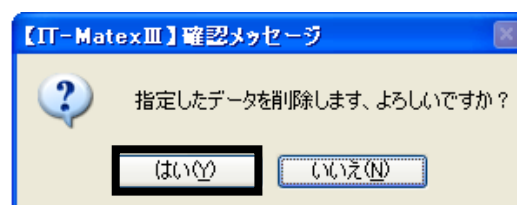
(例) 仕入先名称:ジャストウェア



No.	仕入先コード	仕入先名称	担当者名	郵便番号
1	01	寺岡	ざいと	0000000
2	02	ジャストウェア	すずき	1700000

② 確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると選択したデータのみ削除されます。  
削除しない場合は[いいえ]を選択してください。



## ■ 仕入先マスタの印刷

① [印刷]をクリックしてください。

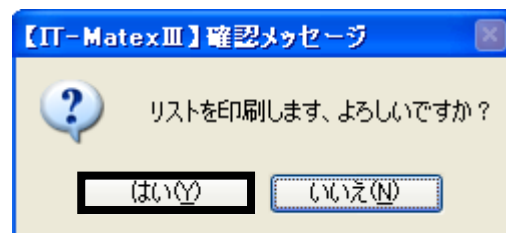


②登録されている【仕入先】管理一覧リストを印刷します。

確認メッセージが表示されます。

印刷する場合は[はい]、

印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



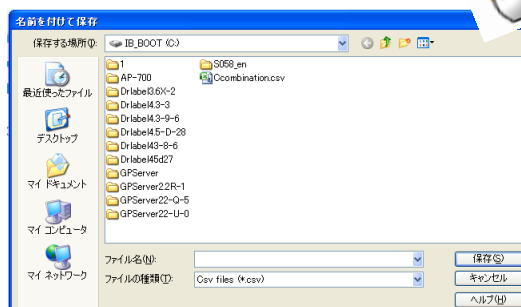
## ■ 仕入先マスタ CSV 出力

① [CSV 出力]をクリックします。



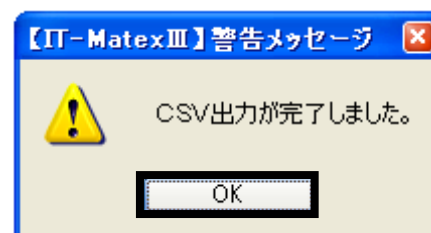
② ファイル指定の画面が表示されるので、

保存先を指定します。



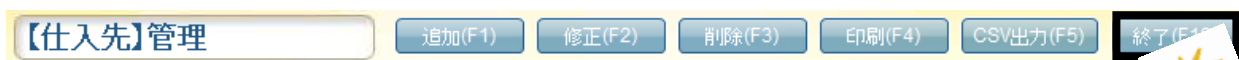
③出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、

[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 仕入先マスタの終了

[終了]をクリックすると、【仕入先】管理画面を終了します。





## 出庫先マスタ管理

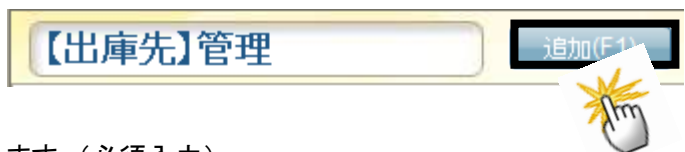
### 【マスタ管理>出庫先マスタ管理】

出庫先データを登録します。

#### ■ 出庫先マスタの追加

【出庫先】管理									
No.	出庫先コード	出庫先名称	担当者名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	E-Mailアドレス	備考
1	01	ジャストウェア	すずき	1234567	中央区	090000000000	080000000000	123.com	出庫先
2	02	寺岡	さとう	170000	豊島	090000000000	080000000000	122.com	備考1

① [追加]をクリックすると【出庫先】登録・修正画面が表示されます。



② 出庫先コードを半角英数字 8 桁以内で入力します。(必須入力)

③ 下記項目を入力します。

全角・半角文字の範囲数は同じです。

出庫先名称 … 40 文字以内

担当者 … 12 文字以内

郵便番号… 7 文字以内


住所 … 50 文字以内


電話番号… 12 文字以内

FAX … 12 文字以内

E-MAIL … 32 文字以内

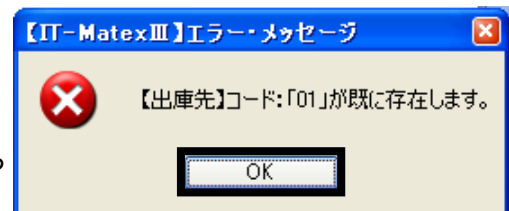
備考 … 32 文字以内

④  をクリックすると、登録が保存されます。

( をクリックすると画面が閉じられ、登録の保存は実行されません。)

**注意:**

登録済みの仕入先コードを入力すると  
エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、使用していない番号に変更してから  
登録を行ってください。



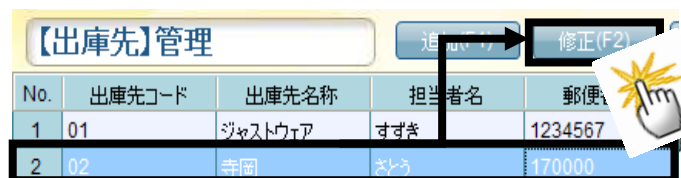
■ 出庫先マスタの修正

**注意:**

一度登録した出庫先コードの修正はできません。  
出庫先コードを変更したい場合は、該当の出庫先マスタを一度削除し、再登録してください。

① 【出庫先】管理画面で修正したいデータを選択し、[修正]をクリックします。


(例) 出庫先コード:02  
出庫先名称:寺岡  
→「寺岡精工」へ修正したい場合




**補足:**

一覧画面で修正したいデータをダブルクリックする方法でも、登録・修正画面が表示されます。

② 【出庫先】登録・修正画面が表示されるので、

変更後、 をクリックすると修正が保存されます。

( をクリックすると画面が閉じられ、

修正の保存は実行されません。)



★もしくは、下記の方法で修正可能です。


① [修正]をクリックと【出庫先】登録・修正画面が表示されます。

② 表示画面左下の  をクリックし、

修正を行うデータを選択します。

③ データ内容を変更後、

 をクリックすると修正が保存されます。

(  をクリックすると画面が閉じられ、

修正の保存は実行されません。)



## ■ 出庫先マスタの削除

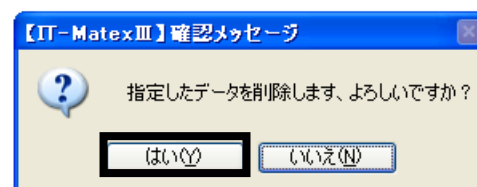
① 一覧より削除したいデータを選択し、[削除]をクリックします。



② 確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると選択したデータのみ削除されます。

削除しない場合は[いいえ]を選択してください。



## ■ 出庫先マスタの印刷

① [印刷]をクリックしてください。

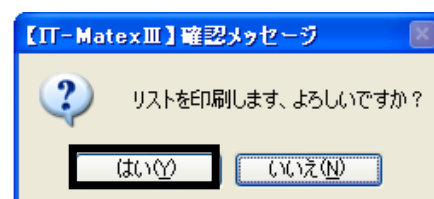


② 登録されている【出庫先】管理一覧リストを印刷します。

確認メッセージが表示されるので、

印刷する場合は[はい]、

印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

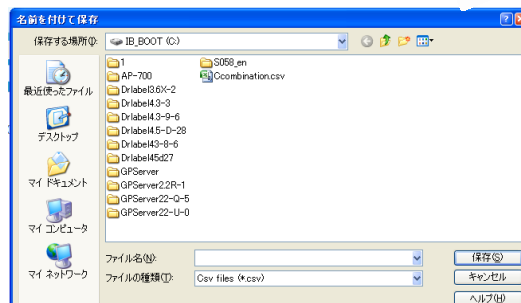


## ■ 出庫先マスタ CSV 出力

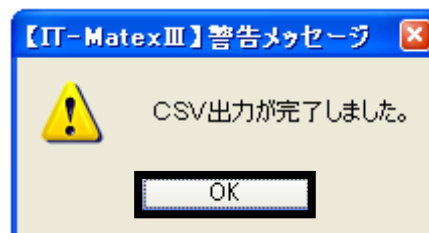
- ① [CSV 出力]をクリックします。



- ② ファイル指定の画面が表示されるので、  
保存先を指定します。



- ③出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 出庫先マスタの終了

- [終了]をクリックすると、【出庫先】管理画面を終了します。



## 作業理由マスタ管理

### 【マスタ管理】作業理由マスタ管理

「どのような理由で作業を行ったのか」という作業理由の登録をします。

登録された作業理由は 入庫、出庫、棚卸指示作成時の選択項目になります。

No.	作業理由コード	作業理由名称	作業理由区分
1	01	緊急入庫	入庫
2	02	緊急出庫	出庫
3	03	緊急棚卸	棚卸
4	04	緊急配合	配合

### ■ 作業理由マスタの追加

① [追加]をクリックすると【作業理由】登録・修正画面が表示されます。



② 作業理由コードを半角文字 4 桁以内で  
入力します。(必須項目)

③ 作業理由名称を全角・半角 20 文字以内で  
入力します。(必須項目)

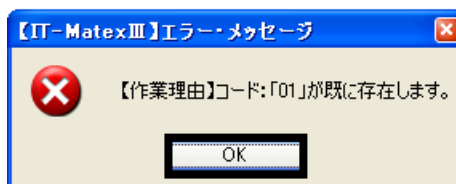
(例) 緊急入庫、通常棚卸、臨時棚卸など


④ 作業理由区分をフィルタで


「1:入庫」「2:出庫」「3:棚卸」「4:配合」を選択します。(必須項目)

**注意:** 登録済みの作業理由コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。

「OK」をクリックし、使用していない番号に変更してから登録を行ってください。



⑤  をクリックすると登録が保存されます。

(  をクリックすると画面が閉じられ、登録の保存は実行されません。)

## ■ 作業理由マスタの修正

### 注意:

一度登録した作業理由コードの修正はできません。

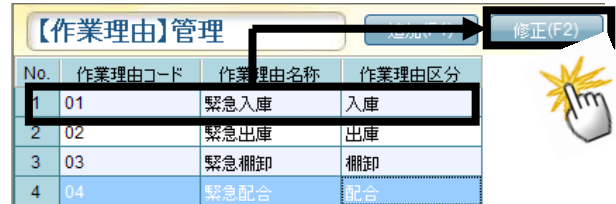
作業理由コードを変更したい場合は、該当の作業理由マスタを一度削除し、再登録してください。

① 【作業理由】管理画面で修正したいデータを選択し、[修正]をクリックします。

(例) 作業理由コード:01

作業理由名称:緊急入庫

→「普通入庫」に修正したい場合




### 補足:

一覧画面で修正したいデータをダブルクリックする方法でも、登録・修正画面が表示されます。

② 【作業理由】登録・修正画面が表示されます。

データ内容を変更後、 をクリックすると

修正が保存されます。


( をクリックすると画面が閉じられ、

修正の保存は実行されません。)




★もしくは、下記の方法で修正可能です。

① [修正]をクリックすると【作業理由】登録・修正画面が表示されます。

② 表示画面左下の をクリックし、  
修正を行うデータを選択します。

③ データ内容を変更後、

 をクリックすると修正が保存されます。

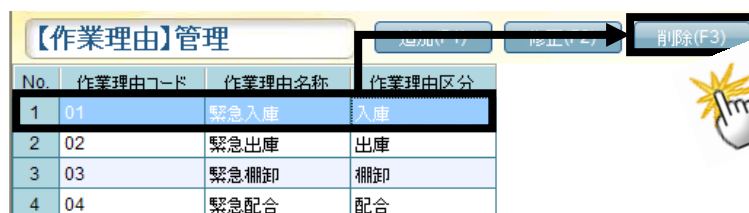
( をクリックすると画面が閉じられ、修正の保存は実行されません。)



### ■ 作業理由マスタの削除

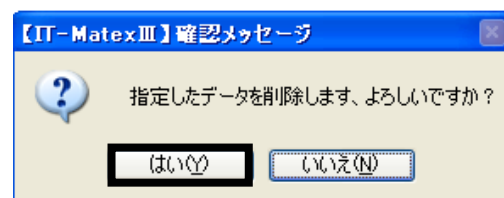
① 一覧で削除したいデータを選択し、[削除]をクリックします。

(例) 緊急入庫



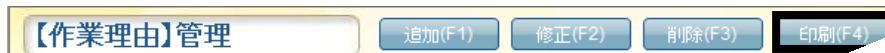
② 確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると選択したデータのみ削除されます。  
削除しない場合は[いいえ]を選択してください。

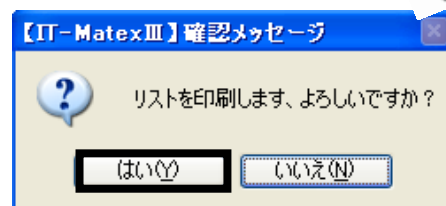


### ■ 作業理由マスタの印刷

登録されている【作業理由】管理一覧リストを印刷します。



[印刷]をクリックすると確認メッセージが表示されますので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

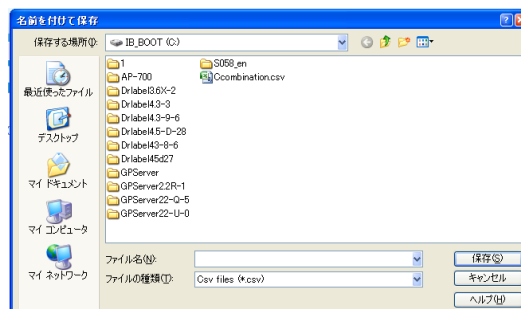


## ■ 作業理由マスタ CSV 出力

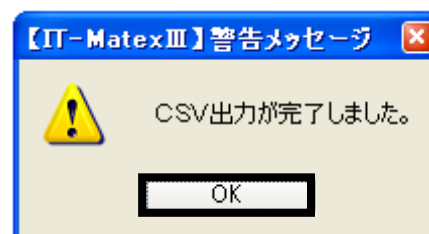
- ① [CSV 出力]をクリックします。



- ② ファイル指定の画面が表示されるので、保存先を指定します。



- ③ 出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 作業理由マスタの終了

- [終了]をクリックすると、【作業理由】管理画面を終了します。





# 原料マスタ管理

## 【マスタ管理＞原料マスタ管理】


原料のデータ登録をします。

【原料】管理 追加(F1) 修正(F2) 削除(F3) 一覧印刷(F4) バーコード印刷(F5) CSV出力(F6) 終了(F12)

原料名称一部:  原料型式一部:  原料コード:  ->  検索(F11)

所属分類:  所属部門:  仕入先:  倉庫:  ページ  001 / 001

No.	原料コード	原料名	原料名2	分類名	部門名	DCコード	倉庫番号	欄番	在庫ラベル発行	セットポイント1	セットポイント2	セットポイント3
1	001	玉子	生玉子			0000007	01	000	•	0.000	0.000	0.000
2	002	魚	さかな			0000008	01	000	•	0.000	0.000	0.000

補足: ツールボタン  「原料管理」をクリックする方法でも同じ操作画面が表示されます。

## ■ 原料マスタの新規追加

【原料】管理 追加(F1)

① 「追加」をクリックすると【原料】登録・修正画面が表示されます。



② 下記項目の設定を行います。

【原料】登録・修正

②

原料コード:

DCコード: 0000008

原料名称:  原料名称2:

有効期限:  0 日 \* 倉庫: 01: 倉庫

欄区分: 1: する 欄番: 000000

スケール番号: 0: 指定無し 所属分類:

単位重量:  0 mg 所属部門:

単価:  0 円 \* 風袋量:  0

セットポイント1:  セットポイント2:

セットポイント3:  在庫ラベル発行: 1: する

号種:

ケース単位:

バラ単位:

仕入先:

ケース入数:

基準在庫数:

部品備考1:

部品備考2:

部品備考3:

部品備考4:

部品備考5:

③ 戻る(F1) 確認(F2) 完了(F5) キャンセル(ESC)

④



### 注意:

原料コード・製品コードは、  
同じ管理ファイルに存在しているため、  
同じコードを登録する事はできません。

項目名の前に\*マークがついている項目は 必須入力事項です。

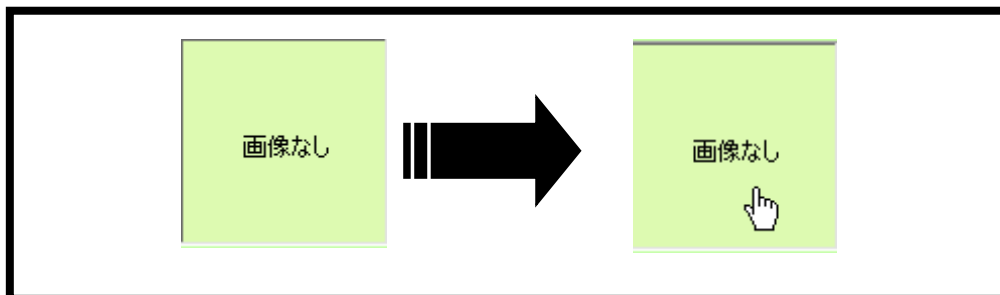
項目名	内容	備考
* 原料コード	半角英数字32文字以内	
* DCコード	自動で7桁のコードが入力されます。	<b>補足:</b> DCコードはDC250. DC350を操作する時に必要です。
* 原料名称	半角英数字50文字以内	
原料名称2	半角英数字50文字以内、原料の読み方、別称を登録します。	
* 有効期限管理	有効期限の日数を入力します。期限単位は“日”になります。	
* スケール番号	DI2000の秤の番号を入力します。 「0」DI2000と接続した全ての秤を使えます。 「1」DI2000と接続した秤番号1を使えます。 「2」DI2000と接続した秤番号2を使えます。	※「原料マスタ管理」と「レシピ管理」に両方スケール番号を登録した場合は、「レシピ管理」の設定を優先します。
* 単位重量	1単位に対する重量を入力します。	
* 単価	原料の単価を入力します。	
容積	原料の分量を入力します。単位はLです。	
号機	DI2000 号機の設定です。カンマ区切りで入力することで、最大5台まで設定する事が可能です。デフォルト“00”のまま設定した場合は、自動的に全てのDI2000 号機に接続されます。	<b>補足:</b> (例)原料01、02、03号機で配合したい場合は「01、02、03」で設定します。
* 風袋量	原料が袋、容器などに包装されている場合、包装重量を入力します。	
セットポイント1~3	DC350IIで計量する際にセットポイントの設定値によって、重量範囲が表示されます。	※セットポイント1>セットポイント2>セットポイント3に設定します。
部品備考1~5	原料データに必要な追加情報を入力する事ができます。	
ケース単位	ケースの重量単位を選択します。	
単位	1つの原料の重量単位を選択します。	
仕入先	原料の仕入先を選択します。	予め仕入先マスタで仕入先データを登録します。
ケース入り数	1ケースに収容されている原料の数量を入力します。	

在庫基準数 原料の最低在庫数を記入します。

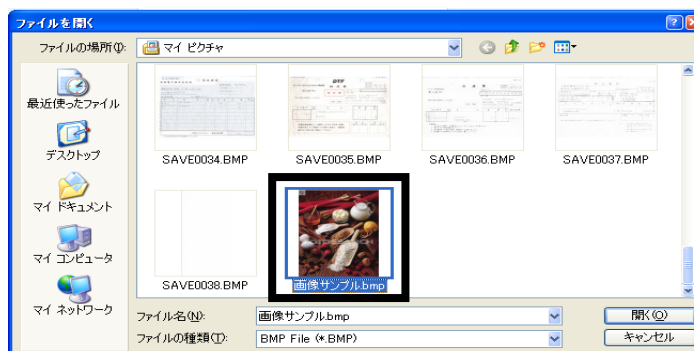
③  をクリックすると保存されます。(  をクリックすると画面が閉じられ、保存は実行されません。)

④ 原料の画像を添付して表示します。

① 「画像なし」と表示されている枠にカーソルを当てると手の形になるので、クリックします。



② 保存したファイルから添付したい画像を選択します。



③ “Ⅰ”をクリックすると選択した画像の登録がキャンセルされます。

“Ⅱ”原料画像を表示します。

... “Ⅲ”画像の名称と拡張子を表示します。

Ⅰ

Ⅱ



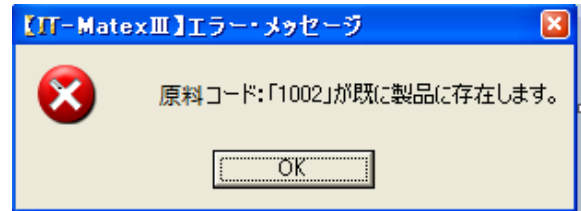
**補足:**

原料リストの「単位」「単価」「風袋量」「単位重量」「基準在庫」「棚卸区分」「ケース入数」「部品備考①～⑤名称」の表示設定は、予め「システム管理＞パラメータ設定＞原料項目表示設定」画面で設定します。

**注意:**

登録済みの製品コードが全く同じ設定、  
あるいは原料コードで設定済みの番号を入力すると  
エラーメッセージが表示されます。

「OK」をクリックし、使用していない番号に変更してから登録を行ってください。



**■ 原料マスタの検索**

〔検索〕を使用すれば、該当する登録済みデータの表示ができます。

**補足:**

**ページ表示:**

ページ 001 / 002 「001」 該当の頁を表示します。

「002」 合計の頁を表示します。

◀ をクリックすると前頁を表示します。

▶ をクリックすると次頁を表示します。



原料名称一部: 原料名称の部分を入力

原料コード: 原料コードの範囲を入力



〔検索〕をクリックする。

入力した内容を表示します。

### 補足1:

検索条件を入力せず[検索]ボタンをクリックすると、登録済の全データを表示します。

### 補足2:ソート表示方法

リストの各原料項目名称をダブルクリックすると、該当内容を降順・昇順に並べ替えて表示します。

例: 下図「原料名」をダブルクリックすると列色はピンクになり、矢印が上に向き。降順になります。

No.	原料コード	原料名	原料名2	分類名	部門名	DCコード	倉庫番号	棚番	入庫ラベル発行	セットポイント1	セットポイント2	セットポイント3
1	001	玉子	生玉子			0000007	01	000	•	0.000	0.000	0.000
2	002	魚	さかな			0000008	01	000	•	0.000	0.000	0.000

## ■ 原料マスタの修正

一度登録した原料コード、DCコードの修正はできません。

原料コード、DCコードを変更したい場合は、削除を行ってから再度追加登録してください。

- ① 【原料】管理画面より修正したいデータを選択し、[修正]をクリックします。


①修正をクリック


②ダブルクリック

### 補足:

登録・修正画面は、一覧画面で修正したいデータをダブルクリックする方法でも表示されます。

② 【原料】管理登録・修正画面が表示されるので、



データを変更後、をクリックすると修正内容が保存されます。


(をクリックすると画面が閉じられ、保存は実行されません。)




★もしくは、下記の方法でも修正可能です。

① [修正]をクリックすると【原料】管理登録・修正画面が表示されます。

② 表示画面左下の  で、修正を行うデータを選択します。

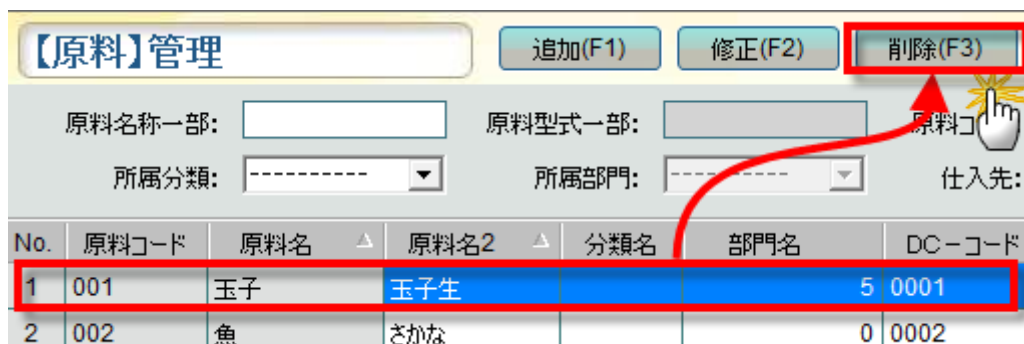
③ データ内容を変更後、をクリックすると修正内容が保存されます。

(をクリックすると画面が閉じられ、保存は実行されません。)



### ■ 原料マスタの削除

① 一覧で削除したいデータを選択し、[削除]をクリックします。(例) 原料名称: 玉子



② [削除]をクリックすると、以下3つの確認メッセージが表示されます。

① 指定した原料を原料マスタから削除する

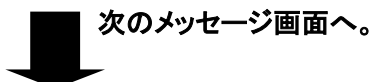
確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択する場合、指定したデータを削除します。

[いいえ]を選択する場合、

指定したデータの削除は実行されません。

※[はい]を選択しても、指定した原料の在庫データ、関連する原料データは消えません。



次のメッセージ画面へ。

② 指定した原料の在庫データを原料マスタから

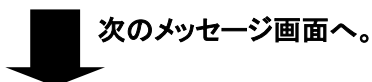
削除する確認メッセージが表示されます。

[はい] を選択する場合、在庫データを削除します。

[いいえ]を選択する場合、

在庫データの削除は実行されません。

※[はい]を選択しても、関連する原料データは消えません。



次のメッセージ画面へ。

③ 指定した原料に関連する原料データを、

原料マスタから削除する確認メッセージが表示されます。

[はい] を選択する場合、関連データを削除します。

[いいえ]を選択する場合、

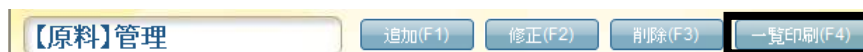
関連データの削除は実行されません。

※全ての確認メッセージを[はい]にした場合、

指定した原料に関連する、全原料データが削除されることになります。

## ■ 原料マスタの一覧印刷

① [一覧印刷]をクリックします。

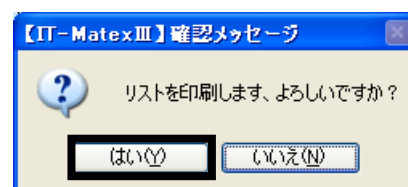


② 登録されている【原料】管理一覧リストを印刷します。

確認メッセージが表示されるので、

印刷する場合は[はい]、

印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

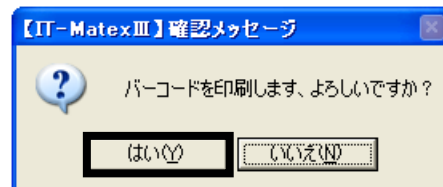


## ■ 原料マスタのバーコード印刷

① [バーコード印刷]をクリックします。



②登録されている【原料】管理一覧リストを印刷します。  
確認メッセージが表示されるので、  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

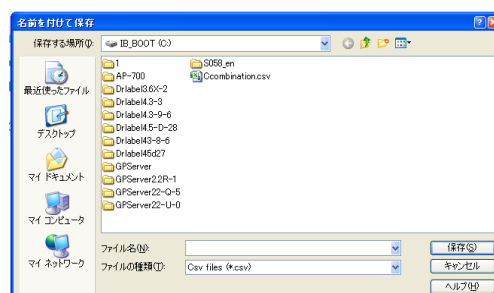


## ■ 原料マスタ CSV 出力

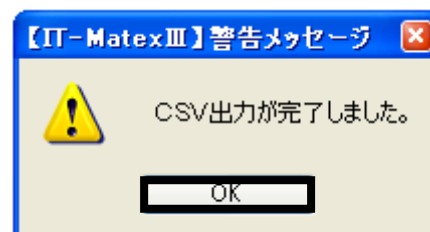
① [CSV出力]をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので  
保存先を指定します。



③出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、  
[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 原料マスタの終了

[終了]をクリックすると、【原料】管理画面を終了します。





# 製品マスタ管理

## 【マスタ管理＞製品マスタ管理】

製品のデータ登録をします。

【製品】管理 追加(F1) 修正(F2) 削除(F3) 一覧印刷(F4) バーコード印刷(F5) CSV出力(F6) 半製品追加(F7) 終了(F12)

製品名称一部:  製品型式一部:  製品コード:  ->  検索(F11)

所属分類:  所属部門:  出庫先:  倉庫:  ページ 001 / 001

No.	製品コード	製品名	製品名2	分類名	部門名	倉庫番号	欄番	計量方法	製造順	セットポイント1
1	1001	玉子チャーハン	たまごチャーハン			01	000	個別計量	製造優先	0.0
2	1002	キムチチャーハン	キムチチャーハン			01	000	個別計量	製造優先	0.0

### ■ 製品マスタの新規追加

① [追加]をクリックすると【製品】登録・修正画面が表示されます。



② 下記項目の設定を行います。

【製品】登録・修正

製品コード:  DCコード: 0000008 画像なし

製品名称:  製品名称2:

有効期限:  0 日 \* 倉庫: 01:倉庫 画像なし

欄割区分: 1:する  欄番: 000000 画像なし

スケール番号: 0:指定無し  所属分類:

単位重量:  0 mg 所属部門:

単価:  0 円 \* 風袋量:  0

セットポイント1:  セットポイント2:

セットポイント3:  製造基準量:  1 号機:

計量方法: 0:個別計量  配合順: 0:配合優先  ケース単位:

製品備考1:  パラ単位:

製品備考2:  出庫先:

製品備考3:  ケース入数:

製品備考4:  基準在庫数:

製品備考5:

(F1) (F2) ③ (F5) (ESC)



④

#### 注意:

原料コード・製品コードは、  
同じ管理ファイルに存在しているため、  
同じコードを登録する事はできません。

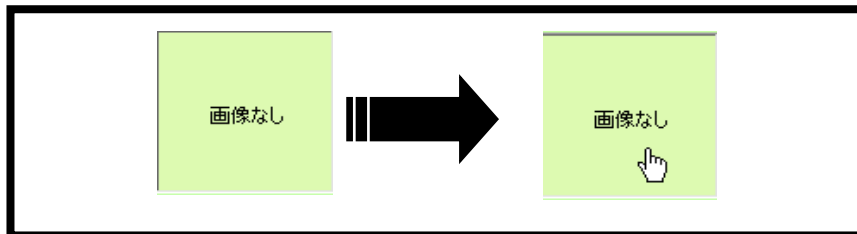
\* マークがついている項目は必須入力となります。

項目名	内容	備考
* 製品コード	半角英数字32文字以内	
* DCコード	自動で7桁のコードが入力されます。	<b>補足:</b> DCコードはDC250. DC350を操作する時に必要です。
* 製品名称	半角英数字50文字以内	
製品名称2	半角英数字50文字以内、製品の読み方、別称を登録します	
* 有効期限管理	有効期限の日数四桁までを入力します。	期限単位: “日”
* 棚卸区分	棚卸の選択をします。	0: しない・1: する
* 秤番号	DI2000の秤の番号を入力します。	※配合版はこの項目の設定は無効です。
* 製造基準量	製造の最低重量を入力します。	デフォルトで1gを表示します。
* 単価	製品の単価を入力します。	
容積	製品の分量を入力します。単位はLです	
* 風袋量	製品が袋、容器などに包装されている場合、包装重量を入力します。	
計量方法	DI2000計量方法の選択を表示します。	0: 個別計量 1: 積増計量
配合順	DI2000の配合順序を表示します。	0: 配合優先 1: 原料優先 2: 呼出順
セットポイント 1~3	DC350IIで計量する際にセットポイントの設定値によって、重量範囲が表示されます。	※セットポイント1>セットポイント2>セットポイント3に設定します。
号機	DI2000号機の設定です。	※配合、標準版はこの項目の設定は無効です。
出庫先	出庫先を選択します。	予め出庫先で出庫先データを登録します。
製品備考1~5	製品データに必要な追加情報を入力する事ができます。	
ケース単位	ケースの重量単位を選択します。	
バラ単位	1つの製品の重量単位を選択します。	
ケース入り数	1ケースに收容されている製品数を入力します。	
基準在庫数	製品の最低在庫数を記入します。	

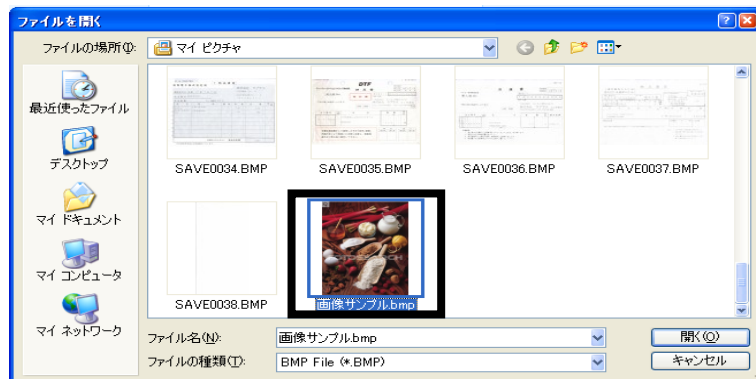
③  をクリックすると登録が保存されます。(  をクリックすると画面が閉じられ、登録の保存は実行されません。)

④ 製品の画像を添付して表示します。

❶ 「画像なし」と表示されている枠にカーソルを当てると手の形になるので、クリックします。



❷ 保存したファイルから添付したい画像を選択します。



❸ “Ⅰ”をクリックすると選択した画像の登録がキャンセルされます。

“Ⅱ”製品画像を表示します。

... “Ⅲ”画像の名称と拡張子を表示します。



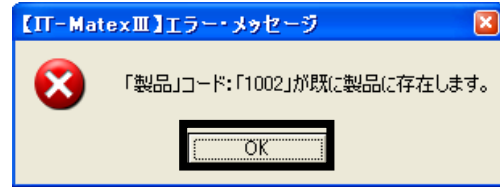
**補足:**

製品リストの「単位」「単価」「風袋量」「単位重量」「基準在庫」「棚卸区分」「ケース入数」「部品備考①～⑤名称」の表示設定は、予め「システム管理>パラメータ設定>原料項目表示設定」画面で設定します。

**注意:**

登録済みの製品コードが全く同じ設定、  
あるいは原料コードで設定済みの番号を入力すると  
エラーメッセージが表示されます。

「OK」をクリックし、  
使用していない番号に変更してから登録を行ってください。



■ 製品マスタの検索

...[検索]を使用すれば、該当する登録済みデータの表示ができます。

**補足:**

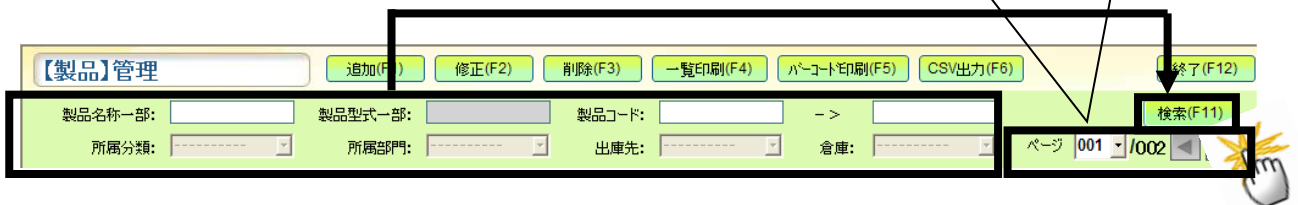
**ページ表示:**

ページ 001 / 002 「001」 該当の頁を表示します。

「002」 合計の頁を表示します。

◀ をクリックすると前頁を表示します。

▶ をクリックすると次頁を表示します。



製品名称一部: 製品名称部分入力

製品コード: 製品コードの範囲を入力



[検索]をクリックする。

入力した内容を表示します。

**補足:**

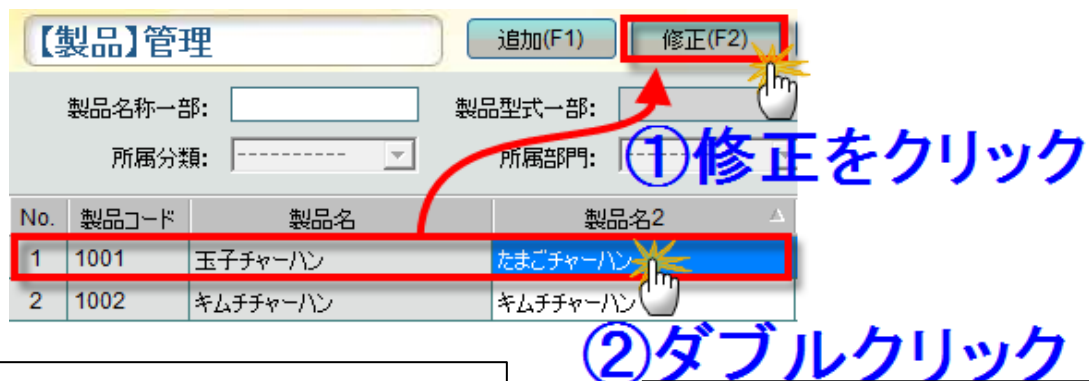
検索条件を入力せず[検索]ボタンをクリックすると、登録済の全データを表示します。

■ 製品マスタの修正

一度登録した製品コード、DCコードの修正はできません。

製品コード、DCコードを変更したい場合は、削除を行ってから再度追加登録してください。


- ① 【製品】管理画面より修正したいデータを選択し、〔修正〕をクリックします。



補足:

一覧画面より修正したいデータをダブルクリックする方法でも、登録・修正画面が表示されます。

- ② 【製品】管理登録・修正画面が表示するので、

データを変更後、をクリックすると修正が保存されます。



(をクリックすると画面が閉じられ、

保存は実行されません。)




★もしくは、下記の方法で修正可能です。

- ① 〔修正〕をクリックすると【製品】管理登録・修正画面が表示されます。

- ② 表示画面左下の  をクリックし、修正を行うデータを選択します。

- ③  をクリックすると修正が保存されます。

( をクリックすると画面が閉じられ、

保存は実行されません。)



## ■ 製品マスタの削除

①一覧より削除したいデータを選択し、[削除]をクリックします。（例）製品コード:1001

No.	製品コード	製品名	製品名2	分類名
1	1001	玉子チャーハン	たまごチャーハン	
2	1002	キムチチャーハン	キムチチャーハン	0.

② [削除]をクリックすると、以下3つの確認メッセージが表示されます。

① 指定した製品を製品マスタから削除する

確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択する場合、指定したデータを削除します。

[いいえ]を選択する場合、

指定したデータの削除は実行されません。

※[はい]を選択しても、指定した製品の在庫データ、製品に関連するデータは消えません。

↓ 次の確認メッセージへ。

② 指定した製品の在庫データを製品マスタから

削除する確認メッセージが表示されます。

[はい] を選択する場合、在庫データを削除します。

[いいえ]を選択する場合、

在庫データの削除は実行されません。

※[はい]を選択しても、製品に関連するデータは消えません。

↓ 次の確認メッセージへ。

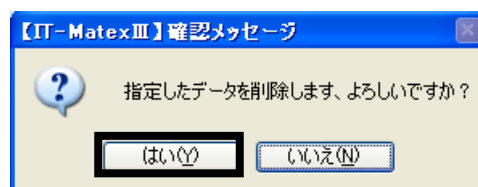
③ 指定した製品に関連するデータを製品マスタから

削除する確認メッセージが表示されます。

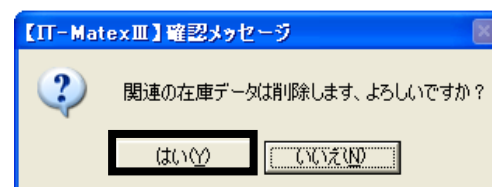
[はい] を選択する場合、関連データを削除します。

[いいえ]を選択する場合、

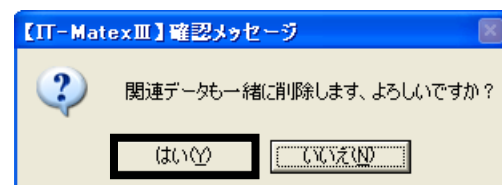
関連データの削除は実行されません。



①



②



③

※全ての確認メッセージを[はい]にした場合、

指定した製品に関連する、原料データ以外の全データが削除されることになります。

## ■ 製品マスタの一覧印刷

① [一覧印刷]をクリックします。

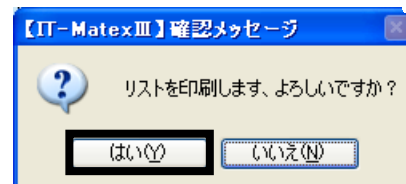


② 登録されている【製品】管理一覧リストを印刷します。

確認メッセージが表示されます。

印刷する場合は[はい]、

印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。

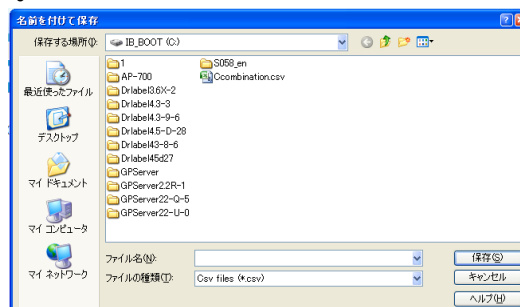


## ■ 製品マスタ CSV 出力

① [CSV出力]をクリックします。

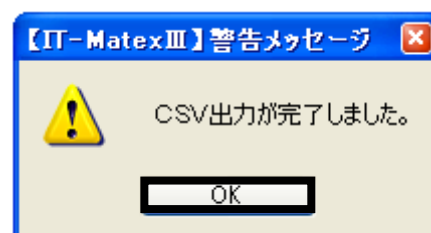


② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。



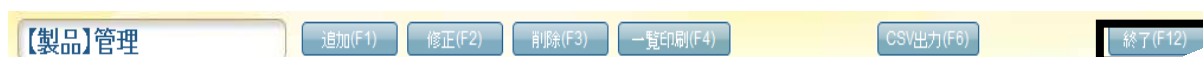
③ 出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、

「OK」をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 製品マスタの終了

[終了]をクリックすると、【製品】管理画面を終了します。



## 製品分類管理

### 【マスタ管理＞製品分類管理】

製品分類のデータ登録をします。

分類別に管理する必要が無い場合は、登録の必要はありません。


No.	製品分類コード	製品分類名称
1	01	製品分類01
2	02	製品分類02


### ■ 製品分類マスタの追加

① [追加]をクリックすると【製品分類】登録・修正画面が表示されます。



- ② 製品分類コードを半角数字 4 桁以内で入力します。(必須入力)
- ③ 製品分類名称を全角・半角 20 文字以内で入力します。(必須入力)

④  をクリックすると登録が保存されます。

( をクリックする画面が閉じられ、登録の保存は実行されません。)

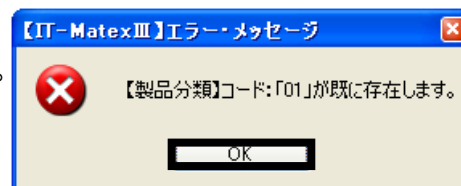
#### 注意:

検索条件を入力せず[検索]ボタンをクリックすると、登録済の全データを表示します。

登録済みの製品分類コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。

[OK]をクリックし、

使用していない番号に変更してから登録を行ってください。





## ■ 製品分類マスタの修正

### 注意:

一度登録した製品分類コードの修正はできません。

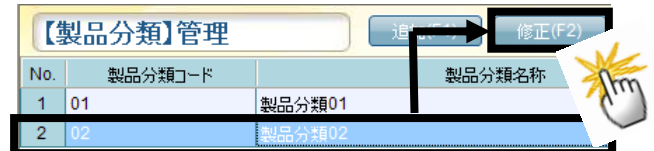
製品分類コードを変更したい場合は、該当の作製品分類マスタを一度削除し、再登録してください。

① 【製品分類】管理画面から修正したいデータを選択し、〔修正〕をクリックします。

(例) 製品分類コード:02

製品分類名称:製品分類 02


→ 製品分類名称 02 へ変更したい場合




### 注意:

一覧画面で修正したいデータをダブルクリックする方法でも、登録・修正画面が表示されます。

② 【製品分類】登録・修正画面が表示されるので、

製品分類名称を変更後、 をクリックすると修正が保存されます。

(  をクリックすると画面が閉じられ、

修正の保存は実行されません。)



★もしくは、下記の方法で修正可能です。


① 〔修正〕をクリックすると、

【製品分類】登録・修正画面が表示されます。

② 表示画面左下の   をクリックし、

修正を行うデータを選択します。



③ 製品分類名称を変更後、 をクリックすると修正が保存されます。

(  をクリックすると画面が閉じられ、修正の保存は実行されません。)

## ■ 製品分類マスタの削除

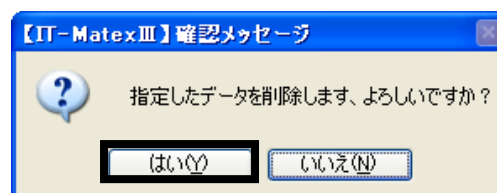
- ① 一覧で削除したいデータを選択し、〔削除〕をクリックすると確認メッセージが表示されます。

(例)02: 製品分類名称



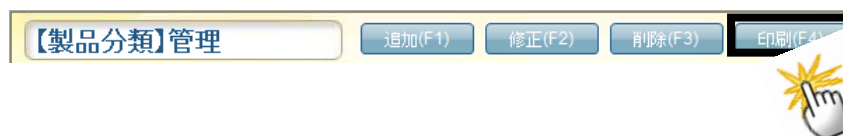
- ② 〔はい〕を選択すると選択したデータのみ削除されます。

削除しない場合は〔いいえ〕を選択してください。



## ■ 製品分類マスタの印刷

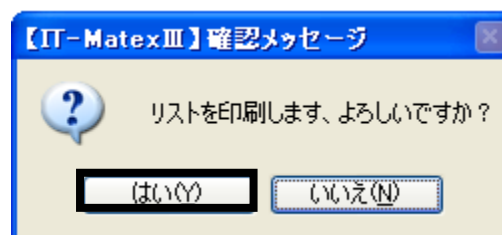
登録されている【製品分類】管理一覧リストを印刷します。



〔印刷〕をクリックすると、確認メッセージが表示されます。

印刷する場合は〔はい〕、

印刷しない場合は〔いいえ〕を選択してください。

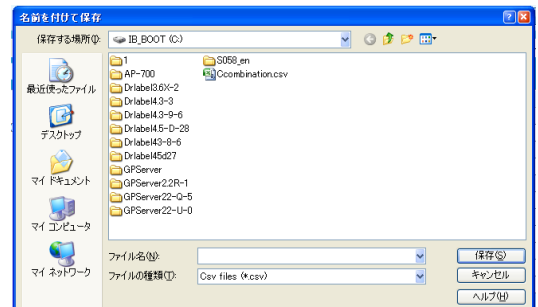


## ■ 製品分類マスタ CSV 出力

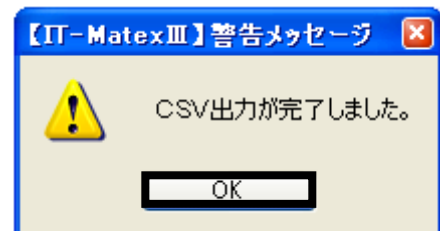
- ① [CSV 出力]をクリックします。



- ② ファイル指定の画面が表示されるので、保存先を指定します。



- ③ 出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、「OK」をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 製品分類マスタの終了

[終了]をクリックすると、【製品分類】管理画面を終了します。



## 代替原料マスタ管理

### 【マスタ管理>代替原料マスタ管理】

代替原料のデータ登録をします。

代替原料に管理する必要が無い場合は、登録の必要はありません。

No.	元原料コード	元原料名称	代替原料コード	代替原料名称
1	0001	原料0001	001	原料001
2	0002	原料0002	002	原料002

### ■ 代替原料マスタの追加


① [追加]をクリックすると【代替原料】登録・修正画面が表示されます。




② 元原料コードを選択します。(必須項目)  
該当の元原料名称が表示されます。

③ 代替原料コードを選択します。(必須項目)  
該当の代替原料名称が表示されます。

④例: 元原料コード 0001→代替原料 001 に登録します。

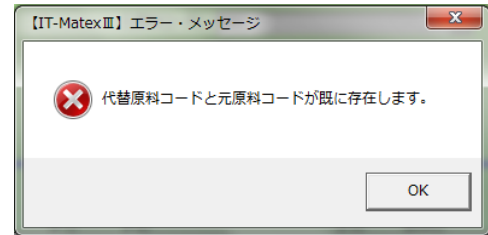
 をクリックすると登録が保存されます。

( をクリックする画面が閉じられ、登録の保存は実行されません。)

**注意:**

同じの元原料と代替原料を重複登録するとエラーメッセージ

「代替原料コードと元原料コードが既に存在します。」  
が表示され、登録保存できません。」が表示されます。  
「OK」を押すとメッセージが消え、もう一回登録します。



■ 代替原料マスタの修正


**注意:**


一度登録した元原料コードの修正はできません。

元原料コードを変更したい場合は、該当の代替原料マスタを一度削除し、  
再登録してください。

- ① 【代替原料】管理画面から修正したいデータを選択し、[修正]をクリックします。

代替原料コード:001→代替原料コード 003

に変更後、 をクリックすると  
修正が保存されます。

( をクリックすると画面が閉じられ、  
修正の保存は実行されません。)

No.	元原料コード	元原料名称	代替原料コード	代替原料名称
1	0001	原料0001	001	原料001
2	0002	原料0002	002	原料002

【代替原料】登録・修正

\* 元原料コード: 0001  
元原料名称: 原料0001

\* 代替原料コード: 003  
代替原料名称: 原料003



(F1) (F2) (F5) (ESC)


**注意:**

一覧画面で修正したいデータをダブルクリックする方法でも、登録・修正画面が表示されます。

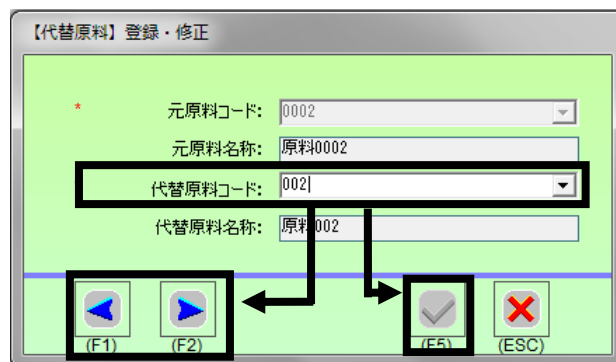
★もしくは、下記の方法で修正可能です。

① [修正]をクリックすると、  
【代替原料】登録・修正画面が表示されます。

② 表示画面左下の   をクリックし、  
修正を行うデータを選択します。

③ 代替原料を変更後、 をクリックすると修正が保存されます。

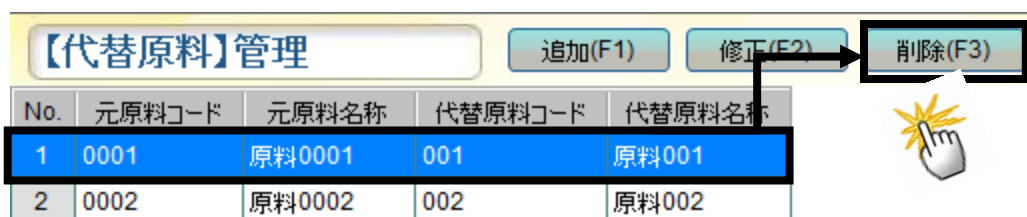
(  をクリックすると画面が閉じられ、修正の保存は実行されません。)



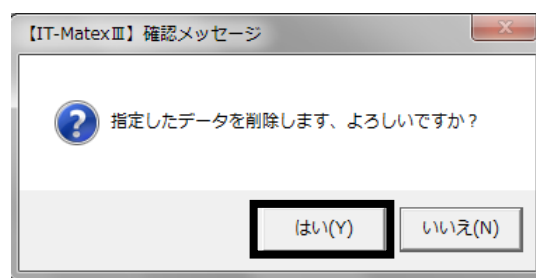
## ■ 代替原料の削除

① 一覧で削除したいデータを選択し、[削除]をクリックすると確認メッセージが表示されます。

例: 元原料コード:0001 代替原料:001

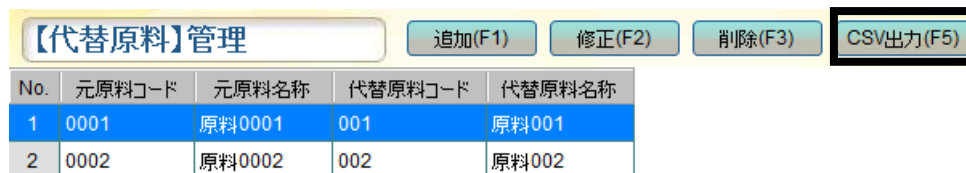


② [はい]を選択すると選択したデータのみ削除されます。  
削除しない場合は[いいえ]を選択してください。

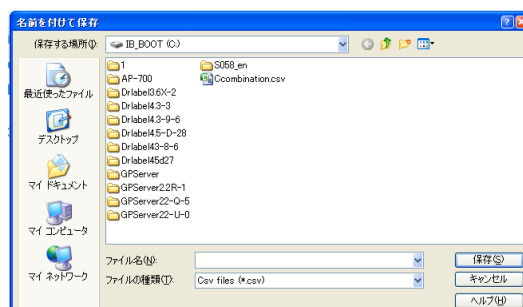


## ■ 代替原料マスタ CSV 出力

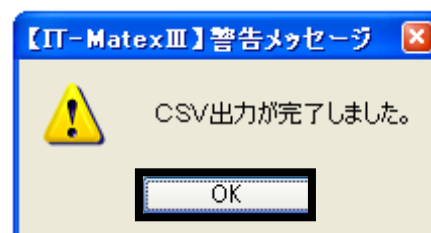
① [CSV 出力]をクリックします。



② ファイル指定の画面が表示されるので保存先を指定します。

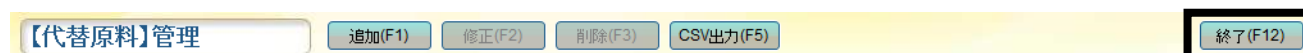


③出力が完了すると報告メッセージが表示されるので、[OK]をクリックしてメッセージ画面を閉じて下さい。



## ■ 代替原料マスタの終了

[終了]をクリックすると、【代替原料】管理画面を終了します。



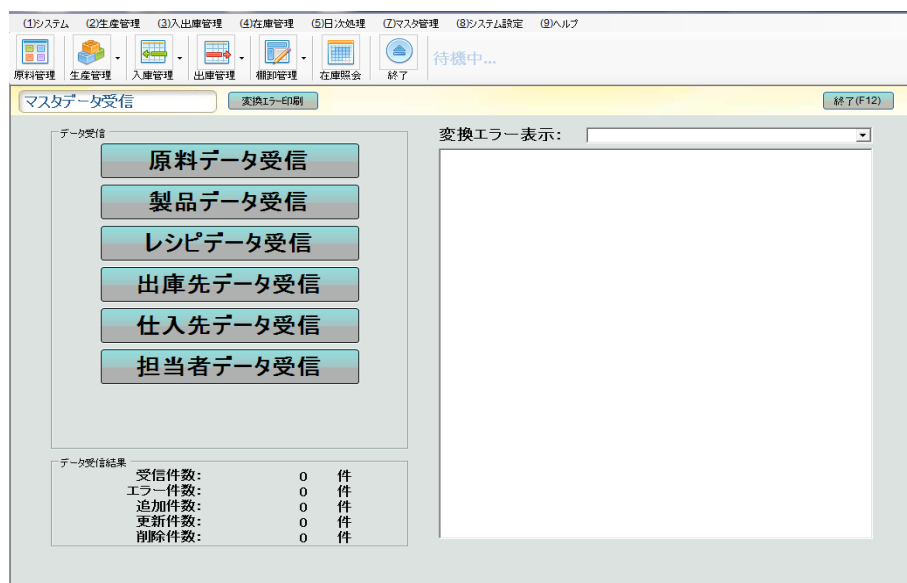
## マスタデータ受信

### 【マスタ管理＞マスタデータ受信】

テキストファイル(拡張子 CSV)で保存されているデータを取り込み、

IT-MATEXⅢの各マスタにデータを追加登録します。

予め「システム設定」＞「システムパラメータの設定」＞「送受信ファイル設定」で、各「受信ファイルのパスの設定」を行ってください。



### ■ 原料データ受信



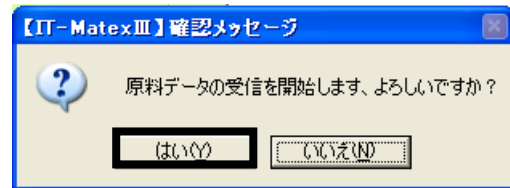
#### 注意:

受信したデータは全て上書きして記録されます。

実績データも上書きされてしまうので、受信作業は十分ご注意ください。



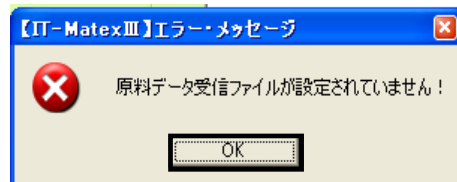
- ① [原料データ受信]をクリックすると  
確認メッセージが表示されます。



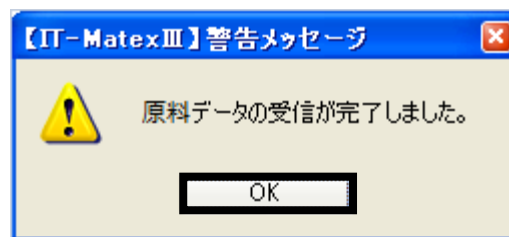
- ② [はい]を選択した場合、「システム設定」>「システムパラメータ設定」で設定されている  
データ受信ファイルパスからデータ受信を開始します。  
[いいえ]を選択した場合、確認メッセージが閉じられ、データ受信は実行されません。

**注意:**

「システムパラメータ設定」で  
「原料受信ファイル」のパスを設定していない場合、  
エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、設定を行ってください。



- ③ 警告メッセージが表示され、[OK]をクリックすると受信件数・エラー件数・新規追加件数・更新件数・削除件数がデータ受信結果として表示されます。



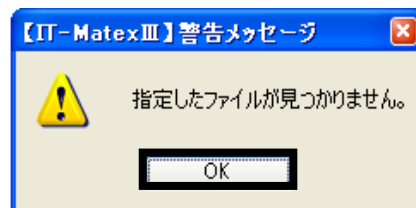
データ受信結果			
受信件数:	15	件	
エラー件数:	0	件	
追加件数:	15	件	
更新件数:	0	件	
削除件数:	0	件	

補足:

(a)データ受信時、

「システムパラメータ設定」で設定をしている場合でも、  
報告メッセージが表示される場合がありますので、  
再度設定を確認してください。

(a)

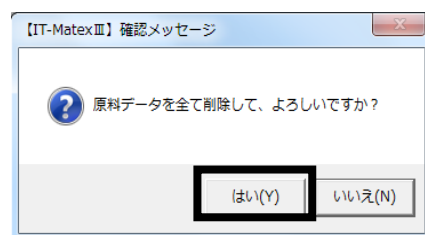


(b) 「システムパラメータ設定」で「原料データ受信する前に既存のマスタを削除」項目に  
チェックを入れると確認メッセージが表示されます。

〔はい〕を選択した場合、

既存の原料マスタを全て削除して受信します。

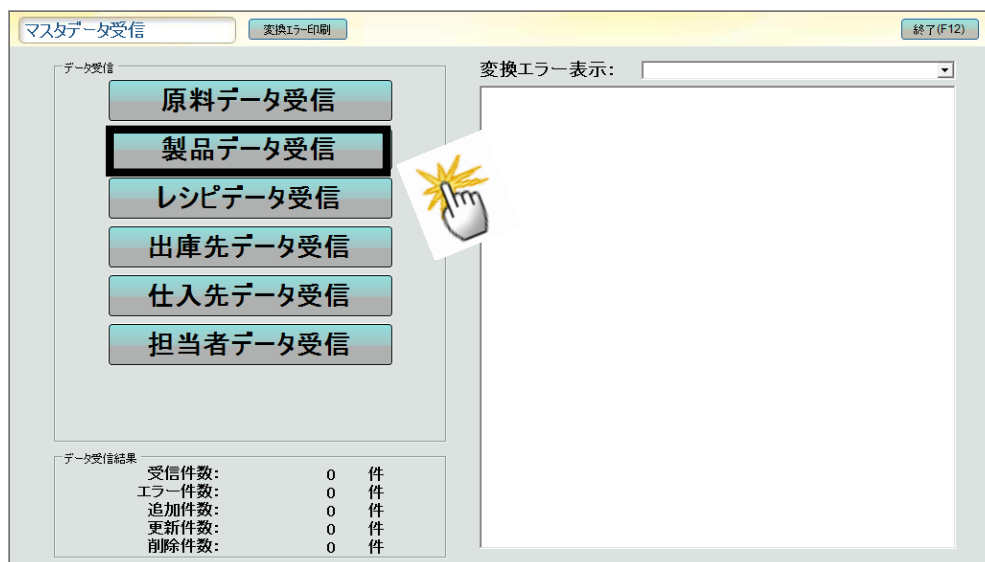
(b)



〔いいえ〕を選択した場合、

既存の原料マスタを削除することなく、  
追加受信します。

## ■ 製品データ受信

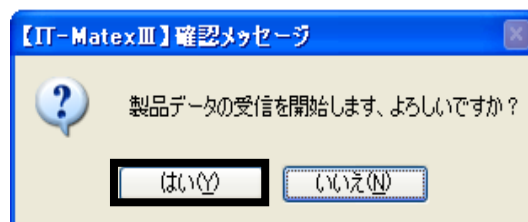


### 注意:

受信したデータは全て上書きして記録されます。

実績データも上書きされてしまうので、受信作業は十分ご注意ください。

① 「製品データ受信」をクリックすると確認メッセージが表示されます。

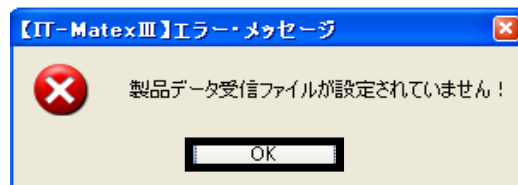


② 「はい」を選択した場合、「システム設定」>「システムパラメータ設定」で設定されているデータ受信ファイルパスからデータ受信を開始します。

「いいえ」を選択した場合、確認メッセージが閉じられ、データ受信は実行されません。

**注意:**

「システムパラメータ設定」で「原料受信ファイル」のパスを設定していない場合、エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、設定を行ってください。

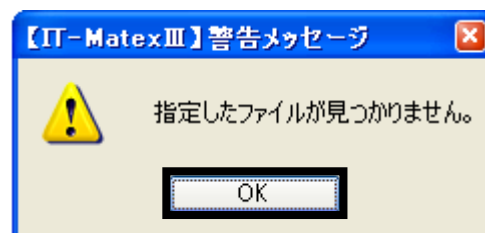


**補足:**

(a) データ受信時、

「システムパラメータ設定」で設定をしている場合でも、報告メッセージが出る場合がありますので、再度設定を確認してください。

(a)



(b) 「システムパラメータ設定」で「製品データ受信する前に既存のマスタを削除」項目にチェックを入れると確認メッセージが表示されます。

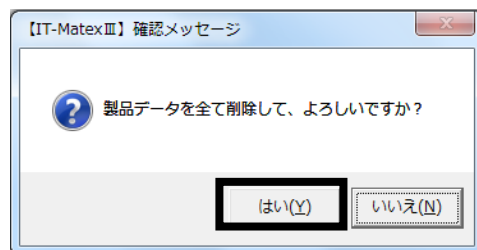
「はい」を選択した場合、

既存の製品マスタを全て削除して受信します。

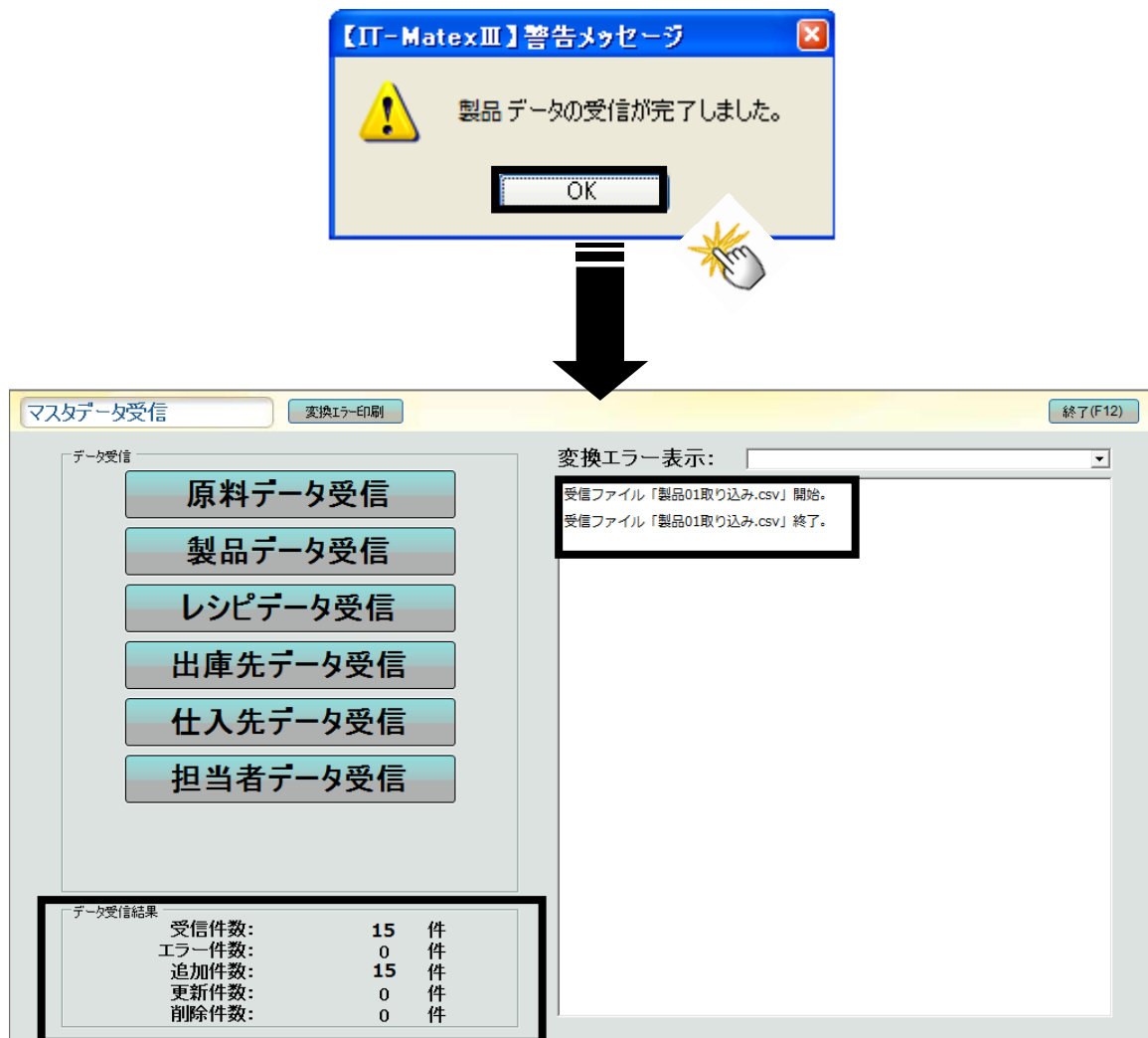
「いいえ」を選択した場合、

既存の製品マスタを削除することなく、追加受信します。

(b)

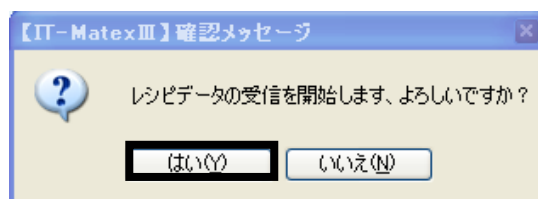


- ③ 警告メッセージが表示され、[OK]をクリックすると、  
受信件数・エラー件数・新規追加件数・更新件数・削除件数がデータ受信結果として表示されます。



## ■ レシピデータ受信

① [レシピデータ受信]をクリックすると、「構成テーブルをすべて削除してよろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。

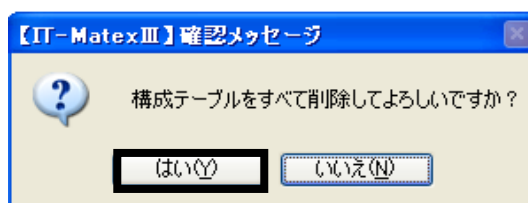


[はい]を選択した場合、②の確認メッセージへ。

[いいえ]を選択した場合、確認メッセージが閉じられ、データ受信は実行されません。

②次に、「構成テーブルを全て削除してよろしいですか？」という確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択した場合、「システム設定」>「システムパラメータ設定」で設定されているデータ受信ファイルパスからデータ受信を開始します。

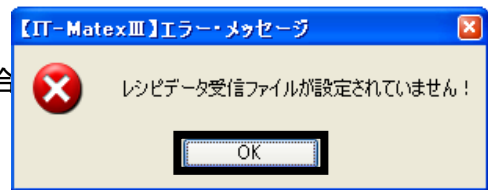


※既存の構成レシピデータを全て削除したのち受信します。

[いいえ]を選択した場合、メッセージが閉じられ、既存の構成レシピデータを削除することなく、追加受信をします。

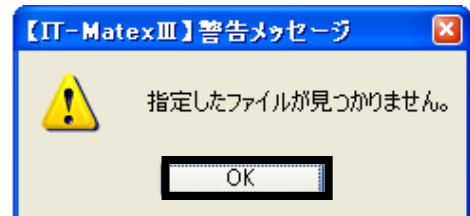
**注意:**

「システムパラメータ設定」で  
「レシピデータ受信ファイル」のパスを設定していない場合  
エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、設定を行ってください。

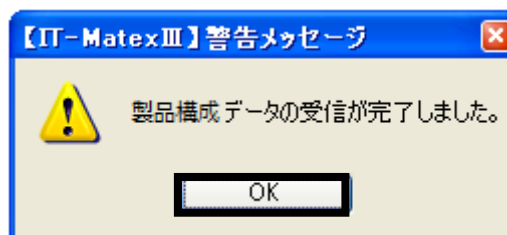


**補足:**

設定をしている場合でも、  
報告メッセージが表示される場合がありますので  
再度設定を確認してください。



- ④ 報告メッセージが表示され、[OK]をクリックすると受信件数・エラー件数・新規追加件数・更新件数・削除件数がデータ受信結果として、表示されます。

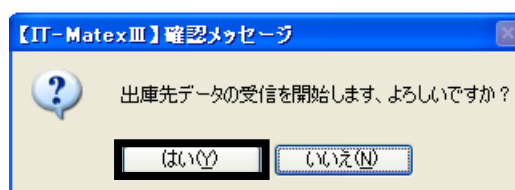


受信件数:	15	件
エラー件数:	0	件
追加件数:	15	件
更新件数:	0	件
削除件数:	0	件

## ■ 出庫先データ受信



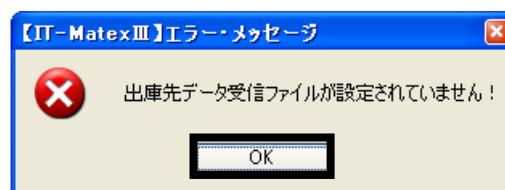
- ① [出庫先データ受信]をクリックすると  
確認メッセージが表示されます。



- ② [はい]を選択した場合、「システム設定」>「システムパラメータ設定」で設定されている  
データ受信ファイルパスからデータ受信を開始します。  
[いいえ]を選択した場合、確認メッセージが閉じられ、データ受信は実行されません。

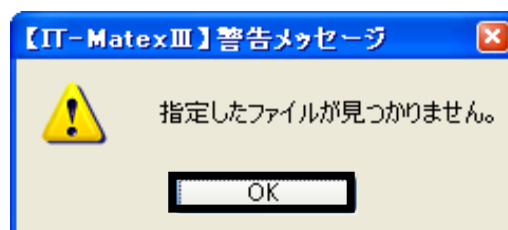
### 注意:

「システムパラメータ設定」で  
「原料受信ファイル」のパスを設定していない場合、  
エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、設定を行ってください。



### 補足:

データ受信時、  
「システムパラメータ設定」で設定をしている場合でも、  
報告メッセージが表示される場合がありますので、  
再度設定を確認してください。



④ 報告メッセージが表示され、[OK]をクリックすると受信件数・エラー件数・新規追加件数・更新件数・削除件数が、データ受信結果として表示されます。

The image shows a software interface for data reception. At the top, a warning message box titled "【IT-MatexⅢ】警告メッセージ" (Warning Message) displays a yellow warning icon and the text "出庫先データの受信が完了しました。" (Outbound data reception is complete). Below the message is an "OK" button. A large black arrow points from this message box down to the main application window.

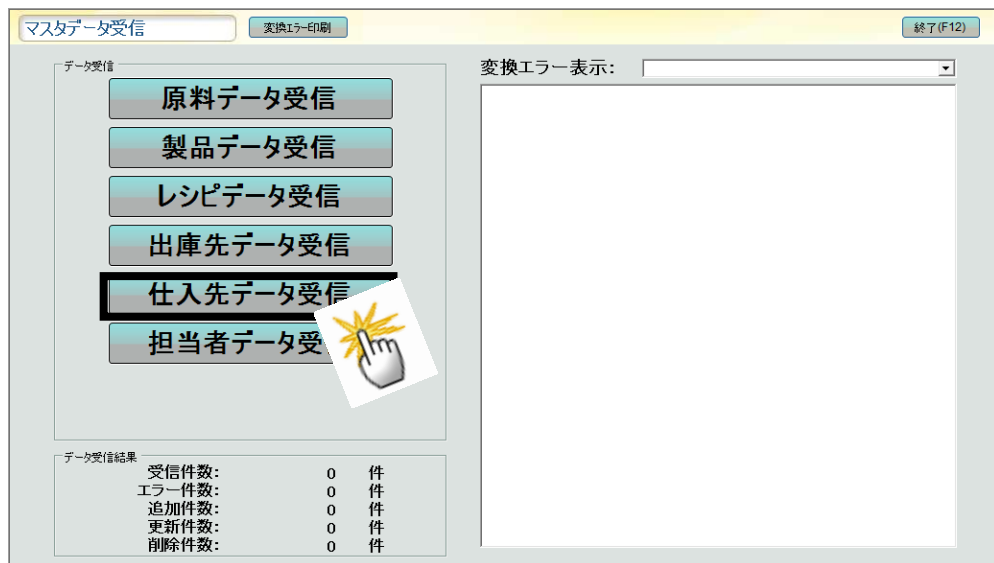
The main application window is titled "マスターデータ受信" (Master Data Reception) and includes a "変換エラー印刷" (Print Conversion Errors) button and a "終了(F12)" (End) button. The interface is divided into several sections:

- データ受信 (Data Reception):** A vertical list of buttons for receiving different types of data: 原料データ受信 (Raw Material Data Reception), 製品データ受信 (Product Data Reception), レシピデータ受信 (Recipe Data Reception), 出庫先データ受信 (Outbound Data Reception), 仕入先データ受信 (Inbound Data Reception), and 担当者データ受信 (Staff Data Reception).
- 変換エラー表示 (Conversion Error Display):** A text area showing the status of the data file: "受信ファイル「出庫先01取り込み.csv」開始。" (Reception file 'Outbound01 Import.csv' started.) and "受信ファイル「出庫先01取り込み.csv」終了。" (Reception file 'Outbound01 Import.csv' ended.).
- データ受信結果 (Data Reception Results):** A table summarizing the reception statistics.

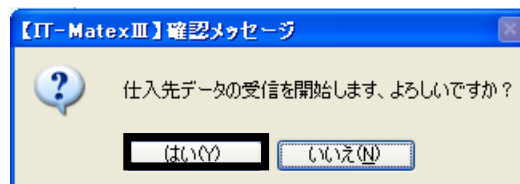
データ受信結果		
受信件数:	15	件
エラー件数:	0	件
追加件数:	15	件
更新件数:	0	件
削除件数:	0	件



## ■ 仕入先データ受信



① 「仕入先データ受信」をクリックすると  
確認メッセージが表示されます。

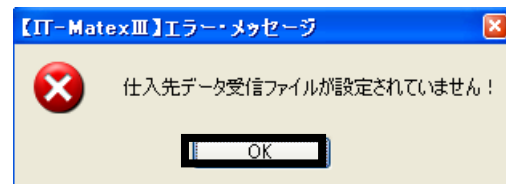


② 「はい」を選択した場合、「システム設定」>「システムパラメータ設定」で設定されている  
データ受信ファイルパスからデータ受信を開始します。

「いいえ」を選択した場合、確認メッセージが閉じられ、データ受信は実行されません。

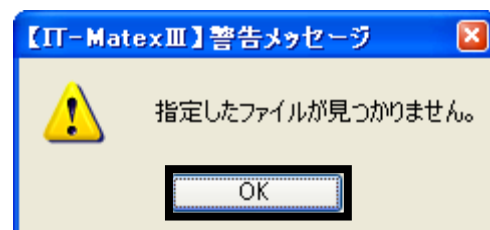
### 注意:

「システムパラメータ設定」で  
「原料受信ファイル」のパスを設定していない場合、  
エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、設定を行ってください。



### 補足:

データ受信時、  
「システムパラメータ設定」で設定をしている場合でも、  
報告メッセージが表示される場合がありますので  
再度設定を確認してください。



③ 警告メッセージが表示され、[OK]をクリックすると受信件数・エラー件数・新規追加件数がデータ受信結果として、表示されます

The screenshot shows the 'IT-Matex III' software interface. At the top, a warning dialog box titled '【IT-MatexⅢ】警告メッセージ' (Warning Message) is displayed with a yellow warning icon and the text '仕入先データの受信が完了しました。' (Supplier data reception is complete). Below the dialog is a large black arrow pointing to the main application window.

The main application window is titled 'マスターデータ受信' (Master Data Reception) and contains several buttons for data reception: '原料データ受信' (Raw Material Data Reception), '製品データ受信' (Product Data Reception), 'レシピデータ受信' (Recipe Data Reception), '出庫先データ受信' (Destination Data Reception), '仕入先データ受信' (Supplier Data Reception), and '担当者データ受信' (Personnel Data Reception). The '仕入先データ受信' button is highlighted.

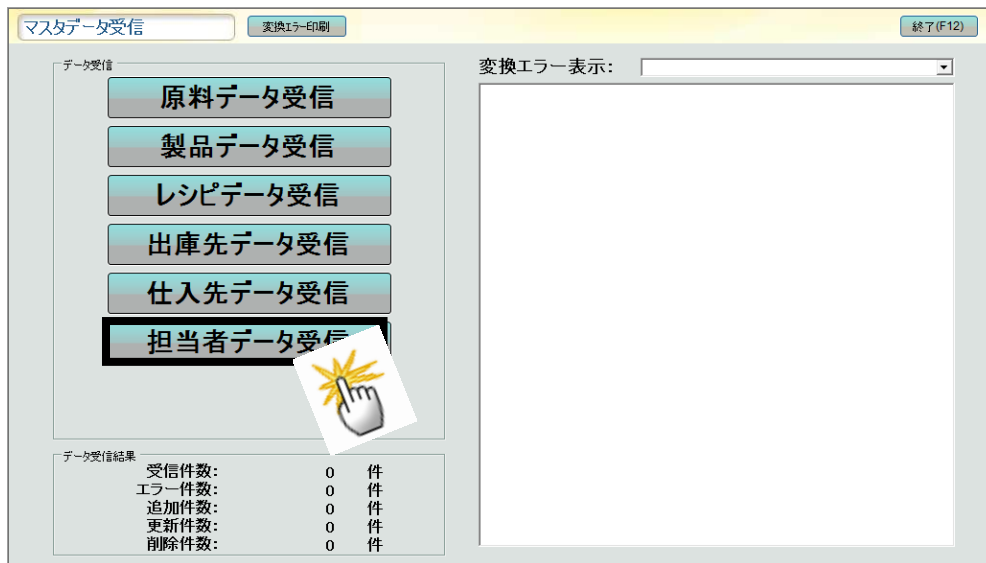
At the bottom left, a table titled 'データ受信結果' (Data Reception Results) is displayed, showing the following statistics:

受信件数:	15	件
エラー件数:	0	件
追加件数:	15	件
更新件数:	0	件
削除件数:	0	件

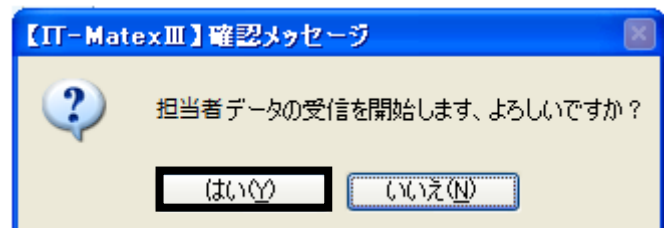
At the bottom right, a '変換エラー表示' (Conversion Error Display) area shows the following messages:

受信ファイル「仕入先01取り込み.csv」開始。  
受信ファイル「仕入先01取り込み.csv」終了。

## ■ 担当者データ受信



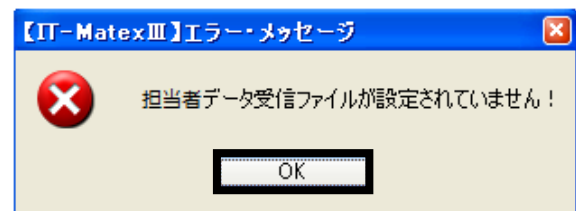
- ① [担当者データ受信]をクリックすると確認メッセージが表示されます。



- ② [はい]を選択した場合、「システム設定」>「システムパラメータ設定」で設定されているデータ受信ファイルパスからデータ受信を開始します。  
[いいえ]を選択した場合、確認メッセージが閉じられ、データ受信は実行されません。

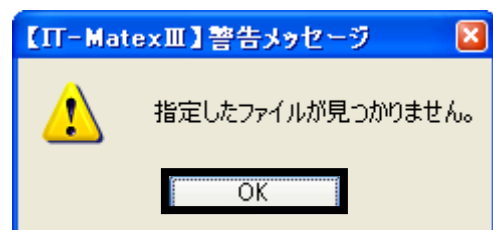
### 注意:

「システムパラメータ設定」で「担当者受信ファイル」のパスを設定していない場合、エラーメッセージが表示されます。  
[OK]をクリックし、設定を行ってください。

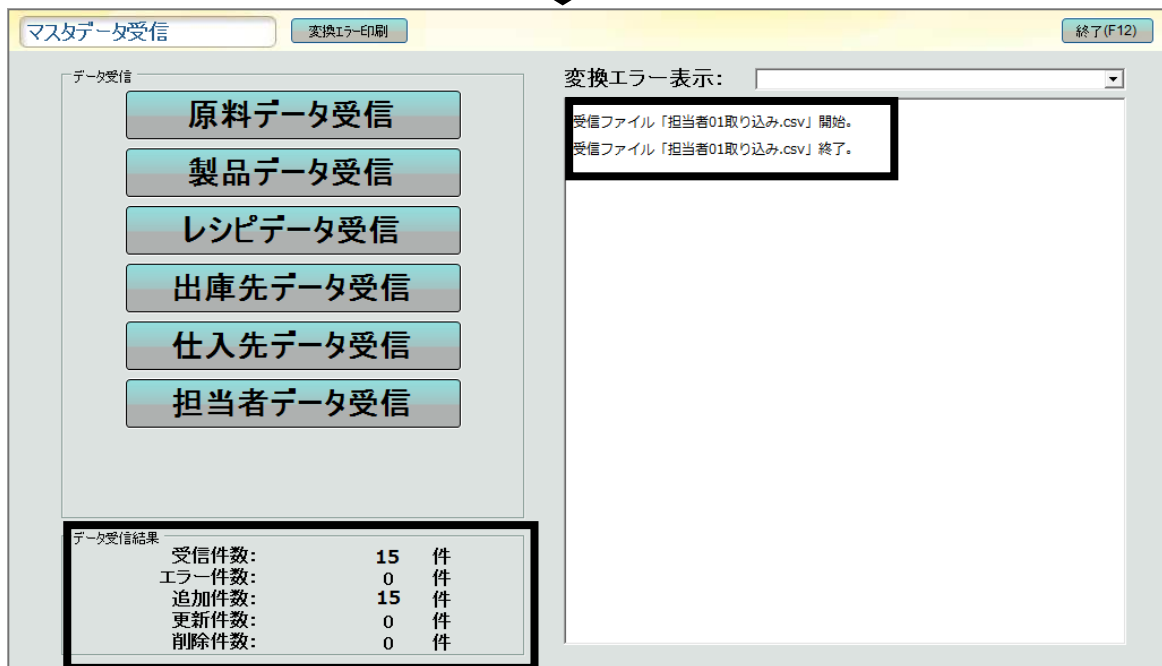
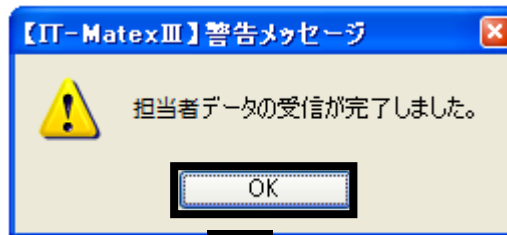


### 補足:

データ受信時、「システムパラメータ設定」で設定をしている場合でも、報告メッセージが表示される場合がありますので、再度設定を確認してください。

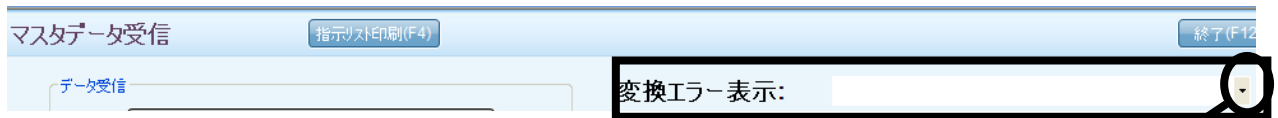


③ 警告メッセージが表示され、[OK]をクリックすると、受信件数・エラー件数・新規追加件数がデータ受信結果として表示されます

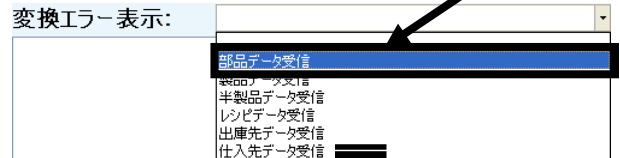


## ■ 変換エラー表示

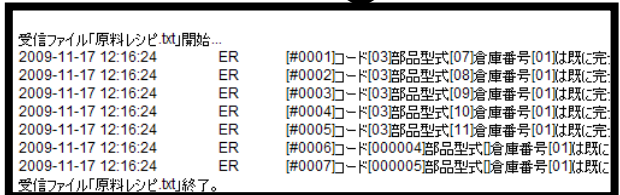
「部品データ受信」「製品データ受信」「レシピデータ受信」「出庫先データ受信」「仕入先データ受信」の中で、最終表示されたエラーの確認ができます。



①[変換エラー表示]フィルタで項目を選択すると、該当指示の受信エラーを表示します。



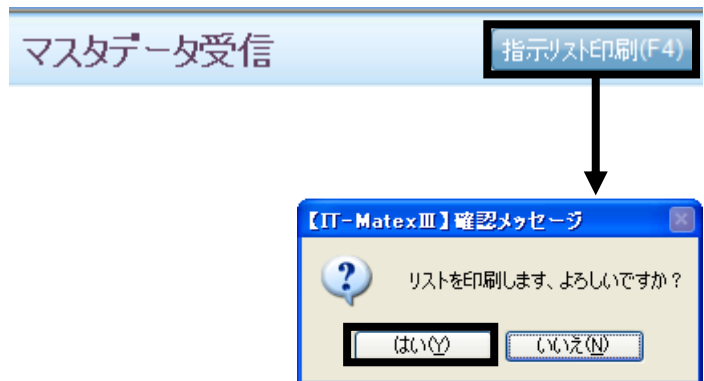
(例) 部品データ受信を選択する場合



## ■ 変換エラー印刷

「変換エラー表示」で表示されたエラー詳細を印刷します。

[指示リスト印刷]をクリックすると  
確認メッセージが表示されます。  
印刷する場合は[はい]、  
印刷しない場合は[いいえ]を選択してください。



## ■ マスタデータ受信の終了

[終了]をクリックすると、【マスタデータ受信】画面を終了します。



# ヘルプ

## バージョン情報

IT-MATEXⅢのバージョンを確認する事ができます。

### 【ヘルプ>バージョン情報】

